このたびはグランディスをお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200100334

この取扱説明書は,お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また,お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので,ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備

グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● 三菱マルチコミュニケーションシステム，マルチディスプレイステーションおよび後席７インチワイド液晶ディスプレイの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

目次

絵で見る目次 1

安全なドライブのために 2
お車を安全に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。

環境にやさしく快適なドライブのために 3

各部の開閉 4

安全装備 5

メーター・スイッチ 6

運転装置 7

室内装備 8

エアコン 9

オーディオ 10

簡単な整備・車のお手入れ 11

寒冷時の取り扱い 12

もしものときの処置 13

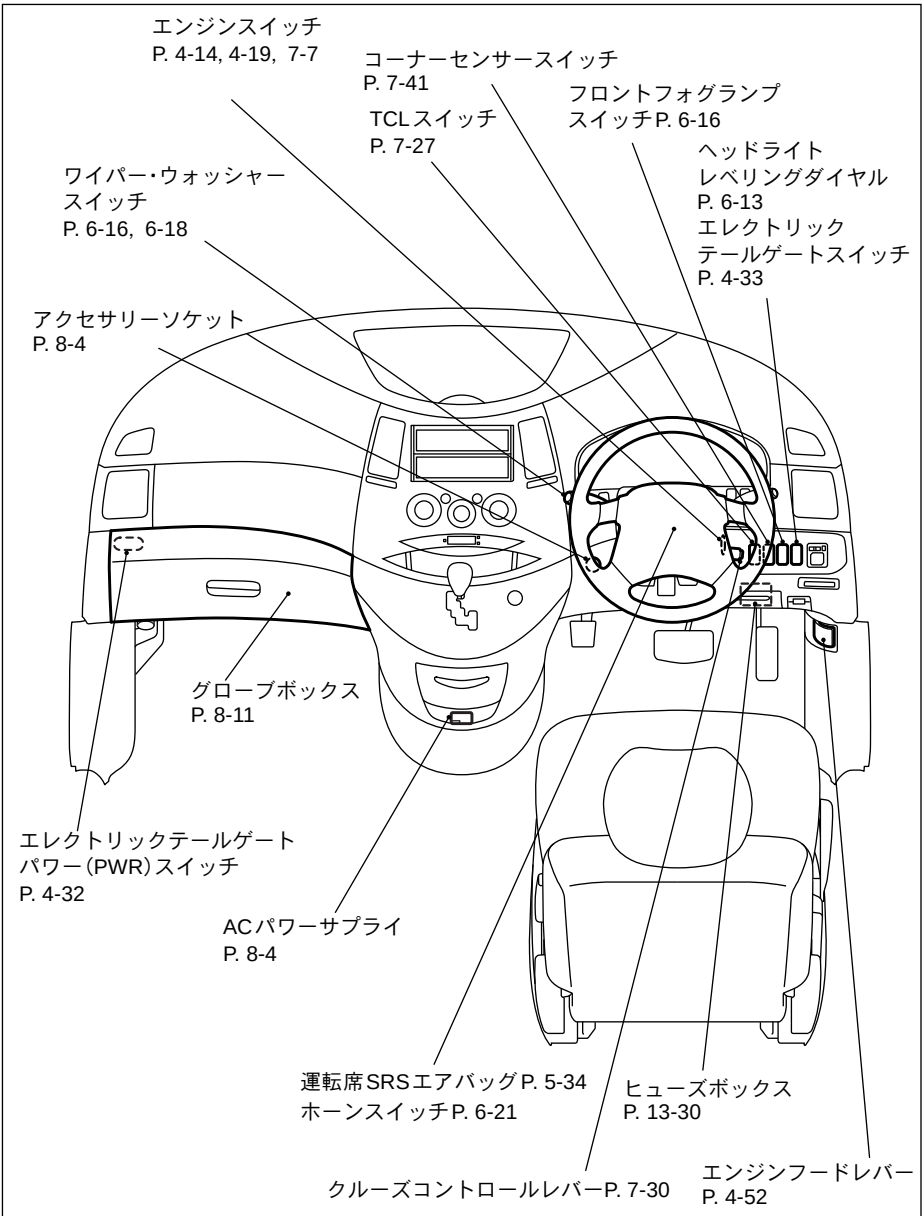
サービスデータ 14

さくいん 15

計器盤まわり

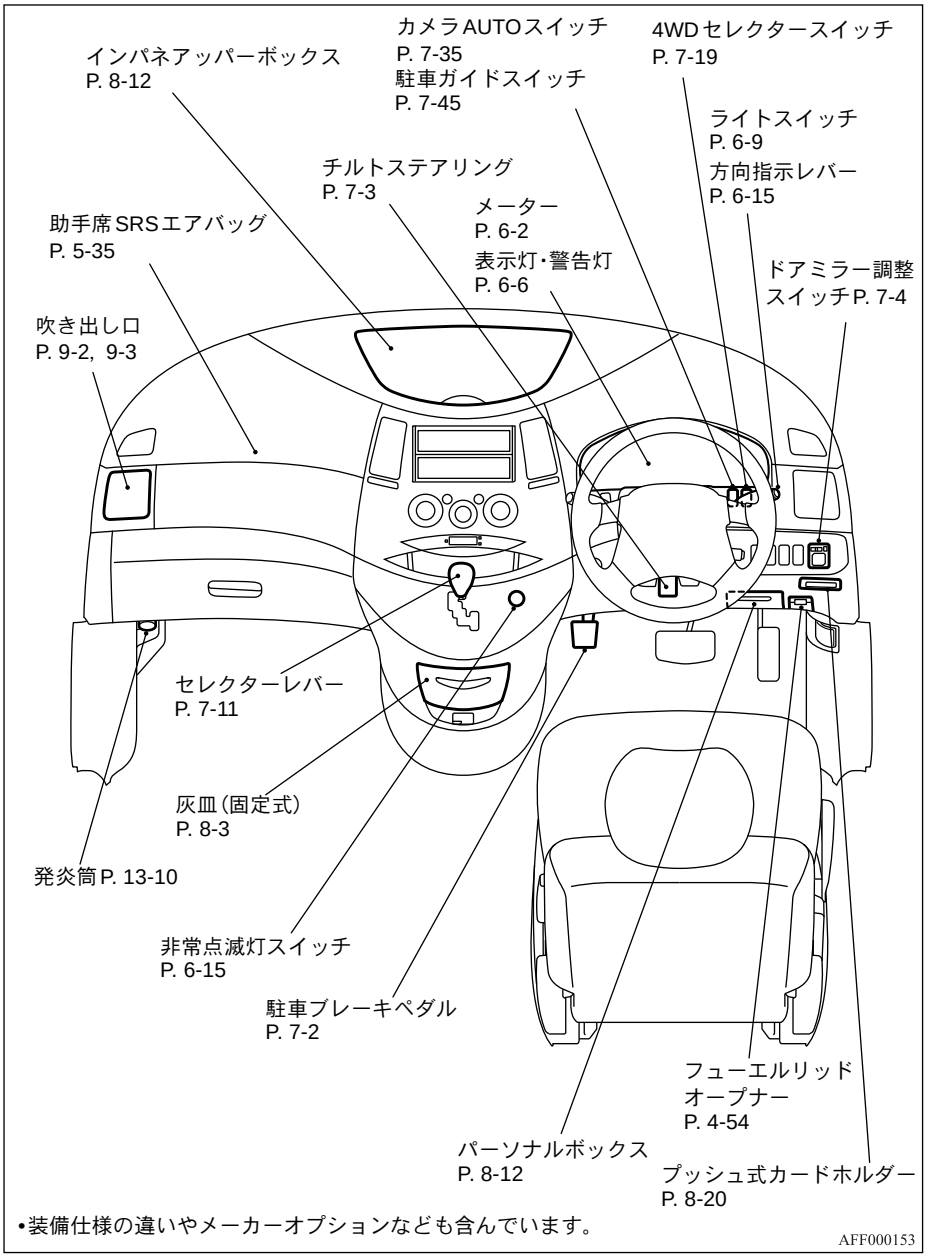
J00100100910

1



•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000081



•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000153

センターパネル

J00100200214

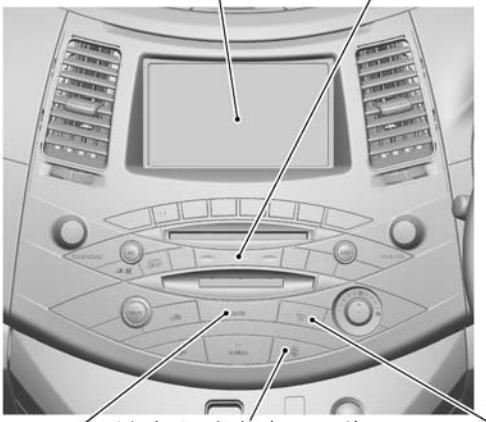
1

除く, 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)／
マルチディスプレイステーション(MDS)付き車

リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチP. 6-20
フロントオートエアコンP. 9-6
時計P. 8-6
アクセサリーボックスP. 8-12

三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)／
マルチディスプレイステーション(MDS)付き車

MMCS,MDS用モニター＊
オーディオ＊



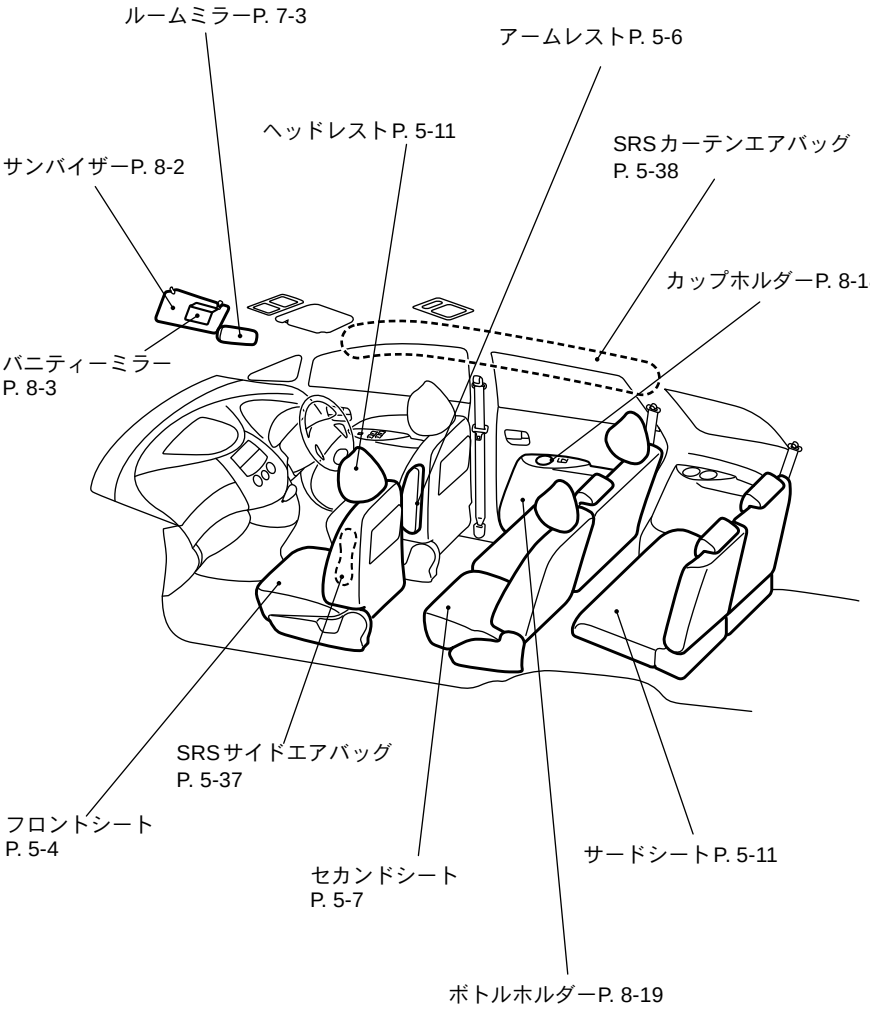
エアコン＊
リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチP. 6-20
フロントデフロスター(曇り取り)スイッチ＊

•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
＊別冊の取扱説明書をご覧ください。

TFF000152

室内

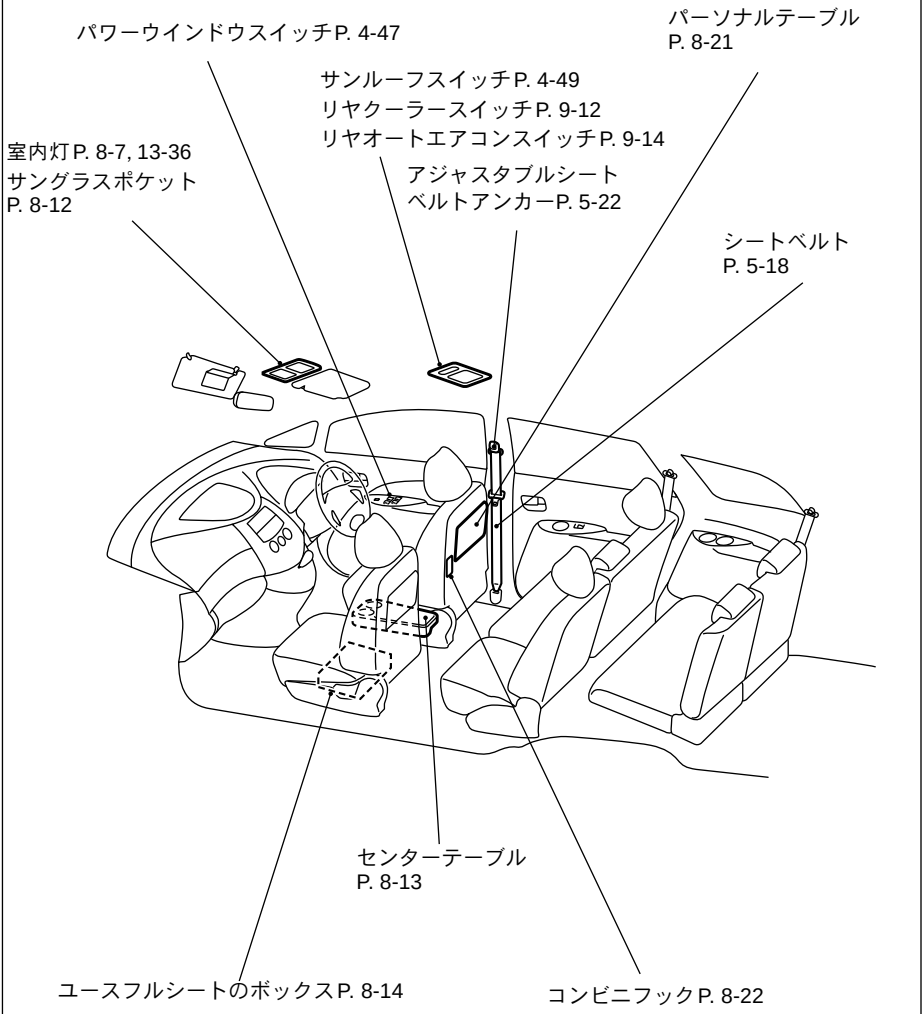
J00100300749



•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000137

1

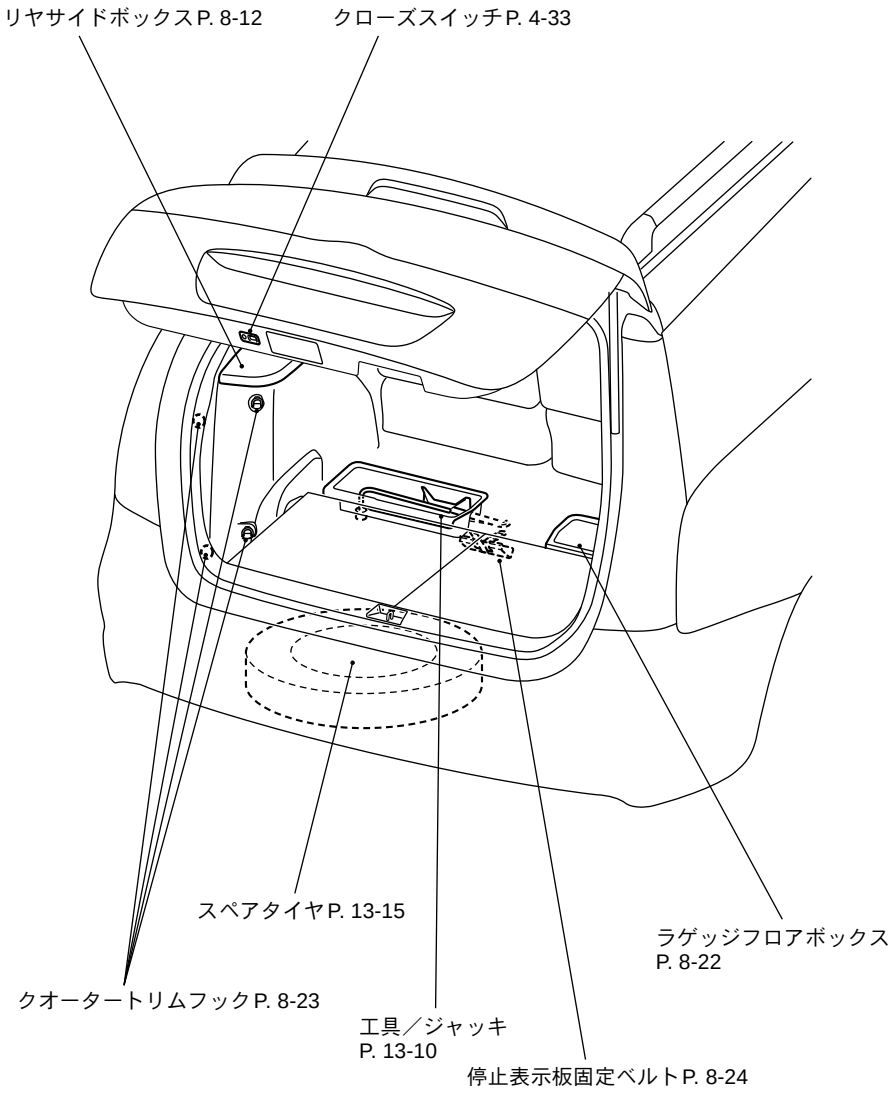


•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000140

ラゲッジルーム

J00100600407



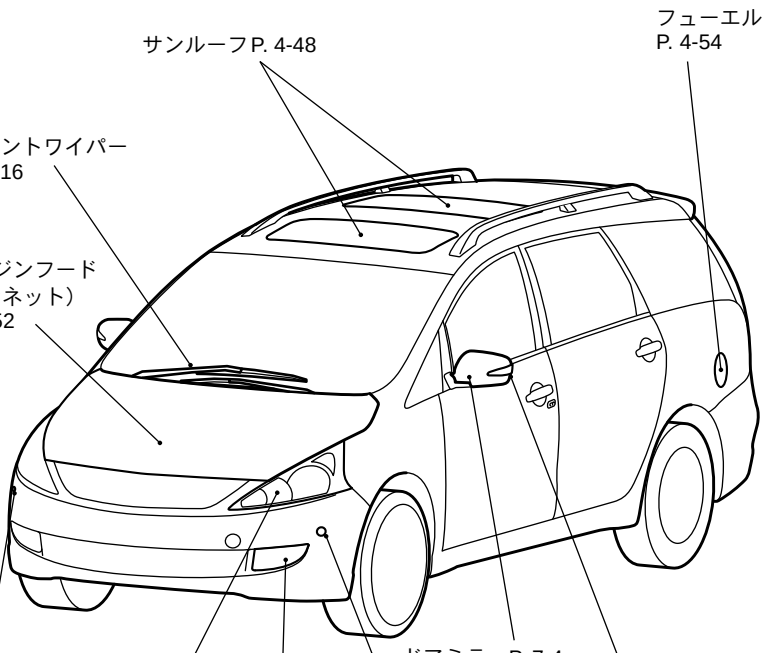
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000052

外まわり

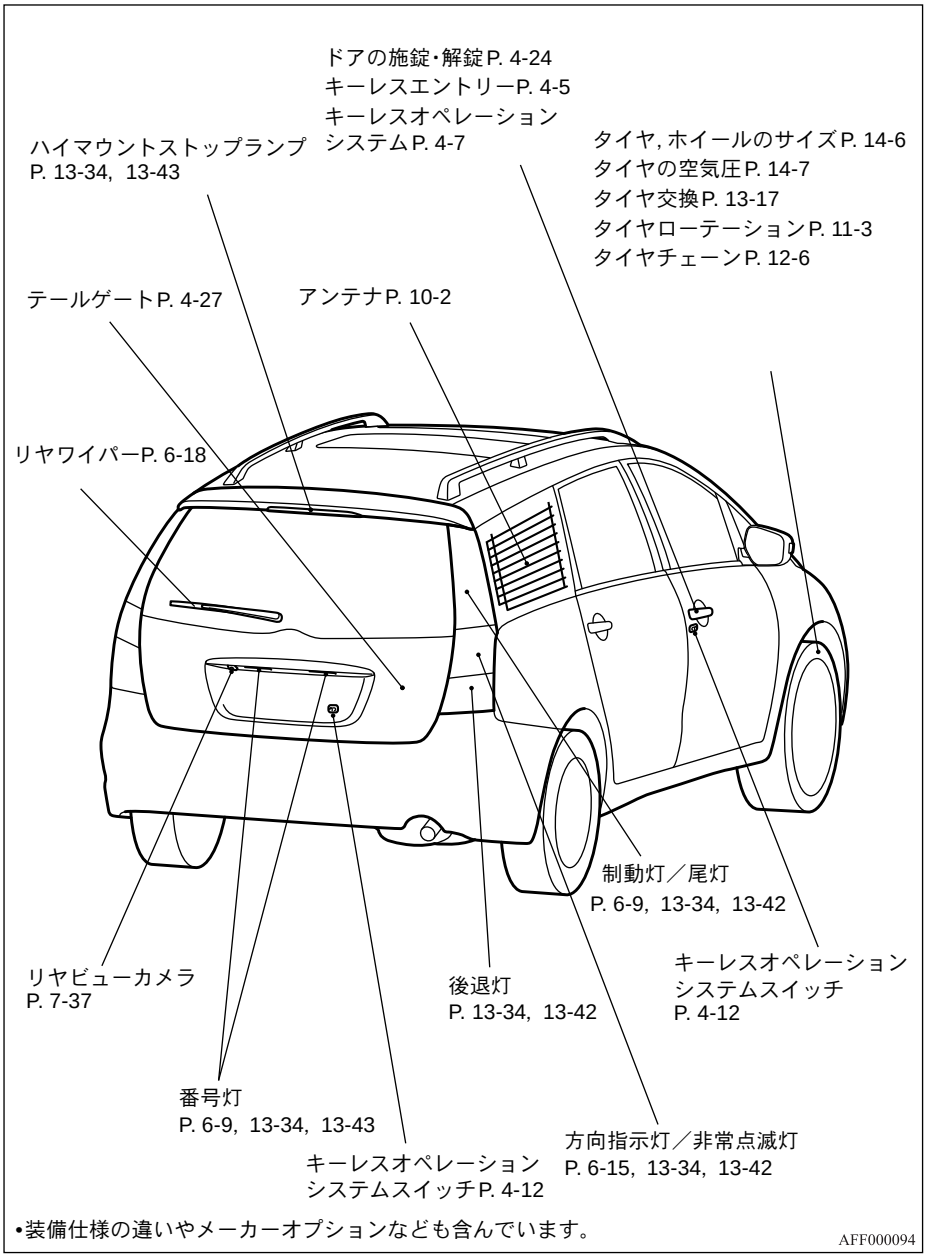
J00100400610

1



•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000108



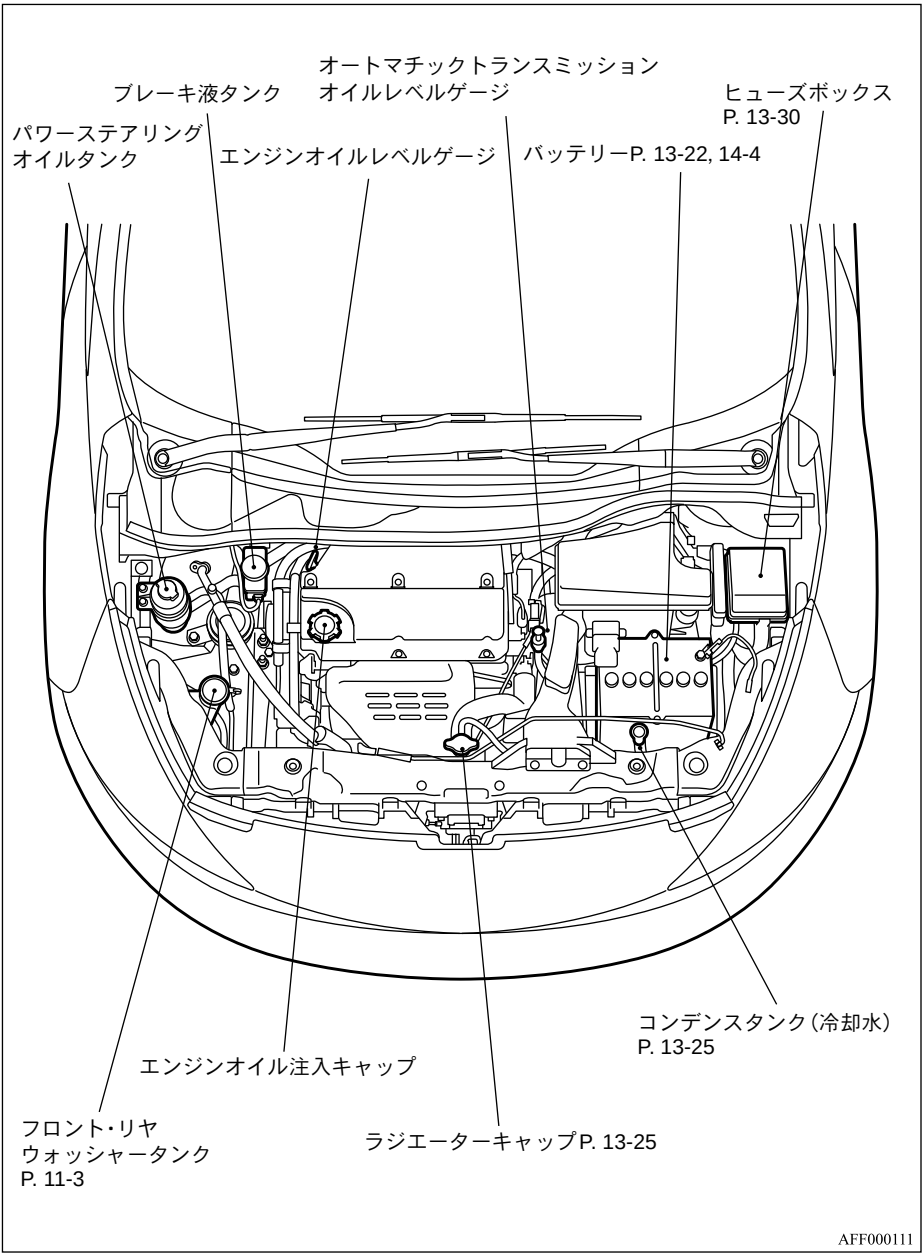
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000094

エンジンルーム

J00100500523

1



安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

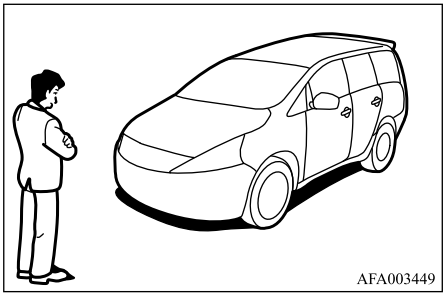
日常点検 2- 2
出発前は 2- 4
お子さまを乗せるときは. 2- 7
走行するときは. 2- 11
走行中に異常に気づいたら 2- 15
オートマチック車の取り扱い 2- 16
駐停車するときは 2- 20
こんなことにも注意 2- 22
セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは 2- 25

日常点検

J00200100227

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。



エンジンルームを点検するときは

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
- 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

- ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
  蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000363

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 有鉛ガソリンや粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正部品以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ」P. 14-2

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100146

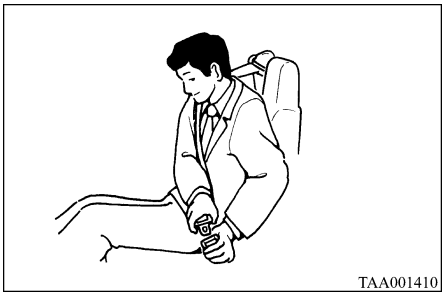
- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
  そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音，臭い，振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200200677

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
  →「シートベルト」P. 5-18
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。


TAA001410

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

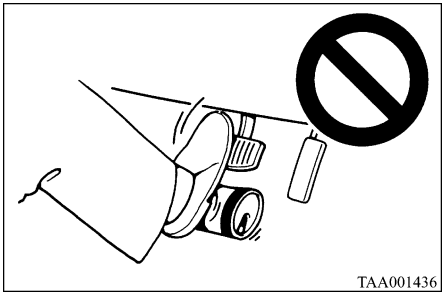
TAA001423

窓越しにエンジンをかけない

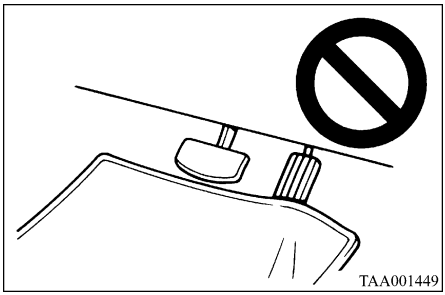
- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
  思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
  →「エンジンをかける前に」P. 2-16
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
  出発前に運転席の足元付近を点検してください。


TAA001436

● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
また，ずれないようフックなどで確実に固定してください。
ペダルをおおったり，重ねて敷くとペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがあります。

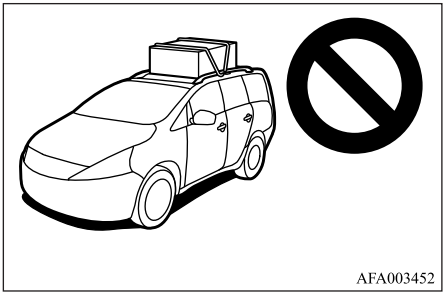


荷物を積むときは

● 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
● SRS カーテンエアバッグ付き車では，側面ガラス付近に荷物を積まないでください。SRSカーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。
● 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
● 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

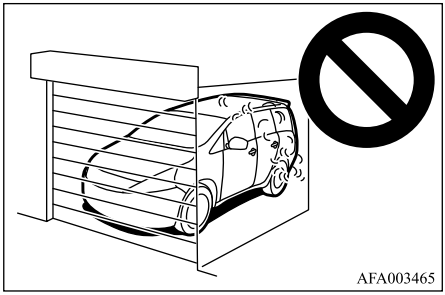
ルーフレールに直接荷物を積まない

● 荷くずれを起こして思わぬ事故につながるおそれがあります。走行安全上，ルーフレールに直接荷物を積んだり，不用意にロープをかけないでください。
● ルーフに荷物を積むときは，専用のルーフキャリアを使用してください。その際は，重心が片寄らないようにバランスよく積んでください。



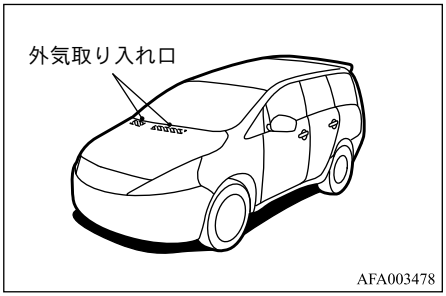
周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
  排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。



フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
  そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。



お子さまを乗せるときは

J00200300434

お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートをできるだけ後方に下げる
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 後席でも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P. 5-25
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 乳児用シート（ベビーシート）は助手席に取り付けないでください。
  助手席に取り付けると助手席エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向き乳児用シート（ベビーシート）の上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
  使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

◆ ISO[*1] FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー

[*1] ISOはInternational Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

- ISO FIX規格に対応したチャイルドシート[*2]を取り付けるための固定専用バーおよびテザーアンカーです。
  この固定専用バーおよびテザーアンカーを使用するときは，チャイルドシートを車両のシートベルトで固定する必要はありません。
  →「ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方」P. 5-27

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

◆ チャイルドシート固定機構付シートベルト

- シートベルトを全部引き出すと，巻き戻し途中では引き出し方向にベルトが動かない状態となり，ISO FIX 対応していないチャイルドシートを固定することができます。
  →「チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方」P. 5-30

◆ セーフティー機構付パワーウインドウ

●万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にドアガラスが少し下がります。
→「セーフティー機構」P. 4-48

◆ セーフティー機構付サンルーフ タイプ別装備

●万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にサンルーフが少し開きます。
→「セーフティー機構」P. 4-50

◆ ロックスイッチ

●ロックスイッチをONにすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
また，リヤサンルーフ付き車は，リヤサンルーフも開閉できなくなります。
→「ロックスイッチ」P. 4-47，4-50

◆ チャイルドプロテクション

●ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。
→「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P. 4-26

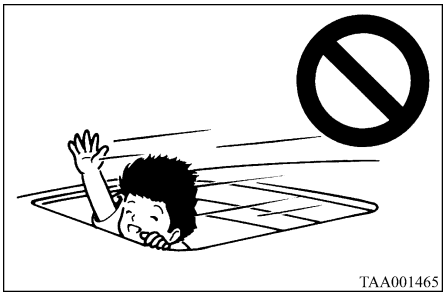
ドア，ウインドウ，サンルーフ，シートの操作は大人が行う

●手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
●お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウ／リヤサンルーフにはロックスイッチをお使いください。

窓やサンルーフから手や顔を出させない

●窓やサンルーフから手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

TAA001452


TAA001465

お子さまをシートベルトで遊ばせない

●お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを体に巻きつけたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

車から離れるときはお子さまも一緒に

●お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり，熱射病などのおそれがあります。
●車内にキーを残したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまを荷室で遊ばせない

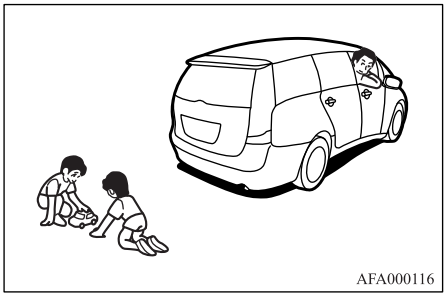
●荷室は人が乗る構造になっておりません。
お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400031

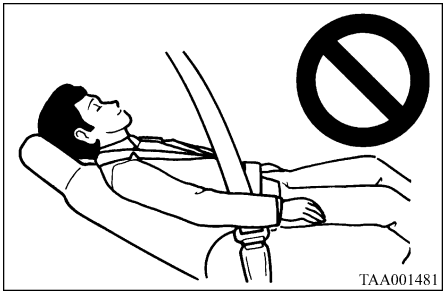
発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。



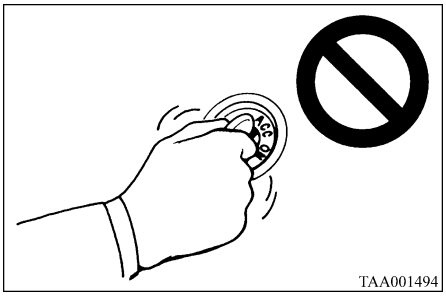
同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。



急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

●急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

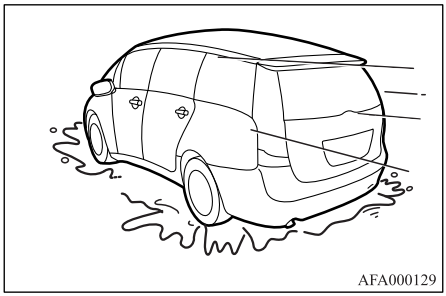
J00202200033

●雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。

●水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキのしめりを乾かしてください。

●わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

●タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。


AFA000129

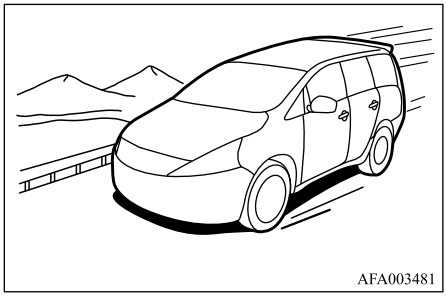
ハイドロプレーニング現象とは…

●水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300265

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。



エンジンブレーキとは…

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速ギヤほどよく効きます。

ベーパロックとは…

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

- ブレーキパッドまたはブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400022

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600024

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「タイヤがスリップして発進できない」P.13-8

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700025

- 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキのしめりを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00202800257

● 段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合、車体、バンパー、マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路

走行中に異常に気づいたら

J00200500348

走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの方法で車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
  通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
- 万一，スピードが落ちないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから，駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
  このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドル操作が非常に重くなります。
  通常よりハンドルを強く操作してください。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
  ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

● 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
  →「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
  点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
  ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

オートマチック車の取り扱い

J00200600336

オートマチック車の特性

クリープ現象とは…

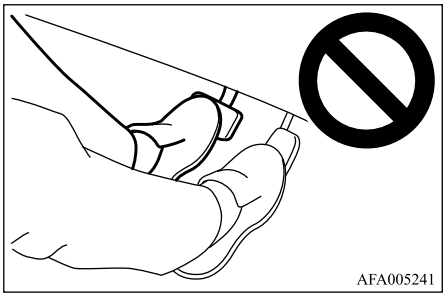
● セレクターレバーを(P), (N)以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。

キックダウンとは…

● 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に低速ギヤに切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキペダルは右足で

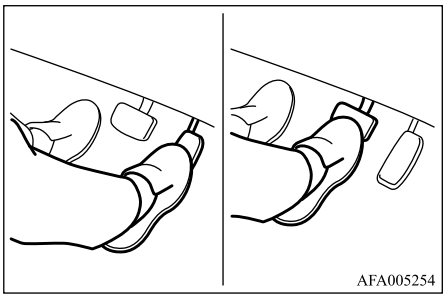
● 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



エンジンをかける前に

J00201100240

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏みまちがいを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。



● セレクターレバーが(P)の位置にあることを確認してください。

エンジンをかけるときは

J00201200124

● ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
→「エンジンのかけ方」P. 7-8
→「キーレスオペレーションシステム：エンジンのかけ方」P. 4-15，4-20

エンジン始動後

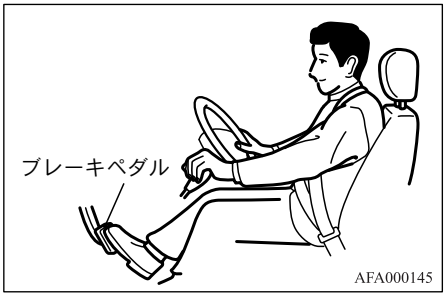
J00201300024

● エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

発進するときは

J00201500026

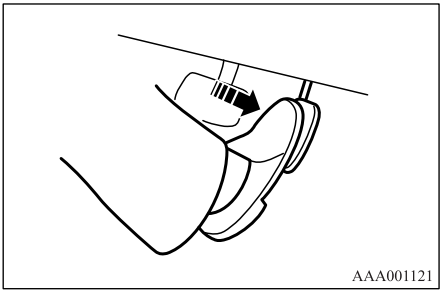
● ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。



● アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

● Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

● 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。



走行中は

J00201600030

● 走行中は，セレクターレバーをⓃに入れないでください。
誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。

停車中は

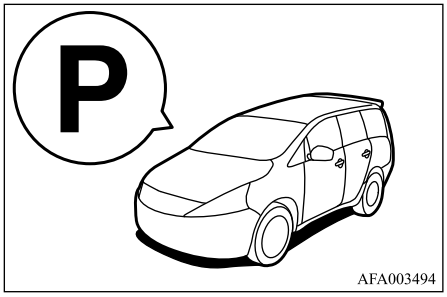
J00201700031

● エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
● 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800250

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを(P)に入れます。
- 車が完全に止まらないうちに(P)に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーが(P)，(N)以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。



その他に気をつけること

J00201900020

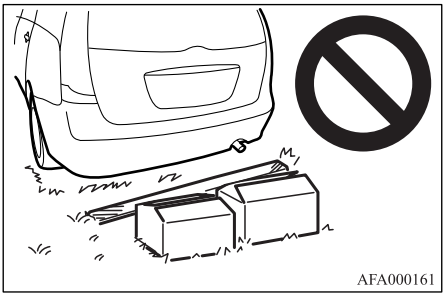
- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーが(R)に入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐに(R)から(P)または(N)に戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどで(D)から(R)，(R)から(D)と何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかり踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちに(P)や(R)に入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200700571

燃えやすいものの近くには車を止めない

●枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。



長時間のアイドリングは避ける

●長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に排気ガスには有毒な成分が含まれており，周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

●車から離れるときは，必ずセレクターレバーを(P)に入れ，駐車ブレーキをかけ，エンジンを止め，キーを携帯し，ドアを施錠してください。
無人で車が動き出したり，盗難のおそれがあります。
また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

●エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを Ⓟに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200900775

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオなどの操作は停車してから

- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

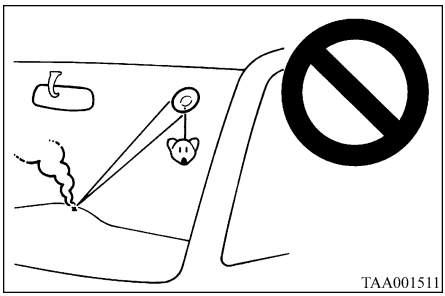
- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチまたはタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

●ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。



●塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

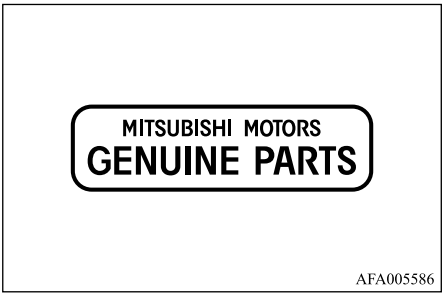
●タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
●指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
→「タイヤ, ホイールのサイズ」P. 14-6
●ホイールは，リムサイズやオフセット量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

ジャッキアップしたままエンジンをかけない

●ジャッキアップしたままエンジンをかけると，ジャッキから車体が外れ，重大な事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

●法律で認められている改造以外は行わないでください。
また，三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。



電装品や無線機などの注意

●電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でない場合，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000180

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

MEMO

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために 3- 2
機能を上手く使うために 3- 3
環境保護のために守っていただきたいこと 3- 3

経済的な運転をするために

J00300200245

無駄な荷物を載せない

●不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

●不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

●変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

●法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

●空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

●携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

●タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

●エアコンは燃費に影響します。
冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

●車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
●下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
●高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300028

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400061

廃棄物を処理するときは

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガスHFC-134a（R134a）を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は，三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

MEMO

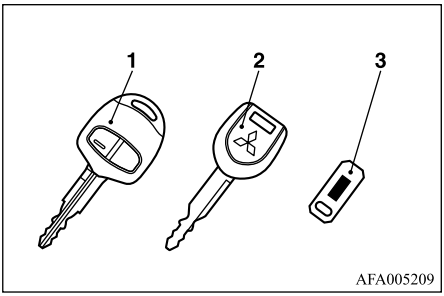
各部の開閉

キー 4- 2
エンジンイモビライザー(盗難防止装置) 4- 3
キーレスエントリー 4- 5
キーレスオペレーションシステム 4- 7
ドア 4- 24
センタードアロック 4- 25
チャイルドプロテクション(後席ドア安全施錠装置) 4- 26
テールゲート 4- 27
セキュリティーアラーム 4- 39
パワーウインドウ 4- 46
サンルーフ 4- 48
エンジンフード(ボンネット) 4- 52
フューエルリッド(燃料補給口) 4- 54

キー

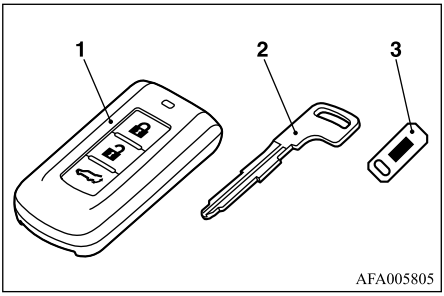
J00400100737

除く，キーレスオペレーションシステム 付き車



1： エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー用キー
2： エンジンイモビライザー用キー
3： キーナンバープレート

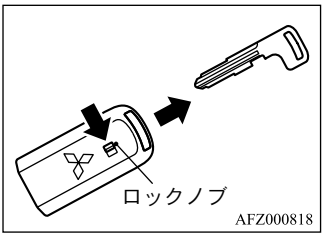
キーレスオペレーションシステム付き車



1： キーレスオペレーションキー（エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー機能付き）
2： エマージェンシーキー
3： キーナンバープレート

アドバイス

● キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外し，グローブボックスの施錠・解錠をすることができます。



→「エマージェンシーキー」P. 4-18

● キーは（除く、エマージェンシーキー）信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
- ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
- 分解，改造をしない
- キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
- 水にぬらさない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
- オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 超音波洗浄器などで洗浄しない

● 万一,キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。

● あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかかりません。
→「エンジンイモビライザー」P. 4-3

アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
  →「セキュリティーアラーム」P. 4-39
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやセンタードアロックスイッチを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

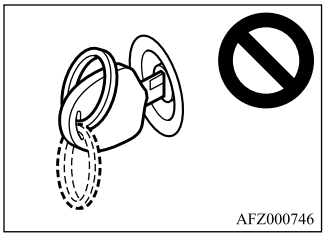
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

J00400200233

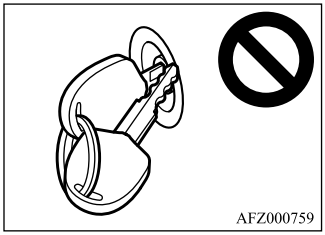
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

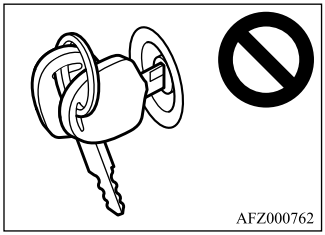
● つぎのようなときは，車がキーからの信号を受信できずエンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。
  •キーグリップに金属製のリングをのせたままのとき



  •キーグリップと他のキーの金属部分が接しているとき



  •キーが他の車両のエンジンイモビライザー用キーと重なっている，または近いとき



● このようなときは，キーに接している金属や他のキーを取り除いてからエンジンスイッチをACCまたはLOCKに戻し，再度エンジンをかけます。
  エンジンがかからないときは，三菱自動車販売会社に連絡してください。

アドバイス

● 強い電波を発する物や設備の近くでは正しく作動しないことがあります。
● キーを紛失したときや，新しいキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。同じ車両で最大８本まで登録することができます。このとき，残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスエントリー

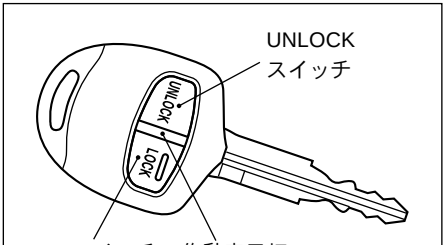
J00400300771

キーレスオペレーションシステム 付き車

キーレスオペレーションシステム付き車のキーレスエントリーについては「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」をお読みください。→P.4-22

除く，キーレスオペレーションシステム 付き車

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラー，パワーウインドウ，リヤサンルーフを操作することができます。



ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

J00405700099

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-39
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

J00405800087

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプの点滅・点灯はインテリアランプスイッチが中間(DOOR)位置のときに限られます。

施錠時: ルームランプ＆マップランプ，リヤパーソナルランプおよび非常点滅灯が 1 回点滅
解錠時: ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが約15秒間点灯し，非常点滅灯が 2 回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ドアミラーの格納・復帰

J00406600011

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。
UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

パワーウインドウの閉じ方

J00406700012

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときは LOCK または UNLOCKスイッチを押します。

リヤサンルーフの閉じ方

J00406900043

サンルーフ付き車

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとリヤサンルーフが閉まります。途中で止めることはできません。

アドバイス

- リモコンスイッチによるつぎの操作を変更することができます。
  - パワーウインドウとリヤサンルーフの「閉じる」操作をできなくする。
  - パワーウインドウの「開ける」機能を追加する。
  - ドアミラーの格納・復帰をドアの施錠・解錠と連動させる。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンスイッチは車から約 1 m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大 4 個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

キーレスオペレーションシステム

タイプ別装備

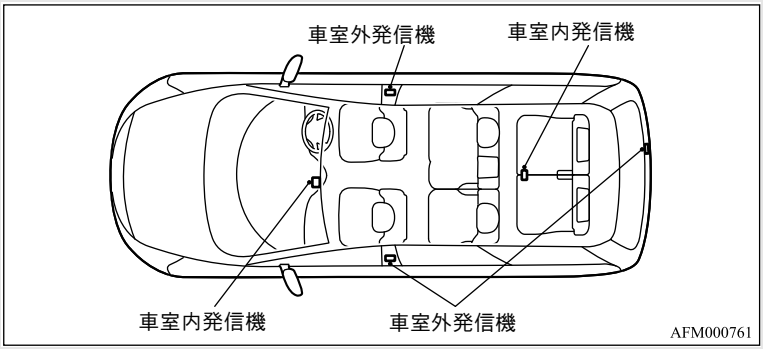
J00407400175

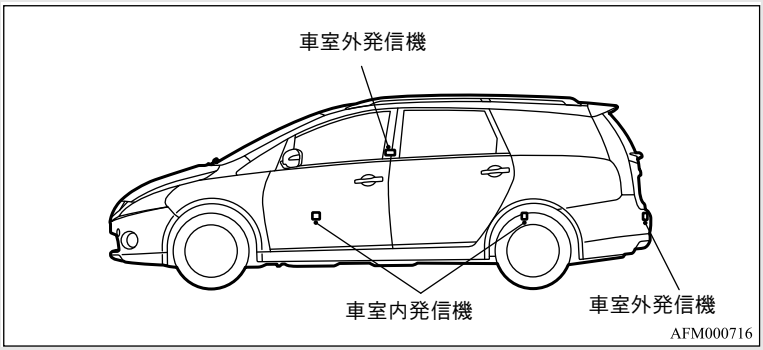
キーレスオペレーションシステムは，キーレスオペレーションキーを携帯するだけで，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作ができるシステムです。
また，キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとしても使えます。
→「キーレスオペレーションシステム:キーレスエントリー」P. 4-22

キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアおよびテールゲートの施錠･解錠やエンジンの始動など車を操作するために必要ですので，車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

⚠警告

● **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は，車室外発信機・車室内発信機から約 22 cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。**





⚠警告

● 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は，キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。（キーレスエントリーとしての操作は可能です）

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみできるようにする
- エンジンの始動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かないようにする

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）またはマルチディスプレイステーション（MDS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

キーレスオペレーションシステムでできる操作を変更した場合，作動している発信機はつぎの通りです。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみ：車室外発信機および車室内発信機
- エンジンの始動操作のみ：車室内発信機

アドバイス

● キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
つぎのような場合，正しく作動しなかったり，不安定な作動となることがあります。
- 近くにＴＶ塔や変電所，放送局，空港など強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
- キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり，覆われているとき
- 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
- 強い電波，ノイズのある場所に置いたとき

このようなときはエマージェンシーキーを使用してください。
→「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」P. 4-18

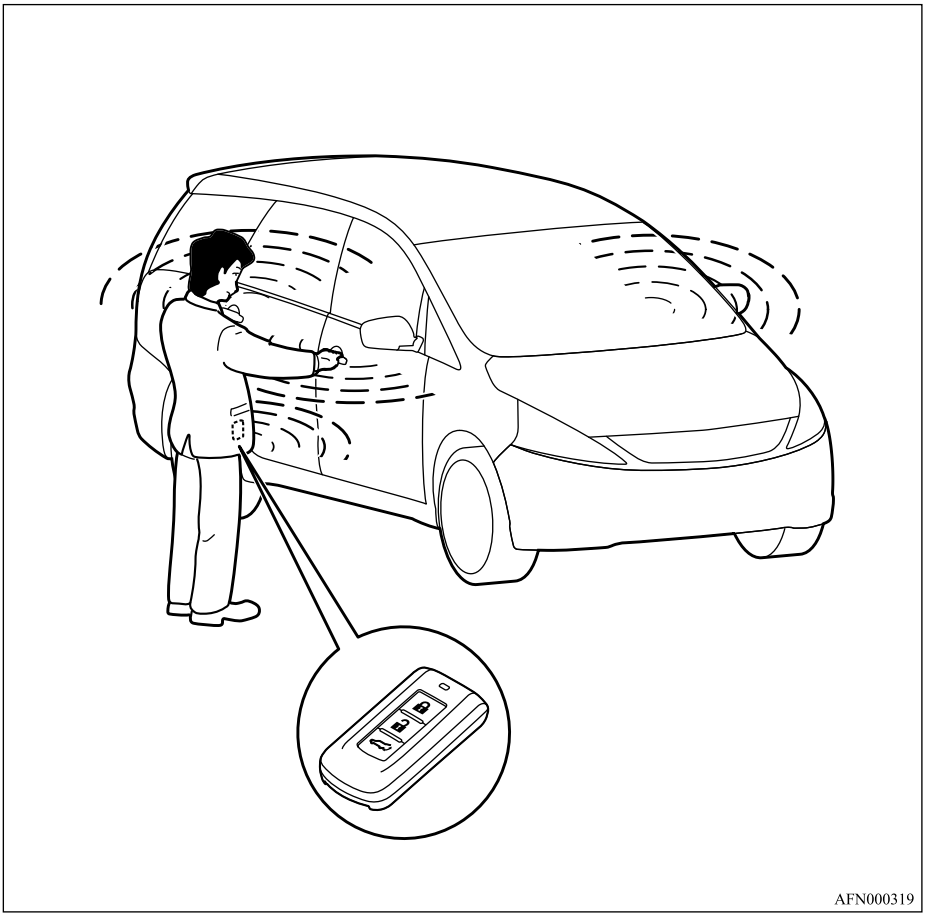
● キーレスオペレーションキーは，車両との通信のために常時受信動作をしているため，キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが，電池の寿命は約1年～3年です。電池が消耗した場合は，三菱自動車販売会社で新しい電池に交換してください。

● キーレスオペレーションキーは，常時受信動作をしているため，強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ，パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J00407500147

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り，ドアまたはテールゲートのスイッチを押すとIDコードの照合を行います。車両とキーレスオペレーションキーのIDコードが一致した場合のみ，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作が可能になります。



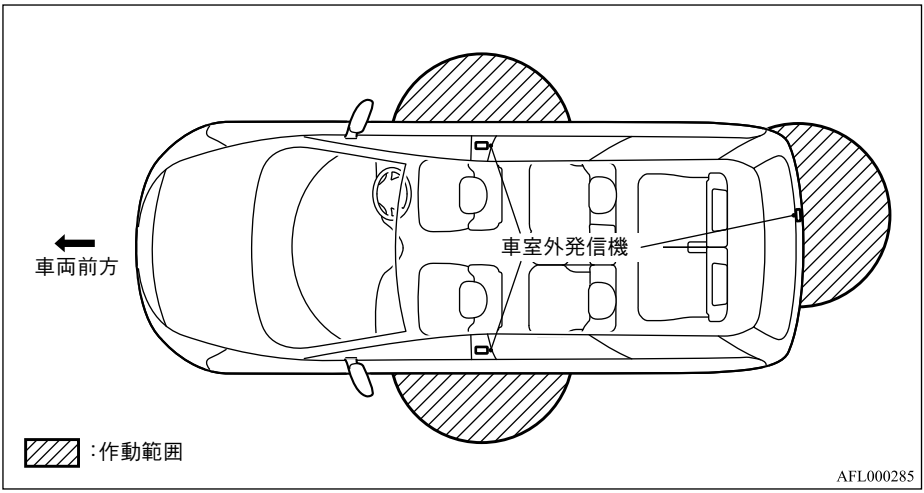
AFN000319

アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや, 強い電波またはノイズのある場所などでは，作動範囲が狭くなったり，不安定な作動となることがあります。

◆ ドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲は運転席ドア，助手席ドアのハンドルおよびテールゲートのスイッチから周囲約70 cm 以内です。



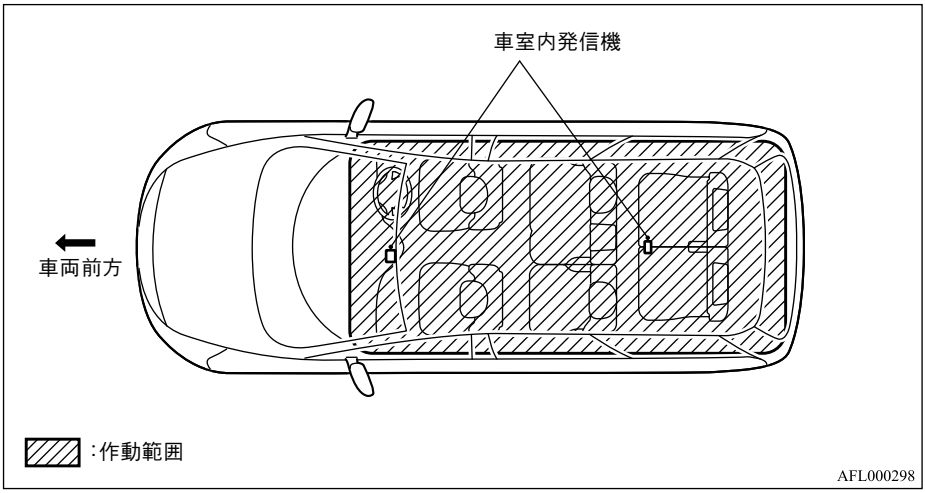
アドバイス

- キーレスオペレーションキーを検知しているドアおよびテールゲートのスイッチでのみ施錠・解錠ができます。
- フロントドア，ドアガラス，テールゲートに近づきすぎているときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドア，助手席ドアのハンドルおよびテールゲートのスイッチから周囲約70 cm以内でも，地面の近くや高い場所にあるときは，作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば，キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも，運転席ドア，助手席ドアおよびテールゲートのスイッチの操作でドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

◆ エンジンを始動するときの作動範囲

J00407600119

作動範囲は車室内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても，グローブボックスなどの小物入れ，インストルメントパネル上部，ドアポケットまたはラゲッジルームなどにあるときは，エンジン始動ができないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあっても，ドアやドアガラスに近づきすぎているときは，エンジン始動ができることがあります。

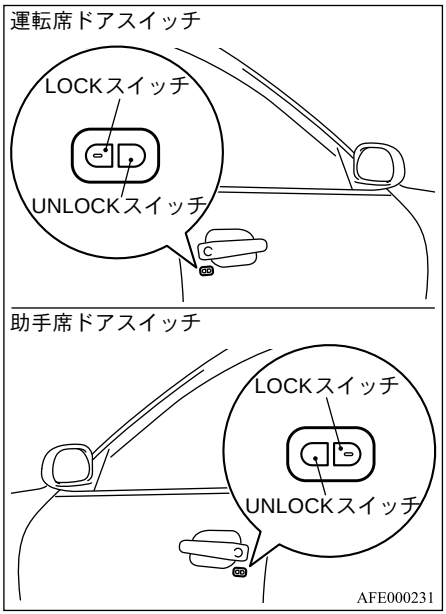
キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

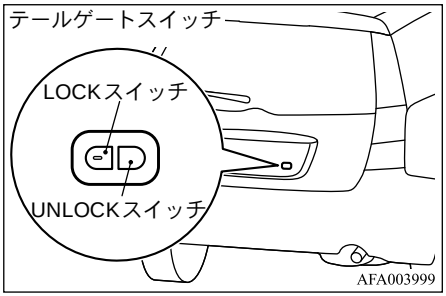
J00407700051

◆ ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドア，助手席ドア，またはテールゲートの LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

「各部の開閉：ドア，センタードアロック，テールゲート」も合わせてお読みください。
→P. 4-24，4-25，4-27





アドバイス

- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
  - 車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
  - エンジンスイッチがLOCK以外のとき
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-39
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプの点滅・点灯はインテリアランプスイッチが中間(DOOR)位置のときに限られます。

施錠時： ルームランプ＆マップランプ，リヤパーソナルランプ，非常点滅灯が1回点滅し，ブザーが1回鳴る

解錠時： ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが約15秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅し，ブザーが2回鳴る

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
- すべてのドアおよびテールゲートが閉まっている状態でキーレスオペレーションキーが車内から持ち出されたときに，警報ブザーが鳴るようにする。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ ドアミラーの格納・復帰

ドアまたはテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内に LOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーが格納されます。ドアまたはテールゲートのUNLOCKスイッチを押して解錠した後，約30秒以内にUNLOCKスイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

◆ パワーウインドウの閉じ方

ドアまたはテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内に LOCK スイッチを再度約 1 秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときは LOCK または UNLOCKスイッチを押します。

◆ リヤサンルーフの閉じ方

サンルーフ付き車

ドアまたはテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内に LOCK スイッチを再度約 1 秒以上押し続けるとリヤサンルーフが閉まります。途中で止めることはできません。

アドバイス

● ドアおよびテールゲートのスイッチによるつぎの操作を変更することができます。
- パワーウインドウとリヤサンルーフの「閉じる」操作をできなくする。
- パワーウインドウの「開ける」機能を追加する。
- ドアミラーの格納・復帰をドアの施錠・解錠と連動させる。

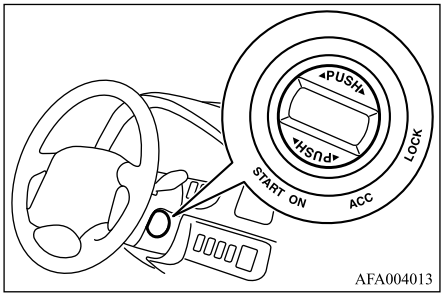
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ エンジンの始動

車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかかりません。(エンジンイモビライザー機能)

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，エンジンスイッチを回すとエンジンの始動ができます。

「運転装置：エンジンのかけ方」も合わせてお読みください。
→P. 7-8



エンジンスイッチの位置と働き

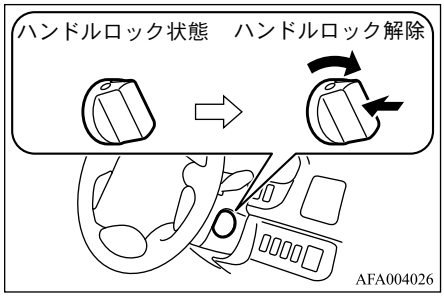
LOCK (PUSH OFF)	ハンドルがロックされる位置
LOCK (PUSH ON)	車室内での ID コードの照合が一致したとき, ハンドルロックが解除されてエンジンスイッチを回すことができます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ, アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止時にエンジンスイッチをLOCK（PUSH OFF）にしないと，IDコードの照合ができず，エンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。このようなときは，エンジンスイッチを確実に LOCK（PUSH OFF）に戻し，再度エンジンをかけます。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- 運転席ドアを開くとエンジンスイッチの照明灯が点灯し，エンジンスイッチの操作を容易にします。運転席ドアを閉じると約30秒後に消灯します。
  ただし，照明灯が点灯中でもエンジンスイッチをONにするとすぐに消灯します。また，バッテリー上がりを防止するため，長く放置すると自動消灯します。
  →「インテリアランプオートカット機能（自動消灯）」P. 8-10

LOCK（PUSH OFF）からACCに回すときは

エンジンスイッチを押しながらゆっくり回します。



アドバイス

- エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) からACCに回らないときは，再度エンジンスイッチを押してハンドルを左右に動かした後，エンジンスイッチを回します。
- キーレスオペレーションキーが車室内にないとエンジンスイッチを回すことはできません。
  →「エンジンを始動するときの作動範囲」P. 4-11
- アクセサリーソケットに差し込んで車両の充電を行うような市販の充電器を使用すると，エンジンスイッチが回らないときがあります。このようなときはアクセサリーソケットから充電器を外してエンジンをかけてください。

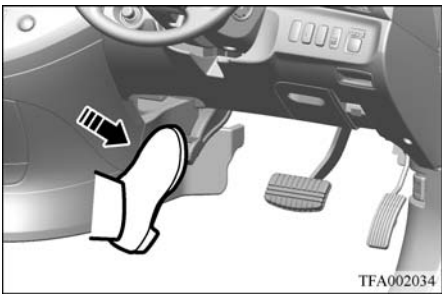
ACCからLOCKに回すときは

セレクターレバーをⓅに入れ，LOCK まで押しながら回します。

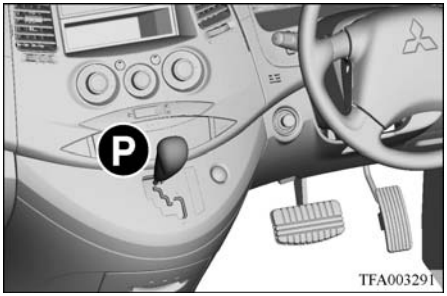
セレクターレバーがⓅでないとエンジンスイッチを LOCK まで回すことはできません。

エンジンのかけ方

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-4
2. 駐車ブレーキをかけていることを確認します。



3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



4

アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

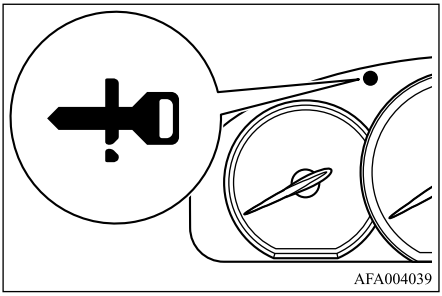
4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF)からLOCK（PUSH　ON）に押しながらSTART にゆっくり回してエンジンをかけます。

警報作動について

J00407800111

キーレスオペレーションシステムでは誤操作や車両盗難防止のため，メーター内の表示灯および警報ブザーで注意を促します。
警報作動をしたときは，必ず車両およびキーレスオペレーションキーの確認を行ってください。また，キーレスオペレーションシステムに異常がある場合も表示灯が点滅します。

◆ キーレスオペレーションシステム表示灯



つぎのようなときに表示灯が点滅します。
三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- キーレスオペレーションシステムに異常があるとき（約5分間）
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき（約30秒間）

つぎのようなときにも表示灯が点滅しますが，正しい使い方をすれば表示灯は消灯します。

- キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったとき （約5分間）
  このようなときは，IDコードの異なるキーレスオペレーションキーを携帯している，またはキーレスオペレーションキーが作動範囲内にないことが考えられます。
- ドアまたはテールゲートの LOCK スイ ッチを押しても施錠できないとき (約5秒間)
  このようなときは，エンジンスイッチがLOCK (PUSH OFF)以外にある，車内にキーレスオペレーションキーがある，ドアまたはテールゲートが開いている（半ドアも含む）ことが考えられます。

◆ キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，いずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出し，キーレスオペレーションキーと車両のIDコードの照合ができなかったときは，表示灯の点滅とブザー（ピピピピッ）が4回鳴り警報します。

アドバイス

- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。
- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- エンジン始動の作動範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても，周囲の環境または電波状態などにより，キーレスオペレーションキーと車両の IDコードの照合ができなかったときは，警報が作動することがあります。

◆ キー閉じ込め防止機構

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，車内にキーレスオペレーションキーを置いたまますべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，表示灯の点滅と約 3 秒間のブザー（ピピピピピ）で警報し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

◆ 半ドア防止機構

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，いずれかのドアまたはテールゲートを完全に閉めずにドアおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，表示灯の点滅と約3秒間のブザー（ピピピピピ）で警報し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

◆ エンジンスイッチ切り忘れ防止機構

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，すべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，表示灯の点滅と約 3 秒間のブザー（ピピピピピ）で警報し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

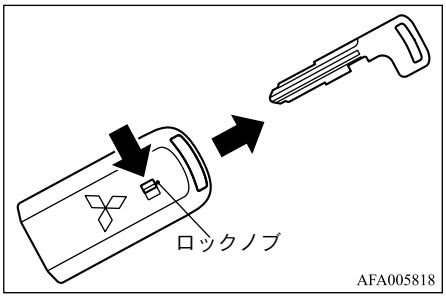
キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J00407900167

◆ エマージェンシーキー

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。
キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき，ドアの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作をすることができます。

ロックノブを矢印の方向に押しながら，キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。



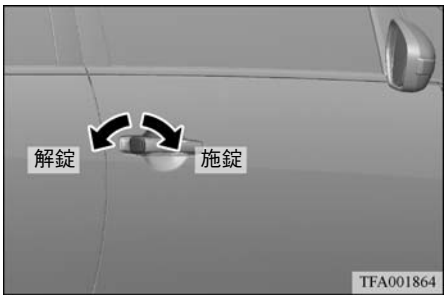
アドバイス

- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
  キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして，キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
- エマージェンシーキーを使用した後は，必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。
- エマージェンシーキーでのみグローブボックスを施錠・解錠することができます。ホテルなどでキーを預けるときや他の人にお車を貸すときは，必要に応じてエマージェンシーキーを取り外し，キーレスオペレーションキーのみを渡してください。

ドアの施錠・解錠

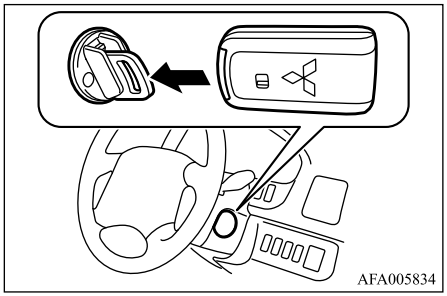
エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

「各部の開閉：ドア」も合わせてお読みください。
→P. 4-24



エンジンの始動

車両盗難防止のため，エマージェンシーキーにあらかじめ登録されたキーレスオペレーションキーを取り付けたときだけエンジンをかけることができます。(エンジンイモビライザー機能)



「運転装置：エンジンのかけ方」も合わせてお読みください。
→P. 7-8

● エンジンスイッチの位置と働き

LOCK	ハンドルがロックされる位置 エマージェンシーキーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

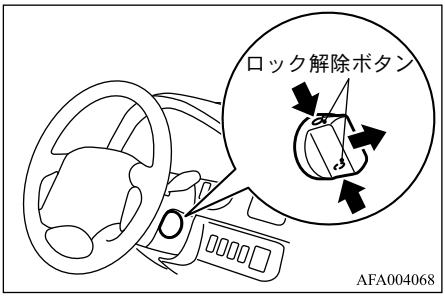
アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCKにしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- つぎのようなときに，エンジンスイッチの照明灯が点灯し，エンジンスイッチの操作を容易にします。
  - 運転席ドアを開くと点灯し，閉じると約30秒後に消灯します。
  - エマージェンシーキーを抜くと点灯し，約30秒後に消灯します。

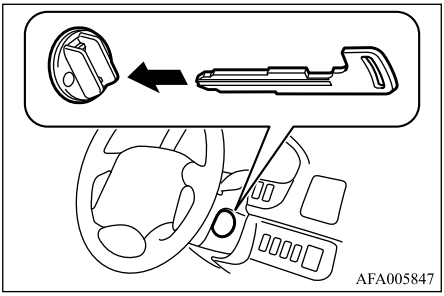
  ただし，照明灯が点灯中でもエンジンスイッチをONにするとすぐに消灯します。また，バッテリー上がりを防止するため，長く放置すると自動消灯します。
  →「インテリアランプオートカット機能(自動消灯)」P. 8-10

LOCKからACCに回すときは

1. キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り出します。
   →「エマージェンシーキー」P. 4-18
2. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。



3. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込み，押しながらゆっくり回します。



アドバイス

- エンジンスイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回します。

ACCからLOCKに回すときは

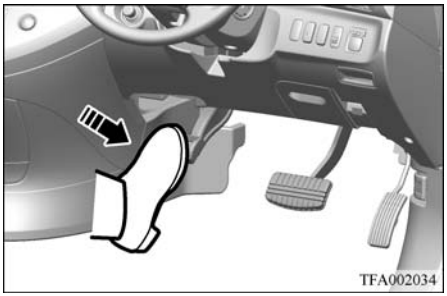
1. セレクターレバーをⓅに入れ，LOCKまで押しながら回して抜きます。
2. エンジンスイッチのカバーを取り付けます。
3. エマージェンシーキーをキーレスオペレーションキーに戻します。

アドバイス

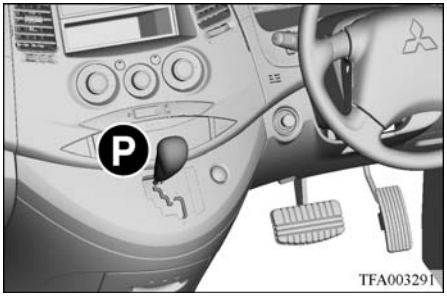
- エマージェンシーキーを使用しないときは必ずエンジンスイッチのカバーを取り付けておいてください。エンジンスイッチのキー穴にほこりなどが入り故障の原因になるおそれがあります。

エンジンのかけ方

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-4
2. 駐車ブレーキをかけていることを確認します。



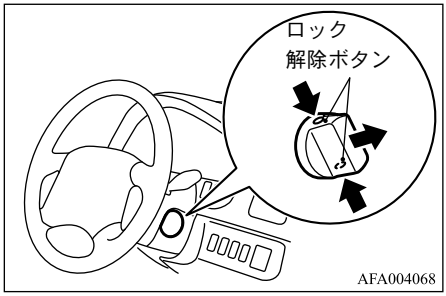
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



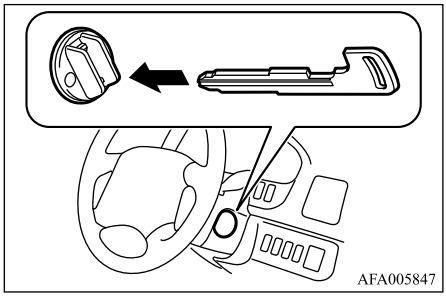
アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

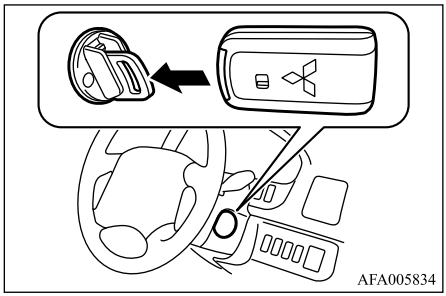
4. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスィッチのカバーを取り外します。



5. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込みます。



6. エマージェンシーキーにキーレスオペレションキーをしっかりと差し込みます。

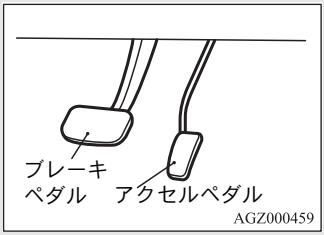


7. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを押しながら START に回してエンジンをかけます。

8. エンジンがかかったら，キーレスオペレーションキーをエマジェンシーキーから取り外します。

⚠警告

- **エンジンがかかった後は，必ずエマージェンシーキーからキーレスオペレーションキーを取り外してください。取り付けたままにしておくと，キーレスオペレーションキーが飛ばされて重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **アクセルペダルとブレーキペダルの踏みまちがいを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。アクセルペダルをブレーキペダルとまちがえて踏むと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。**



アドバイス

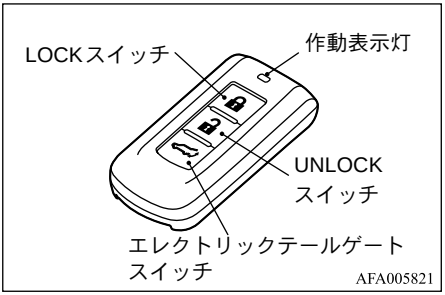
- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

⚠注意

- アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

◆ キーレスエントリー

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラー，パワーウインドウ，リヤサンルーフを操作することができます。
また，テールゲートを開閉することもできます。



ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-39
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプの点滅・点灯はインテリアランプスイッチが中間(DOOR)位置のときに限られます。

施錠時：ルームランプ＆マップランプ，リヤパーソナルランプ，非常点滅灯が1回点滅し，ブザーが1回鳴る

解錠時：ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが約15秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅し，ブザーが2回鳴る

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション(MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

テールゲートの開閉

エレクトリックテールゲートスイッチを押してテールゲートを開閉することができます。
→「テールゲート：自動操作」P. 4-32

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。
UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

パワーウインドウの閉じ方

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときは LOCK または UNLOCKスイッチを押します。

リヤサンルーフの閉じ方

サンルーフ付き車

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとリヤサンルーフが閉まります。途中で止めることはできません。

アドバイス

● キーレスオペレーションキーのスイッチによるつぎの操作を変更することができます。
- パワーウインドウとリヤサンルーフの「閉じる」操作をできなくする。
- パワーウインドウの「開ける」機能を追加する。
- ドアミラーの格納・復帰をドアの施錠・解錠と連動させる。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

● キーレスオペレーションキーのスイッチによる操作は車から約 1 m 以内で作動します。
近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。

● エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるときは，キーレスオペレーションキーのスイッチは作動しません。

● ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのときはLOCKおよびUNLOCKスイッチは作動しません。

● キーレスオペレーションキーを紛失したときや，新しいキーレスオペレーションキーを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。

● つぎのときは電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
- 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
- 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

ドア

J00400400033

⚠警告

● 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
法的にも義務づけられています。
お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

● ドアを閉めるときは，確実に閉め，メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● 運転席のドアが開いているときは，運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠・解錠するときは

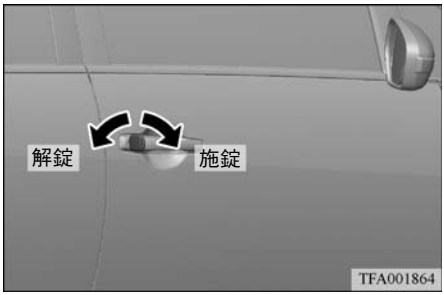
J00404400262

◆ キーを使って施錠・解錠するときは（フロントドア）

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

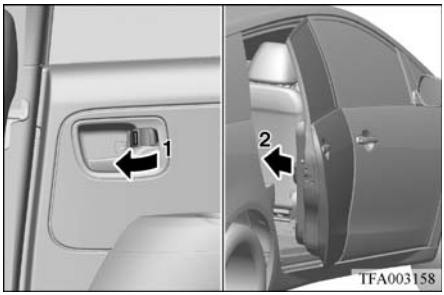
アドバイス

● キーレスオペレーションシステム付き車は，エマージェンシーキーを使って施錠・解錠をすることができます。
→「エマージェンシーキー」P. 4-18



◆ キーを使わずに施錠するときは（助手席，後席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒します。
2. ドアを閉じます。



◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500250

キーを使ってエンジンをかけているとき

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザー（ポーン，ポーン）が断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

◆ エンジンスイッチ戻し忘れ防止機構

J00408700058

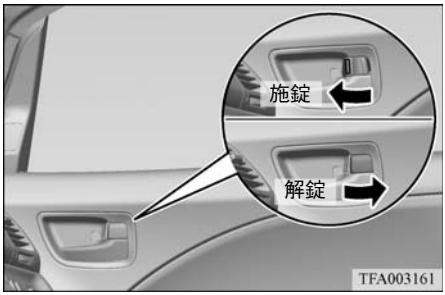
キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

エンジンスイッチがLOCK（PUSH OFF）以外の位置にあるとき，運転席ドアを開くとエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザー（ポーン，ポーン）が断続的に 鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600411

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



◆ オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

センタードアロック

J00400500627

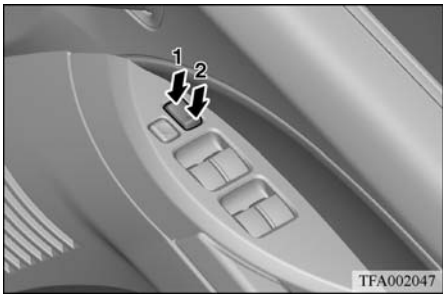
つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，センタードアロックスイッチを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約１分後）操作してください。

センタードアロックスイッチを使って施錠・解錠するときは

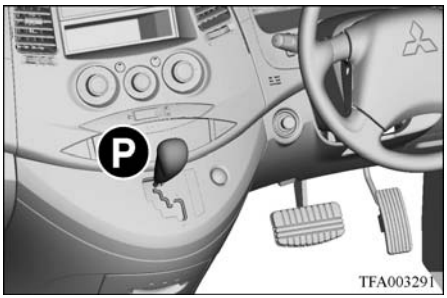
センタードアロックスイッチの（1）側を押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，（2）側を押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



セレクターレバーを使って解錠するときは

エンジンスイッチが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れるとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また, 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)またはマルチディスプレイステーション(MDS)付き車は, 画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。



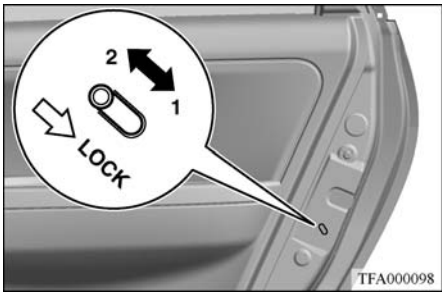
アドバイス

- パワーウインドウのロックスイッチをON にすると，セレクターレバーをⓅに入れても解錠できないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600035

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
お子さまを乗せるときにご使用ください。



1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合など車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

テールゲート

J00401100460

⚠警告

- ラゲッジルームは人が乗る構造になっておりません。お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

⚠注意

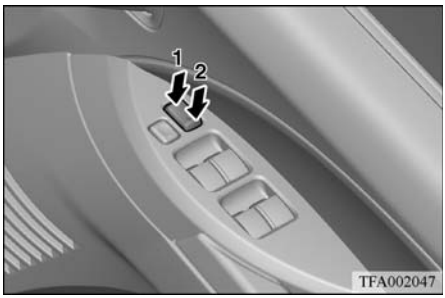
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。

除く，エレクトリックテールゲートの操作

J00408100036

◆ 施錠・解錠するときは

センタードアロックスイッチの（1）側を押すとテールゲートおよびすべてのドアが施錠し，（2）側を押すとテールゲートおよびすべてのドアが解錠します。

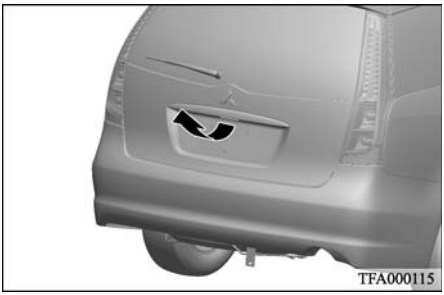


アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約１分後）操作してください。

◆ 車外から開けるときは

解錠後，ハンドルを引きながら持ち上げます。



⚠警告

- テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

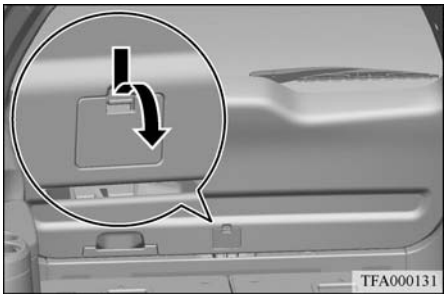
アドバイス

- ハンドルを引いた後すぐに開けないと，テールゲートは持ち上がりません。
  その場合はもう一度ハンドルを引きながらテールゲートを持ち上げます。
- バッテリーが上がったり，または外しているときは，テールゲートを開けることはできません。

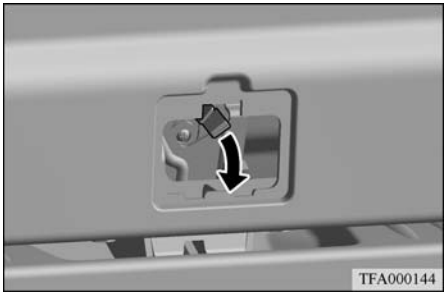
◆ 車内から開けるときは

車内からもテールゲートを開けることができます。
バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

1. 車内からインサイドリリースレバーのカバーを外します。



2. インサイドリリースレバーを矢印の方向に下げます。



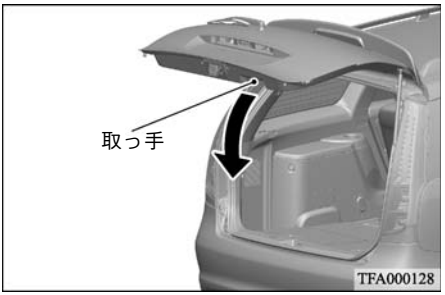
3. テールゲートを押しながら開けます。

⚠注意

- 通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，テールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。



⚠注意

- テールゲートの取っ手に手をかけたまま直接テールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- テールゲートを閉じた後は，必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。

損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。
- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

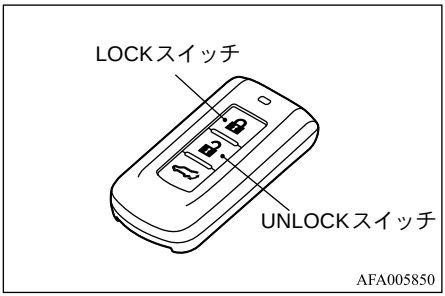
エレクトリックテールゲートの操作

J00408200053

◆ エレクトリックテールゲートの施錠・解錠

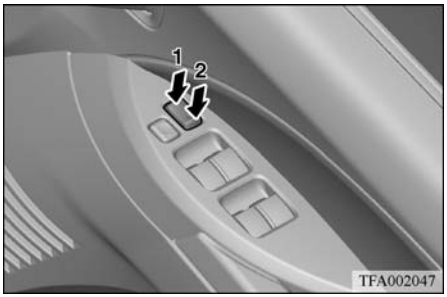
キーレスオペレーションキーを使って施錠・解錠するときは

LOCK スイッチを押すとエレクトリックテールゲートおよびすべてのドアが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとエレクトリックテールゲートおよびすべてのドアが解錠します。



センタードアロックスイッチを使って施錠・解錠するときは

センタードアロックスイッチの（1）側を押すとエレクトリックテールゲートおよびすべてのドアが施錠し，（2）側を押すとエレクトリックテールゲートおよびすべてのドアが解錠します。



アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

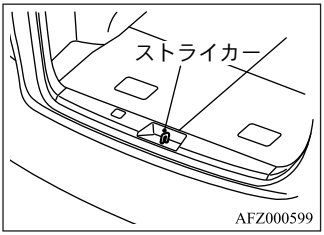
◆ エレクトリックテールゲートの開閉

⚠警告

- **安全のため，エレクトリックテールゲートの開閉操作はお子さまでなく大人が行ってください。**
- **エレクトリックテールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，手や指などをはさまないように注意してください。**
  また，エレクトリックテールゲートが完全に開いたことを確認してから荷物を出し入れしてください。

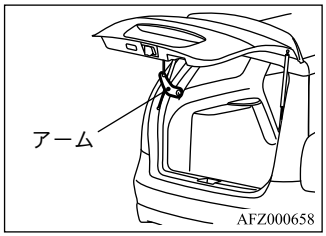
⚠注意

- エレクトリックテールゲートを閉じた後は，必ずエレクトリックテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エレクトリックテールゲートを閉めるときは，ストライカー付近に異物がないことを確認してください。
  異物が入るとエレクトリックテールゲートが正常に閉まらなくなるおそれがあります。



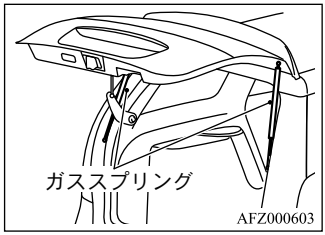
⚠注意

- エレクトリックテールゲートには，三菱自動車純正品以外のアクセサリーなどを取り付けないでください。種類によっては重みがかかり，落下防止機構が作動することがあります。
  →「落下防止機構」P. 4-50
  また，三菱自動車純正品でも種類によっては取り付けられない場合があります。
  詳しくは，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- エレクトリックテールゲートを開閉するときは，エレクトリックテールゲートのアーム付近に手をかけないようにしてください。手や指などをはさみ，けがをするおそれがあります。
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，エレクトリックテールゲートのアーム付近に頭をぶつけないようにしてください。けがをするおそれがあります。



アドバイス

- エレクトリックテールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



損傷や作動不良を防ぐため，つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手をかけてエレクトリックテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

◆ 自動操作

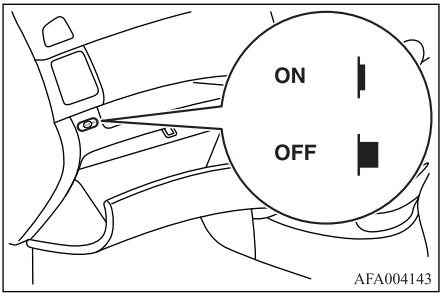
J00408300067

グローブボックス内にあるエレクトリックテールゲートパワー(PWR)スイッチがONのときに，キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチ，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチまたはエレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを使ってエレクトリックテールゲートを開閉することができます。

→「キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは」P. 4-32

→「運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは」P. 4-33

→「クローズスイッチを使って閉じるときは」P. 4-33



⚠警告

- エレクトリックテールゲートを開閉しないときは，エレクトリックテールゲートパワー(PWR)スイッチをOFFにしておいてください。
  ONのままだと，誤ってエレクトリックテールゲートスイッチやクローズスイッチを押したり，お子さまがいたずらをしたりして，手や首などをはさむおそれがあります。
- 開閉作動中にエレクトリックテールゲートパワー(PWR)スイッチをOFFにしたときは，作動が停止して手動操作に切り換わります。
  このとき，エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがあります。

⚠注意

- 開閉作動中にエレクトリックテールゲートに無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 開閉作動中にエンジンを始動しないでください。急開閉防止機構が働き，エレクトリックテールゲートが小刻みに止まりながら動くことがあります。

アドバイス

- エレクトリックテールゲートパワー(PWR)スイッチがOFFのときにキーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチ，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチまたはエレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを使って操作をすると，警報ブザー（ピッピッピッピッ）が4回鳴り，エレクトリックテールゲートが開閉できないことを知らせます。
- 運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを押してからエレクトリックテールゲートが作動を開始するまでの間に，エンジンスイッチを操作すると，エレクトリックテールゲートが作動しないことがあります。
- つぎのようなときは，エレクトリックテールゲートが正常に作動しないことがあります。
  - 坂道に駐車しているとき
  - 風の強いとき
  - エレクトリックテールゲートに積雪があるとき
- 開閉作動を交互に連続操作すると保護回路が働いて手動操作に切り換わります。
- 開閉作動中や全閉直後にエレクトリックテールゲートのハンドルを操作するとエレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。
- エレクトリックテールゲートを自動で全開にしたときや，開閉作動中にセレクターレバーをⓅ以外に入れると，警報ブザー（ピー）が約10秒間鳴り続け，エレクトリックテールゲートが開いていることを知らせます。
- エレクトリックテールゲートが開いている状態でバッテリーやヒューズを交換した場合は，自動では閉まらなくなります。その場合は，手動でエレクトリックテールゲートを閉めてください。

作動条件

エレクトリックテールゲートはつぎのときに自動で開けることができます。

[キーレスオペレーションキーを使って]

- エンジンスイッチがLOCKのとき
- エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差していないとき
- エレクトリックテールゲートが全閉のとき
- エレクトリックテールゲートが解錠されているとき

[運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って]

- エンジンスイッチがONでセレクターレバーがⓅのとき
- エンジンスイッチがLOCKまたはACCのとき
- エレクトリックテールゲートが全閉のとき
- エレクトリックテールゲートが解錠されているとき

エレクトリックテールゲートはつぎのときに自動で閉めることができます。

[キーレスオペレーションキーを使って]

- エンジンスイッチがLOCKのとき
- エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差していないとき
- エレクトリックテールゲートが全開のとき

[運転席側エレクトリックテールゲートスイッチまたはクローズスイッチを使って]

- エンジンスイッチがONでセレクターレバーがⓅのとき
- エンジンスイッチがLOCKまたはACCのとき
- エレクトリックテールゲートが全開のとき

キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは

ドアおよびエレクトリックテールゲートを解錠した後，キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを開閉することができます。

エレクトリックテールゲートスイッチを続けて2回押すと警報ブザーが鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートが作動します。
エレクトリックテールゲートの作動はつぎの通りです。

- •閉まっているとき：警報ブザー（ピーピッピッピッ）が4回鳴り，全開します。
- •開いているとき：警報ブザー（ピーピッピッ）が3回鳴り，全閉します。

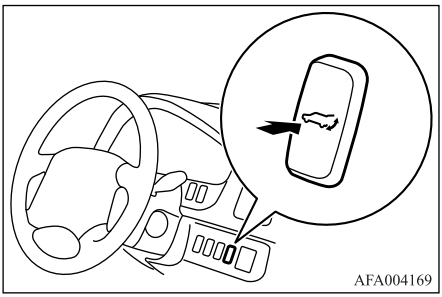
開閉作動中，エレクトリックテールゲートスイッチを 1 回押すと警報ブザー（ピッ）が1回鳴り，エレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。

アドバイス

- ●3 回以上続けてエレクトリックテールゲートスイッチを押すと，正常に開閉作動しないことがあります。
  このようなときは，しばらくしてから再度エレクトリックテールゲートスイッチを2回押してください。

運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは

運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを開閉することができます。



運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを約 1 秒以上押すと警報ブザーが鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートが作動します。
エレクトリックテールゲートの作動はつぎの通りです。

- •閉まっているとき：警報ブザー（ピーピッピッピッ）が4回鳴り，全開します。
- •開いているとき：警報ブザー（ピーピッピッ）が3回鳴り，全閉します。

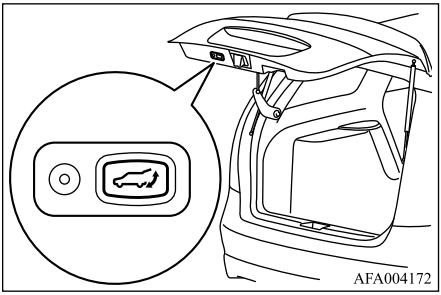
開閉作動中，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを 1 回押すと警報ブザー（ピッ）が1回鳴り，エレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。

⚠警告

- エレクトリックテールゲートを開閉するときは，周囲の安全や車両の後方および上方に十分なスペースがあることを確認し，頭をぶつけたり，手や指などをはさまないように注意してください。

クローズスイッチを使って閉じるときは

エレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを閉じることができます。



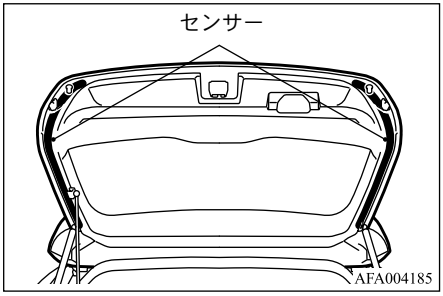
エレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを押すと警報ブザー（ピーピッピッ）が3回鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートが閉まります。
閉じている途中でクローズスイッチを 1 回押すと警報ブザー（ピッ）が 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが開きます。

アドバイス

- エレクトリックテールゲートが開く方向に作動している途中で再度クローズスイッチを 1 回押すと警報ブザー（ピッ）が 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが閉じます。

セーフティー機構

万一，エレクトリックテールゲートの自動開閉中に人や荷物などをはさんだときや，エレクトリックテールゲートの両側にあるセンサーに当たったときは，安全のため警報ブザー（ピッ）が1回鳴り自動的にエレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。



⚠注意

- はさまれた物の形状や，はさまれ方によってはセーフティー機構が働かないことがあります。手，身体または物などをはさまないように注意してください。
- エレクトリックテールゲートを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。
- エレクトリックテールゲートを手動で閉めるときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。
- 連続してセーフティー機構が働いた場合は，手動操作に切り換わることがあります。このとき，エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがありますので注意してください。
  手動操作に切り換わった場合は，エレクトリックテールゲートを一度全開または全閉すれば元通りに自動操作ができるようになります。

アドバイス

- 環境や使用条件により，人や障害物などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 荷物を出し入れするときやリヤガラスを清掃するときなどは，センサーを傷つけないようにしてください。自動で閉められなくなります。

落下防止機構

エレクトリックテールゲートを自動で開けたとき，積雪などの重みによりエレクトリックテールゲートの落下を感知すると，自動的にエレクトリックテールゲートが閉まります。
落下防止機構が作動しているときは警報ブザー（ピッピッピッ）が鳴り続けます。

アドバイス

- エレクトリックテールゲートに積雪等がある場合は，エレクトリックテールゲートを作動させる前に積雪などを取り除いてください。
- エレクトリックテールゲートには，三菱自動車純正品以外のアクセサリーなどを取り付けないでください。種類によっては重みがかかり，落下防止機構が作動することがあります。
  また，三菱自動車純正品でも種類によっては取り付けられない場合があります。詳しくは，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- エレクトリックテールゲートを自動で全開した後すぐに手動で閉めようとすると，落下防止機構が作動することがあります。

急開閉防止機構

エレクトリックテールゲートの自動開閉中にエンジンを始動すると，バッテリーの電圧不足により手動操作に切り換わり，エレクトリックテールゲートが小刻みに止まりながら動くことがあります。これは，エレクトリックテールゲートが急に開閉することを防止するためであり，一度全閉または全開して約10秒後に自動操作ができるようになります。

⚠注意

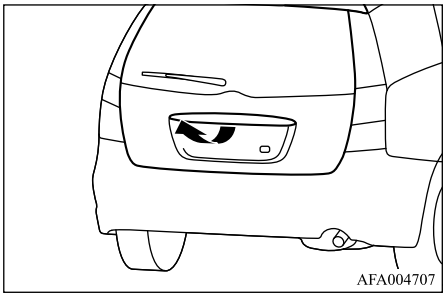
- 急開閉防止機構が作動しているときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。

◆ 手動操作

J00408400026

車外から開けるときは

解錠後，ハンドルを引きながら持ち上げます。



⚠注意

- エレクトリックテールゲートを開けるときは，まわりに人がいないことを確認してください。

アドバイス

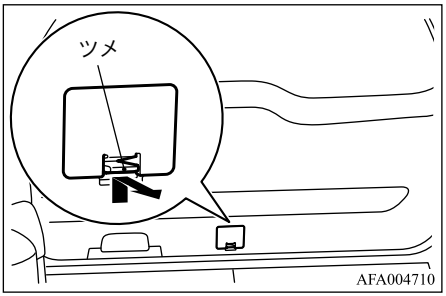
- ハンドルを引いた後すぐに開けないと，エレクトリックテールゲートは持ち上がりません。
  その場合はもう一度ハンドルを引きながらエレクトリックテールゲートを持ち上げます。
- バッテリーが上がったり，または外しているときは，エレクトリックテールゲートを開けることはできません。

車内から開けるときは

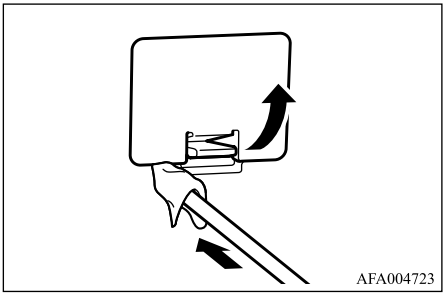
車内からもエレクトリックテールゲートを開けることができます。

バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

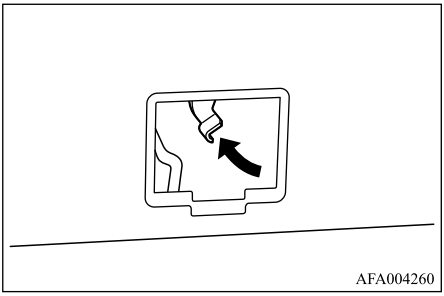
1. リッドのツメを押し上げてリッドを手前に引き，リッド下部にすき間をあけます。



2. 先端に布をかぶせたジャッキバーをリッド下側のすき間に差し込み，リッドをこじてインサイドリリースレバーのカバーを外します。



3. インサイドリリースレバーを矢印の方向に押します。



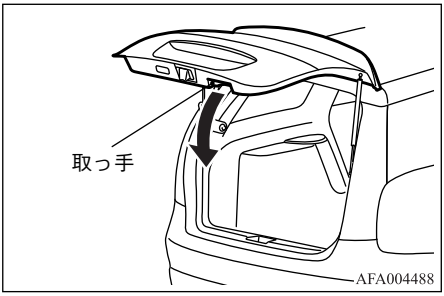
4. エレクトリックテールゲートを押しながら開けます。

⚠注意

- 通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，エレクトリックテールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

エレクトリックテールゲートの取っ手に手をかけてエレクトリックテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してエレクトリックテールゲートを軽く押しつけます。



⚠注意

- エレクトリックテールゲートの取っ手に手をかけたまま直接エレクトリックテールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- エレクトリックテールゲートを手動で閉めるときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。

アクティブパワーロック

J00407300060

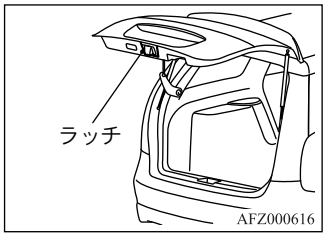
アクティブパワーロックはエレクトリックテールゲートを閉めるのを補助する装置です。
エレクトリックテールゲートを半ドアの位置まで閉めると自動的にエレクトリックテールゲートが閉まります。

⚠警告

● 半ドアの位置から自動的にエレクトリックテールゲートが閉まるため，手や指などをはさまないように注意してください。アクティブパワーロック作動中に手や指などをはさみそうになったときは，エレクトリックテールゲートのハンドルを引いてください。エレクトリックテールゲートが半ドアの位置まで戻ります。

⚠注意

● エレクトリックテールゲート内側のラッチに触れないでください。アクティブパワーロックが作動して指などをはさむおそれがあります。



アドバイス

● エレクトリックテールゲートパワー(PWR) スイッチが OFF のときでもアクティブパワーロックは作動します。
● ハンドルを連続で操作すると保護回路が働いてアクティブパワーロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

セキュリティーアラーム

J00401200520

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリー，またはキーレスオペレーション機能で解錠せずにドアやテールゲートを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。キーレスエントリー，またはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）ドアおよびテールゲートを施錠したときは，このシステムは働きません。

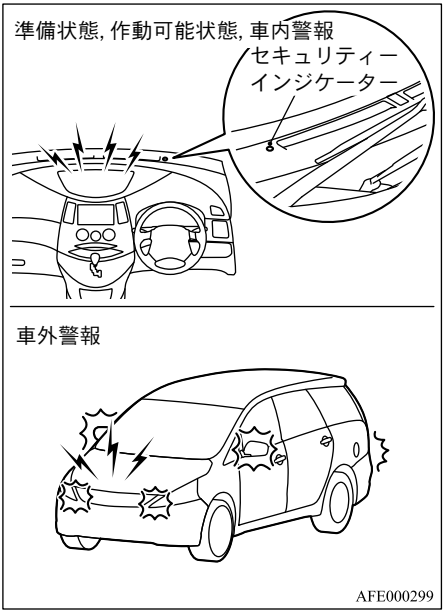
工場出荷時は, セキュリティーアラームが「作動しない」に設定されています。設定を変更するときは「システム作動の設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P. 4-41
また, 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)またはマルチディスプレイステーション(MDS)付き車は, 画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

● 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。

システムの基本状態

セキュリティーアラームには準備状態，作動可能状態，警報作動，作動解除の 4 つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。



◆ 準備状態：約 20 秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅する）

キーレスエントリーの LOCK スイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わずにドアを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ 作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターがゆっくりと点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
このとき，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）解錠し，いずれかのドア，テールゲートまたはエンジンフードを開けると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

◆ 警報作動

車内警報の後，車外警報が作動します。

車内警報（約10秒間）：
ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。
車外警報（約30秒間）：
非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P. 4-45

◆ 作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。
→「システム作動の解除のしかた」P. 4-44
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-46

アドバイス

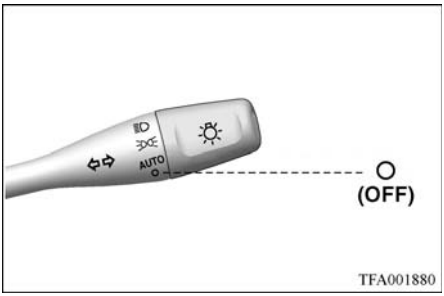
- 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

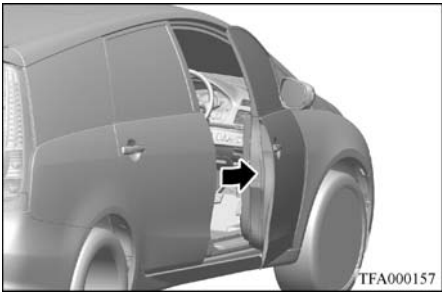
システム作動の設定変更のしかた

J00402700636

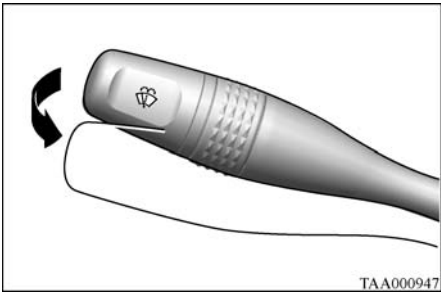
警報作動の設定状態を選択することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

1. エンジンスイッチをLOCKにします。さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチを“o”(OFF)位置にして，運転席ドアを開いたままにします。





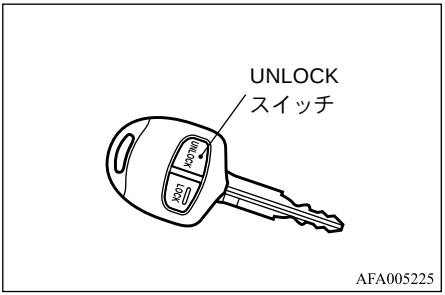
3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（エンジンスイッチが LOCK にあるため，ウォッシャー液は出ません。）



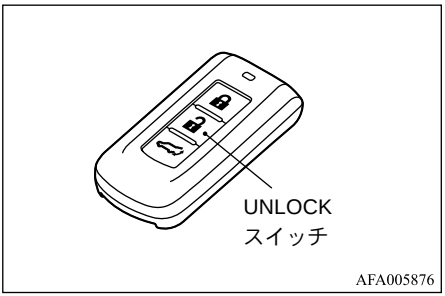
4. 約10秒経過するとブザーが“ピー”と鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

除く，キーレスオペレーションシステム 付き車



キーレスオペレーションシステム付き車



ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
3回	ホーンと非常点滅灯で警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - エンジンスイッチにキーを差す
   - ライトスイッチを“ o ”(OFF) 以外にする
   - 設定を変更しないまま約30秒経過する
   - エンジンスイッチを LOCK（PUSH ON）の位置に押す
     （キーレスオペレーションシステム付き車）

アドバイス

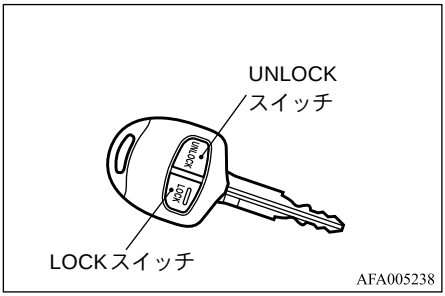
- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

システム作動のセットのしかた

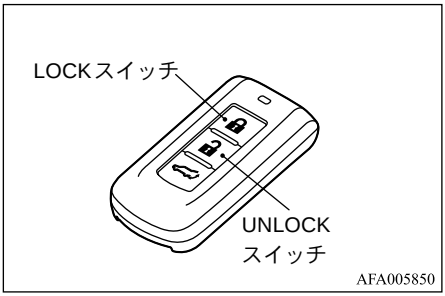
J00402800451

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

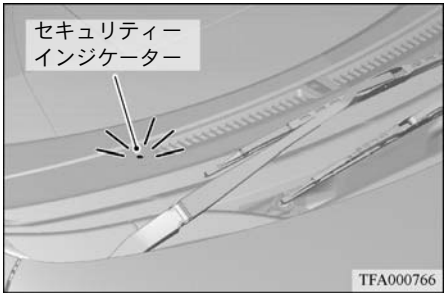
除く，キーレスオペレーションシステム 付き車



キーレスオペレーションシステム付き車



1. エンジンスイッチをLOCKにします。さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア，テールゲートおよびエンジンフードを閉じます。
3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
   キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能による施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に“ピー，ピー”と鳴り，インストルメントパネル上のセキュリティーインジケーターが点滅します。



アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。
- システム作動可能状態中は，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやセンタードアロックスイッチを使って）解錠してドアまたはテールゲートを開けてもルームランプ & マップランプおよびリヤパーソナルランプは点灯しません。

システム作動の解除のしかた

J00402900306

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア，テールゲートを開けるか，エンジンスイッチにキーを差し込む
- キーレスオペレーションキーを携帯して，ドアまたはテールゲートのUNLOCKスイッチを押す（キーレスオペレーションシステム付き車）

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチは4個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- キーレスエントリーの作動距離は約 1 mです。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
- UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

警報作動

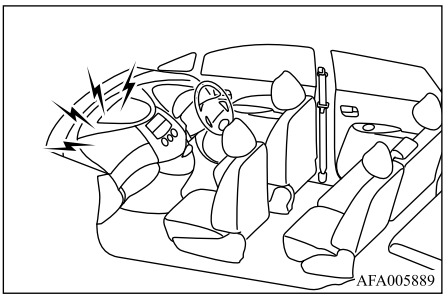
J00403000463

システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーの操作またはキーレスオペレーション機能で解錠せずに，いずれかのドア，テールゲートまたはエンジンフードを開けるとつぎのように警報作動します。

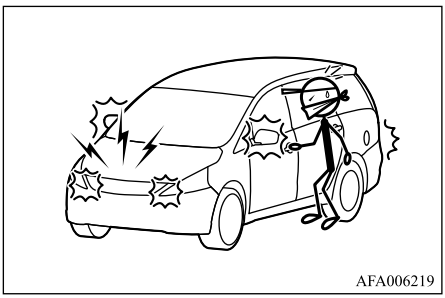
1. 約10秒間ブザーが断続的に鳴ります。（車内警報）

アドバイス

- 作動可能状態中にエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。



2. 車内警報の後，設定した車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅しホーンが断続的に鳴ります。



3. 警報が停止した後もドア，テールゲートまたはエンジンフードを開くと車外警報が再び作動します。

アドバイス

- 警報作動中はルームランプ & マップランプおよびリヤパーソナルランプは点灯しません。

警報作動の解除のしかた

J00403100132

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

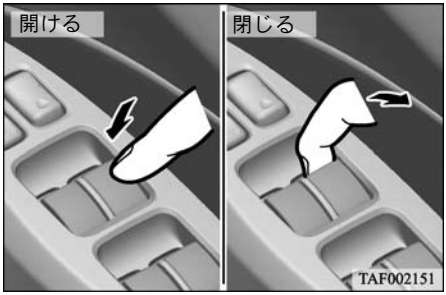
- キーレスエントリーの LOCK または UNLOCKスイッチを押す
  〔LOCKスイッチを押したとき，すべてのドアおよびテールゲートが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- キーレスオペレーションキーを携帯して，ドアやテールゲートの LOCK または UNLOCK スイッチを押す（キーレ スオペレーションシステム付き車）

アドバイス

- 車内警報中にドアまたはテールゲートを閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが 4 回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

J00401500275



⚠警告

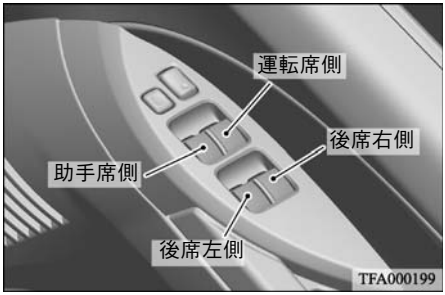
- **パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。**
- **安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。**
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-5
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-22
- キーレスオペレーションシステム付き車は，ドアまたはテールゲートの LOCK スイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 4-12

運転席スイッチ

J00405300011

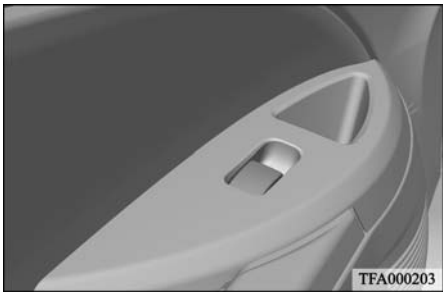


運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
スイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

助手席，後席スイッチ

J00405900017

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。



アドバイス

● 後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

J00405200153

エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ガラスを開閉できます。ただし，いったん運転席ドアを閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

アドバイス

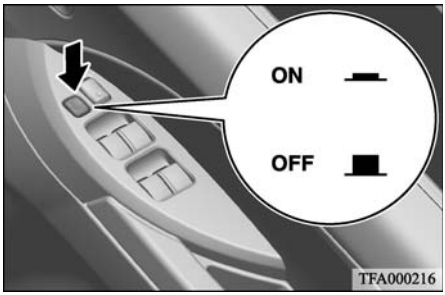
● つぎの機能を変更することができます。
- タイマー時間を調整する
- タイマー機能をなくす

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ロックスイッチ

J00404300229

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。



アドバイス

● ロックスイッチが ON でも運転席スイッチでは全席のドアガラスを開閉することができます。

アドバイス

● ロックスイッチが ON のとき，運転席スイッチでも助手席，後席のドアガラスを開閉できないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

セーフティー機構

J00403200032

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

● ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

アドバイス

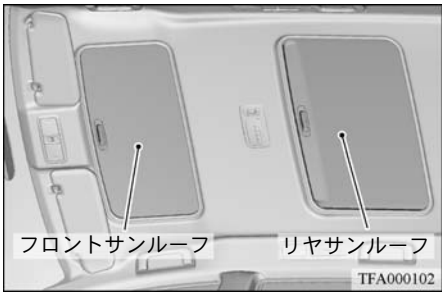
● 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
● 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
つぎの方法でドアガラスを処置してください。
ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，いったんスイッチから手を離し，再度約 1 秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

サンルーフ

タイプ別装備

J00401800278

サンルーフはフロントとリヤにあります。

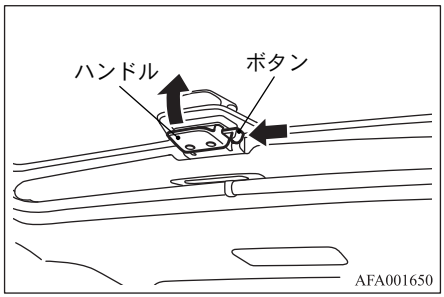


フロントサンルーフ

チルトアップができます。

◆ チルトアップする（サンルーフの後端を上げる）ときは

ボタンを押しながらハンドルを上に押し上げます。



◆ チルトダウンするときは

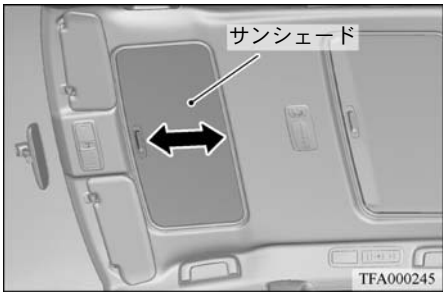
ハンドルを持ってカチッと音がするまで引き下げます。
ハンドルが確実にロックされていることを確認してください。

⚠注意

● 高速走行中，風圧によってサンルーフが急に閉まることがあります。
指などをはさまないように注意してください。

◆ サンシェードを開閉するときは

手動で開閉することができます。



⚠注意

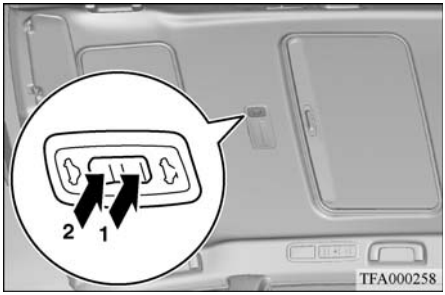
● 開閉するときは，指などをはさまないように注意してください。

アドバイス

● サンシェードは必ずサンルーフを閉じてから閉めてください。
● サンルーフが開いているときに無理にサンシェードを閉めないでください。

リヤサンルーフ

J00405400054



◆ 開けるときは

エンジンスイッチがONのとき，スイッチ（1）を押すと自動的に開きます。
途中で止めたいときは，スイッチ（2）を押します。

アドバイス

● サンルーフは全開の手前で一時停止します。再度スイッチを押すと完全に開きます。

◆ 閉めるときは

エンジンスイッチがONのとき，スイッチ（2）を押すと全閉します。
途中で止めたいときは，スイッチ（1）を押します。

アドバイス

● キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチでもサンルーフを閉じることができます。
→「キーレスエントリー」P. 4-5
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-22
● キーレスオペレーションシステム付き車は，ドアまたはテールゲートの LOCK スイッチでもサンルーフを閉じることができます。
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 4-12

◆ タイマー機構

エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はサンルーフを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間サンルーフを開閉できます。ただし，いったん運転席ドアを閉めるとサンルーフの開閉はできなくなります。

アドバイス

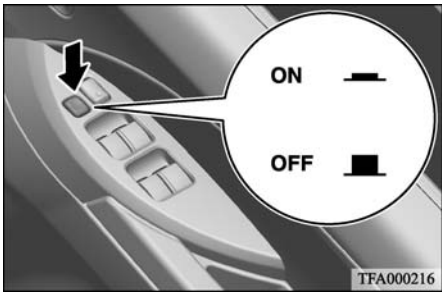
- つぎの機能を変更することができます。
  - タイマー時間を調整する
  - タイマー機能をなくす

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ ロックスイッチ

J00405500013

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。サンルーフスイッチを操作してもリヤサンルーフは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。
ロックスイッチが ON のときにサンルーフスイッチを操作するとブザーが鳴り，サンルーフが開閉できないことを知らせます。



アドバイス

- ロックスイッチをONにすると，運転席スイッチ以外ではドアガラスの開閉ができなくなります。

◆ セーフティー機構

J00405600043

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンルーフが数 cm 開きます。サンルーフが開いた後スイッチでサンルーフを閉めることができます。
5 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，サンルーフが正常に閉まらなくなります。つぎの方法でサンルーフを処置してください。

1. スイッチ（2）を繰り返し押してサンルーフを全閉状態にします。
2. 全閉状態でスイッチ（2）を約 3 秒以上押し続けます。

3. スイッチ（1）を押して全開にした後，スイッチ（2）を押してサンルーフを全閉にします。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 全開，全閉の操作の途中でサンルーフを止めないでください。
  途中で止めた場合，もう一度“1”からの手順で操作をしてください。

4. これにより，元通りにサンルーフの開閉操作ができるようになります。

⚠警告

- **サンルーフを閉じるときは，安全のため同乗者がサンルーフから手や顔を出していないことを確認してください。**
- **安全のためサンルーフの操作はお子さまではなく大人が行ってください。**
  車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首などをはさむおそれがあります。
- **走行中はサンルーフ開口部から手や顔，荷物などを絶対に出さないでください。**

⚠注意

- サンルーフを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

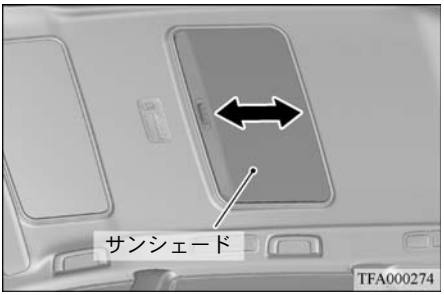
アドバイス

- サンルーフを自動で開けると，全開前にいったん作動を停止します。この位置で走行すると全開状態に比べて風切音が小さくなります。
- 降雪時，厳寒時は凍結することがありますので開閉操作は行わないでください。故障の原因になります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- サンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
- サンルーフスイッチを押してもサンルーフが動かないときは，すぐにスイッチから手を離しサンルーフに何かはさまれていないか確かめてください。何もはさまれていないのにサンルーフが動かないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- スキーキャリアまたはルーフキャリアを装着しているとき，チルトアップすると種類によってはキャリアと当たる場合がありますので気をつけて操作してください。
- 車から離れるときや洗車時にはサンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- サンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
- 雨が降った後や洗車後に開けるときは，車内に水が入るおそれがありますのでサンルーフの水を拭き取ってください。
- エンジンをかけずに何回もサンルーフを開閉するとバッテリーが上がることがあります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。

◆ サンシェードを開閉するときは

J00406200017

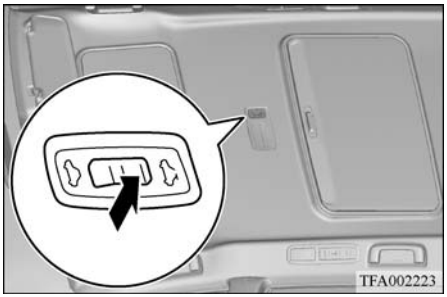
手動で開閉することができます。



⚠注意

- 開閉するときは，指などをはさまないように注意してください。

つぎの操作によりサンシェードがサンルーフに連動して開きます。



エンジンスイッチがONのとき，スイッチを押すとサンルーフに連動して開きます。

アドバイス

- サンルーフが開いた状態でサンシェードのみ閉じることはできません。
- サンルーフが開いているときに無理にサンシェードを閉めないでください。
  破損するおそれがあります。

エンジンフード（ボンネット）

J00402100571

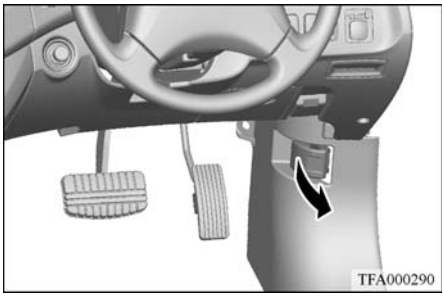
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

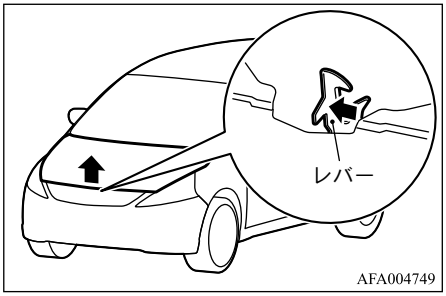
アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

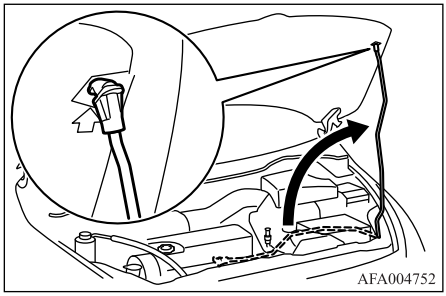
2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。



3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。



4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

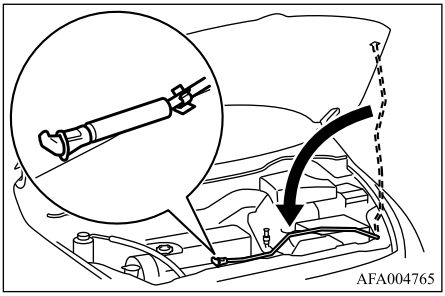


⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。



2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約30cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300397

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

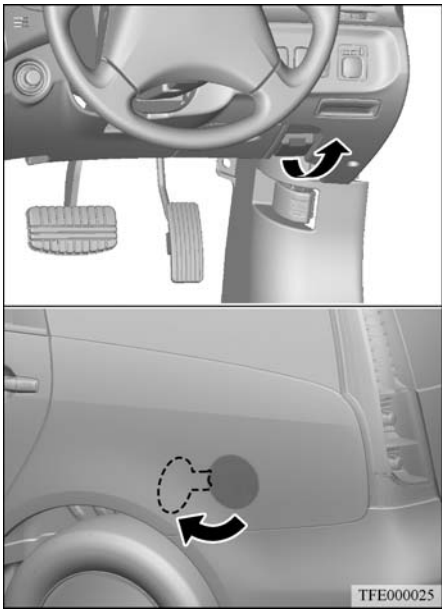
アドバイス

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
  →「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P. 14-2

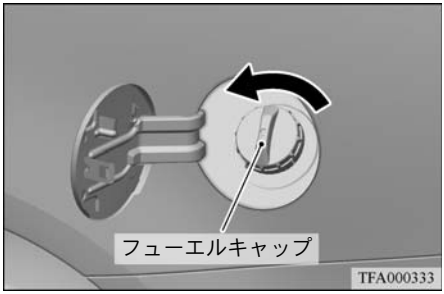
開けるときは

J00405000034

1. 計器盤右下のレバーを引いてリッド（補給口）を開けます。



2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。



⚠警告

- 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。

⚠警告

- フューエルキャップをゆるめた場合にシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

閉めるときは

J00405100240

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。

2. リッド（補給口）を手で軽く押して閉めます。

MEMO

安全装備

シート
- シート 5- 2
- シートアレンジ 5- 3
- シート調整 5- 4
- フロントシート 5- 4
- セカンドシート 5- 7
- サードシート 5- 11
- ヘッドレスト 5- 11
- 荷室の作り方 5- 12
- フラットシートの作り方 5- 15

シートベルト
- シートベルト 5- 18
- プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト . . . 5- 23

チャイルドシート
- チャイルドシート 5- 25

SRSエアバッグ
- SRSエアバッグ 5- 32

シート

J00509900641

5

フロントシート

- 前後調整P. 5-5
- 背もたれの角度調整P. 5-5
- 上下調整（運転席）P. 5-6
- アームレスト（ひじ掛け）P. 5-6

セカンドシート

- 前後調整P. 5-7
- 背もたれの角度調整P. 5-7
- アームレスト（ひじ掛け）P. 5-8
- サードシートへの乗り降りP. 5-8
- シートクッションのはね上げP. 5-9

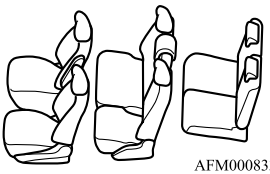
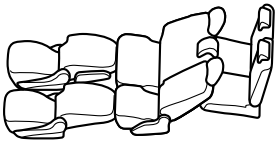
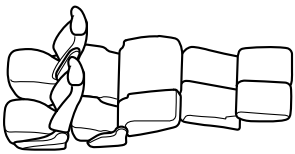
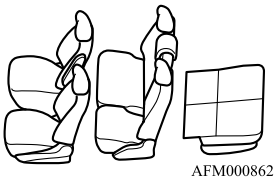
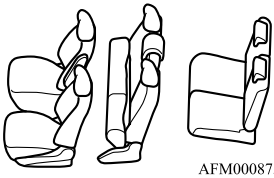
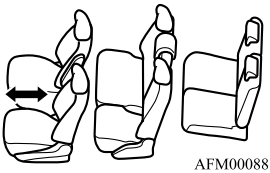
サードシート

- 背もたれの角度調整P. 5-11

シートアレンジ

J00500100392

お好みに合わせて，つぎのようなシートアレンジをすることができます。

<table>
<tr><td colspan="2">通常の使い方</td><td> 
AFM000833</td></tr>
<tr><td colspan="2">フラットシート
（フロント, セカンド）
→P. 5-15</td><td> 
AFM000846</td></tr>
<tr><td colspan="2">フラットシート
（セカンド, サード）
→P. 5-17</td><td> 
AFM000859</td></tr>
<tr><td rowspan="2">荷室の作り方</td><td>サードシートの格納
→P. 5-13</td><td> 
AFM000862</td></tr>
<tr><td>シートクッションの
はね上げ→P. 5-9</td><td> 
AFM000875</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウォークスルー</td><td> 
AFM000888</td></tr>
</table>

シート調整

J00500200335

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。
- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

フロントシート

J00500300163

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

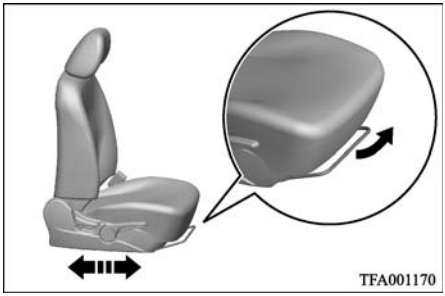
⚠注意

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

前後調整

J00500400034

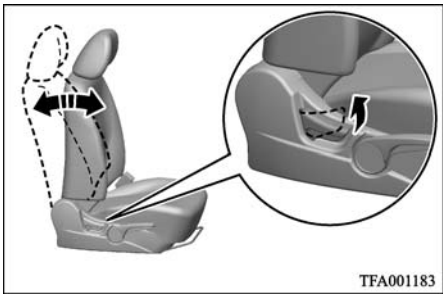
レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



背もたれの角度調整

J00500500035

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。



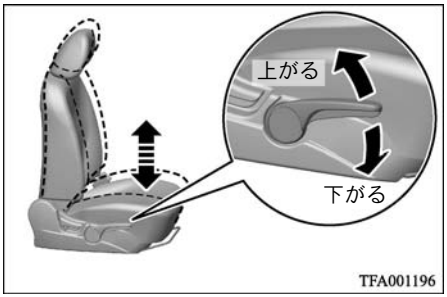
⚠注意

● レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

上下調整（運転席）

J00500600036

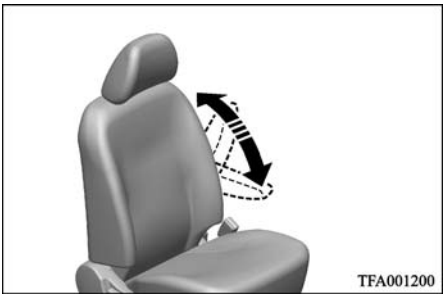
レバーを繰り返し操作して調整します。



アームレスト（ひじ掛け）

J00501000255

手前に倒し，持ち上げて角度を調整します。
元に戻すときは，後ろに起こします。



アドバイス

● アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

セカンドシート

J00502100019

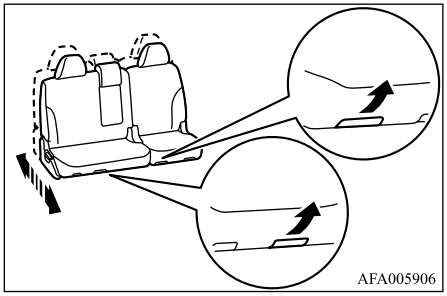
前後調整

J00502200052

レバーを手前に引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

アドバイス

● シートの調整は片側ずつできます。



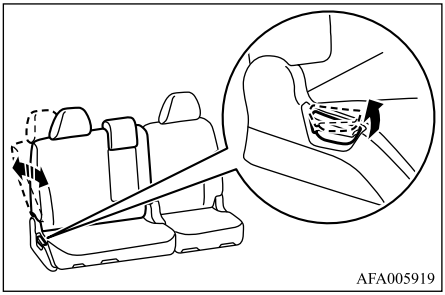
背もたれの角度調整

J00502300079

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

アドバイス

● 背もたれの角度は片側ずつ調整できます。



⚠警告

● セカンドシートの中央席に座る場合は，左右のシートの前後位置や背もたれを同じ位置にそろえて使用してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

⚠注意

● レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

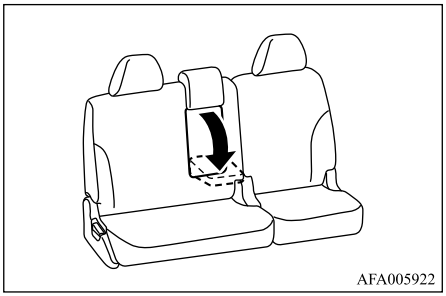
アームレスト（ひじ掛け）

J0050250009701

アドバイス

- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，確実に固定するまで後ろに押しつけます。



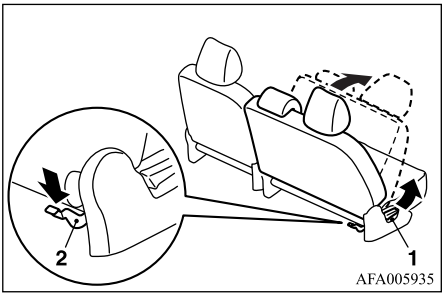
サードシートへの乗り降り

J00502600098

⚠警告

- **背もたれを前に倒した状態で運転しないでください。シートが固定されていないため，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。**

レバー（1）を引き上げるか，またはペダル（2）を踏むと背もたれが倒れます。
シート全体を前方へ押してください。
シートを元に戻すときはシート全体を後方へ移動させて背もたれを起こし，確実に固定されていることを確認してください。



⚠注意

- レバーまたはペダルを操作するときは，背もたれに手を添えて操作してください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。
- ペダル（2）の操作は足で行ってください。

シートクッションのはね上げ

J00508400098

シートクッションをはね上げ，シートを前方へ移動することで，荷室を作ることができます。

⚠警告

● シートクッションをはね上げた状態で人を乗せたり，お子さまを遊ばせないでください。
急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

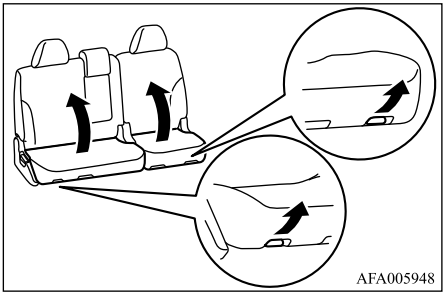
● 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ はね上げるときは

1. 背もたれを倒しているときは初段ロック位置にします。
→「背もたれの角度調整」P. 5-7
2. 倒したい側のレバーを引いたまま，シートクッションをはね上げます。

アドバイス

● シートクッションのはね上げは片側ずつできます。



◆ 戻すときは

J00509100018

レバーを引いたまま，シートクッションを元に戻します。
元に戻した後は，シートが確実に固定されたことを確認します。

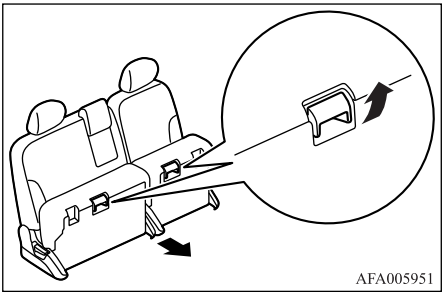
アドバイス

● シートが一番前の位置では，シートクッションは戻りません。

◆ シートクッションはね上げ後の前後調整

J00509200051

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



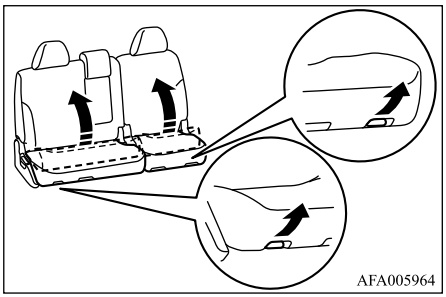
アドバイス

- シートクッションをはね上げると，はね上げないときよりも，長くスライドできます。

◆ シートクッションの角度調整

J00509300065

シートクッションをはね上げる途中でレバーから手を離すと，お好みの角度でクッション位置を固定することができます。



サードシート

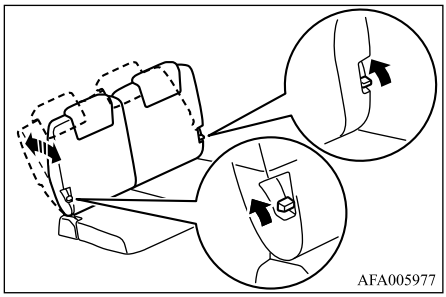
J00502800117

背もたれの角度調整

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

アドバイス

- 背もたれの角度は片側ずつ調整できます。



⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

ヘッドレスト

J00503400035

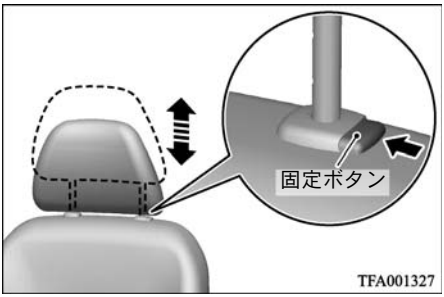
⚠警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れると安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

上下調整

ヘッドレストの中央部ができるだけ目の高さになるように調整します。
目の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



取り外すときは

J00508900019

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

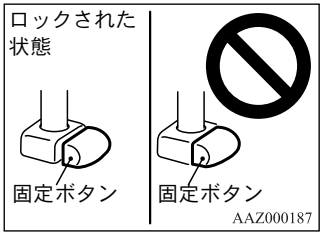
取り付けるときは

J00509000192

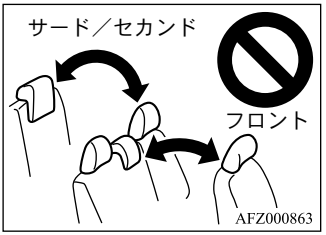
固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。



- シートによりヘッドレストの形状や大きさが異なります。間違えないように取り付けてください。



荷室の作り方

J00503500212

⚠警告

- 荷室を作るときは，走行中や傾斜地でのシート操作は絶対に行わないでください。シートが必要以上に動いたり，不意に動き重大な事故につながるおそれがあります。
- シートを格納したり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
  後方が確認できなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを前倒ししたり，格納するときは，必ず大人が行ってください。
  お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

サードシートの格納

J00504300086

サードシートを床下に格納して荷室を作ることができます。

⚠注意

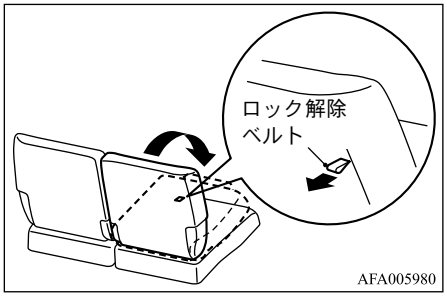
- 排気管はエンジンを止めてもしばらくの間は高温になっていますので，さわらないように注意してください。

アドバイス

- シートは片側ずつ格納できます。

◆ 格納するときは

1. ヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-12
2. 背もたれの裏側にあるロック解除ベルトを手前に引いたまま，背もたれがロックするまで前に倒します。



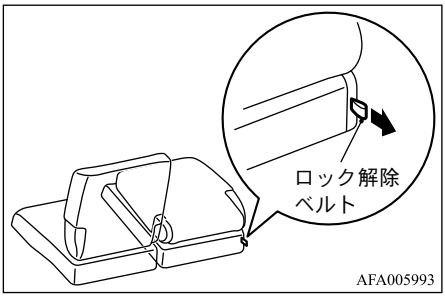
⚠警告

- 背もたれを前に倒した状態で，上に荷物や人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。背もたれが壊れたり，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

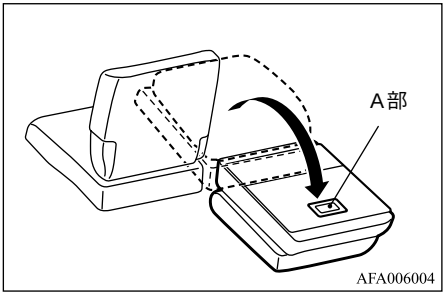
アドバイス

- 背もたれとシートクッションの間に何かをはさんだ状態では固定できません。
- 固定されていない状態で格納すると，シートを戻すときに背もたれがひっかかり，シートを戻せなくなる場合があります。

3. シートクッションの後方にあるロック解除ベルトをカチッと音がするまで引きます。



4. シート全体を後方へ倒し，シートクッション裏側のA部を持って床下に格納します。

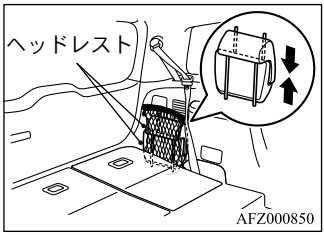


⚠注意

- シートを格納するときは，シートを手で支えながらゆっくりと行ってください。しっかり支えていないと格納するとき，シートの重みでシートが急に倒れ，手などをはさむおそれがあります。
- シートに人が乗ったままロック解除ベルトを操作しないでください。シートが後方へ倒れ思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

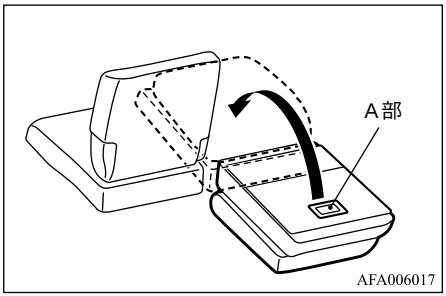
- 取り外したヘッドレストは荷室のクオータートリムネットの中に重ねて収納することができます。



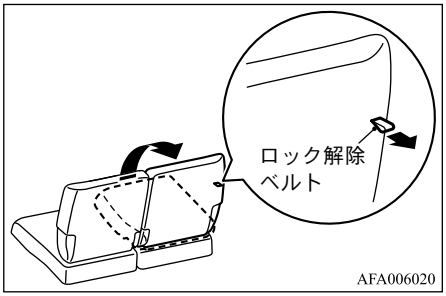
5

◆ 戻すときは

1. A部を持ってシート全体を引き上げ，ゆっくりと前方に倒しロックするまで押し付け，確実に固定させます。



2. 背もたれの裏側にあるロック解除ベルトを引きながら，背もたれを起こします。



3. 背もたれを戻した後はシートおよび背もたれを軽くゆすり，確実に固定されたことを確認します。
4. ヘッドレストを取り付けます。
→「ヘッドレスト：取り付けるときは」P. 5-12

フラットシートの作り方

J00504500033

シートを倒して大きな空間を作ることができます。

⚠警告

● **フラットにした状態で人や荷物を乗せて走行しないでください。**
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けたり，荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

● フラットにするときは，必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。
● フラットにする操作は必ず大人が行ってください。
お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
● シートを移動するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
● 背もたれを元に戻すときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて操作してください。背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。
● フラットにしたときは，シートの上を歩き回らないでください。シートから足を踏み外すと危険です。必ずシートの中央を踏んで，ゆっくり移動してください。

アドバイス

● フラットにしたときは，背もたれ上部に飛び乗ったり，強い衝撃を与えないでください。シートが損傷することがあります。

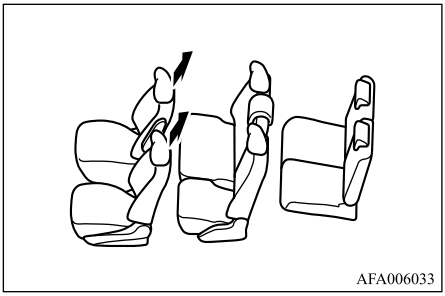
フロントシートとセカンドシートのフラットシート

J00508500060

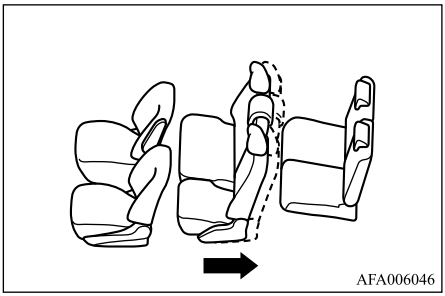
アドバイス

● アームレスト，センターテーブル，パーソナルテーブルは元の位置に戻してから操作します。
→「アームレスト」P. 5-6，5-8
→「センターテーブル」P. 8-13
→「パーソナルテーブル」P. 8-21

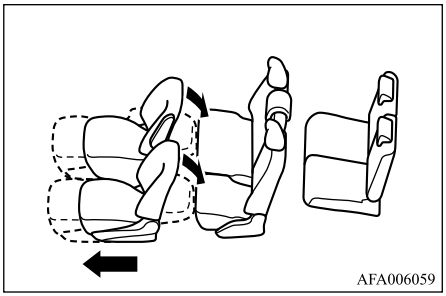
1. フロントシートのヘッドレストを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-12


AFA006033

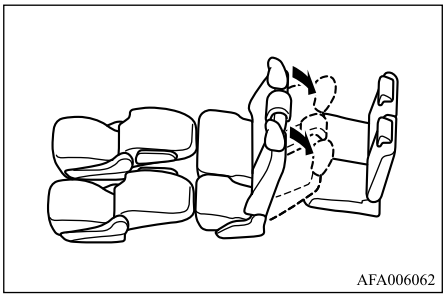
2. セカンドシートを後方へいっぱいまで移動させます。
→「前後調整」P. 5-7


AFA006046

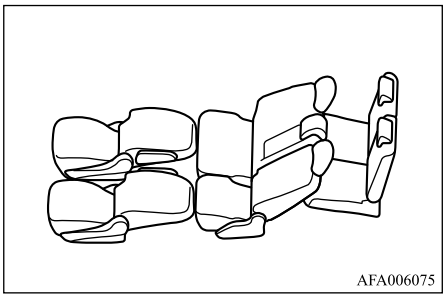
3. フロントシートを前方へいっぱいまで移動させ，背もたれを倒します。
   →「前後調整」P. 5-5
   →「背もたれの角度調整」P. 5-5



4. セカンドシートの背もたれを倒します。
   →「背もたれの角度調整」P. 5-7

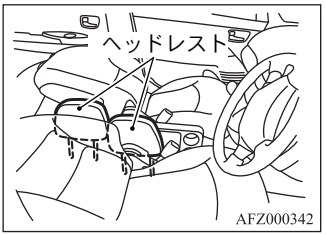


5. これでフラットシートの完成です。
   戻すときは逆の手順で行います。



アドバイス

● 取り外したヘッドレストはフロントシートの間に収納することができます。



5

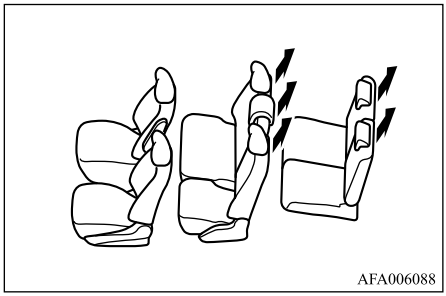
セカンドシートとサードシートのフラットシート

J00508600074

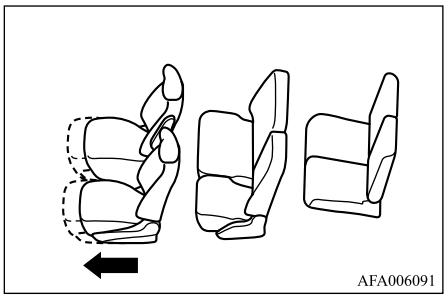
アドバイス

● アームレスト，パーソナルテーブルは元の位置に戻してから操作します。
→「アームレスト」P. 5-8
→「パーソナルテーブル」P. 8-21

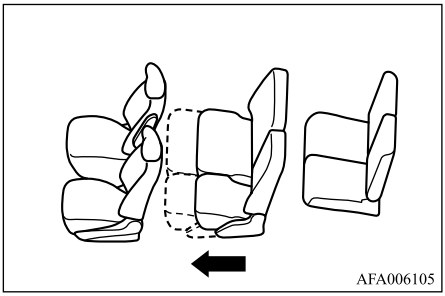
1. セカンドシートとサードシートのヘッドレストを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-12



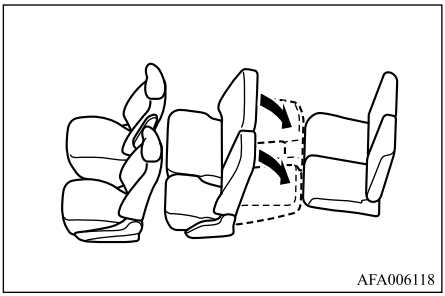
2. フロントシートを前方へいっぱいまで移動させます。
→「前後調整」P. 5-5



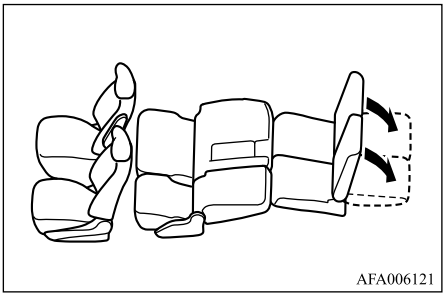
3. セカンドシートを前方へいっぱいまで移動させます。
→「前後調整」P. 5-7



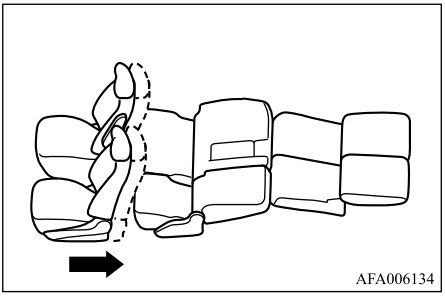
4. セカンドシートの背もたれを倒します。
→「背もたれの角度調整」P. 5-7



5. サードシートの背もたれを倒します。
→「背もたれの角度調整」P. 5-11

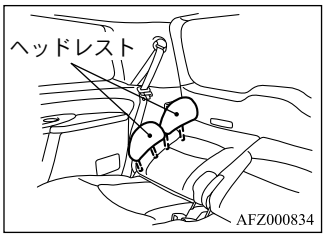


6. フロントシートをセカンドシートに当たる位置まで後方へ移動させてシートを固定させます。
これでフラットシートの完成です。
戻すときは逆の手順で行います。

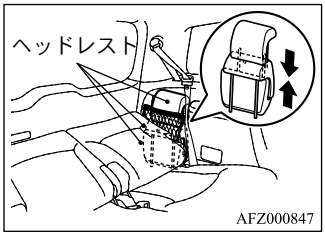


アドバイス

● 取り外したセカンドシート用ヘッドレスト（除く，センター）は荷室の運転席側側面に収納することができます。



● 取り外したセカンドシート用ヘッドレスト（センター）とサードシート用ヘッドレストは荷室のクオータートリムネット内に収納することができます。
→「クオータートリムネット」P.8-23



シートベルト

J00505100456

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

● 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
● 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
● ベルトは１人用です。２人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-4
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200024

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

◆ 着用するときは

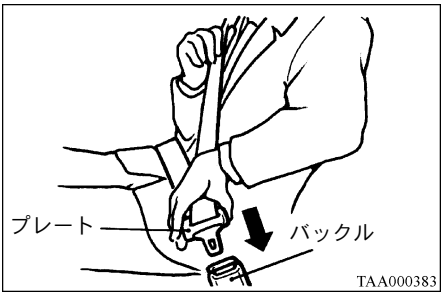
J00507800196

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

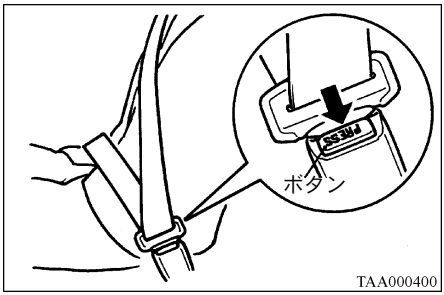


3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆ 外すときは

J00507900214

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。



⚠警告

- **お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。**
  特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

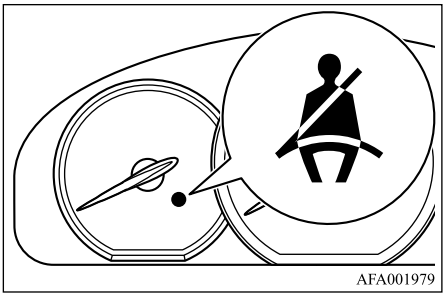
アドバイス

- チャイルドシート固定機構付シートベルトは，シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに，シートベルトが引き出せなくなることがあります。これはチャイルドシート固定機構が作動しているためです。
  このときは，シートベルトをすべて巻き取らせてチャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。
  →「チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方」P. 5-30

◆ シートベルト警告

J00509700274

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにすると，警告灯が点灯し，約 6 秒間ブザー（ピピッ，ピピッ）が鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，エンジンスイッチをONにしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。
警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

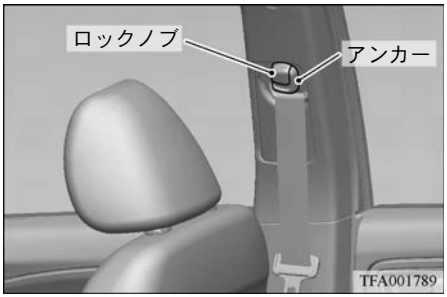


◆ ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00508000182

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。
上げるときはアンカーをそのまま押し上げ，下げるときはロックノブを押したままアンカーを下げます。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。



⚠注意

● アンカーはできるだけ高い位置でご使用ください。ベルトが首に当たったり，肩に十分かからないときは，アンカーを一段ずつ下げて調整してください。

セカンドシートベルト，サードシートベルトの格納のしかた

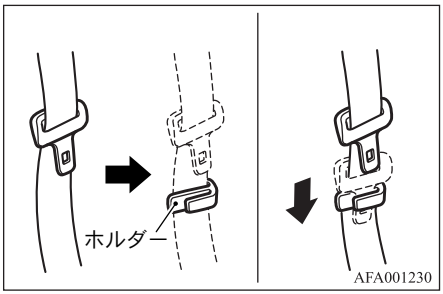
J00508700075

シートベルトを使用しないときは，プレートとバックルを図のように格納してください。

◆ プレート

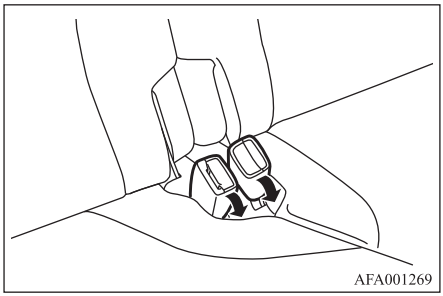
格納方法

3点式シートベルトは，ホルダーの前側と後ろ側の切り込みに格納することができます。
後ろ側の切り込みにベルト部を通した後，前側の切り込みにプレートを差し込みます。



◆ バックル

サードシート



プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505700566

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-4
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-18
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

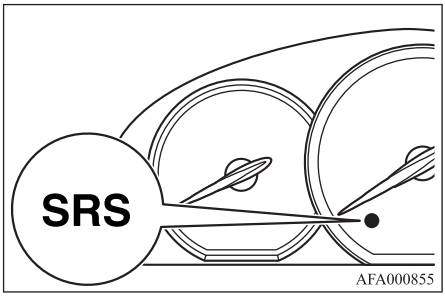
- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー機構警告灯と兼用しています。



⚠注意

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチをONにしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

フォースリミッター機構

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

チャイルドシート

J00506000452

⚠警告

- **シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。**
- **6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。**

⚠注意

- **後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。**

チャイルドシートには乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ISO[*1] FIX対応チャイルドシート

J00506100408

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシート[*2]です。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。

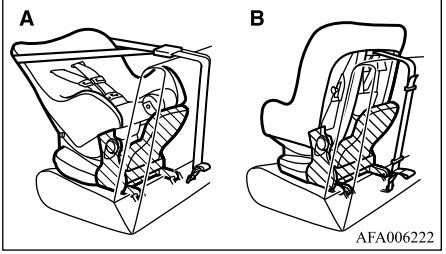
[*1] ISOはInternational Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

⚠警告

- **お客様のお車用として認可を受けていないチャイルドシート（三菱自動車純正指定以外のものなど）を使用すると，チャイルドシートが適切に固定されずお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずお客様のお車専用のチャイルドシートを使用してください。**

ISO FIX対応



A- 乳児用として使うとき
（後ろ向き取り付け）
B- 幼児用として使うとき
（前向き取り付け）

ベース部（斜線部分）は，シートと別体となります。

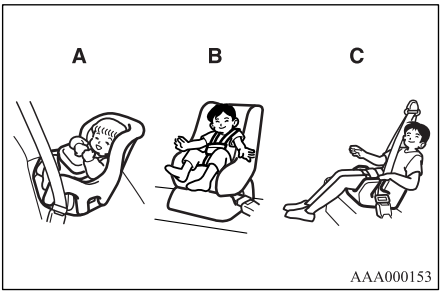
＜使用の目安＞

	体重 (kg)	身長 (cm)	参考年齢
乳児用として使うとき	9未満	70未満	新生児~9ヶ月
幼児用として使うとき	9~18未満	70~100	9ヶ月~4才

除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200148

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。シートの形状，サイズによっては固定できない場合があります。



A- 乳児用（ベビーシート）
B- 幼児用（チャイルドシート）
C- 学童用（ジュニアシート）

＜選択の目安＞

	体重 (kg)	身長 (cm)	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	10未満	75以下	新生児~12ヶ月
幼児用（チャイルドシート）	18未満	105以下	4才以下
学童用（ジュニアシート）	15~36	100~135	4才~10才

アドバイス

● 上記の表は体重・身長・年齢の目安を示しています。各製品により使用条件が異なりますので，必ず確認してください。

⚠警告

- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

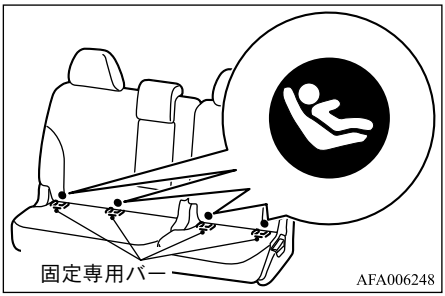
ISO*3 FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

J00506300413

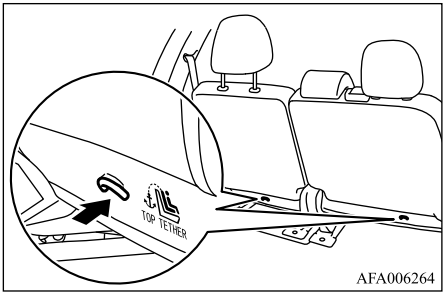
*3 ISOはInternational Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

固定専用バーはセカンドシートクッションと背もたれの間に，テザーアンカーはセカンドシートのシートクッション後方に，それぞれ装備されています。

固定専用バー



テザーアンカー



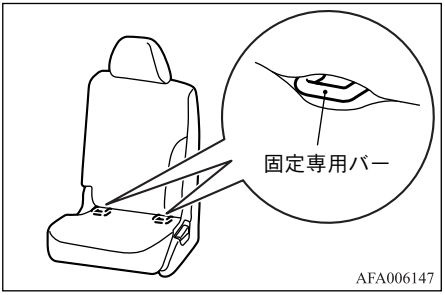
◆ 取り付けるときは

⚠警告

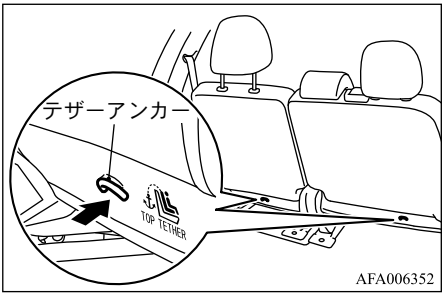
- チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セカンドシートの背もたれを倒した状態でチャイルドシートを取り付けないでください。
  また，チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。

乳児用として使うとき（後ろ向き取り付け）

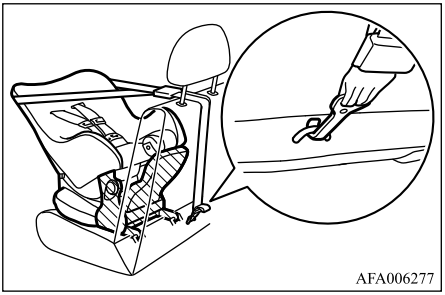
1. チャイルドシートを取り付けたい側のシートクッションの角度を一番下まで下げます。
   →「シートクッションの角度調整」P. 5-10
2. セカンドシートクッションと背もたれのすきまを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。



3. セカンドシートクッション後方のテザーアンカーの位置を確認します。



4. ヘッドレストを一番上の位置に調整します。
   →「ヘッドレスト：上下調整」P. 5-11
5. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。



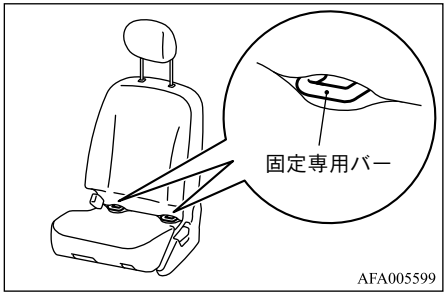
6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

⚠警告

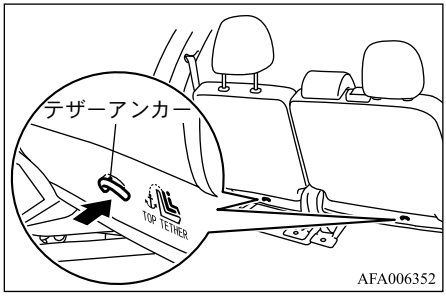
- チャイルドシートのテザーベルトは，必ずヘッドレストの下を通してテザーアンカーに取り付けてください。ヘッドレストの横や上などを通すとベルトがたるみ，衝突したときなどにチャイルドシートが動いて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

幼児用として使うとき（前向き取り付け）

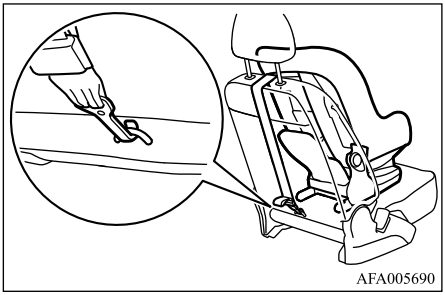
1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを一番上の位置に調整します。
→「ヘッドレスト：上下調整」P. 5-11
2. セカンドシートクッションと背もたれのすきまを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。



3. セカンドシートクッション後方のテザーアンカーの位置を確認します。



4. シートクッションの角度を一番下まで下げます。
→「シートクッションの角度調整」P. 5-10
5. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。



⚠警告

● チャイルドシートのテザーベルトは，必ずヘッドレストの下を通してテザーアンカーに取り付けてください。ヘッドレストの横や上などを通すとベルトがたるみ，衝突したときなどにチャイルドシートが動いて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

◆ 取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

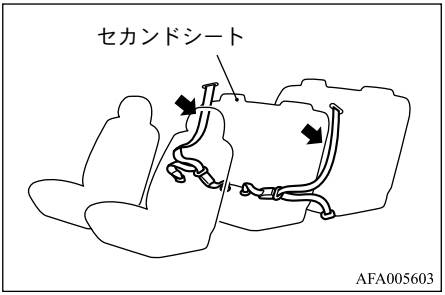
チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方

J00506400469

セカンドシートの 3 点式シートベルトにはチャイルドシート固定機構がついています。
シートベルトを全部引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。ベルトを巻き戻す途中で手を止めると引き出し方向にベルトが動かない状態となって，チャイルドシートを固定することができます。

チャイルドシートを取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付け可能位置

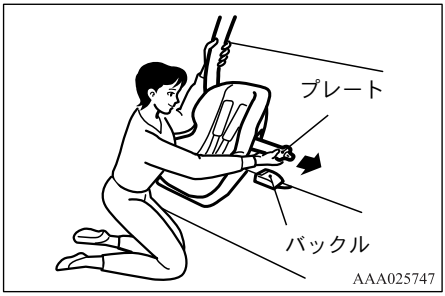


◆ 取り付けるときは

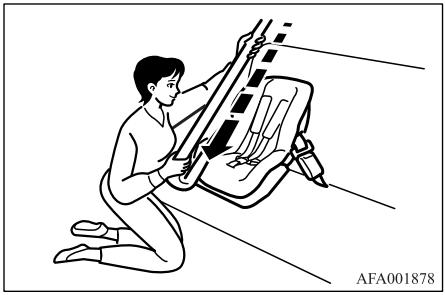
アドバイス

- 以下に説明する取り付け方は，一般的なチャイルドシートの取り付け方を例に記載しています。取り付けるときは必ずチャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

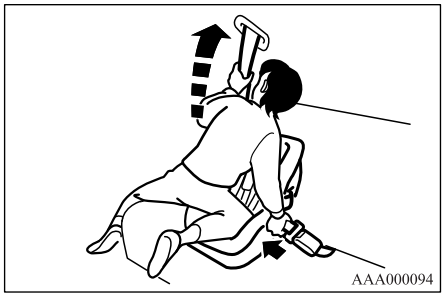
1. チャイルドシートを取り付けたい位置に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがってチャイルドシートのベルトガイドにシートベルトを通してから，プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。



3. 肩部ベルトをゆっくりと最後まで引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。



4. ベルトを巻き取らせます。このとき，ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は，再度ベルトを最後まで引き出してください。
5. チャイルドシートにひざを置き，体重をかけてシートに押しつけながら，バックル側のベルトを引き上げてシートベルト全体のたるみがなくなるまで肩部ベルトを巻き取らせます。



6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

◆ 取り外すときは

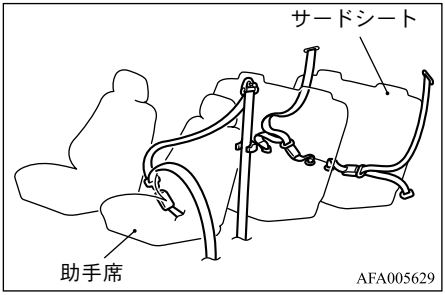
1. プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
2. シートベルトを最後まで巻き取らせチャイルドシート固定機構を解除します。

チャイルドシート固定機構付シートベルト以外のシートベルトでの取り付け方

J00506500529

チャイルドシート固定機構付シートベルトで取り付けることをおすすめします。やむを得ずチャイルドシート固定機構付シートベルト以外で取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付け可能位置

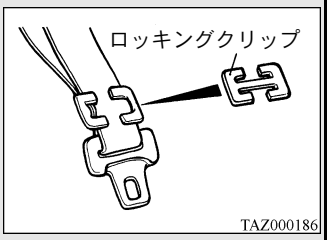


◆ 取り付けるときは

1. チャイルドシートを取り付けたい位置に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認してください。

⚠警告

- シートベルトの種類によってチャイルドシートの取り付け方法が異なります。各シートベルトに合わせて正しく取り付けてください。
  - チャイルドシート固定機構付シートベルト以外の3点式シートベルトを使うときも，必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
    タイプによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



- サードシートにチャイルドシートを取り付けるときは、取り付けたい側のヘッドレストを一番下の位置に調整してください。
  ヘッドレストが上の位置にある場合は、衝突したときなどにチャイルドシートが動いて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。

SRSエアバッグ

J00506600546

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。
運転席，助手席SRSエアバッグはデュアルステージエアバッグシステムを採用しています。運転席SRSエアバッグは衝撃センサー（車両前方および車両中央床部）と運転席シートポジションセンサーで，助手席SRSエアバッグは衝撃センサーでそれぞれ制御しています。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

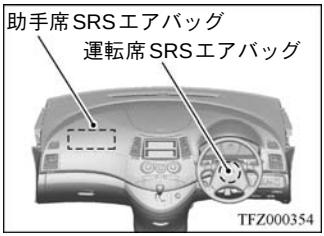
エンジンスイッチがONのときに，運転者，助手席およびセカンドシート同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者，助手席およびセカンドシート同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

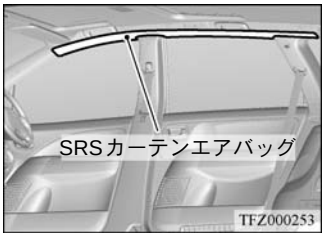
⚠警告

- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

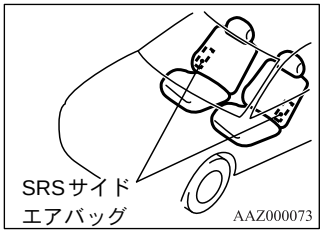
⚠注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。





- SRS サイドエアバッグ付き車は，エアバッグが収納されているシート部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



5

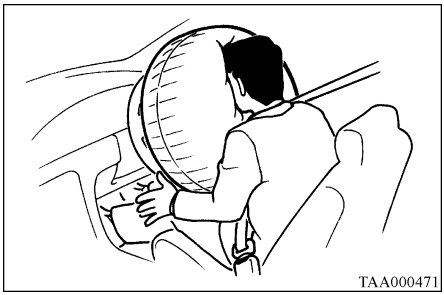
アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席，助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグは視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

J00506700462

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。
運転席シートの前後位置と衝撃の大きさにより，SRS エアバッグの膨らみ具合は2段階に調整されます。


TAA000471

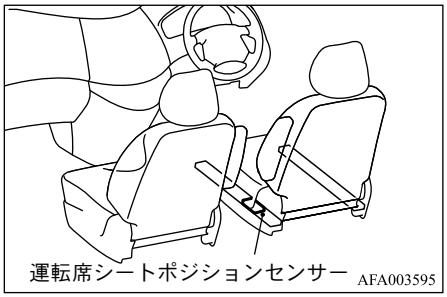
⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

◆ 運転席シートポジションセンサー

運転席シートの前後位置を検知するため，つぎの位置にセンサーが付いています。


運転席シートポジションセンサー AFA003595

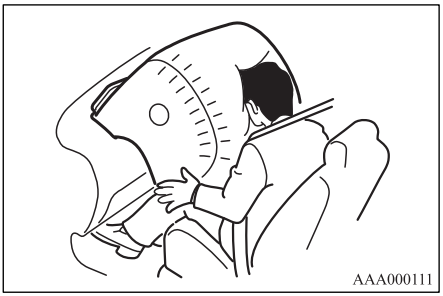
⚠警告

- 運転席シートポジションセンサーに異常が発生したときは，SRSエアバッグ/プリテンショナー機構警告灯が点灯します。
  SRSエアバッグ/プリテンショナー機構警告灯が点灯したときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「SRSエアバッグ/プリテンショナー機構警告灯」P. 5-40
- 運転席シートポジションセンサーがシートの前後位置を正しく感知するために，つぎのことをお守りください。
  - シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
    →「フロントシート」P. 5-4
  - シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。
  - 運転席シートの下には金属製のものや荷物などを置かないでください。
- 車両に衝撃を受けたときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社でセンサーの点検を受けてください。

助手席SRSエアバッグ

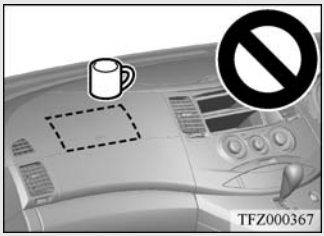
J00506800476

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動し，膨らみ具合は衝撃の大きさにより2段階に調整されます。


AAA000111

⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，ステッカーなどを貼らないでください。
  また，前面ガラスにアクセサリーを取り付けたり，ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。


TFZ000367

⚠警告

● お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- お子さまは後席に座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをセカンドシートに装着してご使用ください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠警告

● 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

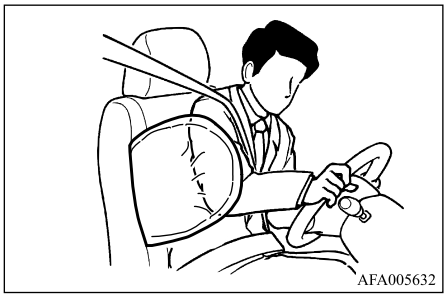
● 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

J00507000273

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。



⚠警告

- フロントシート背もたれの SRS サイドエアバッグ格納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
  また，お子さまなどにセカンドシートからフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
  SRS サイドエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

5

⚠警告

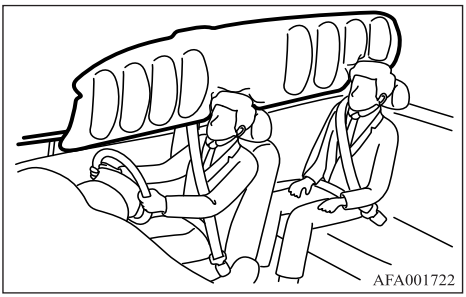
● 三菱自動車純正のSRSサイドエアバッグ専用シートカバー以外は使用しないでください。
取り付けるときはシートカバーに添付の取扱説明書にしたがい確実に取り付けてください。
また，シートのエアバッグが収納されている付近にカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり，ステッカー等を貼らないでください。
SRS サイドエアバッグが膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

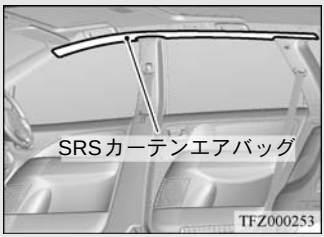
J00507500180

SRS カーテンエアバッグはフロントピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。



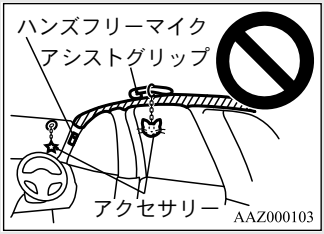
⚠警告

● フロントピラーおよびルーフサイド部のSRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには注意してください。



⚠警告

● 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

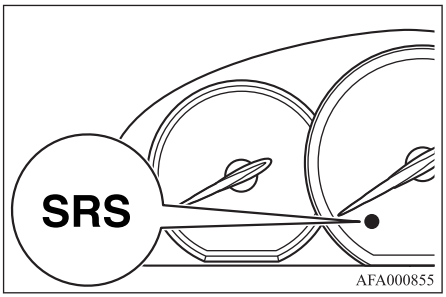


5

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507300540

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー機構警告灯と兼用しています。



⚠注意

● 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
衝突したときなどに SRS エアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
- 走行中に警告灯が点灯する

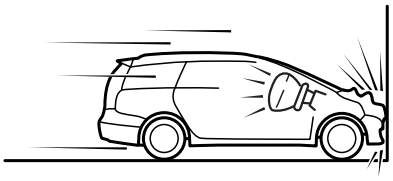
運転席，助手席SRSエアバッグの作動条件

J00506900246

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約25km/h以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃(左記と同等)を受けたとき

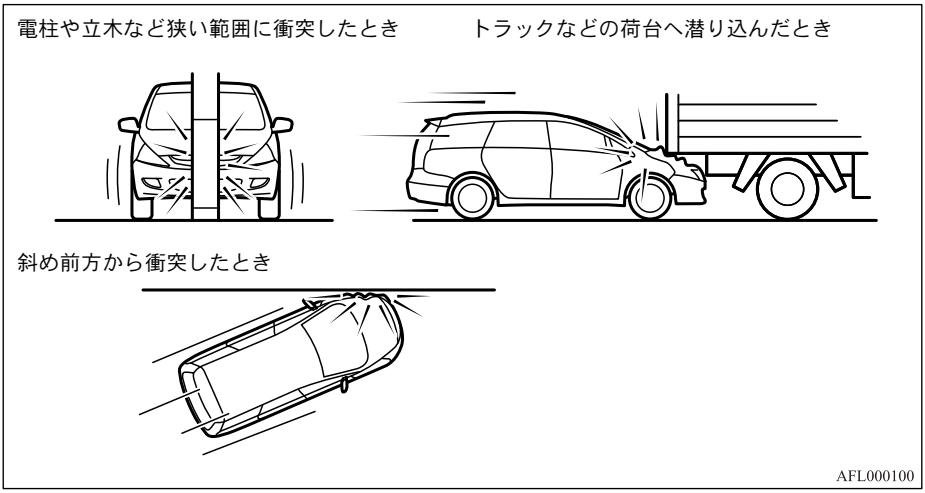
AFJ000135

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

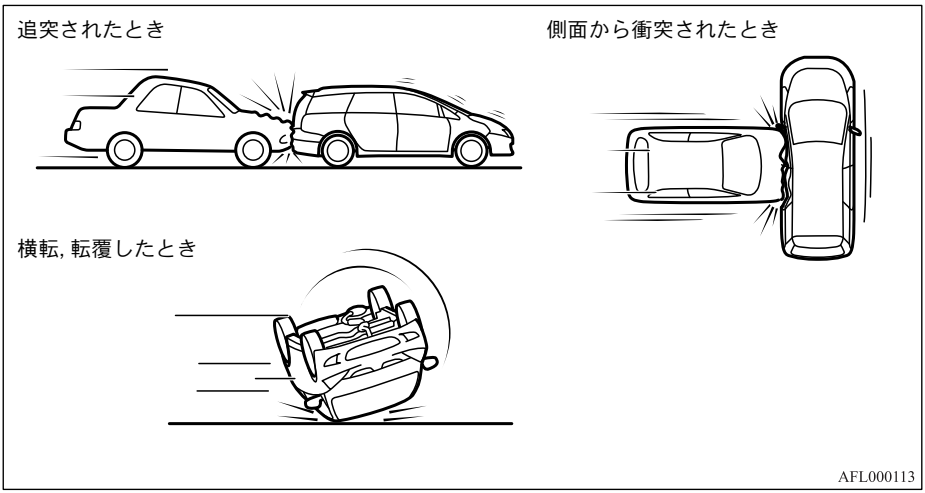
◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



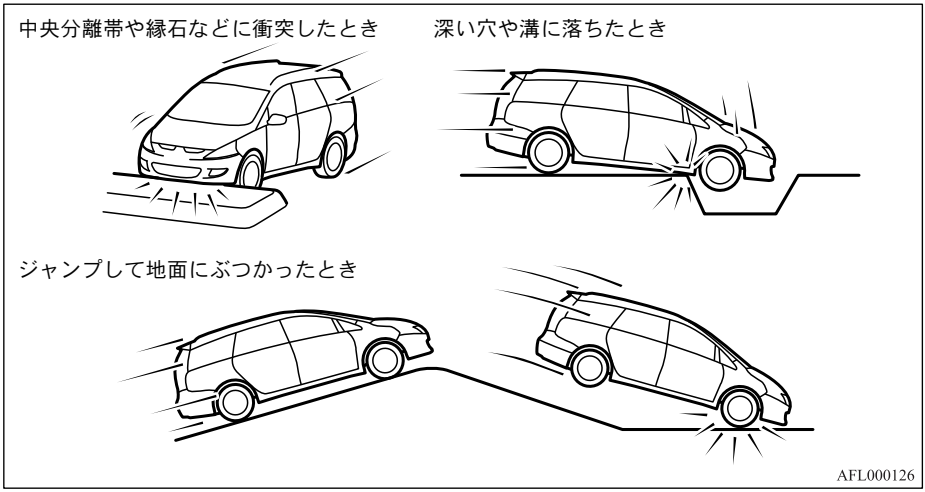
◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，２回目以降の衝突では再作動しません。



◆ 作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



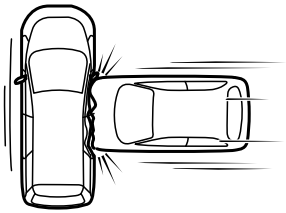
SRSサイドエアバッグ，SRSカーテンエアバッグの作動条件

J00507100199

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき

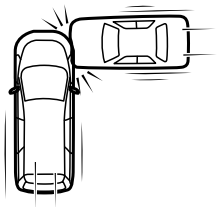


AFJ000223

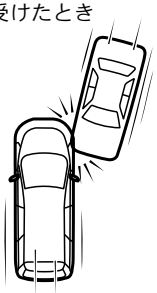
◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

客室部以外の側面に衝撃を受けたとき



斜め側方から衝撃を受けたとき



電柱などに衝突したとき

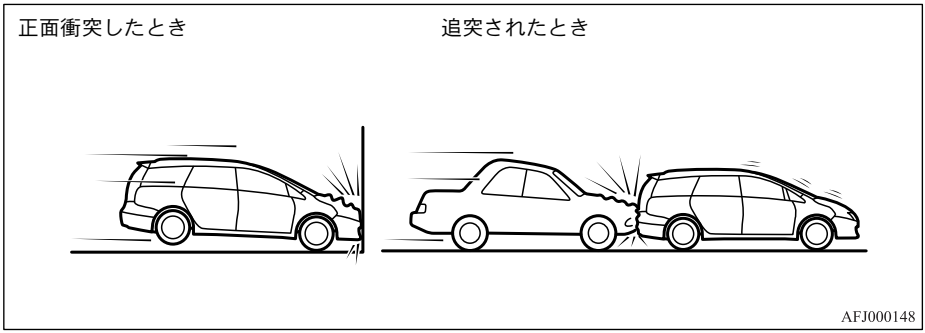
側面にバイクが衝突したとき

横転や転覆したとき

AFL000139

◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，２回目以降の衝突では再作動しません。



取り扱い上の注意

J00507400307

⚠注意

● つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- 運転席，助手席SRSエアバッグ：
  ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付け，および車両前部の修理
- SRSサイドエアバッグ（タイプ別装備）：
  前席シート，センターピラーおよびその付近の修理
  前席シートの表皮の張り替え
- SRSカーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
  フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部，およびその付近の修理

● 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
● 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
● 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
● サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
● つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ステアリングパッド
- インストルメントパネル上部
- フロントシート側面
- フロントピラー
- センターピラー
- リヤピラー
- ルーフサイド部

アドバイス

● お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

メーター・スイッチ

メーター

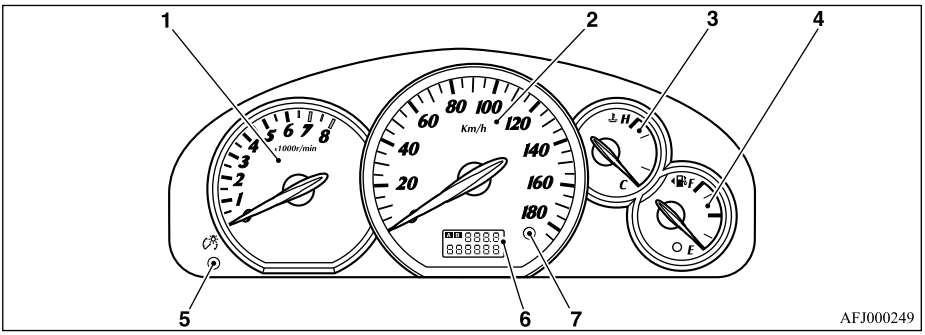
メーター 6- 2
表示灯･警告灯 6- 6
表示灯 6- 7
警告灯 6- 7

スイッチ

ライトスイッチ 6- 9
ヘッドライトレベリング 6- 13
方向指示レバー 6- 15
非常点滅灯スイッチ 6- 15
フロントフォグランプスイッチ 6- 16
ワイパー／ウォッシャースイッチ 6- 16
ワイパーディアイサー 6- 19
リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ 6- 20
ホーンスイッチ 6- 21

メーター

J00600100436



1- タコメーター →P. 6-3
2- スピードメーター →P. 6-3
3- 水温計→P. 6-5
4- 燃料計→P. 6-4
5- メーター照度調整ボタン→P. 6-5
6- オドメーター（積算距離計）／
トリップメーター（区間距離計）→P. 6-3
7- リセットボタン→P. 6-3

スピードメーター

J00600200020

走行速度を示します。

タコメーター

J00600300021

毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）に入らないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

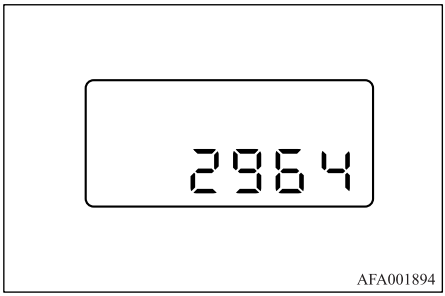
オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00600600327

エンジンスイッチがONのとき，ODO（オドメーター）およびTRIP（トリップメーター）を表示します。

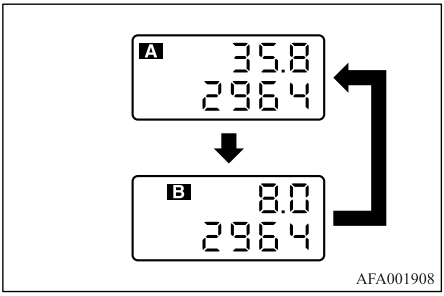
◆ オドメーター

走行した総距離をkm単位で表示します。



◆ トリップメーター

2地点間の走行距離を km 単位で表示します。
リセットボタンを軽く（約1秒未満）押すたびに表示が切り換わります。



TRIP A とTRIP B があります。

＜例＞
TRIP A で自宅を出発してからの距離を測りながら，TRIP B で途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

0に戻すにはリセットボタンを約1秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞
TRIP A が表示されていれば
TRIP A だけリセットされます。

アドバイス

- トリップメーターはA，B共999.9kmまで計測することができます。
- エンジンスイッチを切った後でもトリップメーターのリセットボタンを押したとき，約30秒間オドメーターおよびトリップメーターを表示します。
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示，B 表示とも記憶が消去され，表示が0に戻ります。

燃料計

J00600700038

エンジンスイッチがONのとき, 燃料の残量を示します。

F- 満タンです。(約65L)
E- 燃料を補給してください。

⚠警告

● 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

⚠注意

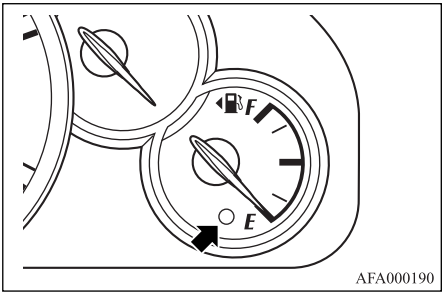
● 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

アドバイス

● 坂道やカーブなどは，タンク内の燃料が移動するため，指針が振れることがあります。
● 燃料補給後，指針が安定するまで少し時間がかかります。
● エンジンスイッチが ON のまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。

◆ 燃料残量警告灯

J00605800496



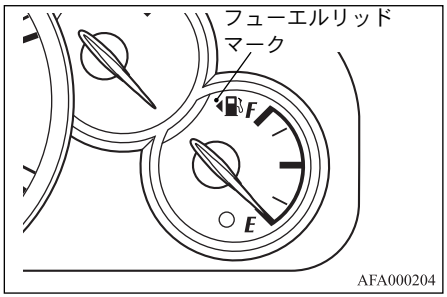
エンジンスイッチがONのとき, 燃料が約10L以下になると点灯します。
警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
→「フューエルリッド（燃料補給口)」P. 4-54
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

アドバイス

● 坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

◆ フューエルリッド位置表示

J00605900035



フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側に付いていることを示しています。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」
P. 4-54

水温計

J00600800026

エンジンスイッチがONのとき, エンジン冷却水の温度を示します。

⚠注意

- 指針が「H」表示部に近づいたときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
→「オーバーヒートしたときは!」
P. 13-25

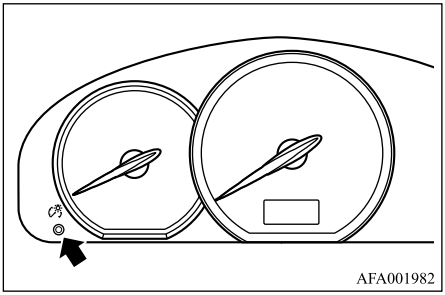
メーター照度調整ボタン

J00606600039

ボタンを押すたびに，メーターの明るさを変えることができます。

アドバイス

- 尾灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ 4 段階ずつ調整することができます。
- ライトスイッチがAUTO, ≣Dまたは ≣DD≣ 位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。

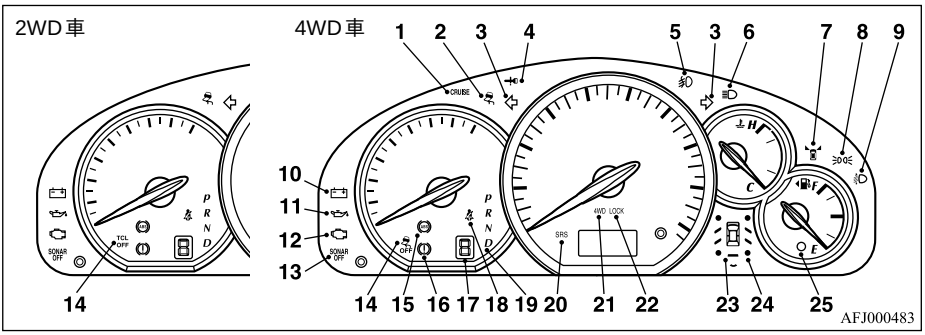


アドバイス

- エンジンスイッチを切っても，メーターの明るさの状態を記憶しています。

表示灯・警告灯

J00601500642



1- CRUISE（クルーズコントロール）表示灯 タイプ別装備 →P. 7-30
2- ASC作動表示灯 タイプ別装備 →P. 7-28
3- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 →P. 6-7
4- キーレスオペレーションシステム表示灯 タイプ別装備 →P. 4-16
5- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 →P. 6-7
6- ヘッドライト上向き表示灯 →P. 6-7
7- カメラAUTO表示灯 タイプ別装備 →P. 7-35
8- 車幅灯表示灯 →P. 6-7
9- ヘッドライトオートレベリング警告灯 タイプ別装備 →P. 6-13
10- 充電警告灯 →P. 6-8
11- 油圧警告灯 →P. 6-8
12- エンジン警告灯 →P. 6-8
13- SONAR OFF（コーナーセンサー OFF）表示灯 タイプ別装備 →P. 7-41
14- TCL OFF表示灯（2WD車） タイプ別装備 →P. 7-28
ASC OFF表示灯（4WD車） タイプ別装備 →P. 7-28
15- ABS警告灯 →P. 7-25
16- ブレーキ警告灯 →P. 6-7
17- スポーツモード表示灯 →P. 7-15
18- シートベルト警告灯 →P. 5-21
19- セレクターレバー位置表示灯（“N”表示灯はA/T警告灯と兼用） →P. 7-11
20- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 →P. 5-24, 5-40
21- 4WD作動表示灯 タイプ別装備 →P. 7-20
22- LOCK表示灯 タイプ別装備 →P. 7-20
23- 半ドア警告灯 →P. 6-9
24- コーナーセンサー／バックセンサー表示灯 タイプ別装備 →P. 7-42
25- 燃料残量警告灯 →P. 6-4

表示灯

J00601600021

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700165

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

● 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

J00601900024

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800023

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100010

車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

警告灯

J00602500027

ブレーキ警告灯

J00602600246

エンジンスイッチがONのときに点灯し，数秒後に消灯します。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき
- ブレーキ警告灯がABS警告灯と同時に点灯したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
    このとき後続車に注意を促すため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700221

エンジン制御装置に異常があると点灯または点滅します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，クリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800147

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

J00602900164

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
  （点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

半ドア警告灯

J00603200265

いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていないときに点灯します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になるとブザーが「ポーン，ポーン」と８回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

● 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

アドバイス

● バッテリー上がりを防止するため，長く放置すると自動消灯します。
→「インテリアランプオートカット機能（自動消灯）」P. 8-10
● ブザーの作動をつぎのように変更することができます。
• 鳴らなくする。
• 連続で鳴らす。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

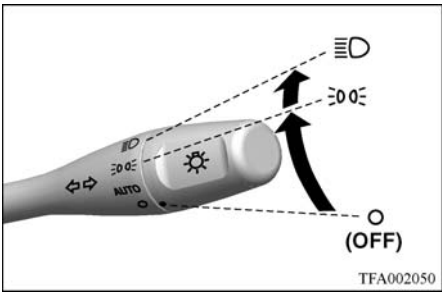
ライトスイッチ

J00604000358

手動で使うときは

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の〇印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≡D	≡D◇≡
ヘッドライト	〇	—
車幅灯	〇	〇
尾灯	〇	〇
番号灯	〇	〇
計器類照明灯	〇	〇



⚠注意

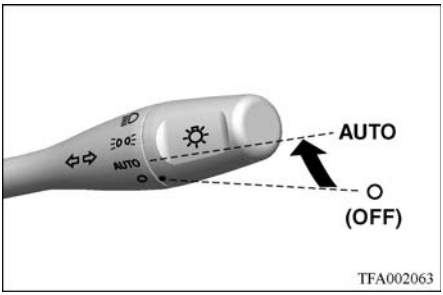
● 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

● 雨の日や洗車後などにレンズの内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトコントロール）

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチを OFF にすると自動的に消灯します。

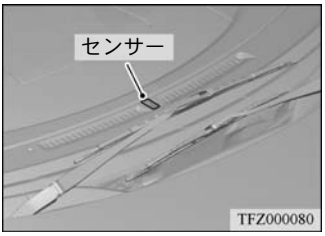


アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- フロントフォグランプ付き車は, AUTOの位置でフロントフォグランプが点灯しているとき，エンジンスイッチを OFF にすると，フロントフォグランプも自動消灯します。

アドバイス

- 自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり，ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。



- AUTOの位置で点灯・消灯しないときは，手動でスイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト *1 オートカット機能（自動消灯）

J00606000277

*1 ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチがまたはの位置でも，エンジンスイッチを LOCK にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  [キーを使ってエンジンをかけているとき]
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ポーン，ポーン」と鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
  [キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき]
  - エンジンスイッチを LOCK にして運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - エンジンスイッチが LOCK 以外で運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ポーン，ポーン」と鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。
- ライトスイッチがまたはの位置でも，エンジンスイッチを LOCK にし，運転席ドアを開かないまま約 3 分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF，エンジンスイッチをLOCKにします。
   さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- キーを使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザー（ピーッ）が鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザー（ポーン，ポーン）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときエンジンスイッチが LOCK 位置ではライト消し忘れ警告ブザー（ピーッ）が鳴り，LOCK位置以外ではエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザー（ポーン，ポーン）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - ライトスイッチが位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

アドバイス

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ライト消し忘れブザー

J00606100249

キーを使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチが≣Dまたは≣DEの位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

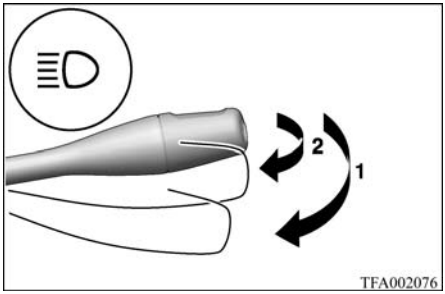
ライトスイッチが≣Dまたは≣DEの位置のままでエンジンスイッチを LOCK にして運転席のドアを開くと，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

どちらのときも，ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチを OFF にする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200309

レバーを（1）まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを（2）まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



アドバイス

- ライトスイッチが O (OFF) 位置でも，レバーを（2）まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

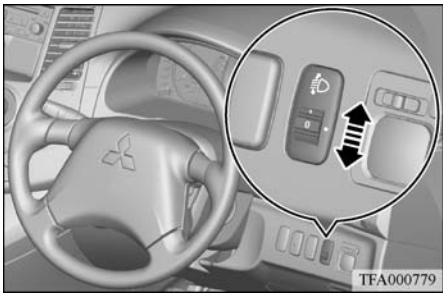
ヘッドライトレベリング

J00604100564

ヘッドライトレベリングダイヤル

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“０”の位置に戻してください。

乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	
	運転席＋助手席＋サードシート2人乗車時	1
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	3
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	4

アドバイス

- 光軸調整をするときは，ダイヤルを“０”の位置（照射方向が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

ヘッドライトオートレベリング

ディスチャージヘッドライト付き車

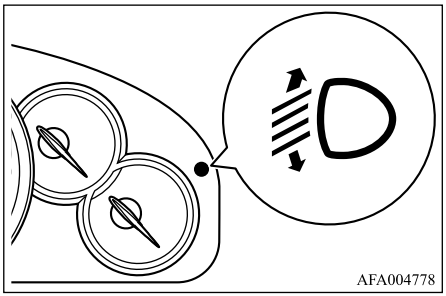
乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

◆ ヘッドライトオートレベリング警告灯

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

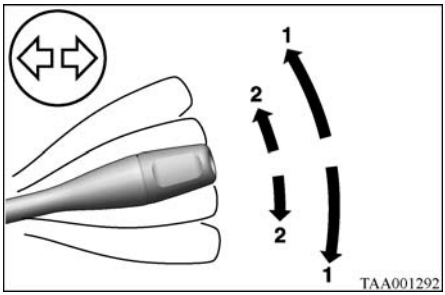
- エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したままのときは装置の故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



方向指示レバー

J00604200220

エンジンスイッチが ON のときにレバーを（1）まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを（2）まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

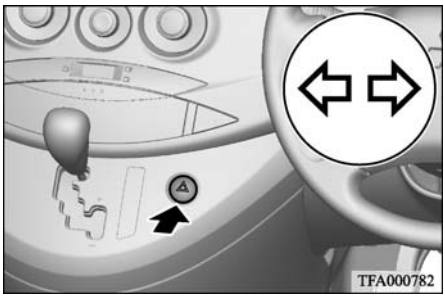
- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。
  - 方向指示灯の点滅に合わせてブザーを鳴らす。
  - エンジンスイッチが ACC のときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

非常点滅灯スイッチ

J00604300234

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

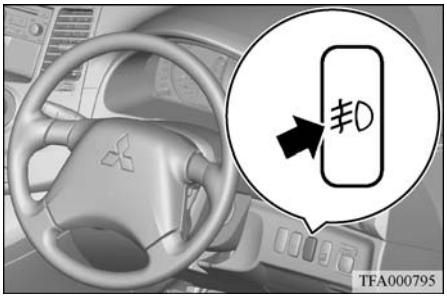
- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- 方向指示灯の点滅に合わせてブザーを鳴らすことができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00604500021

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにスイッチを押すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはもう一度スイッチを押します。



アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度スイッチを押します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800271

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

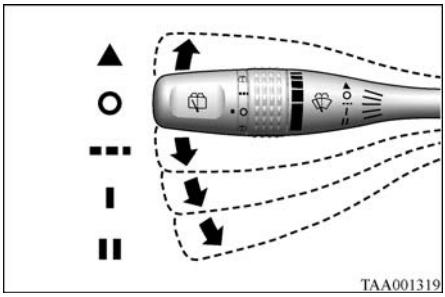
⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをOFFにし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ



▲　1回作動（ワイパーミスト機能）
o　停止
---　間けつ作動（車速感応）
車速に応じてワイパーが間けつ作動します。
車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
❙　低速作動
❙❙　高速作動

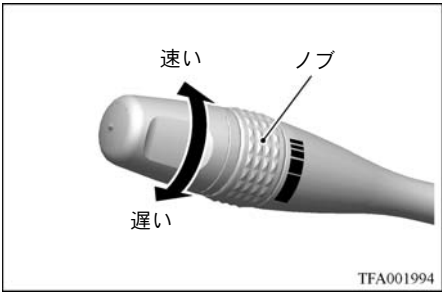
アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。
- 車速感応の機能を働かなくする。
- ワイパーが作動している間，ヘッドライトを自動的に点灯させる。

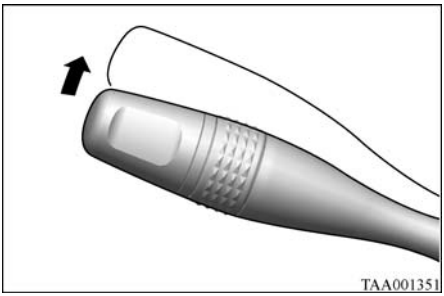
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ 間けつ時間の調整のしかた

レバーが--- (間けつ作動) 位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。



◆ ワイパーミスト機能

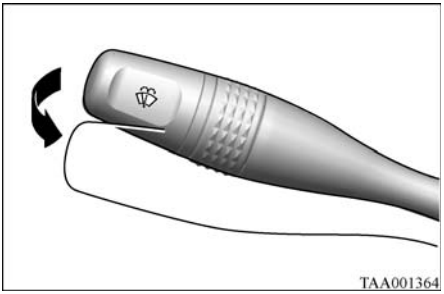


レバーを▲位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを▲位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

フロントウォッシャースイッチ

J00604900227

レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。



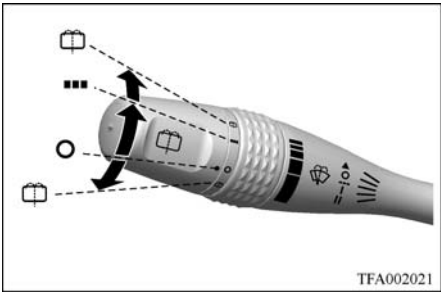
アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチをONまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

J00605000267

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

---	間けつ作動 数回作動し，その後約８秒おきに作動
o	停止
	この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- 後方の視界を確保するため，---の位置で間けつ作動中にセレクターレバーをⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミを の位置に回した状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- つぎの機能を変更することができます。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。
  - 約 1 秒以内にレバー先端のツマミを --- （間けつ作動）の位置に 2 回繰り返して回すと，ワイパーが連続作動に切り換わる。（連続作動モード）
  - ワイパーの間けつ作動を連続作動にする。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ワイパーディアイサー

J00605300026

寒冷地仕様車

フロントワイパーがウインドウガラスに凍結（ワイパー停止位置）しているとき，ウインドウガラスを暖めてワイパーを作動できるようにします。エンジンスイッチが ON のときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと作動します。

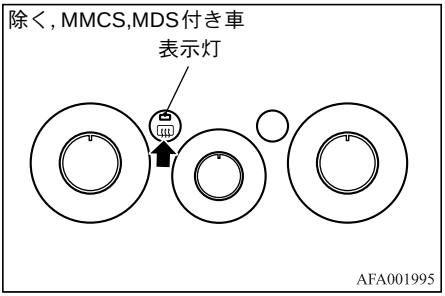
スイッチは約 20 分後に自動的に切れます。途中でスイッチを切りたい場合は，もう一度スイッチを押します。

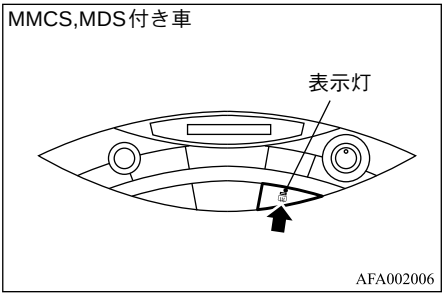
→「リヤウインドウデフォッガースイッチ」P. 6-20

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500190

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。もう一度押すとスイッチが切れます。





寒冷地仕様車は，デフォッガースイッチを押すと同時にウインドウガラスが暖まりワイパーが作動できるようになります。
→「ワイパーディアイサー」P. 6-19

また, ヒーテッドドアミラー付き車は, デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P. 7-6

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約20分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600029

ハンドルのマーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

MEMO

運転装置

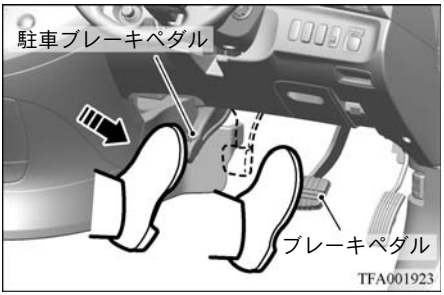
駐車ブレーキ 7- 2
チルトステアリング 7- 3
ルームミラー 7- 3
ドアミラー 7- 4
エンジンスイッチ 7- 7
エンジンのかけ方 7- 8
MIVECエンジン車の取り扱い 7- 9
オートマチックトランスミッション 7- 10
オートマチック車の運転のしかた 7- 15
マルチセレクト4WD 7- 19
4WD車の上手な運転 7- 21
4WD車取り扱い上の注意 7- 21
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7- 24
アクティブスタビリティコントロール(ASC) 7- 26
クルーズコントロール(自動定速走行装置) 7- 30
デュアルアラウンドモニターシステム
（ノーズビューカメラ＆リヤビューカメラ＆コーナーセンサー＆
駐車ガイドシステム） 7- 33
ノーズビューカメラ 7- 34
リヤビューカメラ 7- 37
コーナーセンサー 7- 40
駐車ガイドシステム 7- 44

駐車ブレーキ

J00700100033

かけるときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま左足で駐車ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

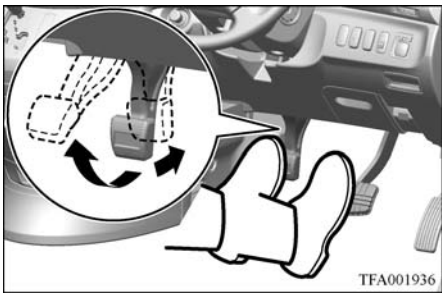


⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを(P)に入れてください。
- 駐車ブレーキの効きを強くするときは，ブレーキペダルをしっかりと踏んだまま，一度駐車ブレーキを解除してから再度駐車ブレーキをかけ直してください。駐車ブレーキがかかった状態で駐車ブレーキペダルを踏み込むと駐車ブレーキは解除されます。

解除するときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま，左足で駐車ブレーキペダルを踏み込みます。カチッと音がしたら駐車ブレーキペダルをゆっくりと戻します。
解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

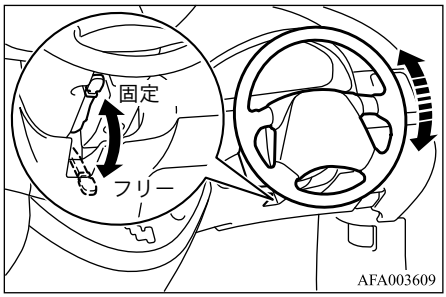
チルトステアリング

J00700200207

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



ルームミラー

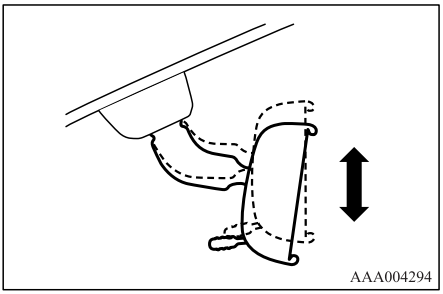
J00700300266

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

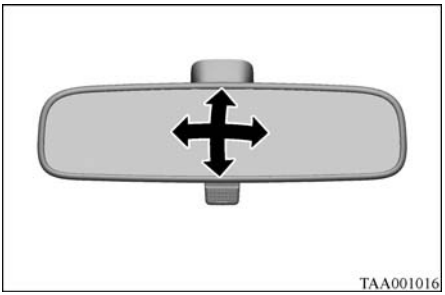
ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を持って，上下方向に動かして調整します。



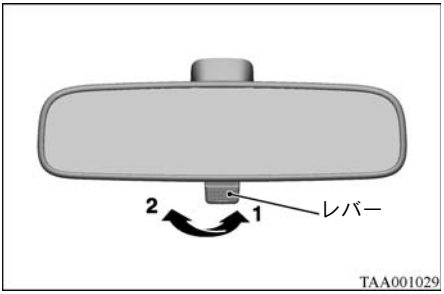
ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。



1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500327

ミラーの角度調整

⚠注意

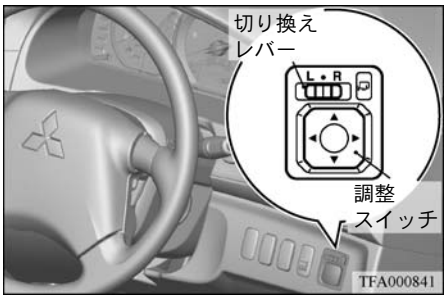
- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L:左側ミラーの調整
   R:右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

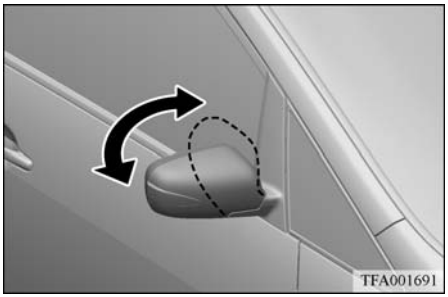
アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。



ドアミラーの格納・復帰

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときはカチッと音がするまで車両前方へ起こします。

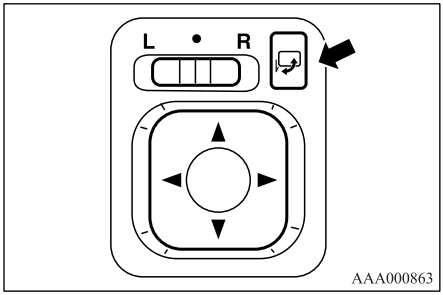


⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ ミラー格納スイッチ

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。
エンジンスイッチを切った後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。



アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチでもミラーの格納・復帰操作ができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-5
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-22
- キーレスオペレーションシステム付き車は，ドアまたはテールゲートのスイッチでもミラーの格納・復帰操作ができます。
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 4-12
- ミラーは手で倒すことも，戻すこともできます。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

◆ ミラーの自動復帰

ミラーを格納した状態でエンジンスイッチを ON にした後，走行スピードが約 30km/h になると，安全のためミラーが自動的に復帰します。

アドバイス

- エンジン始動後に，格納スイッチを押して一度ミラーを格納したり，手動で格納した場合は，自動復帰しません。
  この場合は，格納スイッチを押してミラーを復帰してください。エンジンスイッチを LOCK にすれば自動復帰の状態に戻ります。
- つぎのとおり機能を変更することができます。
  - エンジンスイッチONで自動復帰，エンジンスイッチOFF後, 運転席ドアを開くと自動格納する。
  - 自動復帰の機能を働かなくする。
  - キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると自動格納・自動復帰する。
  - キーレスオペレーションシステム付き車は，ドアまたはテールゲートのスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると自動格納・自動復帰する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備

J00706800205

エンジンスイッチが ON のときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。
ヒーターは約 20 分後に自動的に切れます。
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-20

エンジンスイッチ

J00700800652

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステム付き車のエンジンスイッチについては「キーレスオペレーションシステム：エンジンスイッチの位置と働き」をお読みください。→P. 4-14

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

各位置の働き

LOCK	ハンドルがロックされる位置 キーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらキーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- エンジンスイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。
- つぎのようなときに，エンジンスイッチの照明灯が点灯し，エンジンスイッチの操作を容易にします。
  - 運転席ドアを開くと点灯し，閉じると約30秒後に消灯します。
  - キーを抜くと点灯し，約30秒後に消灯します。

  ただし，照明灯が点灯中でもエンジンスイッチをONにするとすぐに消灯します。また，バッテリー上がりを防止するため，長く放置すると自動消灯します。
  →「インテリアランプオートカット機能（自動消灯）」P. 8-10

キーを抜くときは

J00706200179

LOCKまで回して抜きます。

セレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。

エンジンのかけ方

J00700900871

⚠警告

- **車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。**
- **排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。**

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P. 6-8

アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，いったんエンジンスイッチをLOCKに戻し，2~3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作を繰り返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。

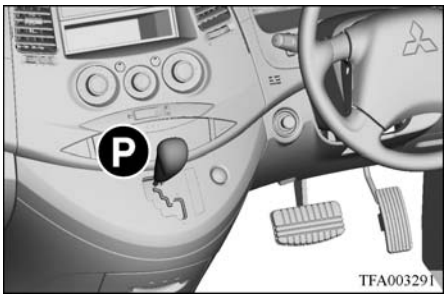
キーレスオペレーション機能またはエマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるとき

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるときの操作については「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」をお読みください。
→P. 4-14

エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるときの操作については「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」をお読みください。
→P. 4-18

エンジンイモビライザー用キーまたはキーレスエントリー用キーを使ってエンジンをかけるとき

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-4
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



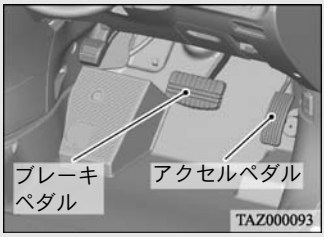
アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

⚠警告

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏みまちがいを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルとまちがえて踏むと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



アドバイス

● エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
- アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
- エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

⚠注意

● アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

MIVEC エンジン車の取り扱い

J00708700048

MIVECエンジンとは…

MIVEC エンジンは，走行状態に応じて，吸気バルブ制御を自動的に低速または高速用に切り換えることにより，最適なエンジン出力が得られます。

アドバイス

● 吸気バルブは，エンジンの冷却水温が低いと高速用に切り換わらないことがあります。このときはエンジン保護のため，アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数は5000rpm以上にはなりません。

オートマチックトランスミッション

J00701900184

INVECS-II　スポーツモード 4A/T

INVECS: Intelligent & Innovative Vehicle Electronic Control System

INVECS-IIは，全運転域での最適制御と学習制御により路面や走行状況を判断して，適切なシフトチェンジを行います。

◆ 上り坂では

アクセルペダルを戻しても不必要なシフトアップを防止し，加速する場合のもたつきをなくしてスムーズな加速が得られます。

◆ 下り坂では

状況に応じて自動的にシフトダウンを行ってエンジンブレーキをかけ，運転者のブレーキを踏む回数を低減します。

⚠注意

- 走行開始直後でオートマチックトランスミッションオイルの温度が低いときは，自動的にシフトダウンしない場合があります。その場合は必要に応じてブレーキを踏んだり，スポーツモードを使ってシフトダウンしてください。常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

◆ スポーティ走行では

急加速，急減速を繰り返すスポーティな走行を行うと，通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

◆ スポーツモード

「スポーツモード」では，マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→「スポーツモード」P. 7-14

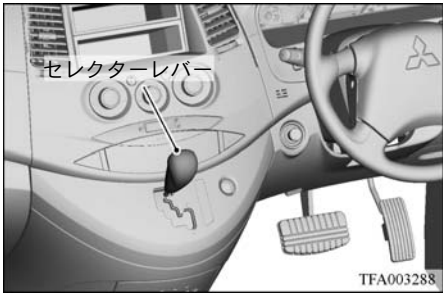
「安全なドライブのために：オートマチック車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P. 2-16

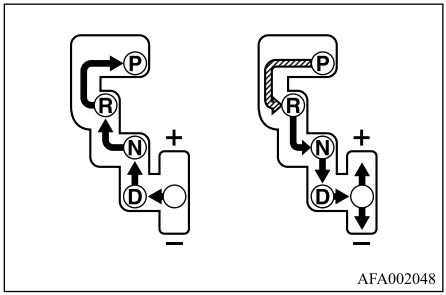
アドバイス

- 新車のときやバッテリーを外した後はスムーズに変速しないことがありますが異常ではありません。これは電子制御システムの学習内容が消去されたためで，数回変速を繰り返した後にはスムーズに変速するようになります。

セレクターレバーの動かし方

J00702000238





ブレーキペダルを踏んだまま，セレクターレバーをゲートに沿って操作します。

セレクターレバーをゲートに沿って操作します。

⚠注意

- つぎの操作をするときは安全のため，ブレーキペダルを踏んだまま操作する習慣をつけましょう。
  Ⓝ→Ⓓ，Ⓝ→Ⓡ

アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため，各位置ごとにいったん止めて確実に行ってください。操作後は必ず表示灯でポジションを確認してください。

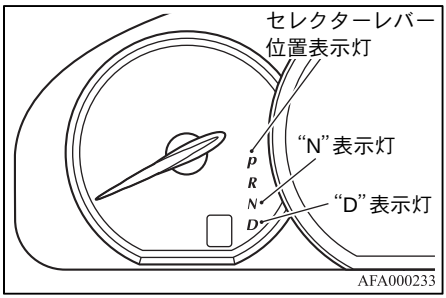
アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，エンジンスイッチが LOCK 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

セレクターレバー位置表示灯／“N”表示灯

J00702200201

セレクターレバーの位置をランプで表示します。



7

⚠注意

● 走行中に“N”表示灯が点滅したときは装置の故障が考えられます。つぎの方法で処置してください。
（セレクターレバー位置がⓅ, Ⓡ, Ⓝのときは“N”表示灯は点滅しません）

[“N”表示灯が速く点滅（1秒間に約2回）しているとき]
オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなっています。
車を安全な場所に止め，セレクターレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。しばらくしたらセレクターレバーをⒹに入れて“N”表示灯が消灯するか確認します。消灯したら元のように走行できます。
消灯しないときや，たびたび点滅するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

[“N”表示灯がゆっくり点滅（1秒間に約1回）しているとき]
トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

● Ⓓ走行中，変速段は表示されません。

セレクターレバーの位置・働き（メインゲート）

J00702500190

P	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。 ⓅでのみエンジンスイッチをLOCKまで回すことができます。
R	（リバース） 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

● ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
D	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 道路状況に合わせて自動的にエンジンブレーキもかけます。

アドバイス

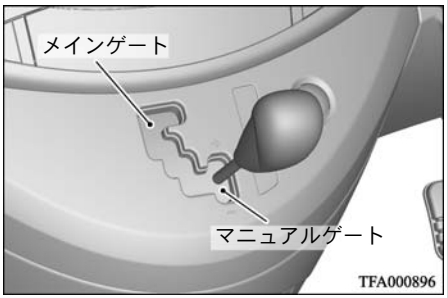
● マニュアルゲートの使い方は「スポーツモード」の項をご覧ください。→P. 7-14

スポーツモード

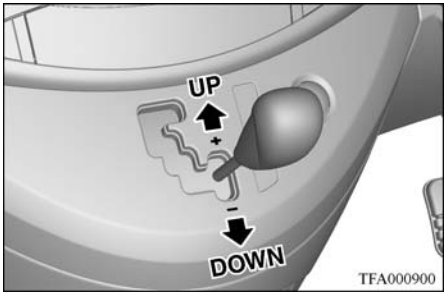
J00702600188

スポーツモードでは，マニュアルゲートでセレクターレバーを前後に動かすだけで，素早くシフトチェンジをすることができます。マニュアルトランスミッションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速とすばやいコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

◆ マニュアルゲート



停車中や走行中にⒹからセレクターレバーをマニュアルゲートに入れることで，スポーツモードが選択されます。通常のⒹ走行に戻りたいときは，セレクターレバーをメインゲートに戻します。



＋(UP): 1操作で1段ずつシフトアップ
－(DOWN): 1操作で1段ずつシフトダウン

⚠注意

- スポーツモードでは1速から2速には自動的にシフトアップしますが，2速から3速，3速から4速へは自動的にシフトアップしません。その時の道路状況に合わせて，エンジン回転数がレッドゾーンに入らないよう適切なシフトチェンジをしてください。
- 急激なエンジンブレーキや急加速はスリップの原因になります。道路状況，スピードに合ったシフトダウンを心がけてください。

アドバイス

- 1速から4速の前進ギヤしか選択できません。後退，駐車するときはセレクターレバーをⓇ，Ⓟに入れてください。
- －(DOWN)側へすばやく2回操作すると3速→1速，4速→2速とシフトダウンすることができます。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし，停車前に1速に入ります。
- 滑りやすい路面での発進性を良くするため，停止中に＋(UP)側へ1回操作すると2速で発進できます。－(DOWN)側へ操作すると1速に戻ります。

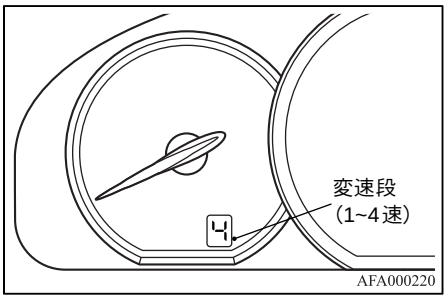
アドバイス

- 走行性能を確保するため，車速によっては＋(UP)側へ操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によっては－(DOWN)側へ操作してもシフトダウンしない場合があります。

◆ スポーツモード表示灯

J00712800024

スポーツモードで走行中は変速段をメーター内に表示します。



アドバイス

- スポーツモードを選択しているときは“D”表示灯は消灯しています。

オートマチック車の運転のしかた

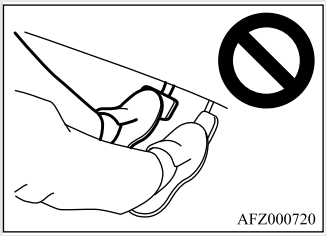
J00702900758

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- **ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。**



⚠注意

- セレクターレバーを Ⓟ, Ⓝ 以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
  特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

2. セレクターレバーを前進はⒹ, 後退はⓇに入れます。

⚠警告

● セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認し，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

⚠警告

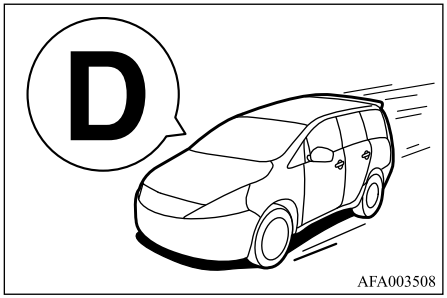
● 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ, Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

● セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
坂道などで，前進の位置（Ⓓまたはスポーツモード）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったリ，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 通常走行

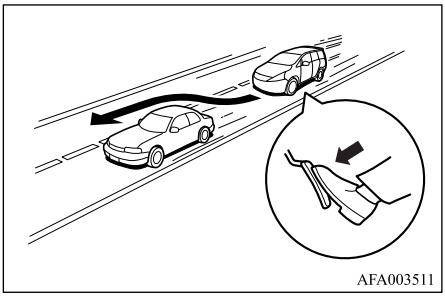
セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。
屈曲路，下り坂でも，全運転域での最適制御と学習制御により走行状況を判断し，適切なエンジンブレーキを自動的にかけます。



セレクターレバーをマニュアルゲートに入れるとスポーツモードが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
→「スポーツモード」P. 7-14

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



停 車

1. セレクターレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーを(N)に入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーが(P)，(N)以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーが(D)位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーを(P)に入れます。

⚠注意

- (P)では車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーが(P)に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに(P)に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，まず駐車ブレーキをかけてからつぎにセレクターレバーを(P)に入れてください。駐車ブレーキをかけずに(P)に入れると発進時にセレクターレバーの操作力が重くなる場合があります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーが(P)以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

マルチセレクト4WD

J00707500010

マルチセレクト4WDは，スイッチの操作により走行状況に合わせて3種類の駆動モードを選択できる4WDシステムです。

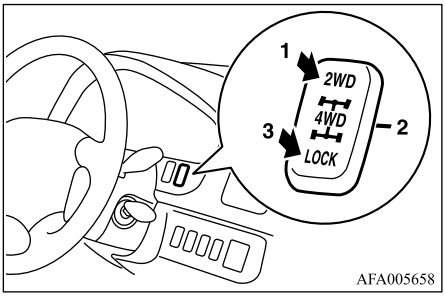
つぎの駆動モードが選択できます。

駆動モード	働き
2WD	乾いた一般道路や高速道路を経済的に走行するときの位置です。 前輪駆動で走行します。 タイヤの空転を防ぐため，発進時のみ4輪駆動になります。
4WD	基本位置です。 走行状況に合わせて，前輪駆動から4輪駆動まで駆動力の配分を自動的にコントロールします。
LOCK	雪道または砂地など，タイヤがスリップしやすいときに一時的に使用する位置です。 大きな駆動力を後輪にも伝えるため，脱出を容易にします。

4WDセレクタースイッチ

J00709200109

エンジンスイッチが ON のときスイッチを押すと駆動モードが切り換わります。



1- 2WD
2- 4WD
3- LOCK

⚠注意

- 雪道等で前輪を空転させたまま，4WDセレクタースイッチを操作しないでください。車両が思わぬ方向に飛び出すおそれがあります。
- 乾いた舗装道路は「2WD」または「4WD」モードで走行してください。「LOCK」モードでは走行しないでください。
  乾いた舗装道路を「LOCK」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，LOCKおよび4WD作動表示灯が点滅しやすくなります。
  →「4WD 作動表示灯／ LOCK 表示灯」P. 7-20

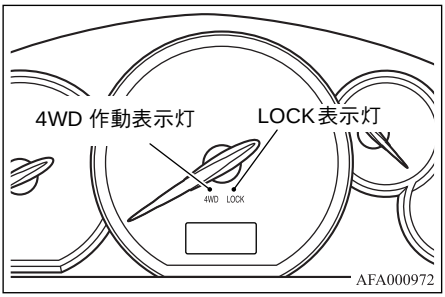
アドバイス

- 走行中でも停車中でも駆動モードを切り換えることができます。

4WD作動表示灯／LOCK表示灯

J00707800114

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると数秒後に4WDセレクタースイッチの状態を表示します。

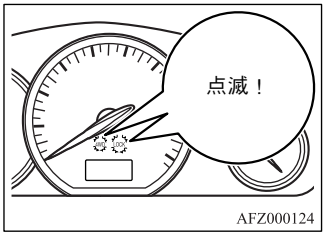


各駆動モードでの表示灯の点灯状態はつぎの通りです。

駆動モード	4WD 作動表示灯	LOCK 表示灯
2WD	消灯	消灯
4WD	点灯	消灯
LOCK	点灯	点灯

⚠注意

- LOCKおよび4WD作動表示灯が交互に点滅した場合は，駆動系部品を保護するため自動的に前輪駆動になり，4WDセレクタースイッチによる駆動モードの切り換えはできなくなります。
  その場合は，4WDセレクタースイッチを「2WD」モードにして走行してください。
  しばらく走行して表示灯が消灯すればもとのように走行できます。約 5 分過ぎても交互に点滅したままのときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- LOCKおよび4WD作動表示灯が同時に点滅した場合は，4WD セレクタースイッチを「4WD」モードにして，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



4WD車の上手な運転

J00707400019

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD車と同様，ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転を心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - 砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの連続走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり，重大な故障の原因となるおそれがあります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600388

乾燥した舗装道路を走行するときは

⚠注意

- 乾いた舗装道路は「2WD」または「4WD」モードで走行してください。
  「LOCK」モードでは走行しないでください。
  乾いた舗装道路を「LOCK」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，LOCKおよび4WD作動表示灯が点滅しやすくなります。
  →「4WD 作動表示灯／ LOCK 表示灯」P. 7-20

急なカーブを回るときは

「LOCK」モード時に急なカーブを低速で旋回した場合，ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。
これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので，４輪のタイヤの軌跡（回転差）が違うために発生する４輪駆動車特有の現象です。
このような現象が発生したときには，ハンドルを直進状態に戻すか「2WD」または「4WD」モードに切り換えることによって解消することができます。

⚠注意

- 急旋回したときは，タイトコーナーブレーキング現象を起こし，運転しにくくなりますので，急な旋回は避けてください。
- 急旋回を繰り返し行うと，LOCKおよび4WD作動表示灯が点滅しやすくなります。
  →「4WD 作動表示灯／ LOCK 表示灯」P. 7-20

アドバイス

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

タイヤ，ホイールについて

4WD車は４輪のタイヤに駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- ４輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ, ホイールのサイズ」P. 14-6
- タイヤ，ホイールを交換するときは４輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-3
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-7

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，LOCKおよび4WD作動表示灯が点滅しやすくなります。
  →「4WD 作動表示灯／ LOCK 表示灯」P. 7-20

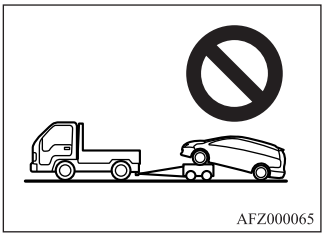
けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
4WD車は，必ず４輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか，４輪接地の状態でけん引してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない，または異音がするとき。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れているとき。

⚠注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
  →「けん引」P. 13-26



- 4WDセレクタースイッチを「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させたりしないでください。
  接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

J00703000264

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- ４輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。(車載の応急用スペアタイヤは使用できます。)
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などを走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体, ハンドル, ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，エンジンルーム内より作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

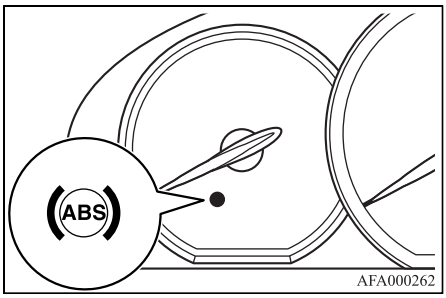
ABS警告灯

J00704500501

正常なときは, エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600153

◆ ABS 警告灯のみ点灯したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても点灯したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABSは作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。
  このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても点灯したままのときや，たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

ブレーキ力の配分機能が作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アクティブスタビリティコントロール（ASC）

タイプ別装備

J00710300142

アクティブスタビリティコントロール（ASC）はトラクションコントロール機能とスタビリティーコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム（ABS）」P. 7-24

→「トラクションコントロール機能」P. 7-27

→「スタビリティコントロール機能」P. 7-27

⚠注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがありますが，これはASC装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチをONにしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400068

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

● 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500069

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

● スタビリティコントロール機能は，車速が約30km/h以上で作動します。

ASCのON/OFF作動切り換え

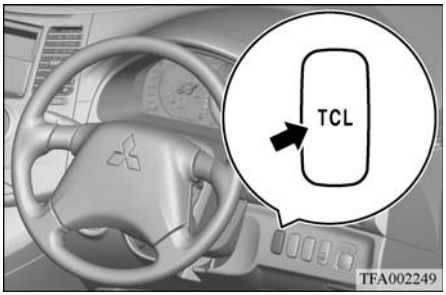
J00710800062

アドバイス

● ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもトラクションコントロール機能の働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは，つぎのように処置すると抜け出しやすくなります。
- 2WD車：
  TCLスイッチをOFFにする。
- 4WD車：
  「LOCK」モードに切り換える。
  →「4WDセレクタースイッチ」P. 7-19

2WD車

エンジンスイッチを ON にすると自動的にトラクションコントロール機能は ONになります。トラクションコントロール機能をOFFにしたいときはTCLスイッチを押します。スイッチを押すと，メーター内の表示灯が点灯します。もう一度押すとONになります。
通常はトラクションコントロール機能をONにしてお使いください。

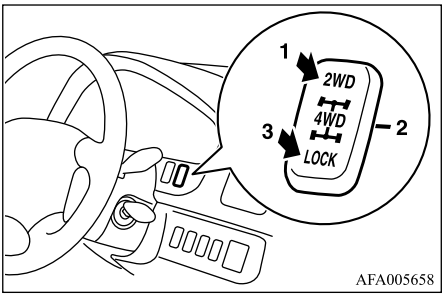


アドバイス

● TCL　スイッチではトラクションコントロール機能のみ切り換えることができます。
スタビリティコントロール機能は切り換えることができません。

4WD車

4WDセレクタースイッチを「LOCK」モードに切り換えると，ASCがOFFになります。「LOCK」モードに切り換えると，メーター内の表示灯が点灯します。「2WD」モード，「4WD」モードに切り換えると，ASCがONになります。



1- 2WD
2- 4WD
3- LOCK

アドバイス

- 「LOCK」モードではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方がOFFになります。

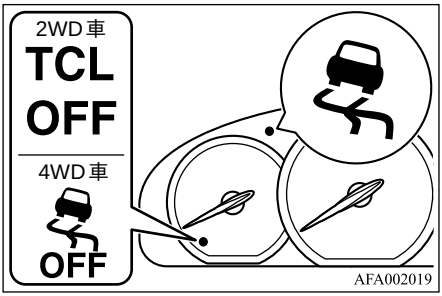
表示灯

J00710600060

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



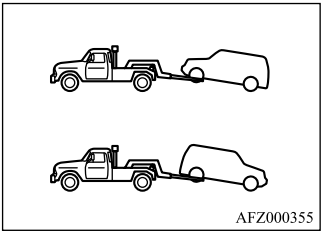
- ASC作動表示灯
  ASCが作動すると点滅します。
- TCL OFF表示灯（2WD車）
  TCLスイッチでトラクションコントロール機能をOFFにしているとき点灯します。
- ASC OFF表示灯（4WD車）
  4WDセレクタースイッチを「LOCK」モードに切り換えてASCをOFFにしているとき点灯します。

⚠注意

- 表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- 表示灯とTCL OFFまたは表示灯が同時に点灯したときは装置の故障が考えられます。安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。再度エンジンをかけ，表示灯とTCL OFFまたは表示灯が消灯すれば異常ありません。消灯しないときや，たびたび点灯するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 滑りやすい路面などでブレーキ制御が連続で作動し，ブレーキ装置の温度が上昇しすぎた場合は，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能の作動を一時停止します。これはブレーキ装置を保護するためで通常走行に問題ありません。（エンジン出力の制御によるトラクションコントロール機能は作動します。）
  この場合はTCL OFFまたは表示灯が点滅し，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能が停止していることを運転者に知らせます。車をいったん停車し，TCL OFFまたは表示灯が消灯すればブレーキ制御によるトラクションコントロール機能は再び作動します。

⚠注意

- 2WD車は，エンジンスイッチをONにして前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，トラクションコントロール機能が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチをLOCKまたはACCに，後輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチをACCにしてください。
  →「けん引」P. 13-26



アドバイス

- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため表示灯が点滅しやすくなります。

クルーズコントロール（自動定速走行装置）

タイプ別装備

J00704000115

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード（約40km/h~100km/h）で定速走行する装置です。

⚠注意

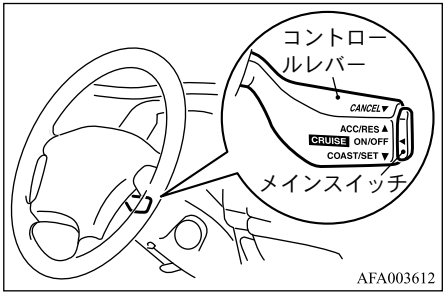
- つぎのような道路では安全のため，使用しないでください。
  - 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
  - 急なカーブや見通しの悪い道路
  - 滑りやすい道路（凍結路，積雪路，じゃり路，濡れた道路）
  - 長い急な下り坂

アドバイス

- 上り坂や下り坂では，状況により一定の速度を保てない場合があります。
- 上り坂では、設定した車速を下回ることがあります。
  このような場合は、アクセルペダルを踏んで希望の車速まで加速してください。
- 下り坂では，設定した車速を上回ることがあります。
  ブレーキペダルを踏んで減速してください。
  この場合、定速走行は終了します。

メインスイッチ／コントロールレバー

J00705600020



⚠注意

- 定速走行しないときは，安全のためクルーズコントロールを OFF にしてください。

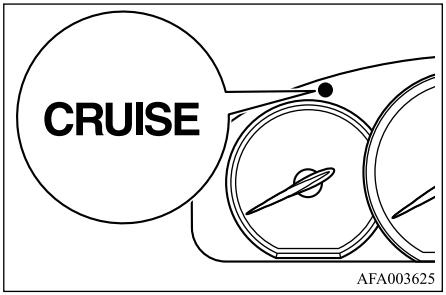
アドバイス

- エンジンを止めるとクルーズコントロールは自動的にOFFになります。

クルーズコントロール表示灯

J00705700034

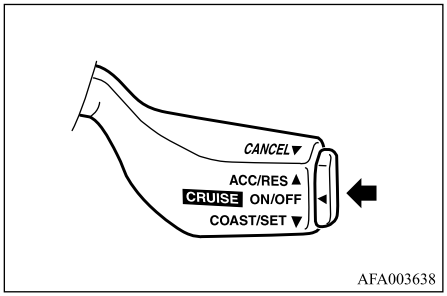
メインスイッチを押してクルーズコントロールをONにすると点灯します。



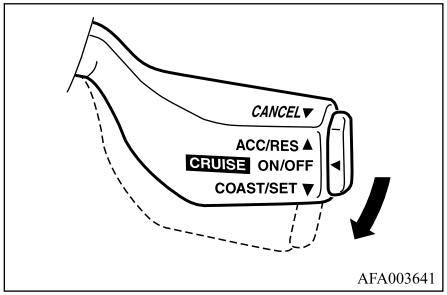
車速をセットするときは

J00705800022

1. エンジンスイッチがONのときメインスイッチを押してクルーズコントロールをONにします。



2. 希望する車速まで加速または減速し，コントロールレバーを押し下げて手を離します。

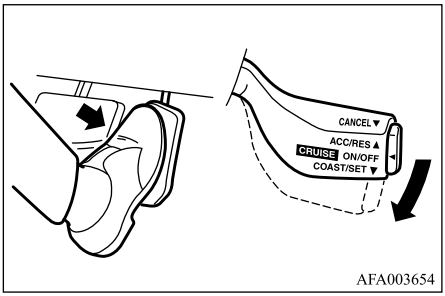


設定車速を変更するときは

J00705900023

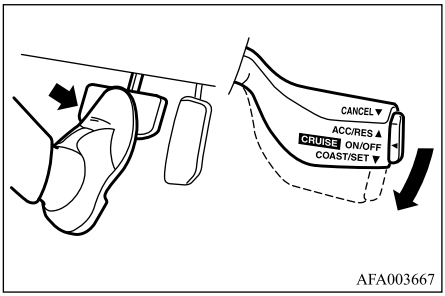
◆ アクセルペダルを使って

希望する車速まで加速し，コントロールレバーを押し下げて手を離します。



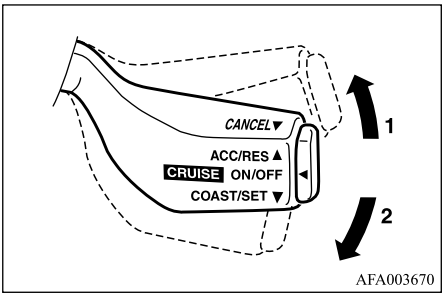
◆ ブレーキペダルを使って

希望する車速まで減速し，コントロールレバーを押し下げて手を離します。



◆ コントロールレバーを使って

コントロールレバーを操作し，希望する車速になったら手を離します。



1- 加速したいとき
2- 減速したいとき

7

アドバイス

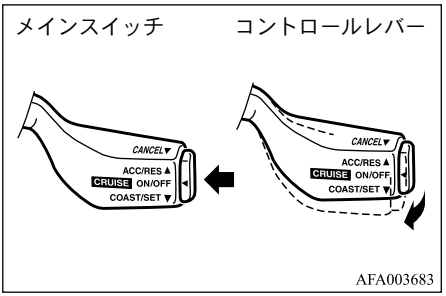
- コントロールレバーを軽く上または下に操作して手を離すと，速度が約1.5km/hずつ変化して設定車速を微調整することができます。
- アクセルペダルで加速したときは，ペダルから足を離すと元の設定車速に戻ります。

解除するときは

J00706000050

つぎのいずれかの方法で解除します。

- メインスイッチを押してクルーズコントロールをOFFにする
- コントロールレバーを手前に引く
- ブレーキペダルを踏む



つぎの場合は自動的に解除されます。

- セットした速度より車速が約15km/h以上下がったとき
- 車速が約40km/h以下になったとき
- アクティブスタビリティコントロール（ASC）システムが作動したとき
  →「アクティブスタビリティコントロール（ASC）システム」P. 7-26

⚠注意

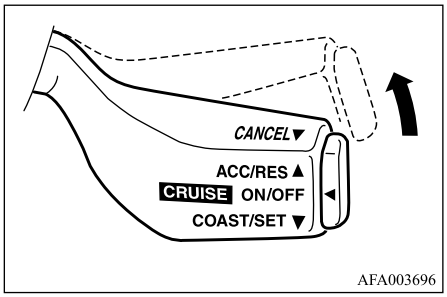
- セレクターレバーをⓃにしてもシステムは自動的に解除されますが，走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり,思わぬ事故につながるおそれがあります。

解除前の設定車速に戻すときは

J00706100107

車速が約 40km/h 以上であれば，コントロ ールレバーを引き上げると，元の設定車速に戻すことができます。
ただし，つぎの場合はコントロールレバーを引き上げても，元の設定車速に戻すことはできません。もう一度車速をセットし直してください。

- エンジンを切ったとき
- メインスイッチを押したとき
- 車速が約40 km/h以下になったとき
- クルーズコントロール表示灯が消灯しているとき



デュアルアラウンドモニター システム（ノーズビューカメラ&リヤビューカメラ&コーナーセンサー&駐車ガイドシステム）

タイプ別装備

J00704100044

デュアルアラウンドモニターシステムは「ノーズビューカメラ」,「リヤビューカメラ」,「コーナーセンサー」および「駐車ガ イドシステム」の４つのシステムで構成されています。

→「ノーズビューカメラ」P. 7-34
→「リヤビューカメラ」P. 7-37
→「コーナーセンサー」P. 7-40
→「駐車ガイドシステム」P. 7-44

ノーズビューカメラ

タイプ別装備

J00707000060

ノーズビューカメラは，車両前方左右方向の映像を三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) の画面に表示させる装置です。

⚠注意

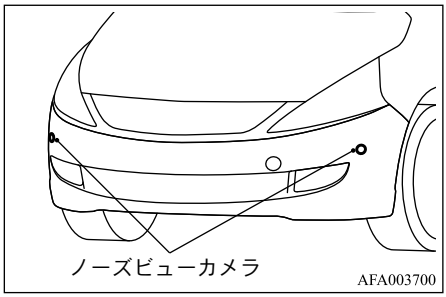
- ノーズビューカメラは，車両前方左右方向の接近車両などを確認するための補助装置です。
  映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，ノーズビューカメラがついていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  ノーズビューカメラだけを頼りに運転しないでください。

画面に表示できる範囲

ノーズビューカメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また，車の前方中央部分などは表示できませんので，必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

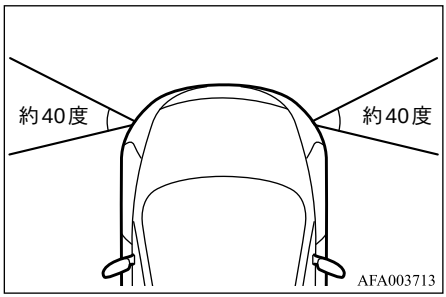
◆ ノーズビューカメラの取り付け位置

カメラはフロントバンパーの左右コーナー部に内蔵されています。



◆ ノーズビューカメラの表示範囲

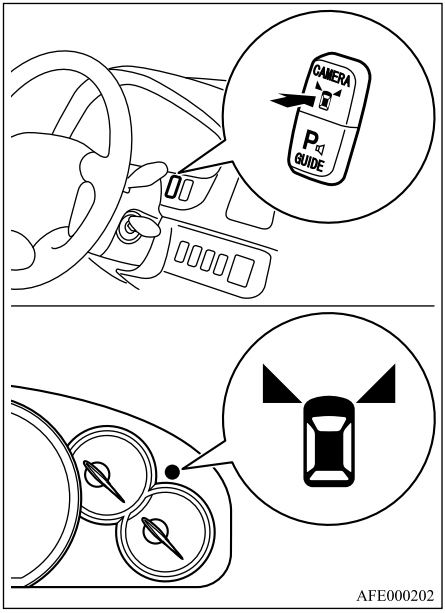
車両の前方左右約40度。



使い方

J00707100032

エンジンスイッチが ON のとき，カメラ AUTO スイッチを押すとメーター内のカメラAUTO表示灯が点灯します。



発進後車速が約 6km/h 以下のとき，または走行中車速が約 10km/h 以下に下がると，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) の画面に車両前方左右方向の映像が自動的に表示されます。もう一度カメラ AUTO スイッチを押すと作動が停止し, メーター内のカメラAUTO表示灯が消灯します。

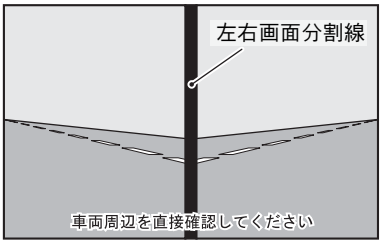
アドバイス

- 車速が約 10km/h 以下に下がって映像が表示された後，約 3 秒以内に約 6km/h 以下にならない場合は自動的に元の画面に戻ります。

アドバイス

- ノーズビュー画面を表示中，つぎの操作で表示画面が切り換わります。
  - リヤビューカメラ付き車：
    セレクターレバーをⓇに入れるとリヤビューカメラが作動し，車両後方の映像に切り換わります。
  - 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)またはマルチディスプレイステーション(MDS)付き車：
    画面に触れるとサイドメニューが表示されます。サイドメニューのスイッチを押すと，押した画面に切り換わります。サイドメニューを消したいときは，サイドメニュー以外の画面に触れてください。
- エンジンスイッチを切っても，カメラAUTOスイッチの状態を記憶しています。

ノーズビュー画面の表示例



AFA001719

⚠注意

- 画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

アドバイス

- 車，道路が傾いているときは，左右の映像がずれたり，距離感覚が異なって見えることがあります。
- バンパーをぶつけたときなどは，左右の映像が正しく表示されないことがあります。
- ノーズビューカメラの映像に切り換わるときに映像が乱れることがあります。

アドバイス

- ノーズビューカメラの映像が連続で約4分30秒以上続くと自動的に元の画面に戻ります。つぎのいずれかの操作で映像の再表示をすることができます。
  - カメラ AUTO スイッチを押していったんノーズビューカメラの作動を停止し，再度スイッチを押す。
  - 車速を約6km/h以上に上げてから，再度約6km/h以下に下げる。
  - リヤビューカメラ付き車は，セレクターレバーをⓇに入れてから，再度セレクターレバーをⓇ以外に入れる。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき
    → 高輝度の点が画面に映るとCCDカメラ特有のスミヤ現象 *1 が発生することがあります。
    *1 スミヤ現象とは…
    高輝度の点（バンパーに反射した太陽等）が画面に映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象
- カメラが熱いとき，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが，故障ではありません。
- 夜間などに画面全体が白くなったり，青い点が映ることがあります。
- 周囲の状況によっては左右で映像の明るさ，色合いが異なることがあります。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- 左右のカメラ映像を左右方向に圧縮しているため，画面の映像は実際と異なります。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない

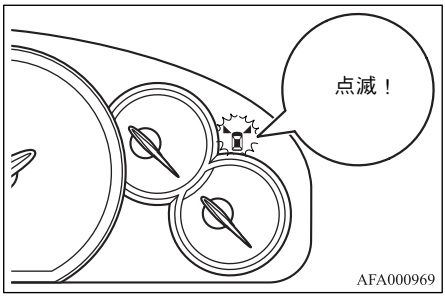
警告表示

J00708600034

ノーズビューカメラに何らかの異常が発生したときは，カメラ AUTO 表示灯が点滅します。

アドバイス

- 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンスイッチをONにすると，カメラAUTO表示灯が 1 回点滅します。



リヤビューカメラ

タイプ別装備

J00704200058

リヤビューカメラは，車両後方の映像を三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) の画面に表示させる装置です。

⚠注意

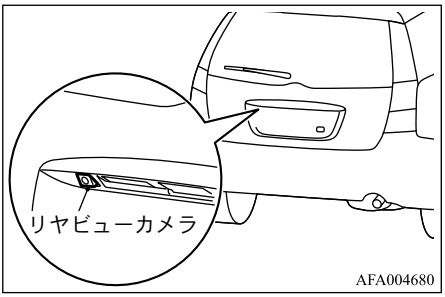
- リヤビューカメラは，車両後方の障害物などを確認するための補助装置です。
  映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，リヤビューカメラが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  リヤビューカメラだけを頼りに運転しないでください。

画面に表示できる範囲

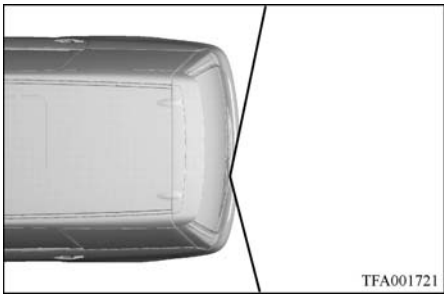
リヤビューカメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また，リヤバンパーの両端や下部などは表示できませんので後退するときは，必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

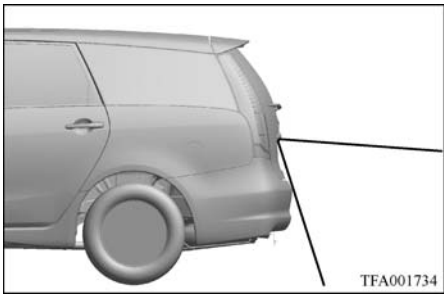
◆ リヤビューカメラの取り付け位置

カメラはテールゲートのハンドル付近に内蔵されています。



◆ リヤビューカメラの表示範囲





使い方

J00707200017

エンジンスイッチが ON のときにセレクターレバーをⓇに入れると，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) の画面に車両後方の映像が自動的に表示されます。

セレクターレバーをⓇ以外の位置にすると，元の画面に戻ります。

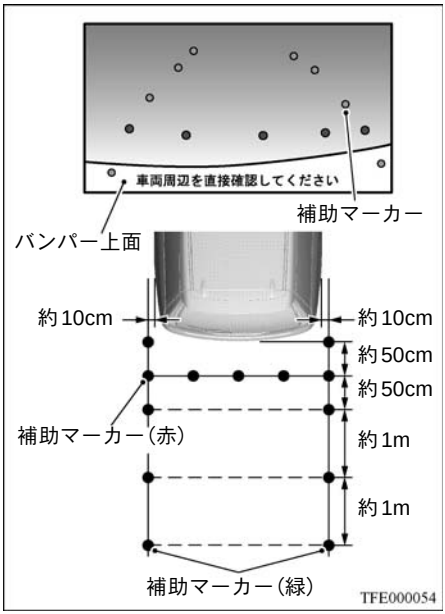
アドバイス

- 後退時のブザーはセレクターレバーがⓇにあることを知らせるもので，障害物があることを警告するブザーではありません。
- リヤビュー画面を表示中，画面に触れるとサイドメニューが表示されます。サイドメニューのスイッチを押すと，押した画面に切り換わります。
  サイドメニューを消したいときは，サイドメニュー以外の画面に触れてください。

リヤビュー画面の表示例

リヤビュー画面内の点（補助マーカー）でつぎのことを表示しています。目安としてお使いください。

- 赤—車両後方約50cm地点
- 緑—車体幅+左右約10cm地点



⚠注意

- リヤビューカメラは特殊レンズを使用しているため，画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

アドバイス

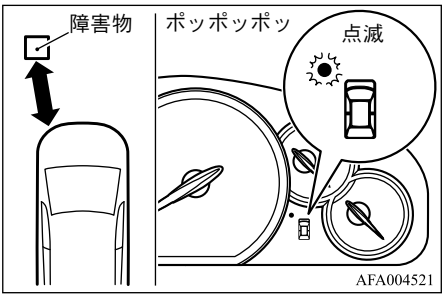
- 乗車人数，積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合，画面内の点（補助マーカー）の表示が実際と異なることがあります。
- 画面内の点（補助マーカー）は水平な路面上を基準としているため，立体物との距離の目安にしないでください。
- リヤビューカメラは特殊なレンズを使用しているため，駐車場などの区画線は，画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき
    → 高輝度の点が画面に映るとCCDカメラ特有のスミヤ現象 *1 が発生することがあります。
    *1 スミヤ現象とは…
    高輝度の点（バンパーに反射した太陽等）が画面に映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象
- カメラが熱いとき，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが，故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない

コーナーセンサー

タイプ別装備

J00704300118

車庫入れや縦列駐車などのときに，接近する障害物の位置とおおよその距離をメーター内のコーナーセンサー表示灯とブザー音で運転者に知らせる装置です。



⚠注意

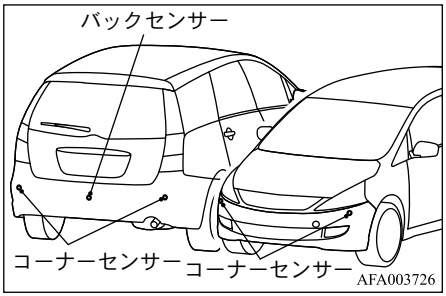
- コーナーセンサーは車と障害物とのおおよその距離の確認を補助する装置です。
  感知できる範囲および物体は限られています。障害物によっては，正確に感知しないことがありますので過信せず，コーナーセンサーが付いていない場合と同じように慎重に運転してください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  コーナーセンサーだけを頼りに運転しないでください。

障害物を感知できる範囲

コーナーセンサーが感知できる範囲は図の範囲に限られています。また，車の前方中央部分，低い障害物，細い障害物などは感知できませんので，必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

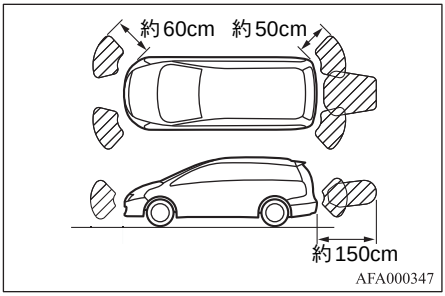
◆ コーナーセンサーの取り付け位置

コーナーセンサーはバンパーコーナー部に 4 箇所，バックセンサーはリヤバンパーの中央部に 1 箇所あります。



◆ コーナーセンサーの感知範囲

車両前方はフロントコーナーセンサーから約60cm以内，車両後方はリヤコーナーセンサーから約50cm以内。バック方向はセンサーから約150cm以内。



アドバイス

- バンパーをぶつけたときは，コーナーセンサーの故障などにより装置が正しく機能しなくなるおそれがあります。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- バンパーの真下付近は感知しません。また，コーナーセンサーの取り付け位置より高さの低い障害物は，一度感知しても感知しなくなることがあります。

⚠注意

- つぎの場合，コーナーセンサーが正常に作動しないことがあります。
  - センサー部および周辺部に氷，雪または泥などが付着したとき
  - センサー部が凍結したとき
  - 他の超音波ノイズを受信したとき（他車のホーン，オートバイのエンジン音，ブレーキ音，無線機，どしゃぶりの雨や水しぶき，タイヤチェーンの走行音など）
  - センサー部がいちじるしく高温または低温になったとき（炎天下，寒冷時での長時間駐車など）
  - 車が大きく傾いたとき
  - 悪路（凸凹道，じゃり道，坂道，草むらなど）を走行したとき
  - 障害物に接近しすぎたとき
  - センサー部および周辺部を手などでふさいだり，ステッカーやアクセサリーなどを取り付けたとき
- つぎのようなものは，コーナーセンサーが感知しないことがあります。
  - 金網やロープなどの細いもの
  - 雪などの音波を吸収しやすいもの
  - 鋭角的な形状のもの
  - ガラスなど表面が滑らかなもの
  - 縁石など高さの低いもの

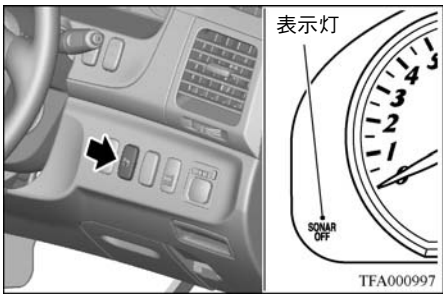
使い方

J00706300154

エンジンスイッチがONで車速が約20km/h以下のとき作動します。
作動を止めたいときは，コーナーセンサースイッチを押すと停止し，メーター内のSONAR OFF（コーナーセンサーOFF）表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと作動し，「ピポ」と音が鳴りSONAR OFF（コーナーセンサーOFF）表示灯が消灯します。

アドバイス

- エンジンスイッチをONにすると，SONAR OFF（コーナーセンサーOFF）表示灯が1回点滅します。



作動中に障害物を感知すると，その障害物の方向をメーター内のコーナーセンサー表示灯で表示し，警報ブザーが鳴ります。

⚠注意

- 車速が約 20km/h 以上のときは，コーナーセンサースイッチが ON でも コーナーセンサーは作動しません。

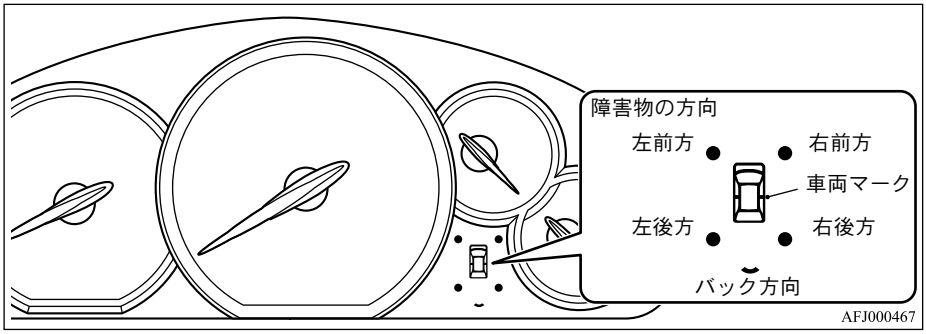
アドバイス

- エンジンスイッチを切っても，コーナーセンサースイッチの状態を記憶しています。

◆ 障害物の表示／警報

J00709000048

車の周辺に障害物がある場合は，その障害物の方向をメーター内のコーナーセンサー表示灯で表示し，ブザーにより警報します。
バック方向は，セレクターレバーがⓇの位置でのみ作動します。



7

コーナーセンサー（コーナー方向に障害物）

車と障害物との距離	フロント:約60cm~40cm リヤ:約50cm~40cm	約40cm~20cm	約20cm以内
表示	ゆっくり点滅	速く点滅	点灯
ブザー(低音)	ポッポッポッ (断続音)	ポポポ (速い断続音)	ポー (連続音)

バックセンサー（バック方向に障害物）

車と障害物との距離	約150cm~100cm	約100cm~50cm	約50cm以内
表示	ゆっくり点滅	速く点滅	点灯
ブザー(高音)	ピッピッピッ (断続音)	ピピピ (速い断続音)	ピー (連続音)

⚠注意

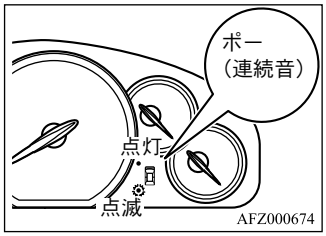
- 距離は温度，湿度，障害物の形などにより誤差が生じることがあります。あくまでも参考としてご利用ください。

アドバイス

- セレクターレバーがⓅの位置では警報ブザーは鳴りません。

アドバイス

● いくつかの障害物を同時に感知した場合，すべての障害物の位置を表示します。ただし，ブザーによる警報はつぎの優先順位で行います。
• 障害物の距離が異なる場合：
より近い障害物を優先し，そのブザー音により警報します。
例：車の左前方20cm以内と左後方40cmに障害物がある場合

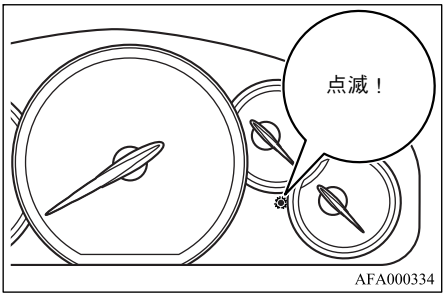


● 障害物感知状態のときに，さらに別方向のセンサーが感知したときは，「ピポ」と警報します。

警告表示

J00706400096

コーナーセンサーに何らかの異常が発生したときは，異常の発生したセンサーの位置の表示灯が点滅し，約5秒間警報ブザーが鳴ります。
（表示灯はシステムが正常に戻るまで点滅し続けます。また，この時車両マークは消灯します。→P. 7-42）
例：右前センサーに異常発生



アドバイス

● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

駐車ガイドシステム

J00711100017

駐車ガイドシステムは，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）またはマルチディスプレイステーション（MDS）の画面表示と音声案内によって車庫入れおよび縦列駐車を支援する装置です。

⚠注意

- 駐車ガイドシステムは駐車を支援するための補助装置です。駐車ガイドのみを過信せず，駐車ガイドシステムが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  画面の映像は実際と距離感覚が異なります。駐車ガイドシステムだけを頼りに運転しないでください。
- 駐車ガイドシステムは，障害物を感知して知らせる機能はありません。また，駐車スペースに十分な広さがあるかを判断する機能もありません。システムだけを過信せず，周囲の車両，障害物または人などに接触しそうなときは，ブレーキを踏むなどの操作で回避してください。
- つぎの場合は，音声案内の通りに操作しても，目標とした駐車位置から外れることがあります。
  - 重い荷物を積んでいるとき
  - タイヤが極端に摩耗していたり，正しい空気圧ではないとき
  - カメラの向きが正しくないとき
  - 雪道や凍結路など，路面が滑りやすいとき
  - 応急用スペアタイヤまたはタイヤチェーンを装着しているとき
  - 坂道など，路面が平坦でないとき

アドバイス

- 車，道路が傾いているときは，左右のノーズビューカメラの映像がずれたり，距離感覚が異なって見えることがあります。
- フロントバンパーをぶつけたときなどは，左右のノーズビューカメラの映像が正しく表示されないことがあります。
- テールゲートをぶつけたときや，テールゲートが完全に閉まっていないときなどは，リヤビューカメラの映像が正しく表示されないことがあります。
- タイヤを交換するとシステムが正常に作動しないことがあります。タイヤまたはホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき
    → 高輝度の点が画面に映ると CCD カメラ特有のスミヤ現象 *1 が発生することがあります。
    *1 スミヤ現象とは…
    高輝度の点（バンパーに反射した太陽等）が画面に映るとその点の上下(縦方向)に尾を引く現象
- 夜間などに画面全体が白くなったり，青い点が映ることがあります。
- 周囲の状況によっては左右で映像の明るさ，色合いが異なることがあります。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- 左右のカメラ映像を左右方向に圧縮しているため，画面の映像は実際と異なります。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない

システムの操作手順

J00711200018

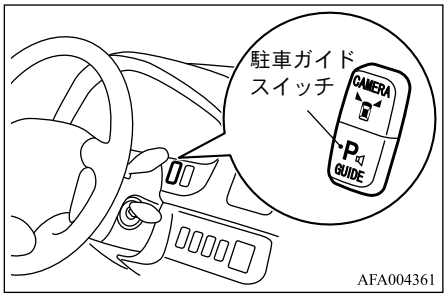
駐車ガイドシステムはつぎの条件がそろうと操作することができます。

- 車が止まっている
- セレクターレバーがⓇ以外に入っている
- ノーズビューカメラが作動状態になっている

操作ができるようになったらつぎの手順にしたがって進めます。

1. 駐車パターンを決める→「駐車パターンを選ぶときは」P. 7-46
2. 駐車位置と車両を合わせる→「駐車位置と車両を合わせるときは」P. 7-47
3. 駐車案内にしたがって駐車する→「駐車案内にしたがって駐車するときは」P. 7-49

各手順の操作は駐車ガイドスイッチで行います。



つぎのようなときは駐車ガイドシステムは終了し，元の画面に戻ります。

- 車速が約30km/h以上になったとき
- ノーズビューカメラのカメラAUTOスイッチをOFFにしたとき
- 駐車ガイドシステムを開始してから約 5 分が経過したとき
- 駐車案内中に駐車ガイドスイッチを押したとき
- 駐車案内中に駐車ガイドシステムが表示したルートから大きく外れたとき

アドバイス

- 駐車ガイドシステムの設定を調整する駐車支援サービス画面があります。
  万一，駐車支援サービス画面が表示されたときは，駐車ガイドスイッチの操作は行わず，エンジンスイッチを LOCK にして画面を終了してください。
  その後，速やかに三菱自動車販売会社で設定の点検を受けてください。

駐車パターンを選ぶときは

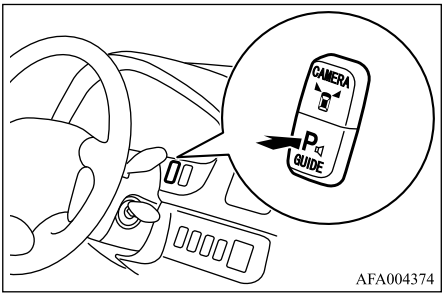
J00711300019

1. 車を停車します。

アドバイス

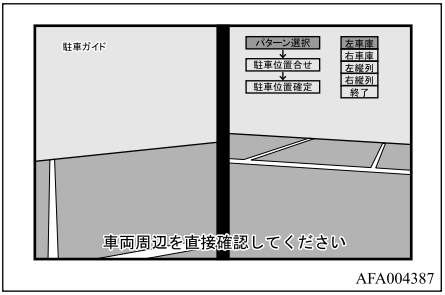
- ノーズビューカメラが作動していることを確認してください。
  →「ノーズビューカメラ：使い方」P. 7-35

2. セレクターレバーを Ⓓ に入れたまま駐車ガイドスイッチを軽く押して，駐車ガイドシステムを作動させます。



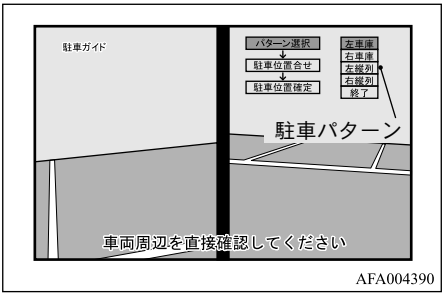
AFA004374

3. 画面に駐車パターン選択画面が表示されます。



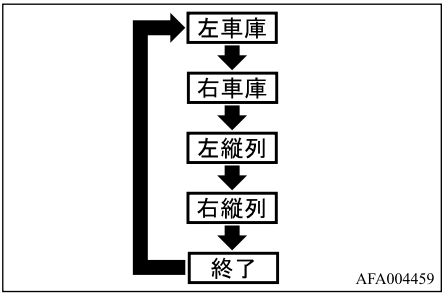
AFA004387

4. 駐車パターンを選択します。
   駐車パターンは画面右上に表示されます。



AFA004390

駐車ガイドスイッチを軽く押すごとに駐車パターンが「左車庫」→「右車庫」→「左縦列」→「右縦列」→「終了」→「左車庫」と切り換わります。
選択したい駐車パターンを表示させ，約 1 秒以上経過すると駐車パターンが決定します。



AFA004459

5. 選択した駐車パターンが決定し，駐車位置合せ画面に切り換わります。

アドバイス

- 駐車パターンが決定する前に走行を始めると，手順 3 の画面に戻ってスイッチ操作ができなくなります。この場合，再度車を停車して手順 4 からやり直してください。
- 駐車パターン選択画面を表示中，セレクターレバーを Ⓡ に入れると画面表示が消えてスイッチ操作ができなくなります。

駐車位置と車両を合わせるときは

J00711400010

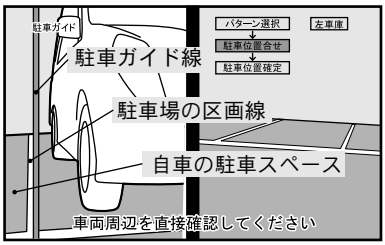
駐車パターンを決定すると，画面に駐車位置合せ画面が表示されます。
→「駐車パターンを選ぶときは」P. 7-46

AFA004404

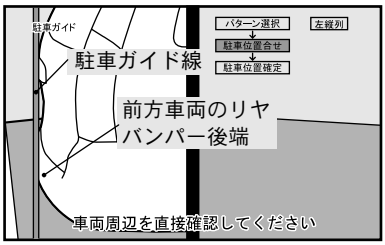
ここでは，目標物の周りに他の車両があることを例に説明しています。

1. 駐車位置合せの基準にする目標物を決め，目標物と駐車ガイド線が重なる位置に車を停車します。

左右車庫入れの場合



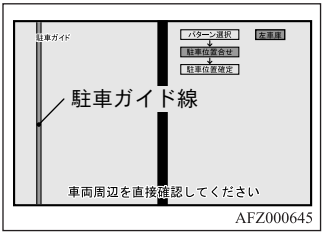
左右縦列駐車の場合



AFE000228

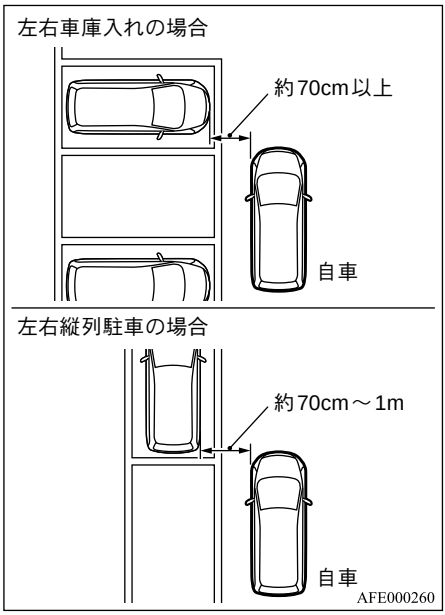
アドバイス

- つぎのような物が目標物に適しています。
  - 左右車庫入れの場合：
    駐車場の区画線，両脇の車両側面，車庫の壁やポールなど
  - 左右縦列駐車の場合：
    駐車場の区画線，前方車両のリヤバンパー後端，車庫の壁やポールなど
- 駐車ガイド線は左右いずれか必要な方のみ表示されます。
  左車庫入れ，左縦列駐車の場合：左側のみ
  右車庫入れ，右縦列駐車の場合：右側のみ
  例：左車庫入れの場合



AFZ000645

2. 車庫入れをする場合は，他の車両から約 70cm の間隔をあけて垂直に停車します。
   縦列駐車をする場合は，駐車スペース前方車両から約70cm～1mの間隔をあけて平行に停車します。



AFE000260

⚠注意

● つぎのようなときは，周囲の車両や障害物に接触するおそれがあります。
［車庫入れのとき］
- 車両が他の車両に対して垂直でないとき
- 他の車両との間隔が約 70cm 以下のとき

［縦列駐車のとき］
- 車両が駐車スペースに対して平行でないとき
- 駐車スペース前方車両との間隔が約 70cm 以下のとき

アドバイス

● 前方車両の大きさや駐車位置によっては，駐車スペース中央に案内されないことがあります。

3. 駐車ガイドスイッチを軽く押すと駐車位置が決定し，駐車案内を開始します。

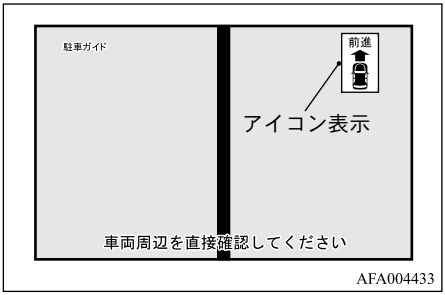
アドバイス

● 駐車位置合せ画面を表示中，セレクターレバーをⓇに入れると画面表示が消えてスイッチ操作ができなくなります。

駐車案内にしたがって駐車するときは

J00711500011

駐車位置を決定すると，画面のアイコン表示および音声案内によって駐車案内を開始します。



AFA004433

◆ アイコン一覧

アイコン表示	アイコン表示の意味
前進	前進してください。
バック	後退してください。
左きり	ハンドルを左いっぱいまで切ってください。
右きり	ハンドルを右いっぱいまで切ってください。
中立	ハンドルを左に切ってタイヤがまっすぐになるようにしてください。
中立	ハンドルを右に切ってタイヤがまっすぐになるようにしてください。
終了	駐車案内を終了します。

7

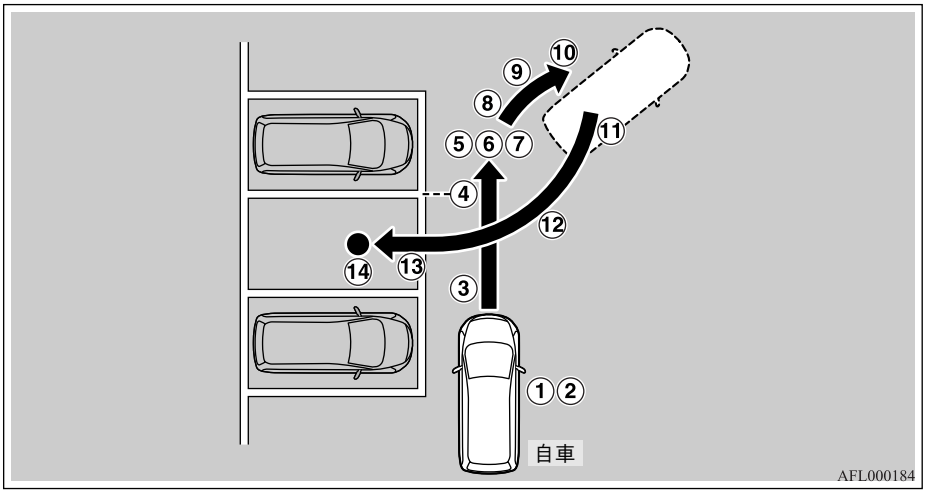
◆ 駐車案内の例

駐車案内の例として，左側へ駐車する場合の操作をつぎに説明しています。
なお，右側へ駐車する場合は，ハンドル操作が左右逆になります。

アドバイス

- 車を移動中は「ピッピッピッ」と断続音が鳴ります。断続音は停車位置に近づくにつれて早くなります。
- 停止位置になるとブザー音が「ポン」と鳴るので車を停車してください。
- 車が停車位置を越えても 3 回まで位置を修正することができます。 3 回の修正で正しい停車位置に合わせられないと，駐車ガイドシステムは終了し，画面はノーズビューカメラが映した画面に切り換わります。
- 駐車が正常に終了すると，約 5 秒後に画面はノーズビューカメラが映した画面に切り換わります。
- 駐車案内中にノーズビューカメラが映した画面以外に切り換わったときは，カメラ AUTO スイッチを押していったんノーズビューカメラの作動を停止し，再度カメラ AUTO スイッチを押してノーズビューカメラが映した画面を表示させてください。

車を左車庫入れする場合



自車の経路	アイコン表示	音声案内	自車の操作
①	—	—	駐車ガイドスイッチを押す
②	—	駐車パターンを選択してください。	駐車パターンを選択する
③	—	左車庫入れが選択されました。駐車位置にガイド線を合わせた後, 駐車ガイドスイッチを押してください。	駐車位置とガイド線を合わせる
④	—	—	駐車位置とガイド線を合わせて駐車ガイドスイッチを押す〔駐車位置が決定し, ブザー音(ピッ)が鳴る〕
⑤	中立 か 中立	(ハンドルがまっすぐでない場合のみ) ハンドルをまっすぐにしてください。 →ピンポン	アイコン表示に合わせた方向にハンドルを切る(ピンポンと鳴るまで切る)
⑥	前進	ゆっくり前進してください。	ゆっくり前進する
⑦	前進	ピッピッピッ(移動案内) →ポン(停止案内)	ポンと鳴るまでゆっくり前進する

自車の経路	アイコン表示	音声案内	自車の操作
⑧		ハンドルを右いっぱいに切ってください。 →ピンポン	ハンドルを右いっぱいに切る（ピンポンと鳴るまで切る）
⑨		ゆっくり前進してください。	ハンドルを右いっぱいに切ったままゆっくり前進する
⑩		ピッピッピッ(移動案内) →ポン(停止案内)	ポンと鳴るまでゆっくり前進する
⑪		ハンドルを左いっぱいに切ってください。 →ピンポン	ハンドルを左いっぱいに切る（ピンポンと鳴るまで切る）
⑫		ゆっくりバックしてください。	ハンドルを左いっぱいに切ったままゆっくり後退する
⑬		ピッピッピッ(移動案内) →ポン(停止案内)	ポンと鳴るまでゆっくり後退する
⑭		駐車ガイドを終了します。 車両周辺に注意して, ハンドルを戻しながら駐車してください。	ハンドルを戻しながら, 駐車スペースに駐車する

7

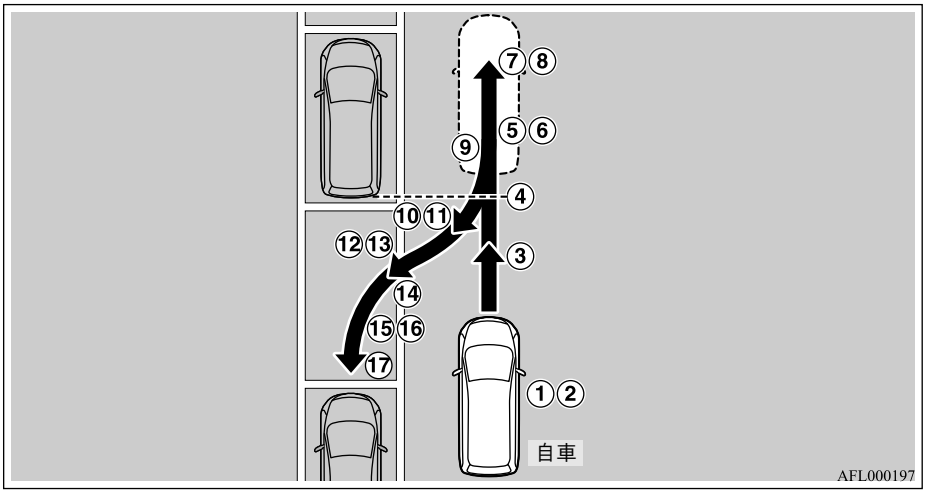
⚠注意

● 駐車ガイドシステムは，幅が約2.5mの駐車スペースに駐車できるよう設定されています。
駐車スペースに十分余裕があることを確認して, 必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

アドバイス

● 駐車スペースの幅が約2.5m以上ある場合は，駐車スペースの左寄りに案内されます。
● 音声案内中に障害物を感知すると，コーナーセンサーが作動して警報します。
→「コーナーセンサー」P. 7-40
● 駐車ガイドシステムは，車両が駐車スペースの途中まで入ったところで終了します。
駐車案内終了後は，必ず周囲の安全を確認しながら駐車してください。

車を左に縦列駐車する場合



自車の経路	アイコン表示	音声案内	自車の操作
①	—	—	駐車ガイドスイッチを押す
②	—	駐車パターンを選択してください。	駐車パターンを選択する
③	—	左縦列車駐車が選択されました。 駐車位置にガイド線を合わせた後, 駐車ガイドスイッチを押してください。	駐車位置とガイド線を合わせる
④	—	—	駐車位置とガイド線を合わせて駐車ガイドスイッチを押す〔駐車位置が決定し, ブザー音(ピッ)が鳴る〕
⑤	中立 か 中立	(ハンドルがまっすぐでない場合のみ) ハンドルをまっすぐにしてください。 →ピンポン	アイコン表示に合わせた方向にハンドルを切る(ピンポンと鳴るまで切る)
⑥	前進	ゆっくり前進してください。	ゆっくり前進する
⑦	前進	ピッピッピッ(移動案内) →ポン(停止案内)	ポンと鳴るまでゆっくり前進する

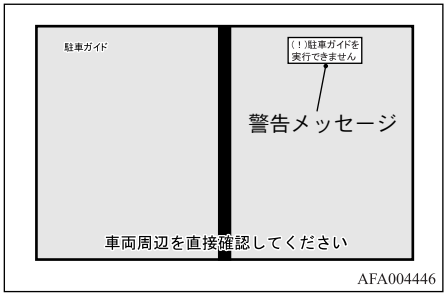
自車の経路	アイコン表示	音声案内	自車の操作
⑧		ハンドルを左いっぱいに切ってください。 →ピンポン	ハンドルを左いっぱいに切る（ピンポンと鳴るまで切る）
⑨		ゆっくりバックしてください。	ハンドルを左いっぱいに切ったままゆっくり後退する
⑩		ピッピッピッ(移動案内) →ポン(停止案内)	ポンと鳴るまでゆっくり後退する
⑪		ハンドルをまっすぐに戻してください。 →ピンポン	ハンドルを右へ切ってまっすぐにする(ピンポンと鳴るまで切る)
⑫		ゆっくりバックしてください。	ゆっくり後退する
⑬		ピッピッピッ(移動案内) →ポン(停止案内)	ポンと鳴るまでゆっくり後退する
⑭		ハンドルを右いっぱいに切ってください。 →ピンポン	ハンドルを右いっぱいに切る（ピンポンと鳴るまで切る）
⑮		ゆっくりバックしてください。	ハンドルを右いっぱいに切ったままゆっくり後退する
⑯		ピッピッピッ(移動案内) →ポン(停止案内)	ポンと鳴るまでゆっくり後退する
⑰		駐車ガイドを終了します。	ハンドルを戻しながら,駐車スペースに駐車する

⚠注意

● 駐車ガイドシステムは，前後の車との間が約7mの駐車スペースに駐車できるよう設定されています。
駐車スペースに十分余裕があることを確認して,必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

◆ 駐車ガイドシステムが故障したときは

駐車ガイドシステムに何らかの異常が発生したときは，画面に警告メッセージが表示されます。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



MEMO

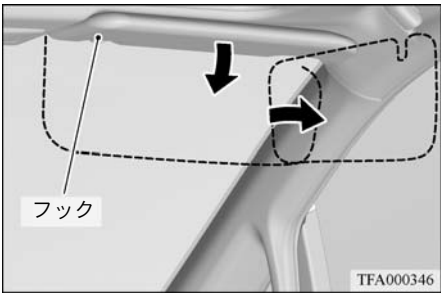
室内装備

サンバイザー 8- 2
バニティーミラー 8- 3
灰皿 8- 3
アクセサリーソケット 8- 4
ACパワーサプライ 8- 4
時計 8- 6
室内灯 8- 7
小物入れ 8- 11
センターテーブル 8- 13
ユースフルシート 8- 14
カップホルダー 8- 18
ボトルホルダー 8- 19
プッシュ式カードホルダー 8- 20
パーソナルテーブル 8- 21
アシストグリップ 8- 21
コンビニフック 8- 22
ラゲッジフロアボックス 8- 22
クオータートリムフック 8- 23
クオータートリムネット 8- 23
停止表示板固定ベルト 8- 24

サンバイザー

J00900100035

前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

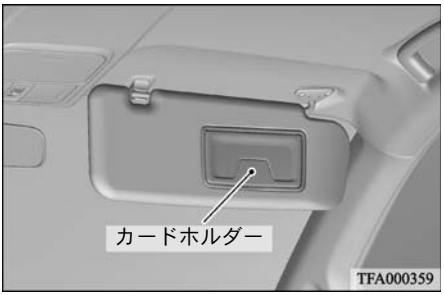


カードホルダー

通行券などをはさむことができます。

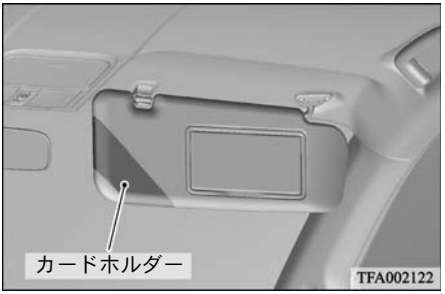
除く，バニティーミラーランプ付き車

バニティーミラーのリッドの表側にあります。



バニティーミラーランプ付き車

サンバイザーの裏側にあります。

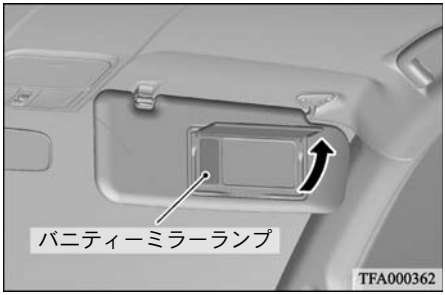


8

バニティーミラー

J00900200036

サンバイザーの裏側にあります。
バニティーミラーランプ付き車はリッドを開くとバニティーミラーランプが点灯します。



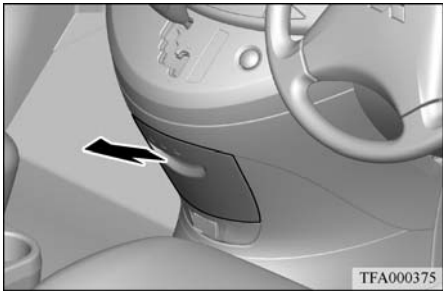
灰皿

J00900300457

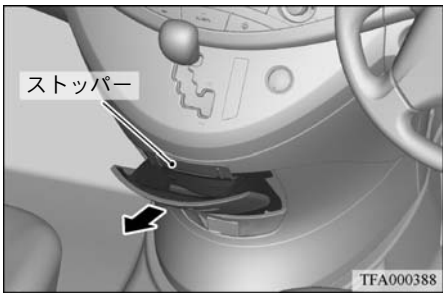
⚠注意

- タバコ・マッチの火は確実に消してから灰皿に入れ，使用後は必ず閉めてください。開けたままにしておくと他の吸いがらに火が燃え移るおそれがあります。
- 灰皿には吸いがらをためすぎたり，紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
  火災の原因となります。

使用するときは手前に引き出します。



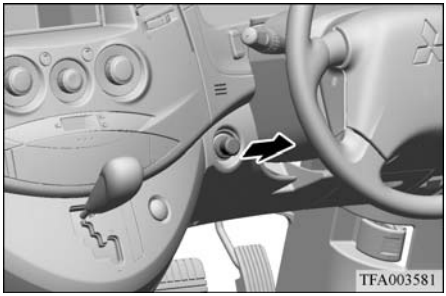
取り外すときは，灰皿のストッパーを押したまま手前に引き出します。



アクセサリーソケット

J00900500185

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
ノブを引き抜き，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず, 12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。



アドバイス

- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが過熱し，火災を招くおそれがあります。
- ノブをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

ACパワーサプライ

タイプ別装備

J00900600216

灰皿の下にあります。
エンジンスイッチが ON のときに家庭用電気製品の電源として使用できます。
必ず, AC100Vで消費電力が100W以下の電気製品を使用してください。

使用例

- ビデオカメラの充電
- 携帯電話の充電
- 電気シェーバー

アドバイス

- つぎのようなときは，保護回路が働き給電が停止する場合があります。
  - 最大消費電力が100Wを超える電気製品を使用したとき
  - バッテリーの充電が不十分なとき
  - 車内が高温のとき

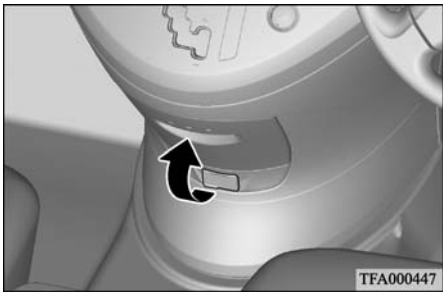
  使用中，給電が停止した場合は自動で復帰しますが，復帰しない場合はエンジンスイッチを一度OFFにしてから, 再度ONにしてご使用ください。
- エンジンスイッチが ON のときに使用できますが，できるだけエンジンをかけて使用してください。エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。
- 消費電力が 100W 以下でもつぎのような電気製品は正常に作動しないことがあります。
  - 最大消費電力が100Wを超える製品（ブラウン管式テレビ，コンプレッサー式冷蔵庫，電気ポンプ，電動工具など）
  - 電源周波数の切り換え(50/60Hz)のある製品（時計，オーディオ，ACアダプターなど）
  - 精密なデータを測定する製品（測定器など）
  - その他（電気毛布，照明器具など）
- 使用する電気製品によっては，ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。

アドバイス

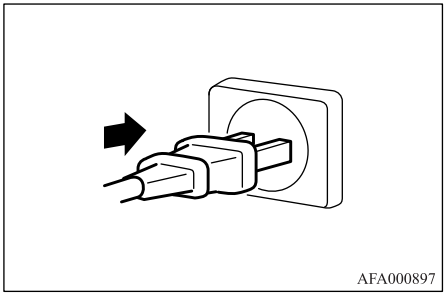
- ACパワーサプライの電圧は，市販のテスターでは正確に測定できません。電圧の測定が必要な場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 医療機器のご使用は，絶対に避けてください。
- 使用する電気製品に付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

使用するときは

1. フタを開けます。



2. プラグを奥まで差し込みます。
   差し込み後は，プラグが確実に差し込まれていることを確認します。



使用後は，プラグを抜き取りフタを閉めます。

⚠注意

- コンセントの改造や分解，修理などは絶対にしないでください。
- 濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

アドバイス

- AC パワーサプライを使わないときは，プラグを抜き取りフタを閉めてください。コンセントにたまったほこりにより，ショートするおそれがあります。
- プラグタイプ以外のものを差し込まないでください。故障したりショートするおそれがあります。

時計

タイプ別装備

J00900700262

エンジンスイッチがONまたはACCのとき時刻を表示します。

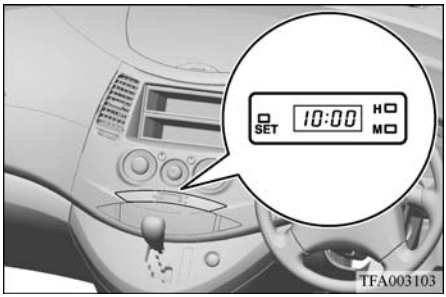
時刻の合わせ方

それぞれのボタンを指で押して調整します。

H — “時”合わせ
押している間“時”を早送りします。

M — “分”合わせ
押している間“分”を早送りします。

SET — 時報合わせ
押すと同時につぎのように修正されます。
•0~29分は切り下げ
•30~59分は切り上げ

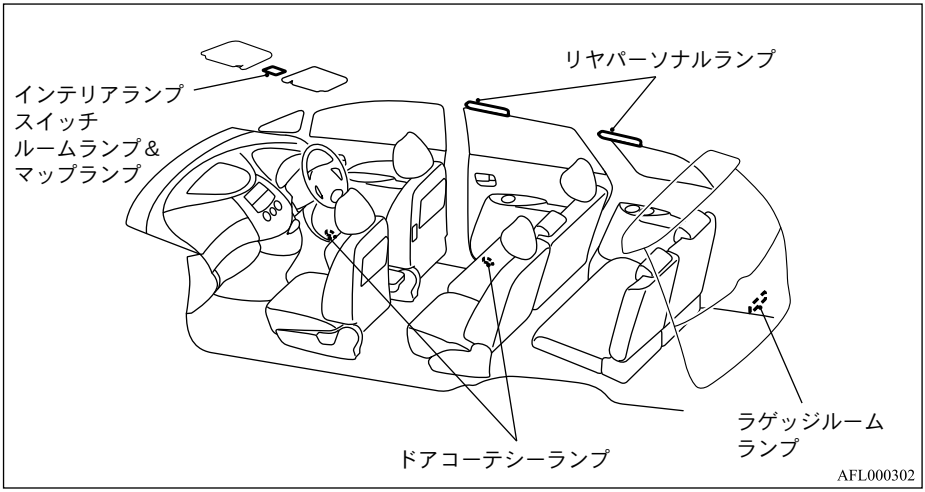


アドバイス

● バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。

室内灯

J00900800322



アドバイス

● エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

インテリアランプスイッチ

J00906500099

スイッチを操作することにより，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプの点灯・消灯ができます。

1. (〇)
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが消灯します。

アドバイス

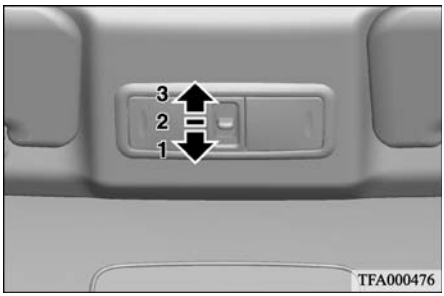
- ルームランプ＆マップランプのスイッチがONのときは，インテリアランプスイッチでルームランプ＆マップランプを消灯することはできません。

2. (DOOR)
   いずれかのドアまたはテールゲートを開けるとルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
   - ドアおよびテールゲートを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
   - ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックスイッチを使って施錠したとき
   - キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
   - キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

- キーを使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときキーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときエンジンスイッチをLOCKにすると点灯し，徐々に減光しながら約15秒後に消灯します。
- ルームランプ＆マップランプのスイッチがONのときは，ドアおよびテールゲートを閉めても消灯しません。
- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

3. (⌤)
   ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく，ルームランプ＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが点灯します。



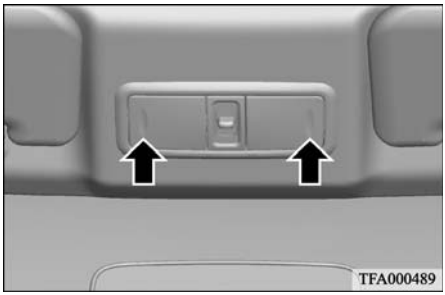
ルームランプ ＆マップランプ

J00900900059

ドアおよびテールゲートを閉じてインテリアランプスイッチの位置がDOORのときに，レンズを押すとランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。
いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。

アドバイス

- インテリアランプスイッチの位置が〇のときでも，レンズを押すとルームランプ＆マップランプを点灯させることができます。
- いずれかのドアまたはテールゲートが開いているとき，またはインテリアランプスイッチの位置が のときは，レンズを押してもルームランプ＆マップランプは消灯しません。



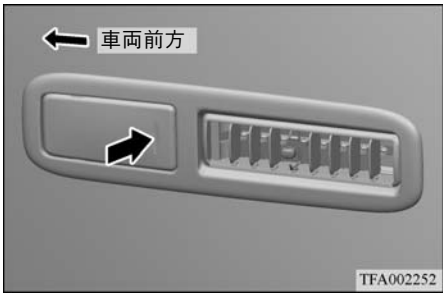
リヤパーソナルランプ

J00901400152

ドアおよびテールゲートを閉じてインテリアランプスイッチの位置がDOORのときに，レンズを押すとランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。
いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると減光しながら約15秒後に消灯します。

アドバイス

- インテリアランプスイッチの位置が〇のときは，レンズを押したり，いずれかのドアまたはテールゲートを開けても点灯しません。

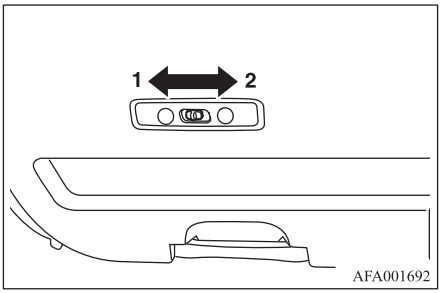


8

ラゲッジルームランプ

J00901500023

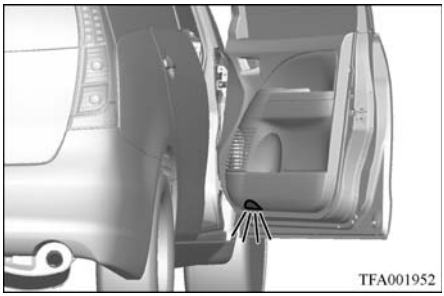
1. テールゲートの開閉に関係なく消灯します。
2. テールゲートを開けるとランプが点灯，閉めると消灯します。



ドアコーテシーランプ

J00906300013

ドアを開くと点灯し，閉じると消灯します。



インテリアランプ *1 オートカット機能（自動消灯）

J00901700142

*1 ルームランプ＆マップランプなどの車内照明

- エンジンスイッチがOFFの位置で，車内照明を点灯したままにすると，バッテリー上がりを防止するため，約30分後に照明が自動的に消灯します。
- エンジンスイッチをONまたはACCの位置にしたり，ドアまたはテールゲートの開閉やキーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

アドバイス

- インテリアランプオートカット機能（自動消灯）を働かなくすることができます。また，自動消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

小物入れ

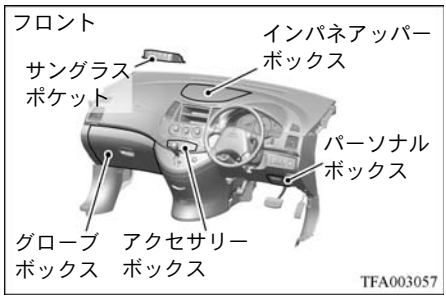
J00906700147

⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

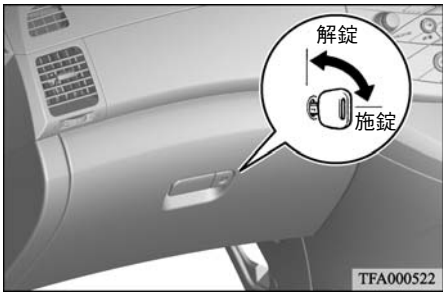
- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。



グローブボックス

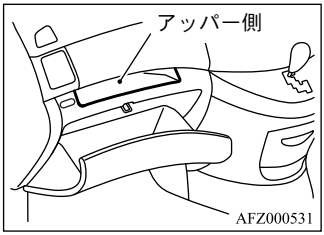
J00907200211

レバーを引くと開きます。
キーで施錠・解錠ができます。



アドバイス

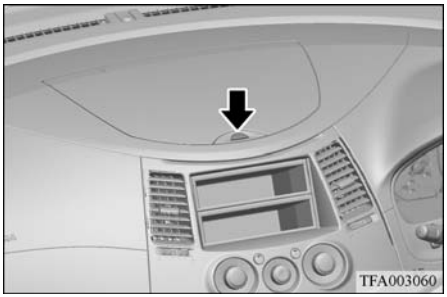
- キーレスオペレーションシステム付き車は，エマージェンシーキーで施錠・解錠をすることができます。
  →「キーレスオペレーションキー」P. 4-7
- ライトスイッチが AUTO の位置でランプ類が点灯しているとき，または≣DC≣，≣Dの位置のときにグローブボックス内のランプが点灯します。
- アッパー側に車検証・取扱説明書などを入れることができます。



インパネアッパーボックス

J00907400053

ボタンを押すと開きます。

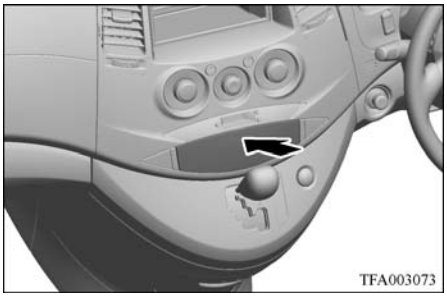


アクセサリーボックス

タイプ別装備

J00907800073

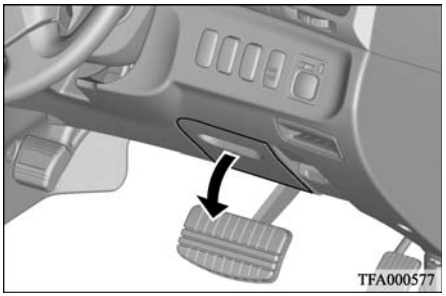
フタを押すと開きます。



パーソナルボックス

J00907300010

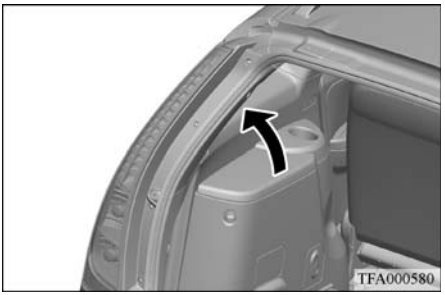
フタを手前に引くと開きます。



リヤサイドボックス

J00907700014

サードシートの左側にあります。
リッドを開けて使用します。

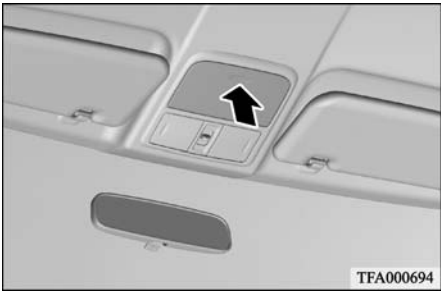


サングラスポケット

タイプ別装備

J00907500155

リッドを押すと開きます。



閉めるときはロックするまで押します。

⚠注意

- サングラス以外の重いものを入れないでください。落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

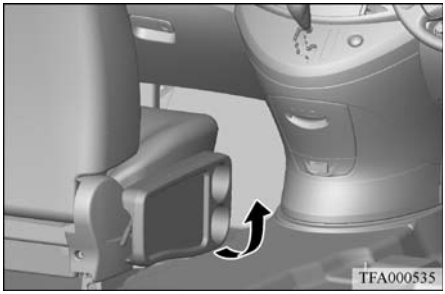
- サングラスの形状によっては収納できない場合がありますので，確かめてからご使用ください。

センターテーブル

J00906400069

使用するときは

テーブルを起こします。



⚠注意

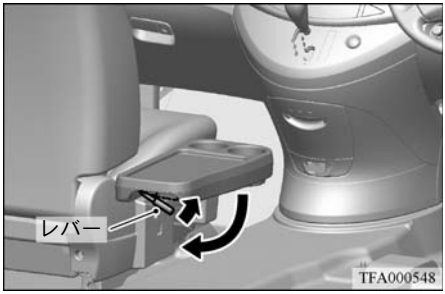
- テーブルに荷物などをのせて走行しないでください。
  急ブレーキをかけた場合や衝突したときなどに，荷物が飛び出してけがをするおそれがあります。

アドバイス

- カチッと音がする位置まで起こし，確実に固定されていることを確認してください。
- テーブルにフロントシート用のカップホルダーがあります。
  →「カップホルダー」P. 8-18
- テーブルの上に乗ったり，重い荷物などをのせないでください。テーブルが破損するおそれがあります。

戻すときは

テーブルの後ろ側のレバーを引きながら戻します。



アドバイス

- 使用しないときはテーブルを戻しておいてください。

ユースフルシート

タイプ別装備

J00903300139

ユースフルシート（助手席シート）のクッションの下にボックスがあります。

⚠警告

- シートクッションの操作は必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。走行中に行うと急ブレーキをかけた場合や衝突したときなどに，重大な傷害を受けたり，荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。
- シートクッションを操作したときは，シートクッションが確実に固定されていることを確認してください。シートクッションが固定されていないとシートクッションが動き，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

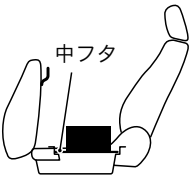
- シートクッションの操作は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートクッションを起こした状態でボックスの上には絶対に乗らないでください。ボックスが破損したり，思わぬけがをするおそれがあります。

使用例

ボックスの中に荷物を入れる

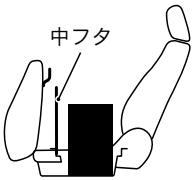
AFM000048

シートクッションを起こして中フタの上に荷物をのせる



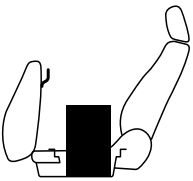
AFM000051

シートクッションと中フタを起こして荷物を入れる



AFM000064

シートクッションを起こし，中フタを外して荷物を入れる



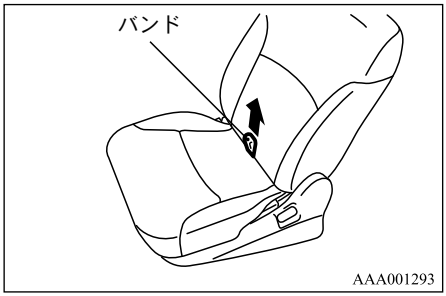
AFM000077

フックに荷物をかける

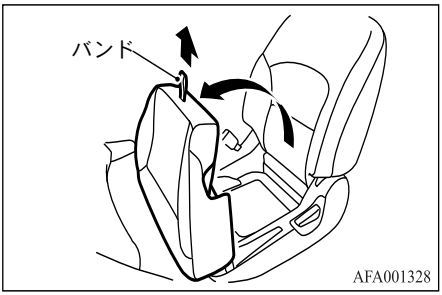
AFM000080

ユースフルシートのボックスに荷物を収納するときは

1. シートクッションの後端にあるバンドを引き出します。



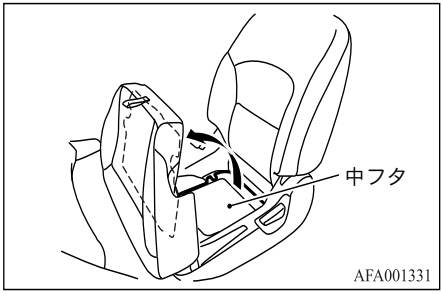
2. バンドを引きながらシートクッションを起こした後，バンドから手を離して固定します。



アドバイス

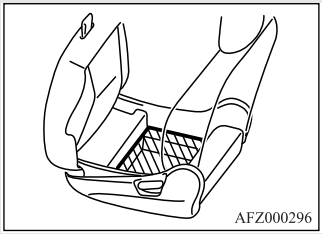
- シートクッションを起こしたままシートの前後調整をしないでください。シートが損傷するおそれがあります。
- シートクッションを起こしにくいときは背もたれの角度調整を行ってください。→「背もたれの角度調整」P. 5-5

3. 中フタを開けて荷物を収納し，中フタを閉じて固定します。



⚠警告

- **中フタの内側の高さ（斜線部）以上に荷物を入れてクッションを戻さないでください。ボックスが破損したり，シートクッションが固定できなくなり，急ブレーキをかけた場合や衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。**

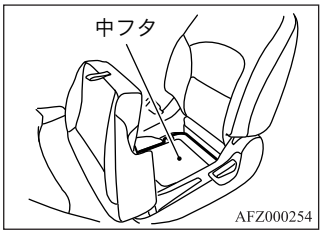


アドバイス

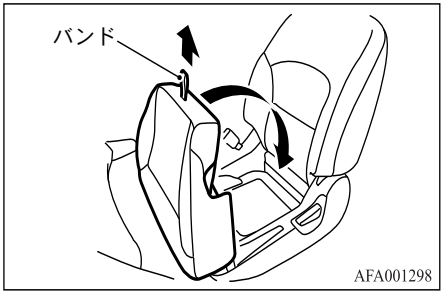
- 多量の水を含んだ物は入れないでください。ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- 中フタを閉じた後，確実に固定されていることを確認してください。中フタが確実に固定されていないと破損するおそれがあります。

アドバイス

● 中フタを取り外すことができます。



4. バンドを引き上げながらシートクッションを戻します。



⚠警告

● シートクッションを戻した後，シートクッションの後端を持ち上げ，確実に固定されていることを確認してください。シートクッションが固定されていないとシートクッションが動き，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● シートクッションを戻すときは，中フタを閉めてください。また，中フタの上に荷物を置かないでください。
中フタが破損するおそれがあります。

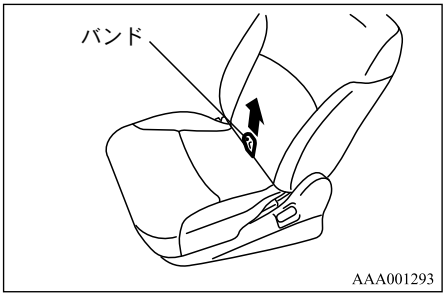
シートクッションを起こして荷物を収納するときは

J00906900080

⚠警告

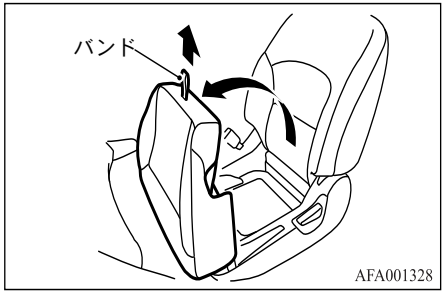
● シートクッションを起こして荷物を収納するときは，ネットやロープなどで荷物を確実に固定してください。
またシートの高さ以上に荷物を積まないでください。急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

1. シートクッションの後端にあるバンドを引き出します。



8

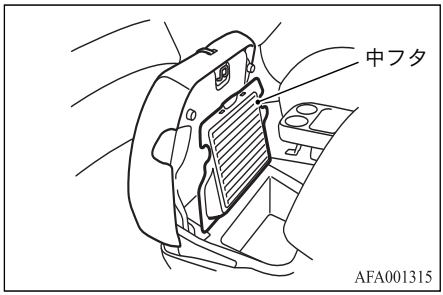
2. バンドを引きながらシートクッションを起こした後，バンドから手を離して固定します。



アドバイス

- シートクッションを起こしたままシートの前後調整をしないでください。
  シートが損傷するおそれがあります。
- シートクッションを起こしにくいときは背もたれの角度調整を行ってください。
  →「背もたれの角度調整」P. 5-5

3. 中フタを起こし、荷物を収納します。



アドバイス

- 中フタの破損を防ぐため，つぎのことをお守りください。
  - 約7kg以上の荷物をのせない
  - 炎天下など車内が高温のときは，荷物を置いたままにしない
- 中フタを取り外すことができます。

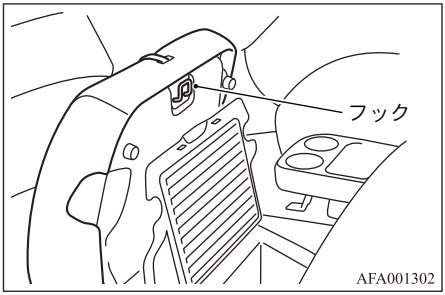
アドバイス

- 起こしたシートクッションにもたれかからないでください。シートクッションの取り付け部が変形し，シートクッションが固定できなくなるおそれがあります。

◆ シートクッションを起こしてフックに荷物をかけるときは

J00907000017

1. シートクッションを起こして固定します。
   →「シートクッションを起こして荷物を収納するときは」P. 8-16
2. フックに荷物をかけます。



アドバイス

- フックには約 4kg 以上の荷物をかけないでください。

カップホルダー

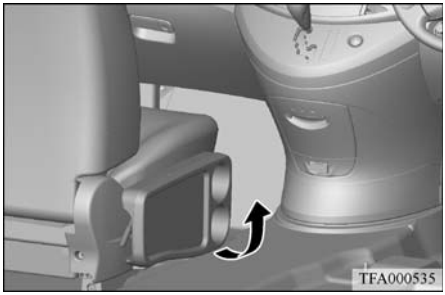
J00903800541

⚠注意

- 走行中の振動や揺れ，リヤドアの開閉などで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

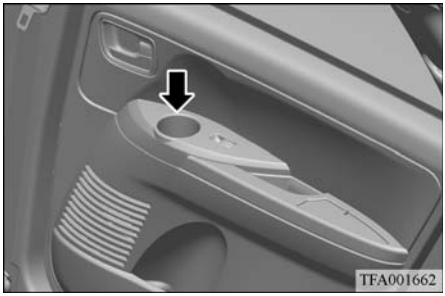
センターテーブルを起こして使用します。
→「センターテーブル」P. 8-13



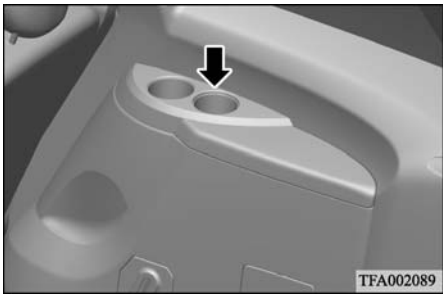
アドバイス

- カチッと音がする位置まで起こし，確実に固定されていることを確認してください。

セカンドシート用



サードシート用



ボトルホルダー

J00905900025

⚠注意

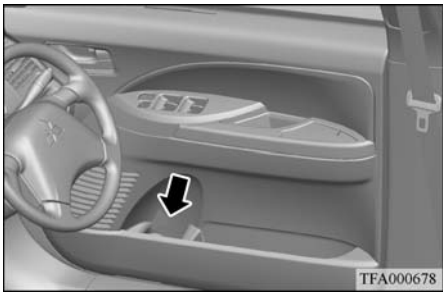
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

アドバイス

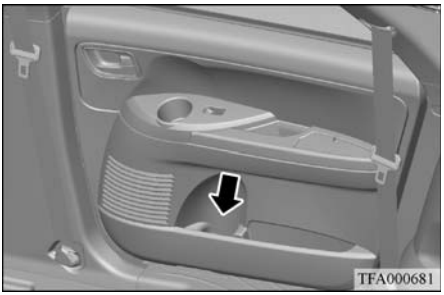
- ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ，形状によっては収納できないことがあります。

ペットボトルなどを入れることができます。

フロントシート用

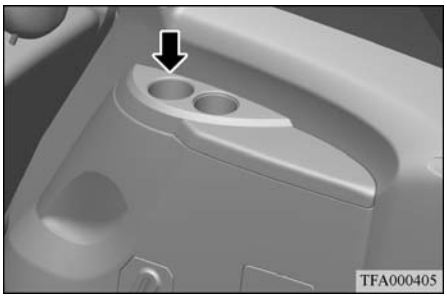


セカンドシート用

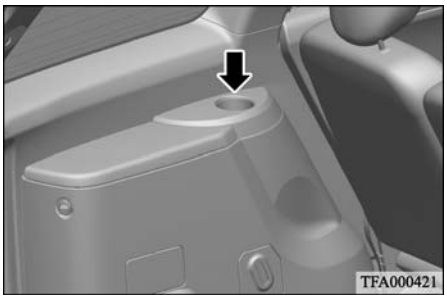


サードシート用

運転席側



助手席側



プッシュ式カードホルダー

J00904100059

カードはカチッと音がするまで差し込みます。取り出すときは，カードを押すと自動的にカードが出てきます。

アドバイス

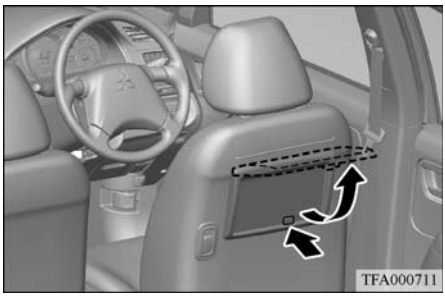
- 給油カード等の収納にご使用ください。カードは 3 枚まで収納できます。
- 領収書などの薄い紙は差し込まないでください。

パーソナルテーブル

タイプ別装備

J00906800047

使用するときはフロントシートバックのテーブルのボタンを押しながら引き上げます。



格納するときはテーブルのボタン付近を両手で押し下げ，フロントシートバックに押し付けます。

⚠警告

- **走行中はテーブルを格納しておいてください。急ブレーキをかけた場合や衝突したときなどに，思わぬ事故を起こすおそれがあります。**
- **格納するときはカチッと音がする位置まで押し付け，確実に固定されていることを確認してください。**

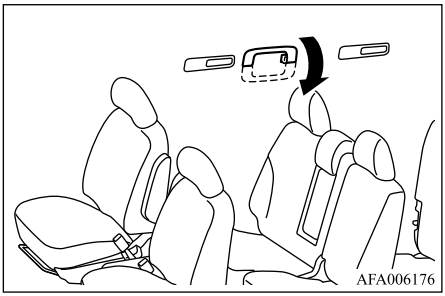
アドバイス

- 使用するときはテーブルが水平なことを確認してください。
- テーブルには約 4kg 以上の荷物をのせないでください。
- 使用しないときはテーブルを戻しておいてください。

アシストグリップ

J00912900160

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。



⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

コンビニフック

J00905000260

タイプ別装備（運転席側）

軽い荷物をかけることができます。

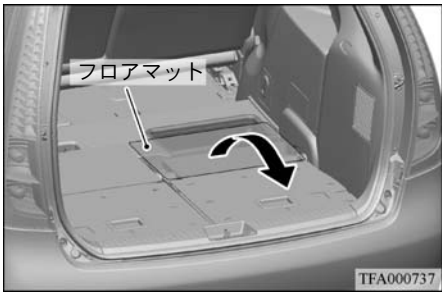
アドバイス

- フックには約 4kg 以上の荷物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。
- 使用しないときはフックを格納しておいてください。

ラゲッジフロアボックス

J00904500037

右側のサードシートを格納し，フロアマットを持ち上げると，ラゲッジフロアボックスがあります。
→「サードシートの格納」P. 5-13



8

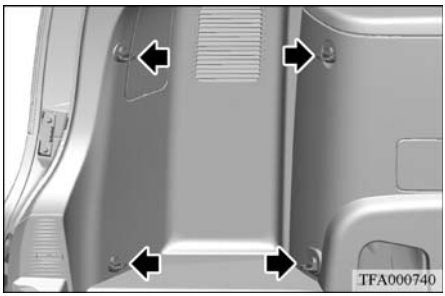
クオータートリムフック

J00905100346

荷室の左側側面（4箇所）にフックがあります。
荷物の固定用としてご使用ください。

⚠注意

- 荷物は確実に固定してください。
  急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。



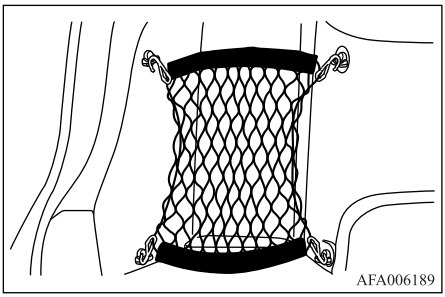
クオータートリムネット

J00905200015

グローブボックス内にあります。クオータートリムフックにかけて荷物を固定することができます。

クオータートリムフックにかけて使用するときは

クオータートリムフックにクオータートリムネットをかけて荷物を固定します。



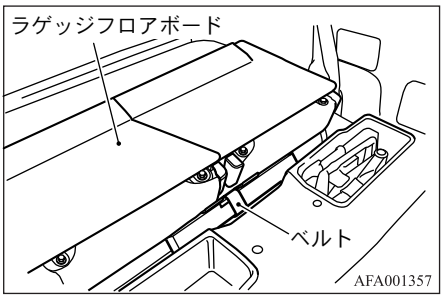
停止表示板固定ベルト

J00905600035

サードシートを格納し，ラゲッジフロアボードを持ち上げるとベルトがあります。

→「サードシートの格納」P. 5-13

停止表示板の固定用としてご使用ください。



アドバイス

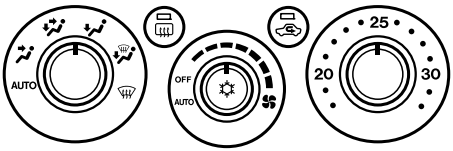
- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。また，市販品は三菱自動車純正品とサイズが異なるため格納位置に収まらず，サードシートにより破損するおそれがあります。

MEMO

MEMO

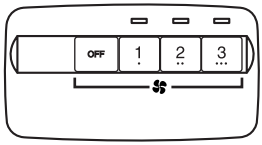
エアコン

フロントオートエアコン P. 9-6



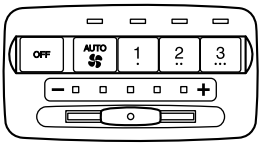
AFI000079

リヤクーラー P. 9-12



AFI000037

リヤオートエアコン P. 9-14



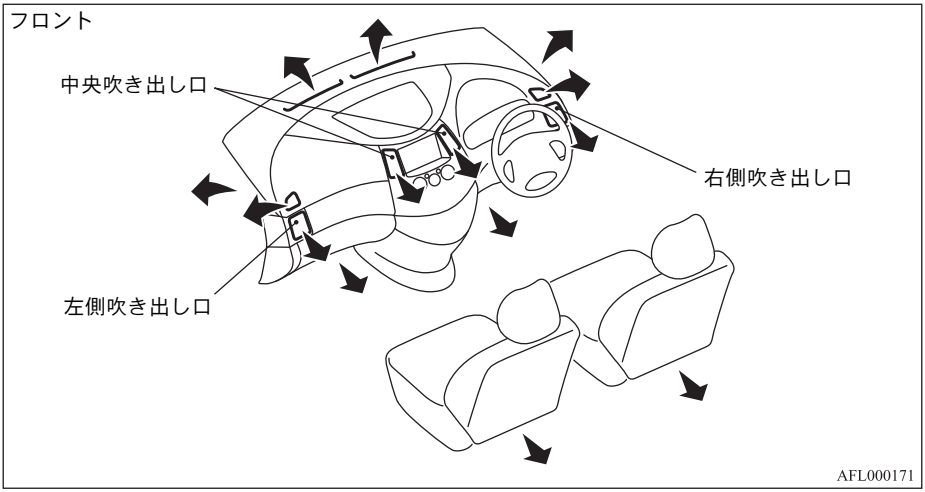
AFI000082

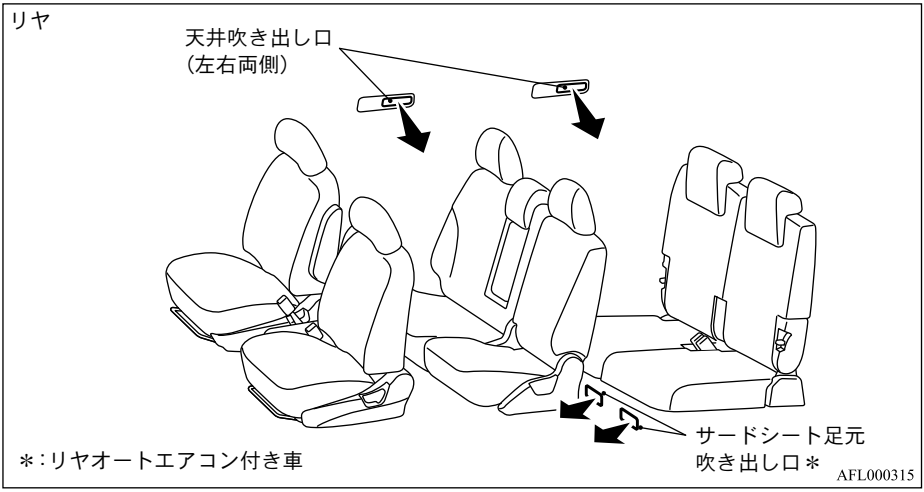
吹き出し口 9- 2
エアコン・クーラーの上手な使い方 9- 16
クリーンエアフィルター(脱臭機能付き) 9- 17

- 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)またはマルチディスプレイステーション(MDS)付き車のフロントオートエアコンの操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

吹き出し口

J01000100408





風量・風向き調整

J01000300253

アドバイス

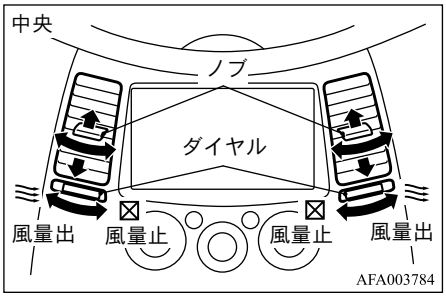
- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。

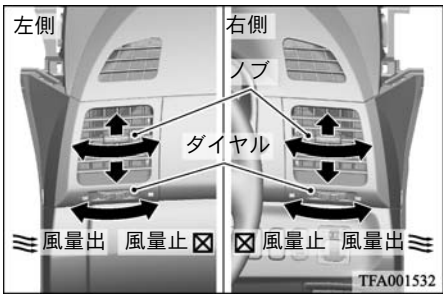
アドバイス

- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 吹き出し口から飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

◆ フロント

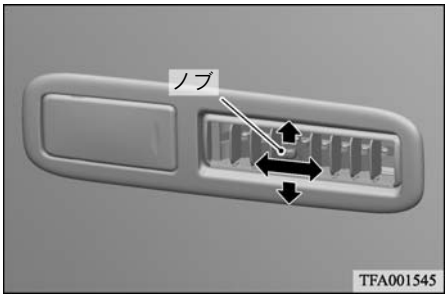
風量調整ダイヤル，風向き調整ノブを動かして調整します。





◆ リヤ

風向き調整ノブを動かして調整します。



吹き出し口の切り換え

J01000400430

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

→「吹き出し口切り換えダイヤル」P. 9-7

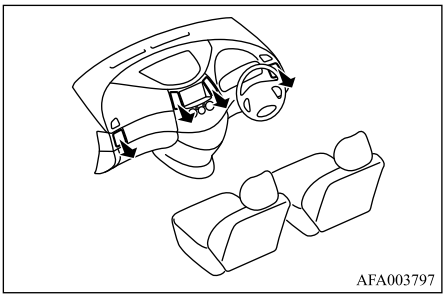
→:風量弱

➔:風量中

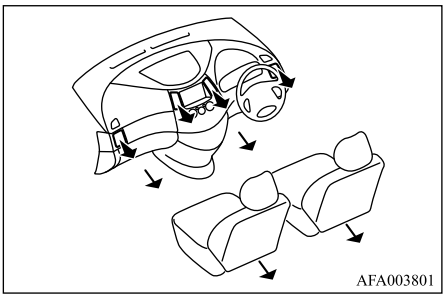
➔:風量強

◆ フロント

上半身に送風したいとき



上半身と足元に送風したいとき

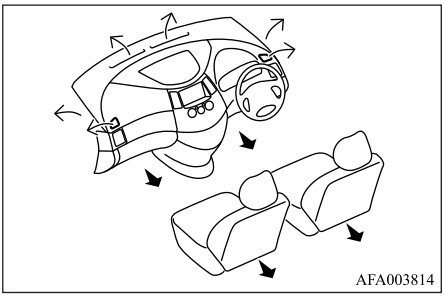


9

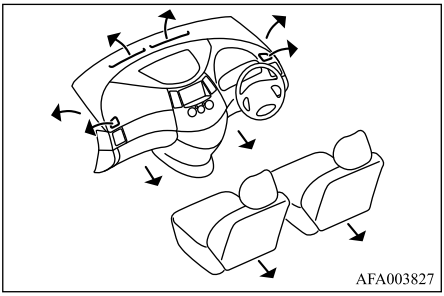
アドバイス

●吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く, と の間にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき



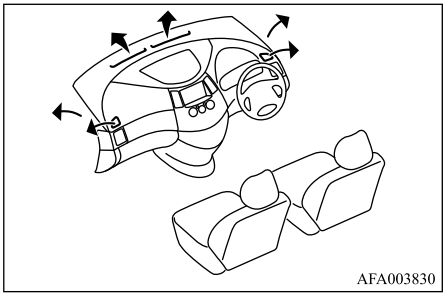
足元とウインドウガラスに送風したいとき



アドバイス

●吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く, と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき

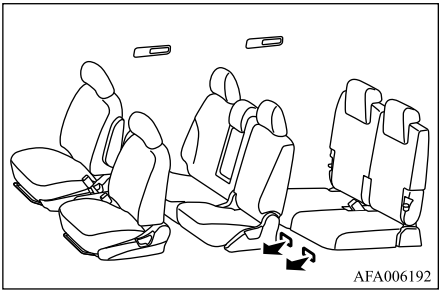


◆ リヤ

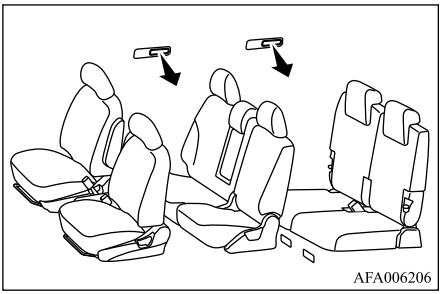
J01010400055

リヤオートエアコン付き車

設定温度を最高温度側にするとサードシート足元吹き出し口から送風されます。



設定温度を最低温度側にすると天井吹き出し口から送風されます。



アドバイス

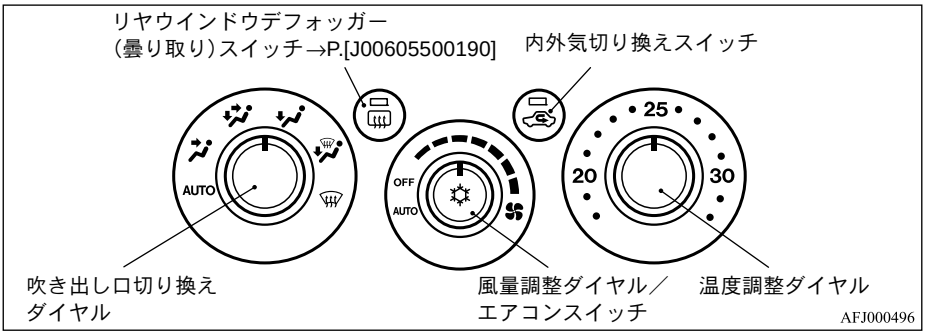
- 送風温度が最低～最高（－～＋）の間のときは足元と上半身へ送風されます。温度調整レバーを右へ動かすと足元へ多く，左へ動かすと上半身へ多く送風されます。
  →「温度調整レバー」P. 9-15

フロントオートエアコン

タイプ別装備

J01002400333

エンジンスイッチがONのときに使用できます。



- スイッチの使い方P. 9-7
- 通常の使い方（自動で使うとき）P. 9-9
- 手動で使うとき
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-10
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-11

9

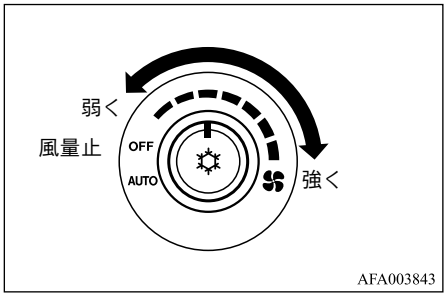
スイッチの使い方

J01002500028

◆ 風量調整ダイヤル

J01002800207

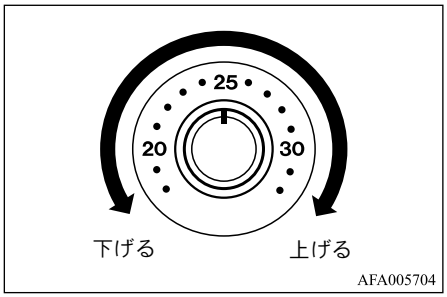
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。



◆ 温度調整ダイヤル

J01003000310

室内温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。



アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

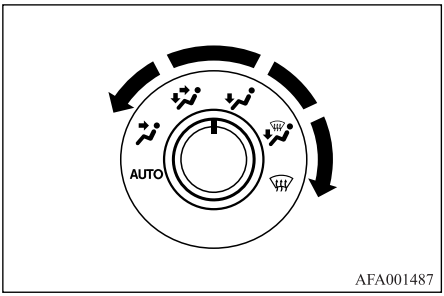
アドバイス

- 温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎのとおり自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わった後に手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入，エアコン停止
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01003200035

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3



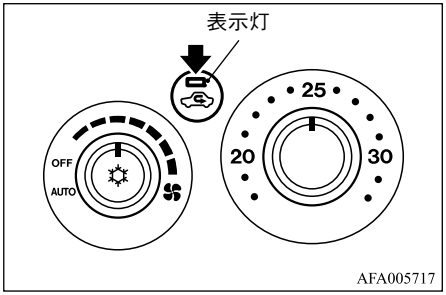
⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
  →「内外気切り換えスイッチ」P. 9-8

◆ 内外気切り換えスイッチ

J01003400200

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。



⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

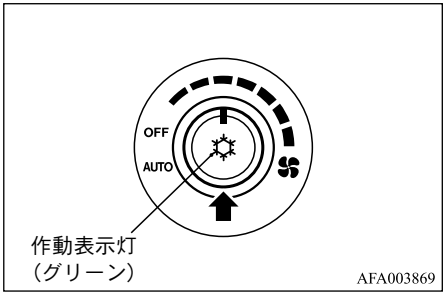
アドバイス

- 手動操作後，再度吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

◆ エアコンスイッチ

J01003500256

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。



⚠注意

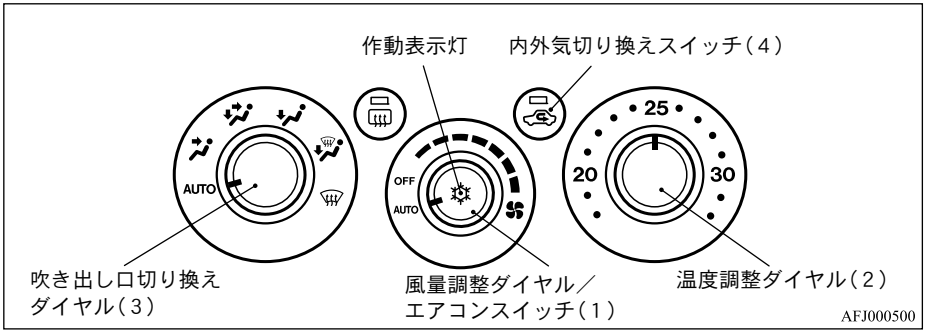
- オートマチック車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
  再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサーに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが，異常ではありません。しばらくたってから，一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

通常の使い方（自動で使うとき）

J01004000522



1. 風量調整ダイヤル（1）をAUTOにします。
2. 温度調整ダイヤル（2）で希望温度を設定します。設定温度を18~32の間で調整できます。

アドバイス

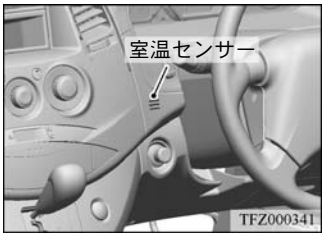
- 25を基準に，お好みの温度に調整してください。

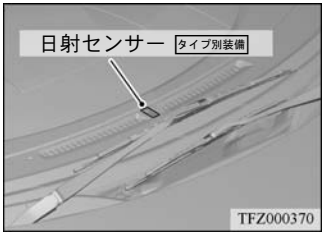
3. 吹き出し口切り換えダイヤル（3）をAUTOにします。
4. エアコンスイッチ（1）を押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯（☼）が点灯します。

吹き出し口の切り換え（, を除く），風量，エアコンの ON/OFF，および内外気の切り換えの自動調整をします。
作動を止めたいときは風量調整ダイヤル（1）をOFFにします。

アドバイス

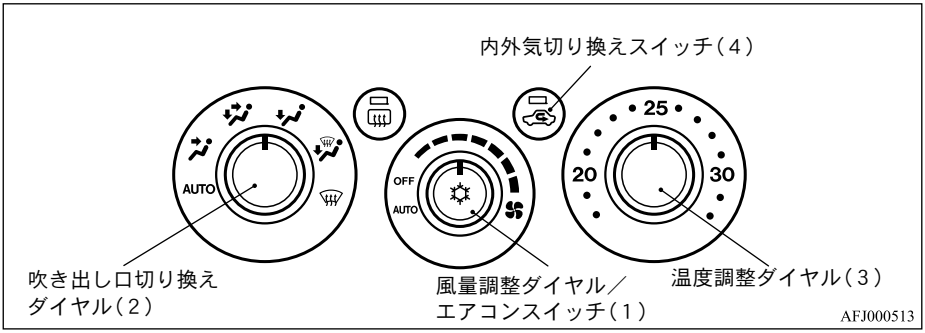
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤル（2）を動かしても送風温度は変わりません。また，ウインドウガラスの曇りを防止するため，吹き出し口は に切り換わり風量は少なくなります。
- AUTO 作動中に風量調整ダイヤル／エアコンスイッチ（1），吹き出し口切り換えダイヤル（3）または内外気切り換えスイッチ（4）を操作すると操作した機能が優先します。操作した機能以外は自動制御されます。
- センサーの上に物を置いたり，おおったりしないでください。





手動で使うとき

J01004100347



お好みに合わせてダイヤルを操作してください。AUTO（自動）作動中でも，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。
停止するときは風量調整ダイヤル（1）をOFFにします。

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200133

吹き出し口切り換えダイヤル（2）を（曇り取り）にします。エアコンが自動的に作動し，外気導入に切り換わります。
早く曇り，霜を取りたいときは風量調整ダイヤル（1）で風量を最大にし，温度調整ダイヤル（3）で温度を最高に設定してください。

⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチ（4）を押して外気導入にしてください。
- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤル（2）を にしたときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
  ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01004300075

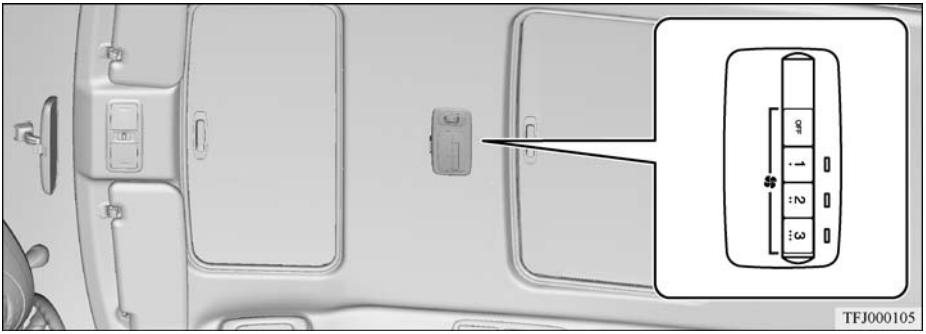
トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-8

リヤクーラー

タイプ別装備

J01007000015

エンジンスイッチがONのときに使用できます。
フロントエアコンがONのとき，後席用冷房として作動します。



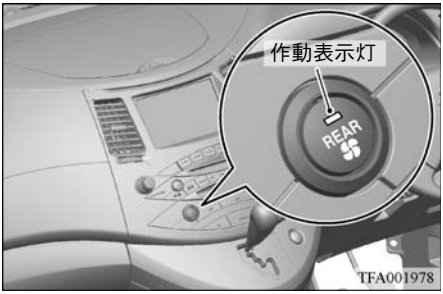
スイッチの使い方

J01007100016

◆ リヤファンスイッチ（MMCSまたはMDS付き車）

J01010000077

スイッチを押すとリヤファンが作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとリヤファンは停止します。



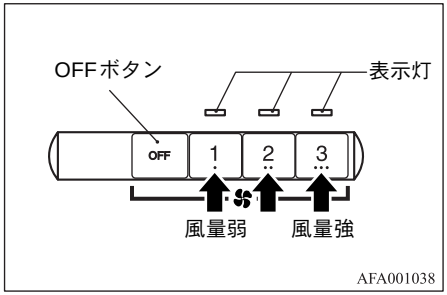
アドバイス

- フロントエアコン（冷房・除湿機能）を作動していないと冷房できませんので，必ずフロントのエアコン（冷房・除湿機能）を作動させてから操作してください。フロントのエアコンが作動していないときは送風のみとなります。
- エンジンを切っても風量を記憶しています。
  ただし，バッテリーを外すと記憶は消去され，自動的に風量OFFに設定されます。その後，リヤファンスイッチを使ってリヤファンを作動したときは，風量弱（1）になります。

◆ 風量調整ボタン

J01010100049

風量調整ボタンを押すとクーラー（冷房・除湿機能）が作動します。OFF ボタンを押すと停止します。
選択した風量の表示灯が点灯します。

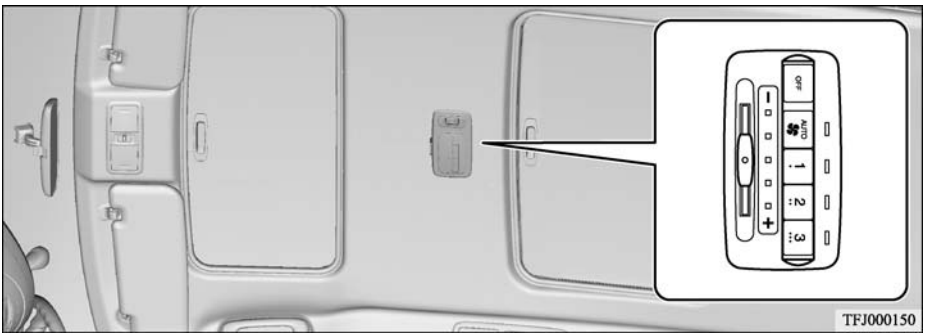


リヤオートエアコン

タイプ別装備

J01005800077

エンジンスイッチがONのときに使用できます。
フロントエアコンがONのとき，後席用エアコンとして作動します。



● スイッチの使い方P. 9-14
● 通常の使い方（自動で使うとき）P. 9-15
● 手動で使うときP. 9-15

9

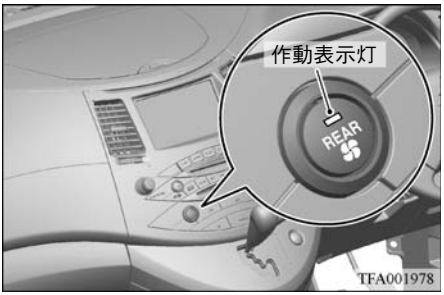
スイッチの使い方

J01005900010

◆ リヤファンスイッチ（MMCSまたはMDS付き車）

J01009800088

スイッチを押すとリヤファンが作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとリヤファンは停止します。



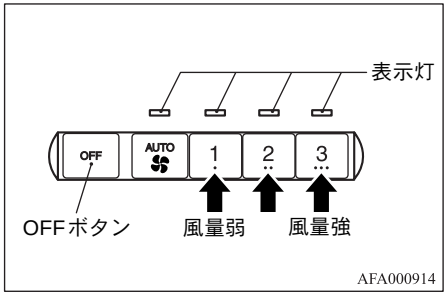
アドバイス

● フロントエアコン（冷房・除湿機能）を作動していないと冷房できませんので，必ずフロントのエアコン（冷房・除湿機能）を作動させてから操作してください。フロントのエアコンが作動していないときは送風のみとなります。
● エンジンを切っても風量を記憶しています。
ただし，バッテリーを外すと記憶は消去され，自動的に風量OFFに設定されます。その後，リヤファンスイッチを使ってリヤファンを作動したときは，風量弱（1）になります。

◆ 風量調整ボタン

J01009900050

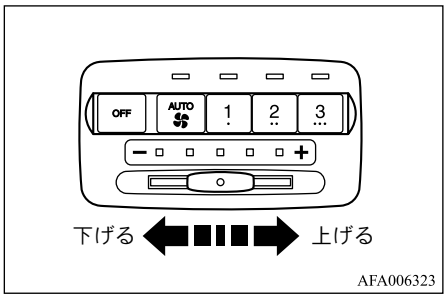
風量調整またはAUTOボタンを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動します。
OFFボタンを押すと停止します。
選択した風量の表示灯が点灯します。



◆ 温度調整レバー

J01006300082

室内温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へレバーを動かします。

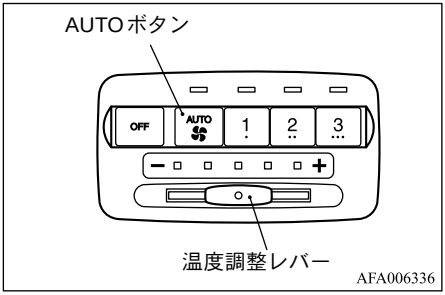


アドバイス

- 室内温度によって吹き出し口が切り換わります。
  →「吹き出し口の切り換え」P. 9-5
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整レバーを動かしても送風温度は変わりません。

通常の使い方（自動で使うとき）

J01006700060



1. AUTOボタンを押します。
2. 温度調整レバーで希望温度を設定します。設定温度を最低～最高（ー～＋）の間で調整できます。

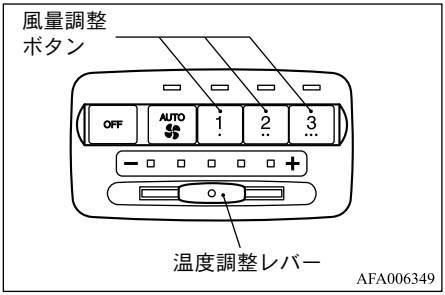
アドバイス

- 中央を基準に，お好みの温度に調整してください。
- 寒冷時などエンジン冷却水温が低いときに温度調整レバーを動かしても送風温度は変わりません。

手動で使うとき

J01006800061

お好みに合わせて風量調整ボタンまたは温度調整レバーを操作してください。
AUTO（自動）作動中でも，操作した機能が優先されます。

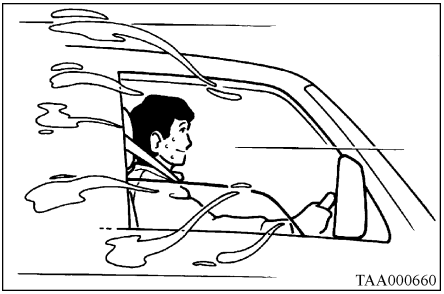


エアコン・クーラーの上手な使い方

J01009400547

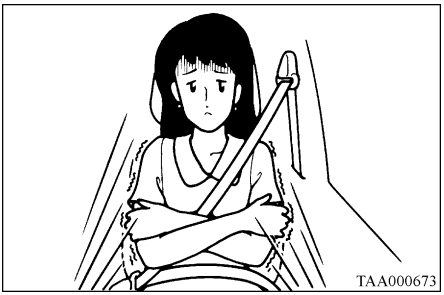
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて熱風を車外に追い出してください。



冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。



定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は、ボンネット内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合、エアコンコンプレッサが故障し、エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコン・クーラーの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クリーンエアフィルター（脱臭機能付き）

タイプ別装備

J01009500421

花粉，ほこり，たばこおよび排気ガスの臭いなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。

→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P. 11-5

アドバイス

- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
  （交換時期の目安: 1 年または12,000kmのいずれか早いとき）

MEMO

オーディオ

アンテナ 10- 2

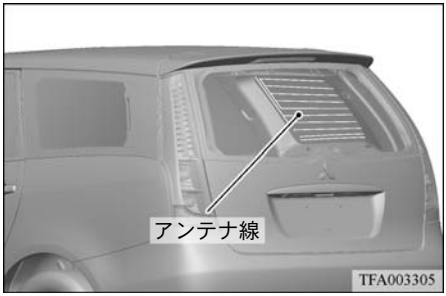
● 三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)またはマルチディスプレイステーション(MDS)付き車のオーディオの操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

アンテナ

J01102200358

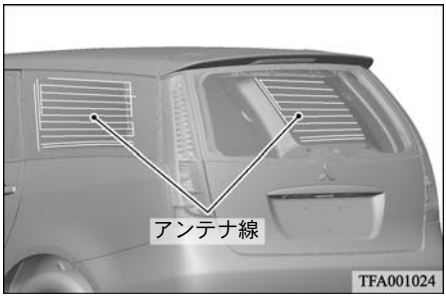
除く，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)／マルチディスプレイステーション(MDS)付き車

アンテナ線が運転席側リヤクォーターウインドウガラスの内側にプリントされています。



三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)／マルチディスプレイステーション(MDS)付き車

アンテナ線が左右のリヤクォーターウインドウガラスにプリントされています。



アドバイス

- リヤクォーターウインドウガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。

アドバイス

- リヤクォーターウインドウガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，ラジオの受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

簡単な整備・車のお手入れ

エンジンオイルの補給

エンジンオイルの補給 11- 2
燃料噴射装置の洗浄 11- 2
ウォッシャー液の点検･補給 11- 3
タイヤメンテナンス 11- 3

車のお手入れ

クリーンエアフィルターの交換のしかた 11- 5
内装品のお手入れ 11- 6
外装品のお手入れ 11- 7

エンジンオイルの補給

J01200100035

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱純正エンジンオイルまたはオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。
→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-9
→「エンジンオイルの銘柄」P. 14-2

ILSAC認証マーク

TAA000022

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

燃料噴射装置の洗浄

J01200800162

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

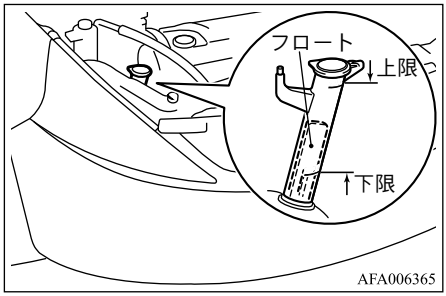
- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000kmまたは1年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200241

液量は，フロートの上端が上限(FULL)と下限 (EMPTY) の間にあるかで点検します。

フロント・リヤ共用



ウォッシャー液が不足している場合は，三菱純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域･季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液１に水２	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液１に水１	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

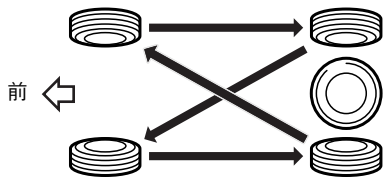
タイヤメンテナンス

J01200400416

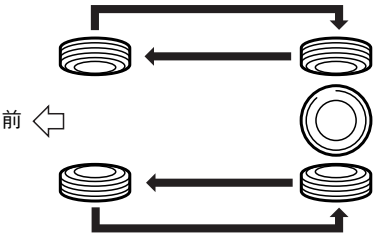
タイヤローテーション

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

回転方向を示す矢印が付いていない場合



回転方向を示す矢印が付いている場合

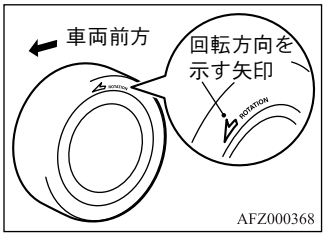


⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤのかわりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。

⚠注意

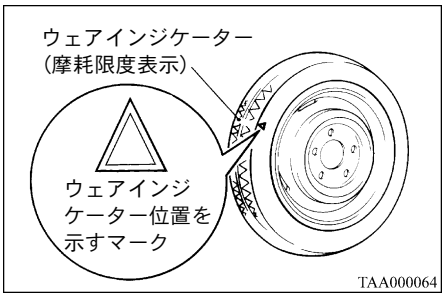
- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，４輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。



- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの磨耗

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤの空気圧点検・調整

タイヤの空気圧は定期的に点検し、必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P.14-8

⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、タイヤが偏磨耗したり、車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また、バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

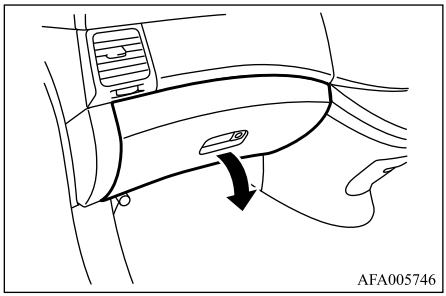
- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

クリーンエアフィルターの交換のしかた

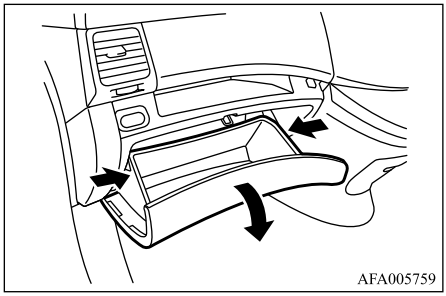
タイプ別装備

J01202000113

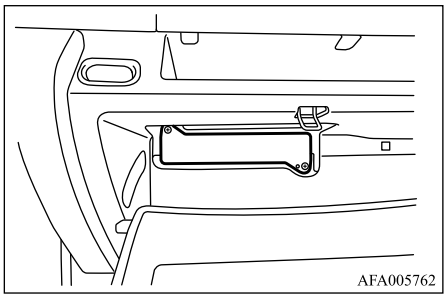
1. グローブボックスを開けます。



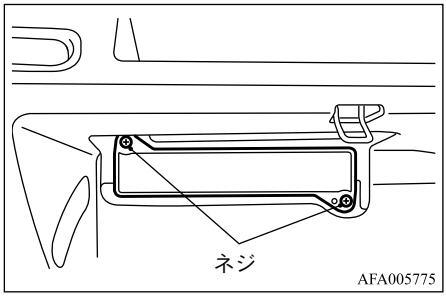
2. グローブボックスの側面を内側に押しながら，左右のストッパーを外し，グローブボックスを下ろします。



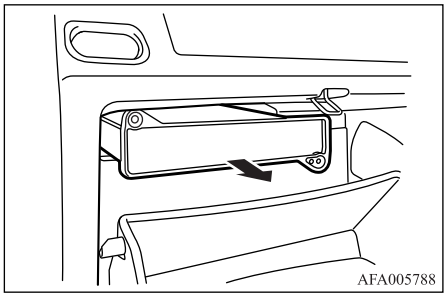
3. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。



4. クリーンエアフィルターの左右にあるネジ（2本）を外します。

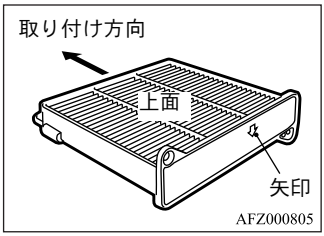


5. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。



アドバイス

- クリーンエアフィルターを交換するときは，エンジンを止めてから行ってください。
- クリーンエアフィルターを取り付けるときは，フィルターの矢印が下向きになるように取り付けてください。取り付け方向を間違えると，フィルターの効果を十分に発揮しません。



内装品のお手入れ

J01200600434

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200700770

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

アドバイス

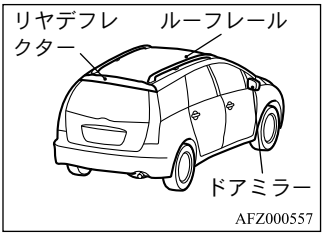
- 下回りやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

1. 水をかけながら，車体の下回りを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. セーム皮か柔らかい布で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下回りを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがありますので，使用はできるだけ控えてください。
  とくに濃彩色車やメタリック車はスリ傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す（約50cm以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す（約 50cm 以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーを格納してください。
  また，リヤデフレクターおよびルーフレール付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領にしたがって洗車してください。



ワックスのかけ方

月に 1~2 回，または水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスがけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  とくに濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- サンルーフ開口部周囲のワックスがけを行うときは，ウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスを付着させないでください。
  ワックスが付着するとサンルーフとの密着が悪くなります。
  ワックスが付着したときは，柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色ムラなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。

アドバイス

● 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

● 三菱純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
● ガラスの内側を清掃するときは，電熱線やアンテナ線を傷つけないよう線に沿って柔らかい布でふいてください。

フロントドア撥水ガラスのお手入れ

タイプ別装備

フロントドアガラスには雨水などをはじくよう，ガラス表面にコーティングがしてあります。
水滴をはじく撥水効果の持続期間には限りがあります。効果を長持ちさせるためにつぎのことをお守りください。

1. 水をかけて汚れを洗い流します。
2. 汚れがひどいときは，水をかけながらスポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。

アドバイス

● 泥などの汚れがひどいときは，フロントドアガラスの開閉をひんぱんに行わないでください。ガラスに傷がつき，撥水効果が低下するおそれがあります。
● コンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー，アルカリ性洗剤は撥水性の効果が失われるおそれがあるため使用しないでください。
● ワックスが付着したときは，撥水性が低下するので中性洗剤で洗浄した後，多量の水で洗い流してください。
● ガラスクリーナーの使用で白曇りしたときは，湿った柔らかい布でふき取ってください。
● 自動洗車機を使用するときはフロントドアガラス表面の泥などの汚れを洗い落としてから洗車してください。
● 金属製の物で霜取りなどをしないでください。
● 水滴のはじきが悪くなったときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

ワイパーのお手入れ

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

サンルーフのお手入れ

タイプ別装備

ガラスの内側を清掃するときは，柔らかい布で清掃してください。
汚れのひどいときは，つぎの要領で行います。

- スポンジまたはガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
- 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

アドバイス

- ガラスの内側には，表面処理がしてありますので，固い布や有機溶剤（ベンジン，シンナーなど）を使用すると表面処理がはげるおそれがあります。

樹脂部品のお手入れ

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色または灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパー，モールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，シミ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取った後，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

タイプ別装備

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. セーム皮または柔らかい布で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，シミの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水または道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

MEMO

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 12- 2
走行前の点検. 12- 3
雪道, 凍結路の走行 12- 4
寒冷地での駐車. 12- 5
タイヤチェーン. 12- 6

冬期前の点検と準備

J01300100384

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-2

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り換えるときは，４輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-17
地域によってはタイヤチェーン，冬用タイヤの装着が条例で義務づけられています。地域の条例にしたがってください。

燃料タンクの水抜き

タンク内の水分を除去するときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の水分除去剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  また，寒冷時には水分が凍結するおそれがありますので，寒くなる前にご使用ください。

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300200170

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

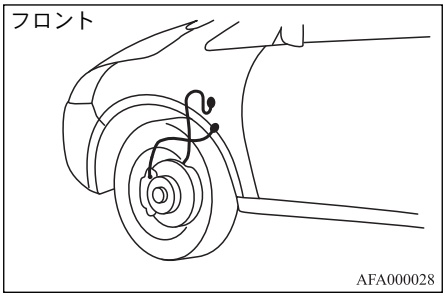
- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターまたはワイパーディアイサーでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-10
  →「ワイパーディアイサー」P. 6-19
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

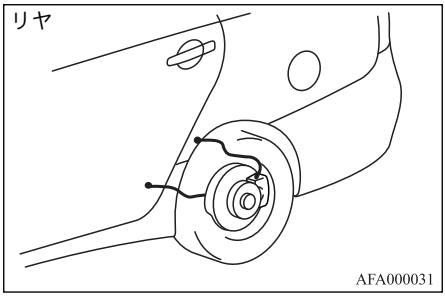
足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足回りにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。





ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドルの確認

ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300269

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを前輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下回りを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400198

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，セレクターレバーを Ⓟ に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用してください。

タイヤチェーン

J01300700670

2WD 車は前輪駆動車ですので，タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
4WD車も前輪駆動を主とした四輪駆動なため，タイヤチェーンは前輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを後輪に装着し，外した後輪タイヤを前輪に取り付け，これにタイヤチェーンを装着してください。
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し，同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- スチールホイール付き車は，ホイールカバーを外してからタイヤチェーンを取り付けてください。ホイールカバーを付けたままタイヤチェーンを取り付けると，ホイールカバーが傷つくおそれがあります。
  →「ホイールカバー」P. 13-21
- アルミホイール付き車は，タイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

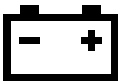
もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 13- 2
こんなことでお困りのときは! 13- 6
故障したときは！ 13- 9
発炎筒を使うときは！ 13- 10
工具とジャッキ 13- 10
ジャッキアップのしかた 13- 12
スペアタイヤ 13- 15
タイヤ交換のしかた 13- 17
バッテリー上がりのときは！ 13- 22
オーバーヒートしたときは！ 13- 25
けん引 13- 26
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 13- 30
ヒューズが切れたときは！ 13- 30
バルブ(電球)が切れたときは！ 13- 34

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100620

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-8

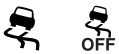
安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-7
	油圧警告灯	P. 6-8
	“N”表示灯 （1 秒間に 約 2 回点滅）	P. 7-11

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯または点滅しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯または点滅するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	ABS警告灯	P. 7-25

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

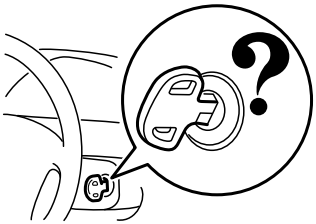
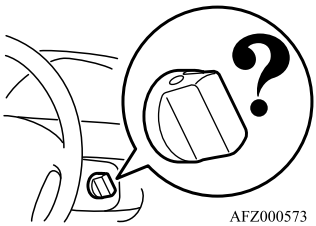
	キーレス オペレーション システム表示灯	P. 4-16
SRS	SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P. 5-23, 5-40
	エンジン警告灯（点灯または点滅）	P. 6-8
P R N D	“N”表示灯（1秒間に約1回点滅）	P. 7-11
	4WD作動表示灯／LOCK表示灯（“4WD”と“LOCK”同時点滅または交互点滅）	P. 7-20
2WD車 	ASC作動表示灯, TCL OFF表示灯（同時点灯）	P. 7-28
4WD車 	ASC作動表示灯, ASC OFF表示灯（同時点灯）	

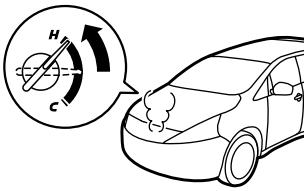
参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P. 5-21
	半ドア警告灯	P. 6-9
	燃料残量警告灯	P. 6-4
	ヘッドライトオートレベリング警告灯	P.6-14

こんなことでお困りのときは!

J01400300909

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」P. 2-12
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み, ハンドルを強く操作してください。 「走行中にエンストしたときは」P. 2-15
エンジンスイッチが回らない。 (キーを使ってエンジンをかけるとき)  (キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき)  AFZ000573	[キーを使ってエンジンをかけるとき] **LOCKからACCに回らない** ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーを抜くときは」P. 7-7 「キーレスオペレーションシステム:ACC から LOCK に回すときは」P. 4-20 [キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき] **LOCK(PUSH OFF)からACCに回らない** 再度エンジンスイッチを押してハンドルを左右に動かしたあと, エンジンスイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「エンジンの始動」P. 4-14
セレクターレバーがⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」P. 7-11

現象	処置
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」 P. 9-10
パンクした。 	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」P. 13-17
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」P. 13-22
水温計の針が「H」表示部に近づいている。 エンジンルームから蒸気が出ている。 	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」P. 13-25

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 1. 板または石などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。そして, ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 2. 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- タイヤのスリップから脱出するときは, 車の周囲に人がいないこと, および障害物がないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは, むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み, かえって脱出しにくくなります。また, エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障の原因につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは, 専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスミッションが変速しない。 発進時の出足が鈍い。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの三菱自動車販売会社まで運転し, 点検を受けてください。 発進しにくいときは, スポーツモードで 2 速を選択して発進し, その後はⒹに戻して走行してください。 (故障の内容によっては, この方法でも効果がないときがあります。)

故障したときは！

J01400400274

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，セレクターレバーをⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，速やかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- オートマチック車は，マニュアル車と構造が異なるため，エンジンスイッチをSTARTの位置で保持しても，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防止するため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 三菱純正の停止表示板は，サードシートの下に格納することができます。
→「停止表示板固定ベルト」P. 8-24

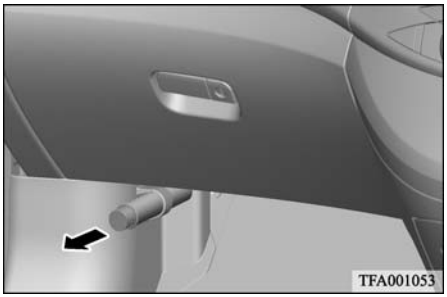
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500190

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用した場合または期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。



⚠警告

- お子さまには発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約 5 分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-15
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600494

⚠注意

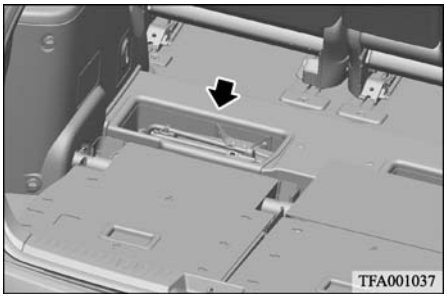
- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

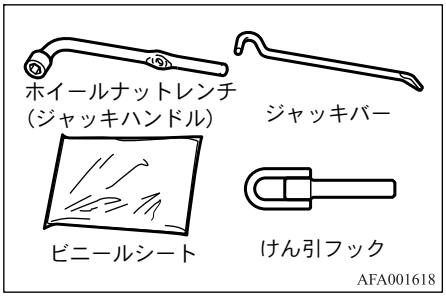
サードシートの下に格納されています。



⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類



アドバイス

● ビニールシートは交換した標準タイヤをつつむために使用してください。

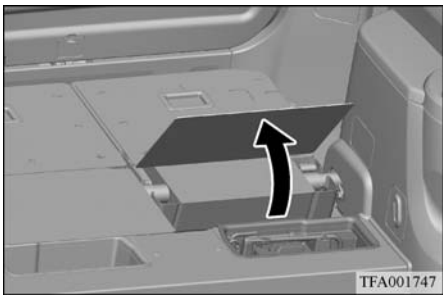
⚠注意

● ビニールシートはお子さまにはさわらせないでください。鼻または口にシートが巻き付くと呼吸をさえぎるおそれがあります。

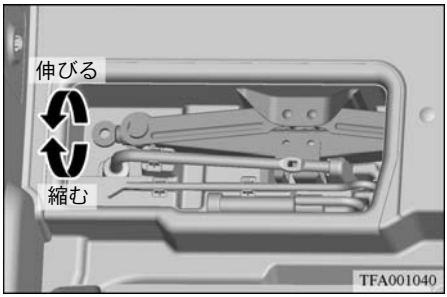
ジャッキの脱着

◆ 取り出すときは

1. サードシートを格納します。
   →「サードシートの格納」P. 5-13
2. ラゲッジフロアボードを持ち上げます。



3. ジャッキを縮め，指定の位置から取り出します。



◆ 格納するときは

1. ジャッキを縮めてから元の位置に戻します。
2. ジャッキを伸ばして確実に固定します。
3. ラゲッジフロアボードを元の位置に戻します。

ジャッキアップのしかた

J01400700554

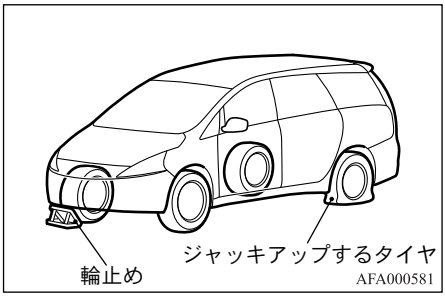
⚠警告

● ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

● ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一のとき，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンをかけたままにしない
- 人は車内に残らず車から降りる
- 地面が平坦で固い場所以外では使用しない
- 凍結した路面では使用しない
- ジャッキの上や下に物をはさまない
- ジャッキアップ中に車をゆすらない
- ジャッキアップしたタイヤを回転させない
- ジャッキアップしたまま放置しない

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを🅿に入れて，エンジンを止めます。
3. 非常点滅灯を点滅させ，停止表示板を車両後方に置き，同乗者を降ろします。
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。
   - 前輪のときは後輪の後ろ側
   - 後輪のときは前輪の前側



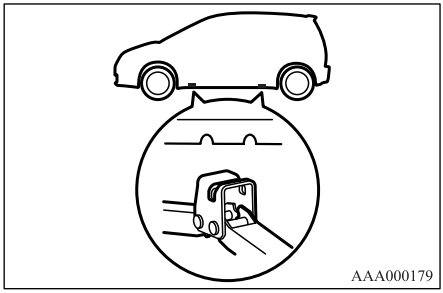
⚠注意

● ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

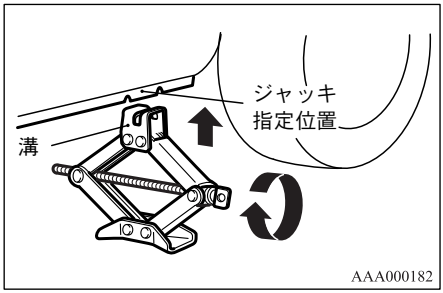
アドバイス

● 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
● 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用してください。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。



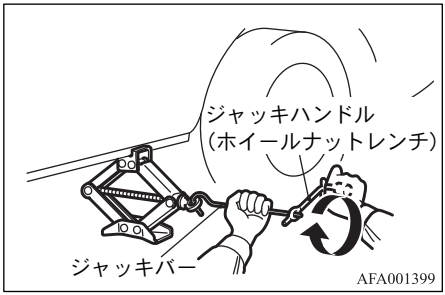
7. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にかかるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。



⚠警告

- **ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

8. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。



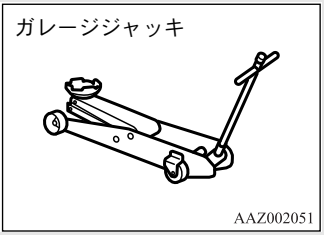
⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。

ガレージジャッキを使用するときは

⚠警告

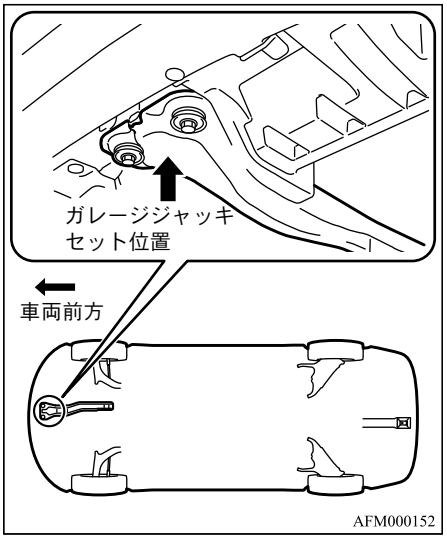
- 車両に搭載されているジャッキ以外のジャッキを使用してジャッキアップするときは，誤って使用すると車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



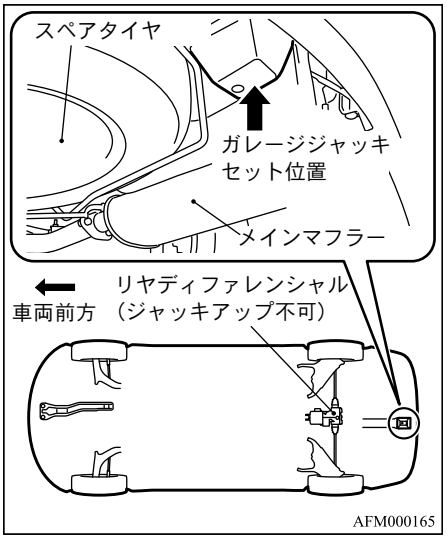
- 4WD 車のリヤ側をジャッキアップするときは，リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

◆ ガレージジャッキセット位置

フロント



リヤ

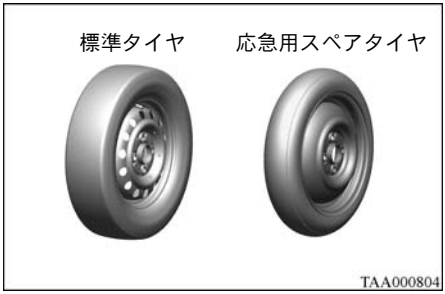


スペアタイヤ

J01400800340

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて，直径がいくぶん小さくなっています。



⚠注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは，100km/h 以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを後輪に装着し，外した後輪タイヤを前輪に取り付け，これにタイヤチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。

⚠注意

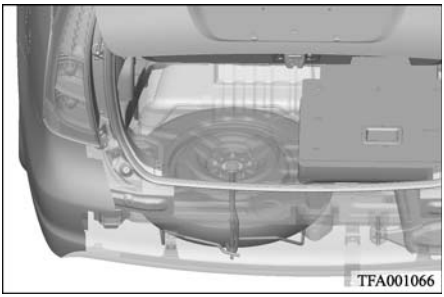
- 空気圧は定期的に点検してください。
  空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-7

アドバイス

- タイヤハンガーは応急用スペアタイヤ専用のため，他のタイヤは格納できません。パンクタイヤはラゲッジルームに格納してください。
- 応急用スペアタイヤを手または足でゆすってがたつかないことを確認してください。がたついているときはタイヤハンガーやフックの変形などが考えられますので，タイヤを車内に保管し，三菱自動車販売会社で修理してください。

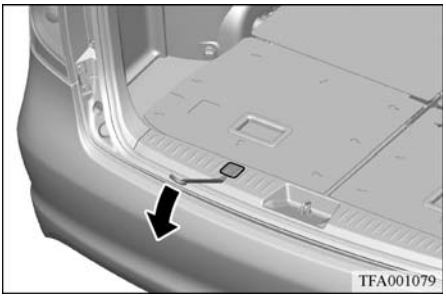
格納場所

応急用スペアタイヤは，ラゲッジルーム床下に格納されています。

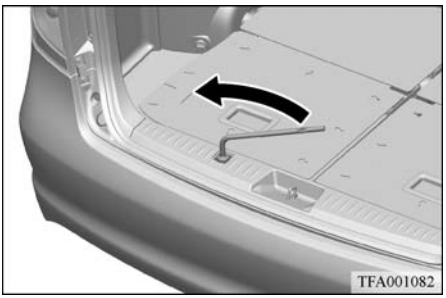


取り出すときは

1. テールゲートを開けて，ジャッキバーでタイヤハンガー取り付けボルトのフタを外します。



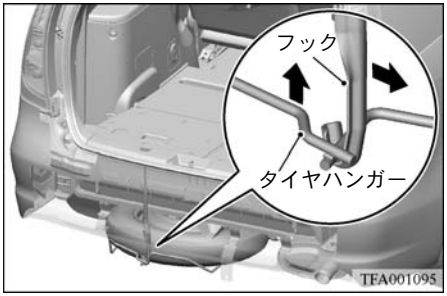
2. ホイールナットレンチでタイヤハンガー取り付けボルトを左に回してゆるめます。



⚠注意

- タイヤハンガー取り付けボルトをゆるめすぎると，フックが抜けてスペアタイヤが落ちる場合がありますので確認しながら行ってください。

3. タイヤハンガーの図の矢印部分を持ち上げてフックから外し，下に降ろしてタイヤを取り出します。

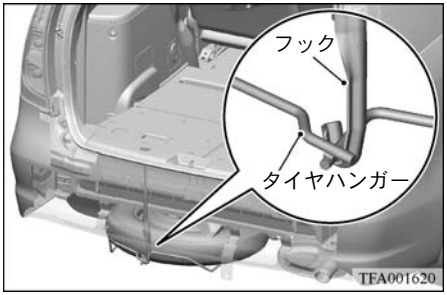


⚠注意

- フックからタイヤハンガーを外す場合，またはかけるときは，ハンガーを足の上などに落とさないよう確実にタイヤハンガーを持って行ってください。

格納するときは

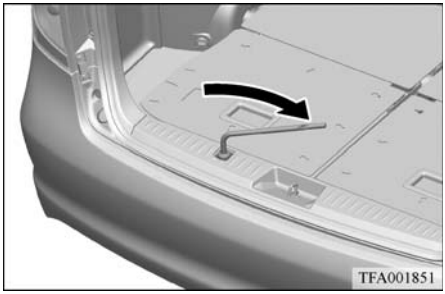
1. タイヤハンガーの中央にタイヤを置きます。
2. タイヤハンガーを持ち上げ，フックにタイヤハンガーをかけます。



⚠注意

- タイヤハンガーの正位置以外にフックをかけないでください。フックが車体を傷つけたり，走行中にタイヤが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

3. ホイールナットレンチでタイヤハンガー取り付けボルトを右に回して確実に締め付けます。



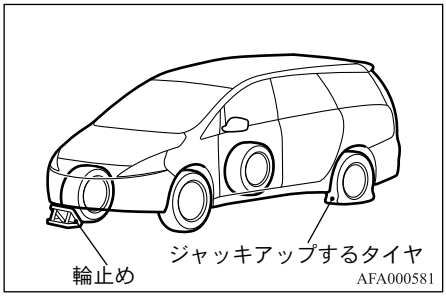
4. タイヤハンガー取り付けボルトのフタをします。

タイヤ交換のしかた

J01400900673

タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 非常点滅灯を点滅させ，停止表示板を車両後方に置き，同乗者を降ろします。
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。
   - 前輪のときは後輪の後ろ側
   - 後輪のときは前輪の前側



⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

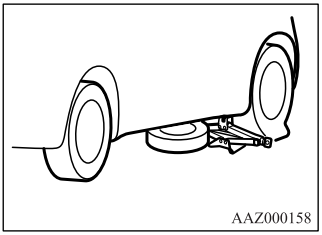
アドバイス

- 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用してください。

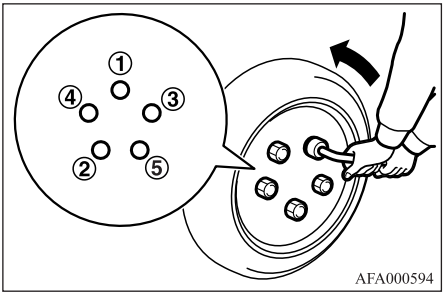
5. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-10
→「スペアタイヤ」P. 13-15

アドバイス

● 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。



6. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り外します。
→「ホイールカバー」P. 13-21
7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
→「ジャッキアップのしかた」P. 13-12
8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。



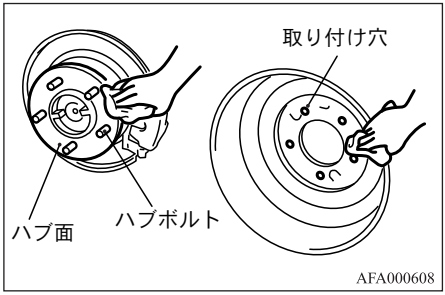
9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

● タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

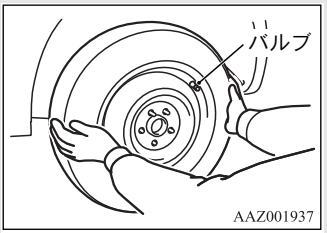
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

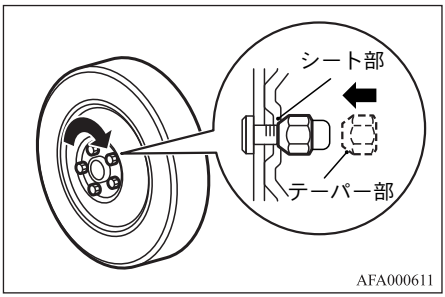
- **タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。**



3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

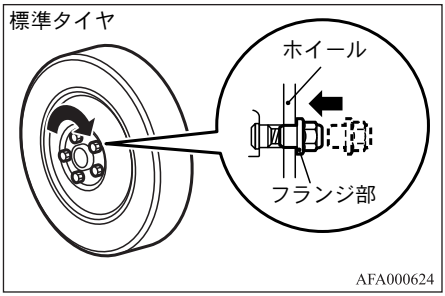
スチールホイール付き車

ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。
応急用スペアタイヤを取り付けるときも同様に仮締めします。

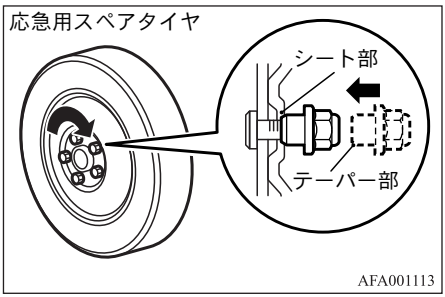


アルミホイール付き車

標準タイヤは，ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



応急用スペアタイヤは，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



⚠注意

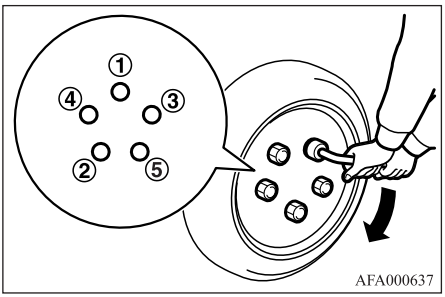
- ハブボルト，ホイールナットには油を塗らないでください。
  ネジ部，ホイールなどの傷害の原因になります。

アドバイス

- アルミホイールにはフランジナットが装着されていますが，フランジナットは応急用スペアタイヤにも使用できます。
- アルミホイールを 4 輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に 2~3回に分けて，徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク: 88~108N•m {9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で 350~420N｛35~42kgf｝の力）



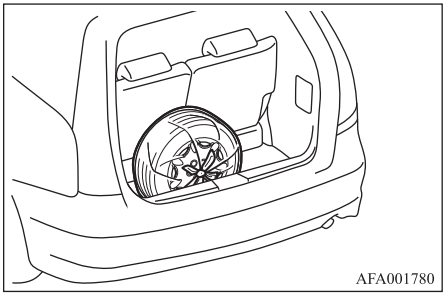
⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り付けます。
   →「ホイールカバー」P. 13-21
6. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P. 14-7
7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
   →「格納場所」P. 13-10
8. 交換したタイヤはビニールシートにつつんでラゲッジルームに格納します。

アドバイス

- ビニールシートは工具やジャッキと共にサードシートの下に格納されています。
  →「工具とジャッキ」P. 13-10



⚠警告

- **格納するときは，左右のサードシートの背もたれを起こし，交換したタイヤを立てて格納してください。**
  荷室にしたまま格納すると，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

● タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

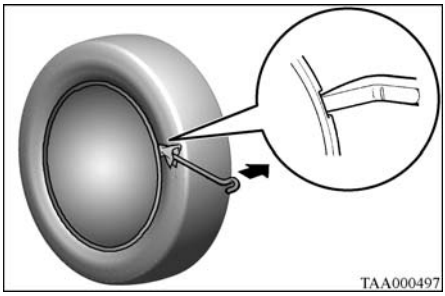
ホイールカバー

タイプ別装備

J01402800113

◆ 取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて，ホイールカバーの切り欠き部へ深く差し込み，タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。



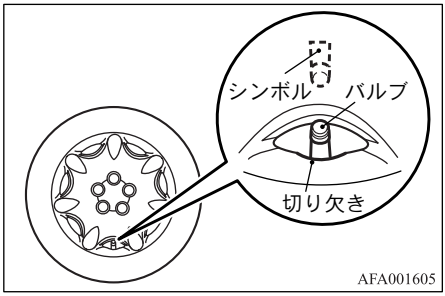
2. カバーが浮いたら，ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら，少しずつこじてカバーを取り外します。

⚠注意

● ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などでけがをするおそれがあります。

◆ 取り付けるときは

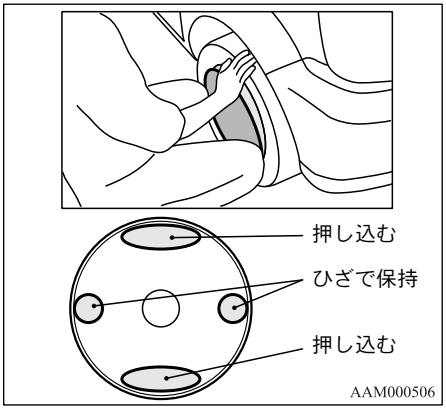
1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。



アドバイス

● カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。



アドバイス

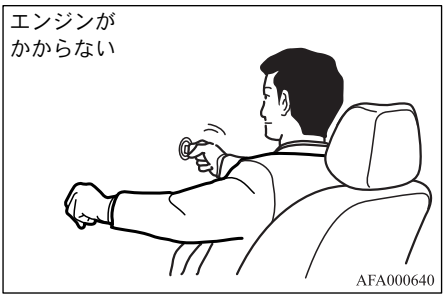
- ホイールカバーを取り付ける前に，裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。正しく組み付いていないとホイールカバーが外れる原因となります。また，ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。

バッテリー上がりのときは！

J01401000932

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。



ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- **救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを🅝，CVT車，オートマチック車はセレクターレバーを🅟に入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止を繰り返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。

4. バッテリー液量を確認します。

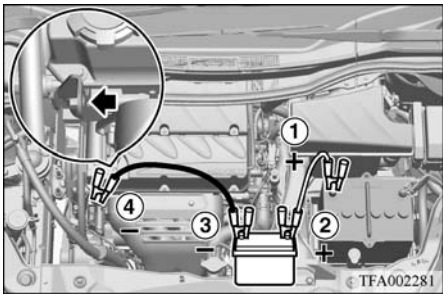
⚠警告

- バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）



⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの－端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- **バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。**
- **充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。**
- **周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。**
- **充電するときは，すべてのキャップを外してください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。**

アドバイス

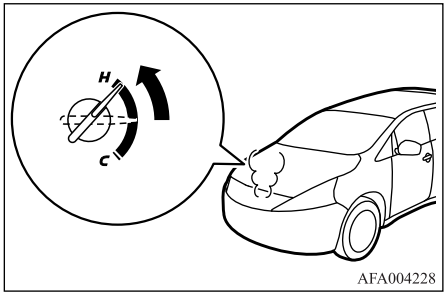
- オートマチック車はマニュアル車と構造が異なるため，押しがけやけん引によりエンジンをかけることはできません。
- 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告灯が点灯したときは」P. 7-25

オーバーヒートしたときは！

J01401100601

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 水温計の指針が「H」表示部に近づいたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



AFA004228

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

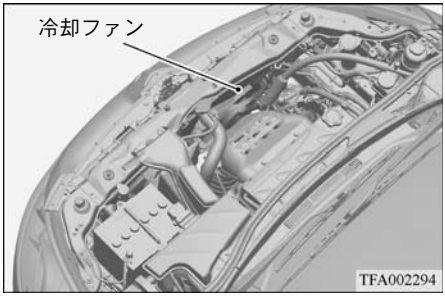
   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

   [蒸気が出ているとき]
   エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

- **エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。**

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。



TFA002294

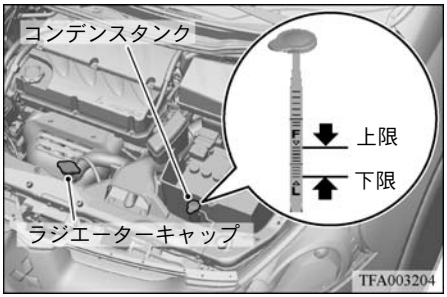
⚠警告

- **冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。**

アドバイス

● ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，速やかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. 水温計の指針が下がってきたら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから，コンデンスタンクのキャップを開け，レベルゲージで冷却水の有無を点検します。



⚠警告

● 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

● 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401200888

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

● エンジンが回っているのに車が動かない，または異音がするとき。
● 下まわりを点検し，オイルなどが漏れているとき。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

⚠注意

● 2WD 車で駆動系部品が故障したと思われる場合（車輪が動かない，異音がするなど）は，必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引してください。
● 2WD 車のオートマチック車で，駆動輪（前輪）を接地してけん引するときの速度は 30km/h 以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。
● 2WD 車で ASC 装着車は，エンジンスイッチを ON にして前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，トラクションコントロール機能が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチを LOCK または ACC に，後輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチを ACC にしてください。
● 4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。

⚠注意

- 4WD車は，4WDセレクタースイッチを「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

アドバイス

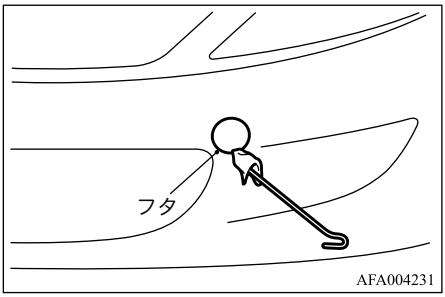
- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう，または他車をけん引するときは，つぎの要領で行ってください。

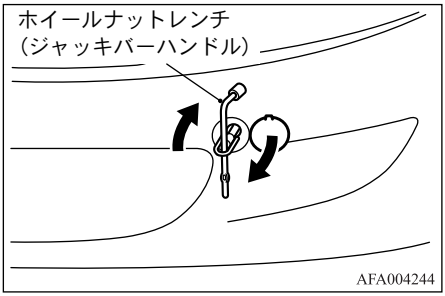
他車にけん引してもらうとき

J01403900560

1. けん引フック，ホイールナットレンチ，ジャッキバーを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて，フロントバンパーの助手席側にあるフタを取り外します。



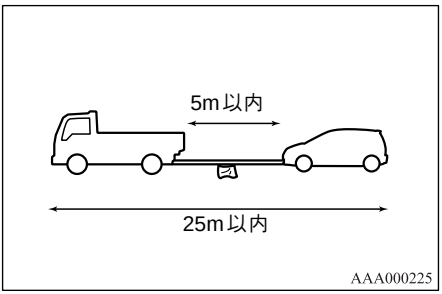
3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。



アドバイス

- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引フックにロープをかけるときは，車体の破損・変形を防ぐためにつぎのことに気をつけてください。
  - けん引フックは確実に取り付けてください。
  - けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
  - けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

4. けん引ロープをけん引フックにかけます。
5. けん引ロープには，30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



6. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ACC または ON にします。

⚠注意

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。
- エンジンスイッチがLOCK位置では，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

7. セレクターレバーをⓃに入れます。
8. 後続車に注意を促すため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-15

⚠警告

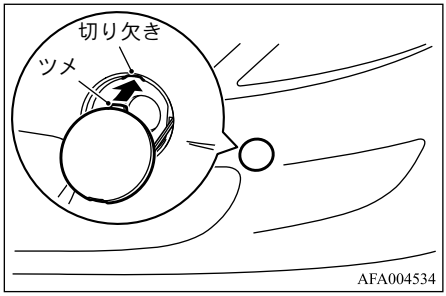
- **けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。**

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などに当たり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。
- オートマチック車をけん引するときの速度は30km/h以下，けん引する距離は30km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

9. けん引が終わったら，ホイールナットレンチを使用してけん引フックを外し，指定位置に格納します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10

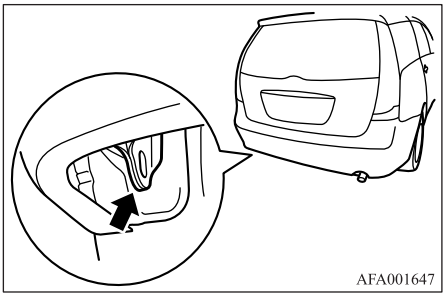
10.ツメを車体側の切り欠きに合わせてバンパーのフタを確実に取り付けます。



他車のけん引

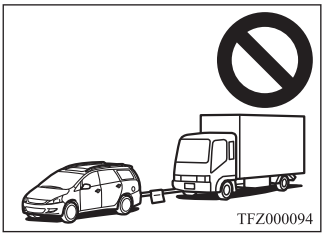
J01404100165

けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。その他は「他車にけん引してもらうとき」と同じ要領で行ってください。



アドバイス

- けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。
- 自車より重い車をけん引しないでください。
- 車両重量については車載の「自動車検査証」をご覧ください。



ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300153

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

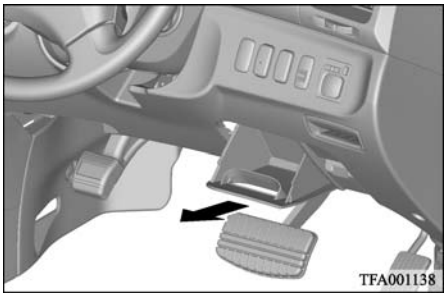
J01401500315

各種のランプが点灯しない，または電気系統の装備が作動しない場合は，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

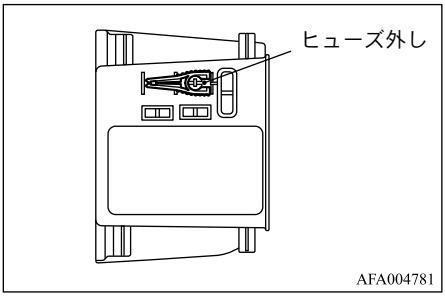
ヒューズボックスの位置

◆ 運転席足元／パーソナルボックス（小物入れ）裏側

1. パーソナルボックスを開けます。
2. パーソナルボックスを上に持ち上げながら，手前に引いて取り外します。



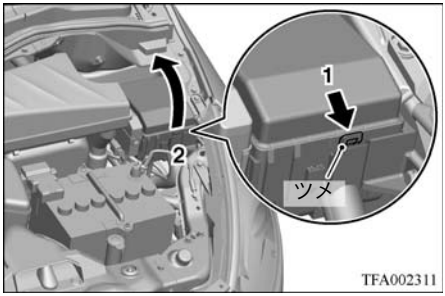
3. パーソナルボックスの奥にヒューズボックスがあります。ヒューズ外しはパーソナルボックスの裏側にあります。



パーソナルボックスを戻すときは，逆の手順で行います。

◆ エンジンルーム内

1. ツメを押してロックを外します。
2. カバーの手前を持ち上げてカバーを取り外します。



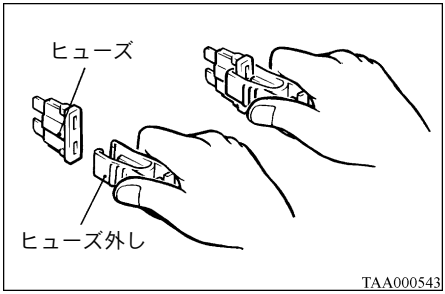
ヒューズの交換

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-32

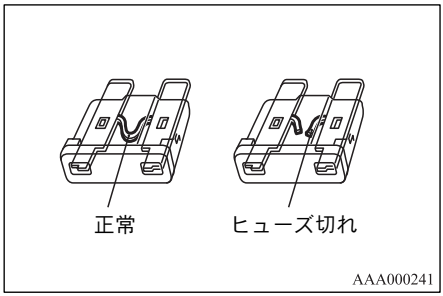
アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備・容量は，運転席足元はパーソナルボックス（小物入れ）の裏側に，エンジンルーム内はヒューズボックスカバーの裏側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しはパーソナルボックスの裏側にあります。



4. ヒューズを点検し，切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。



⚠警告

- **取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金または銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。**

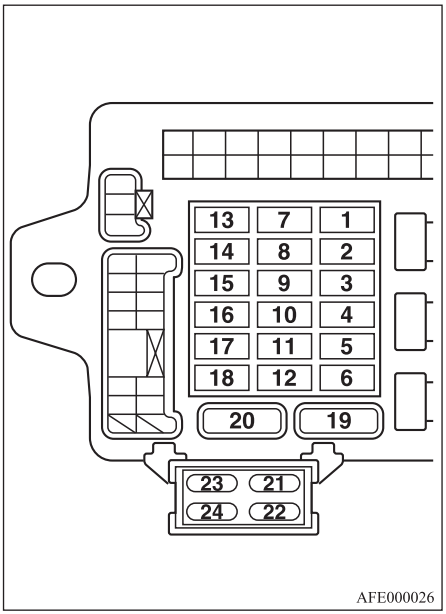
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。速やかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズについては三菱自動車販売会社にご相談ください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403700803

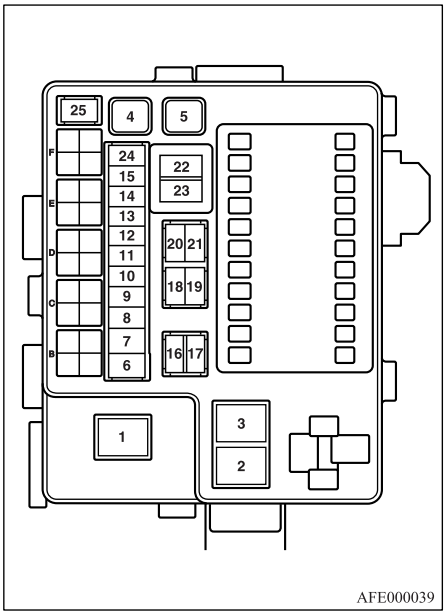
◆ 運転席足元



NO.	表示	装備	容量
1		イグニッション コイル	10A
2		メーター	7.5A
3		後退灯(バック アップランプ)	7.5A
4	CRUISE	クルーズ コントロール	7.5A
5		リレー	7.5A
6		ヒーテッド ドアミラー	7.5A
7		フロントワイパー	20A
8		エンジン コントロール	7.5A
9		アクセサリー ソケット	15A
10	—	—	—
11		電動リモコン ドアミラー	7.5A
12		コントロール ユニットリレー	7.5A
13	—	—	—
14		リヤワイパー	15A
15		ドアロック	15A
16		4WD	10A
17	—	—	—
18	—	—	—
19		ヒーター	30A
20		デフォッガー	30A
21		サンルーフ	20A
22		シートヒーター	20A
23		リヤエアコン	20A
24		リヤフォグランプ	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

◆ エンジンルーム内



NO.	表示	装備	容量
1	—	—	—
2		ラジエーター ファン	50A
3		ABS	30A
4		ABS	40A
5		パワーウインドウ	40A
6		フロントフォグ ランプ	15A
7		ACパワー サプライ/ アクセサリー ソケット	15A
8		ホーン	10A
9		エンジン コントロール	20A
10		エアコン コンプレッサー	10A

NO.	表示	装備	容量
11	STOP	制動灯 (ブレーキランプ)	15A
12		ホーン/ワイパー ディアイサー	15A
13		オルタネーター	7.5A
14		非常点滅灯	10A
15	A/T	オートマチック トランスミッション	20A
16		ヘッドライト (上向き) (右)	10A
17		ヘッドライト (上向き) (左)	10A
18		ヘッドライト (下向き) (右)	20A*1 10A*2
19		ヘッドライト (下向き) (左)	20A*1 10A*2
20		尾灯 (テール ランプ) (右)	7.5A
21		尾灯 (テール ランプ) (左)	7.5A
22		バックアップ	15A
23		ラジオ	10A
24		フューエルポンプ	15A
25		エレクトリック テールゲート	30A

*1：ディスチャージヘッドライト付き車

*2：ハロゲンヘッドライト付き車

- 装備仕様の違いにより，ヒューズがない場合もあります。
- 表は各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

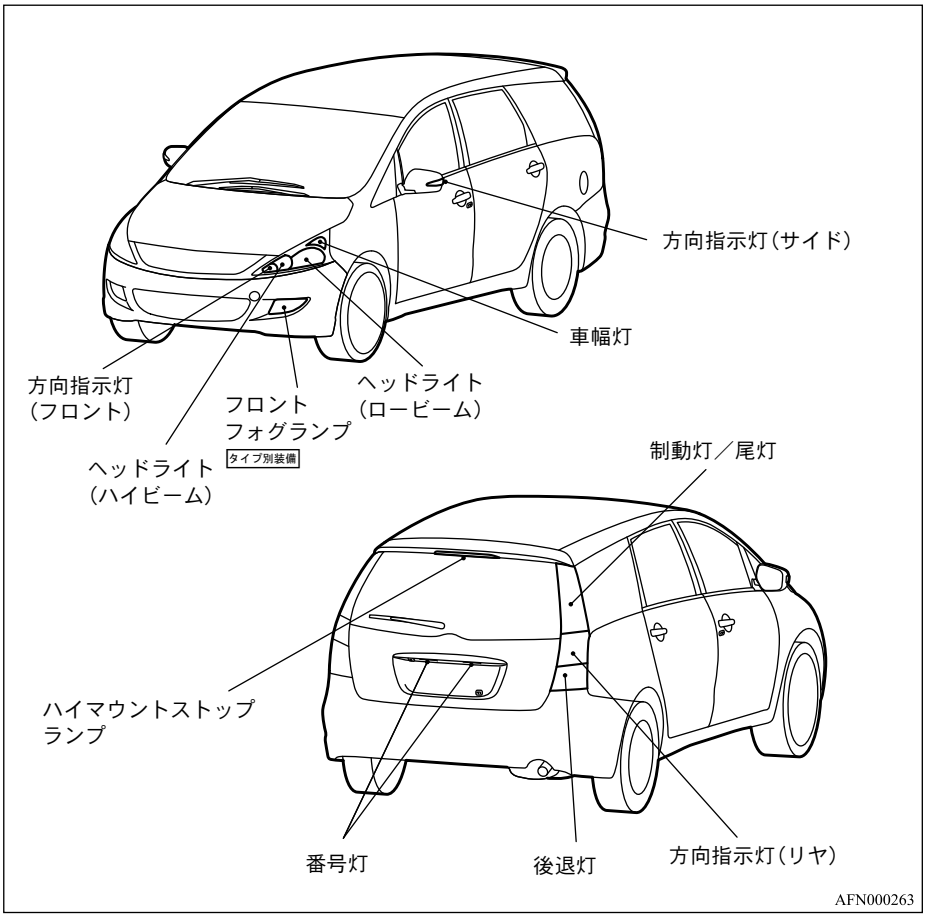
バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600589

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

◆ 車外照明



ヘッドライト（除く，ディスチャージ）	ハイビーム[ハロゲン球]	65W (H9)
	ロービーム[ハロゲン球]	55W (H1)
ヘッドライト（ディスチャージ）	ハイビーム[ハロゲン球]	65W (H9)
	ロービーム[ディスチャージ球]	35W (D2R)
車幅灯[ヘッドライト内蔵]		5W (W5W)
フロントフォグランプ タイプ別装備		55W (H11)
後退灯		21W (W21W)
番号灯		5W (W5W)
方向指示灯	フロント	21W (W21W)
	リヤ	21W (WY21W)

（ ）内はバルブ（電球）の型式を示しています。

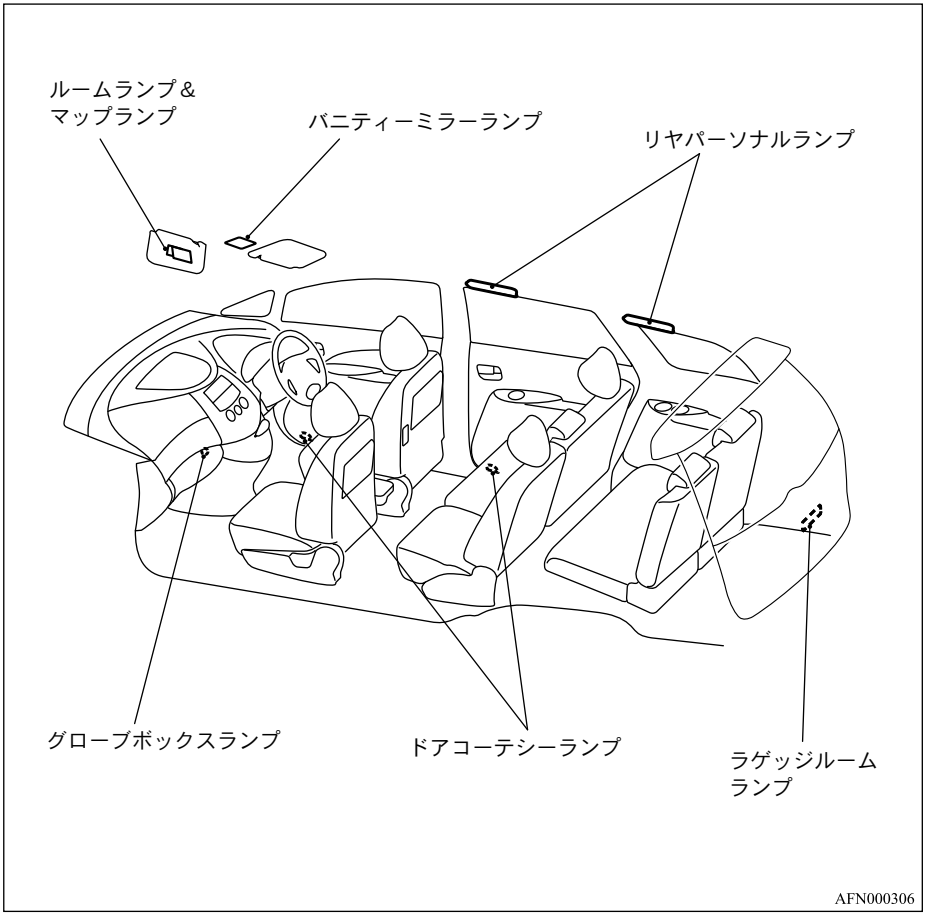
⚠注意

● ディスチャージヘッドライトの分解・修理・バルブ交換は行わないでください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。修理・交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

● 方向指示灯（サイド），制動灯，尾灯およびハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明



ルームランプ＆マップランプ［室内灯］	8W
リヤパーソナルランプ	8W
ラゲッジルームランプ	5W
ドアコーテシーランプ	3.4W
グローブボックスランプ	1.4W
バニティーミラーランプ タイプ別装備	3W

バルブ（電球）の交換

J01401700434

ここでは主なバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンを止めます。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P. 13-34

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

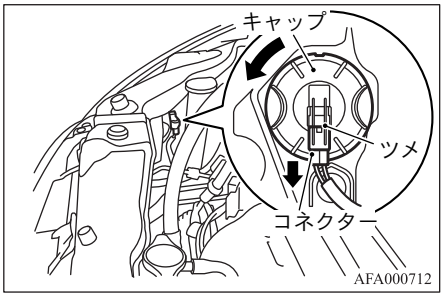
アドバイス

- バルブを交換するときは，同じワット(W)数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズの内側が曇ることがあります。
バルブの表面に触れたときは，乾いた柔らかい布で油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換したあとは，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズの内側が曇ることがあります。
これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。
ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

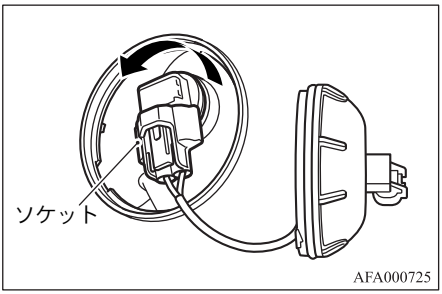
◆ ヘッドライト（ハイビーム）

J01401900827

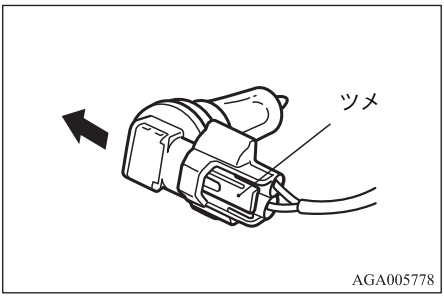
1. ツメを押しながらコネクターを引き抜き，キャップを反時計回りに回して外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。

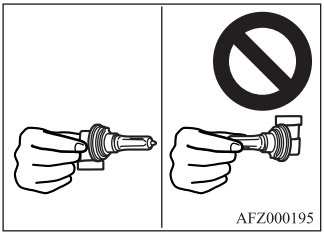


3. ソケットのツメを押しながら，バルブを引き抜きます。



⚠注意

- ハロゲンバルブは，電球内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，ガーゼなどの柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

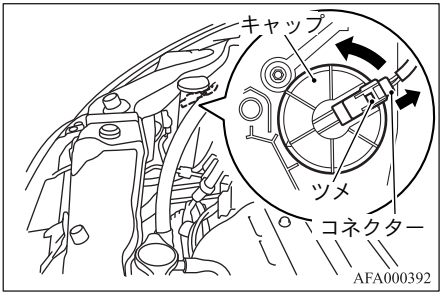


◆ ヘッドライト（ロービーム）

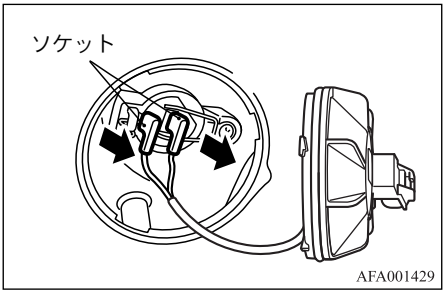
J01401900830

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

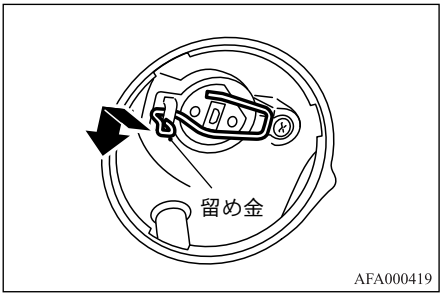
1. ツメを押しながらコネクターを引き抜き，キャップを反時計回りに回して外します。



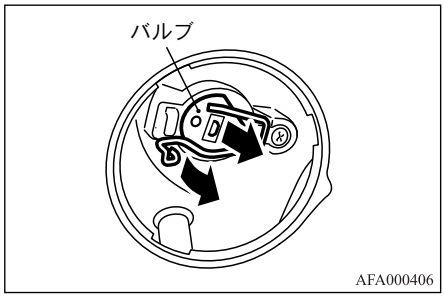
2. バルブからソケットを引き抜きます。



3. 留め金を外します。

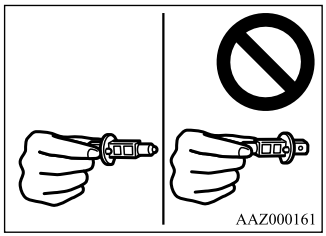


4. 留め金を矢印方向に引き起こし，バルブを引き抜きます。



⚠注意

- ハロゲンバルブは，電球内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，ガーゼなどの柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



◆ディスチャージヘッドライト

タイプ別装備

J01401800044

⚠注意

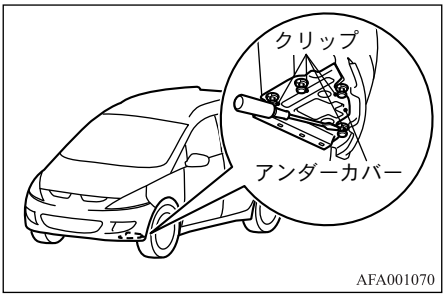
- ディスチャージヘッドライトの分解・修理・バルブ交換は行わないでください。
  電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。修理・交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆フロントフォグランプ

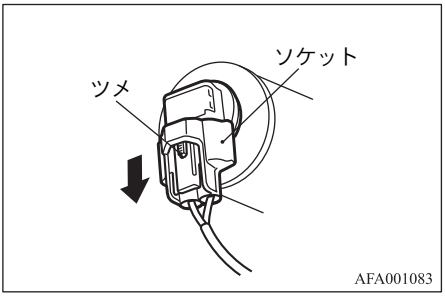
タイプ別装備

J01403200332

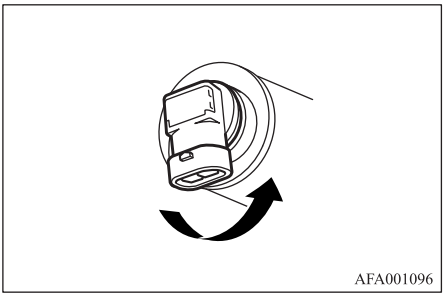
1. マイナスドライバーなどでクリップ4箇所を外し，アンダーカバーをめくります。



2. ツメを押しながら，ソケットを引き抜きます。

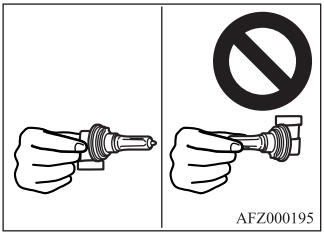


3. バルブを反時計回りに回して外します。



⚠注意

- ハロゲンバルブは，電球内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，ガーゼなどの柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



◆ 車幅灯

J01402000128

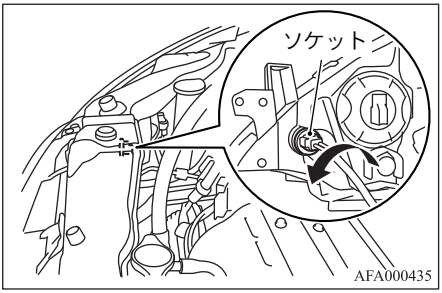
アドバイス

- 車幅灯の修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

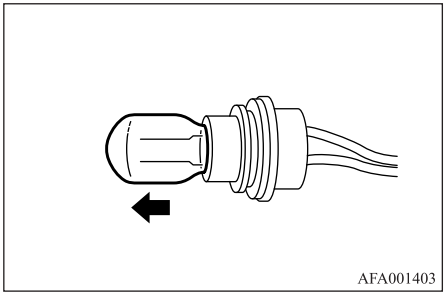
◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100028

1. ソケットを反時計回りに回して外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。



◆ 方向指示灯（サイド）

J01402200120

アドバイス

- 方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

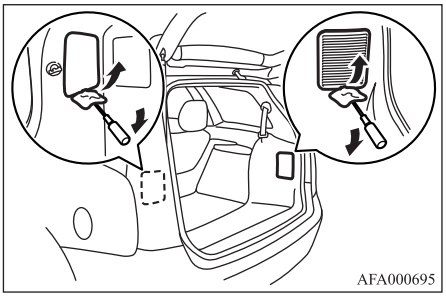
◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000138

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどでリッドをこじて外します。

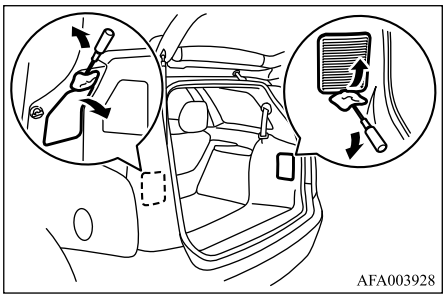
除く，エレクトリックテールゲート付き車

リッド下部の切り欠き部に差し込みます。

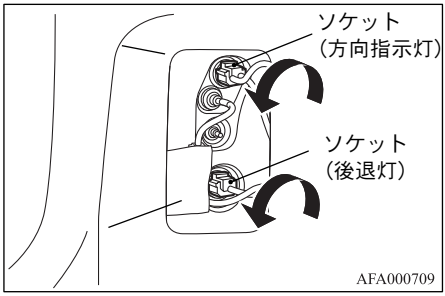


エレクトリックテールゲート付き車

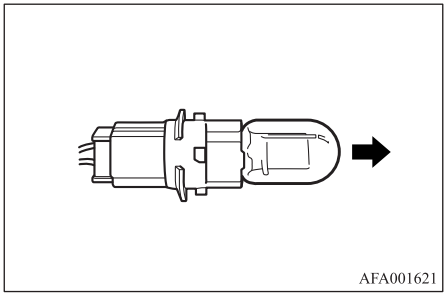
右側はリッド下部の切り欠き部に，左側はリッド上部に差し込みます。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。

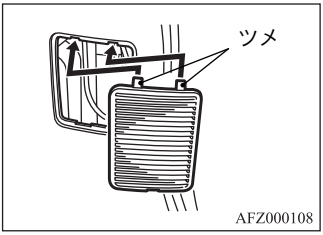


3. ソケットからバルブを引き抜きます。



アドバイス

- リッドを取り付けるときは，ツメ（2箇所）を車体側の穴に合わせて取り付けます。

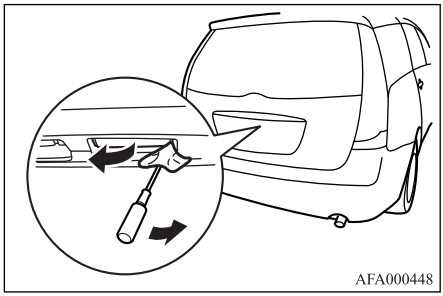


- 制動灯，尾灯はバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

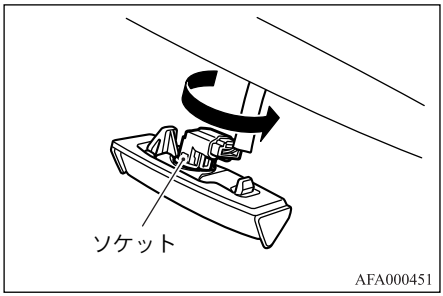
◆ 番号灯

J01402600023

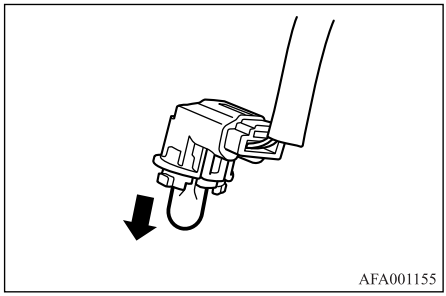
1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，ランプ本体をこじて外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。

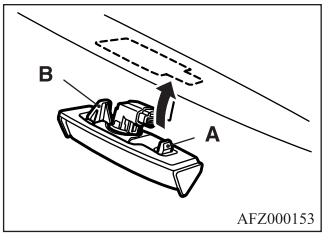


3. ソケットからバルブを引き抜きます。



アドバイス

● ランプ本体を取り付けるときは，ツメ(A)を先に入れ，ツメ(B)を後で合わせて取り付けます。



◆ ハイマウントストップランプ

J01402700109

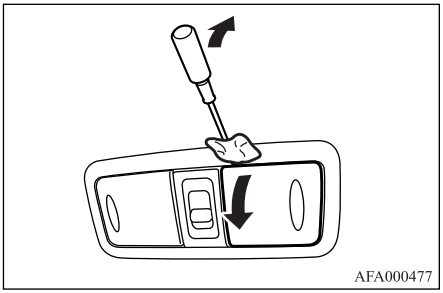
アドバイス

● ハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

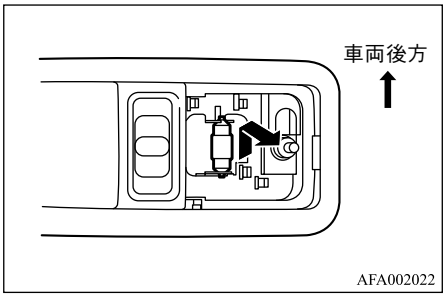
◆ ルームランプ＆マップランプ

J01404400038

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。

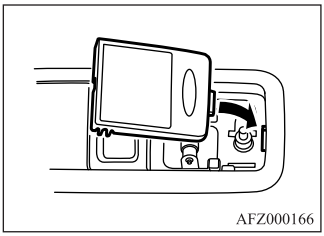


2. バルブを車両後方に押しながら取り外します。



アドバイス

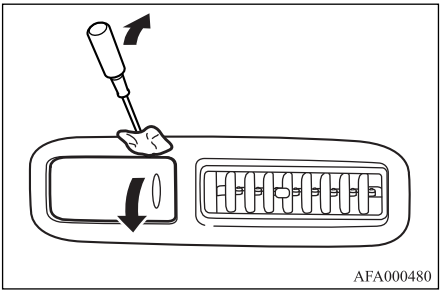
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



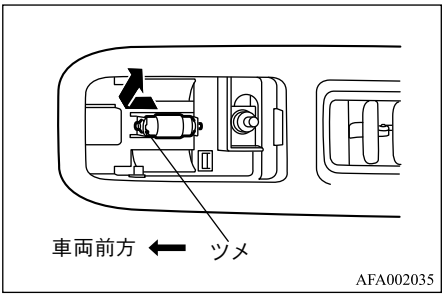
◆ リヤパーソナルランプ

J01404800045

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。

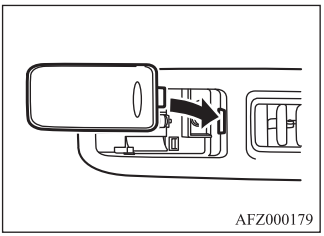


2. ツメを車両前方に押しながら，バルブを取り外します。



アドバイス

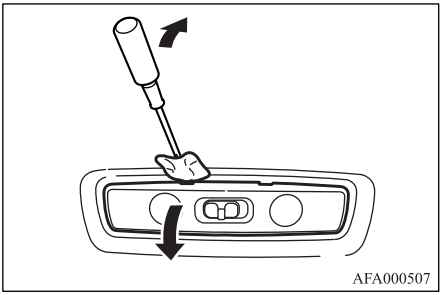
- バルブを交換するときは，インテリアランプスイッチの位置を〇にしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



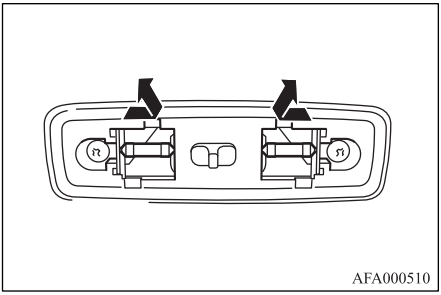
◆ ラゲッジルームランプ

J01404900017

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。



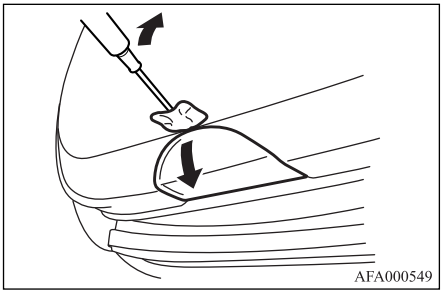
2. バルブを内側に押しながら，取り外します。



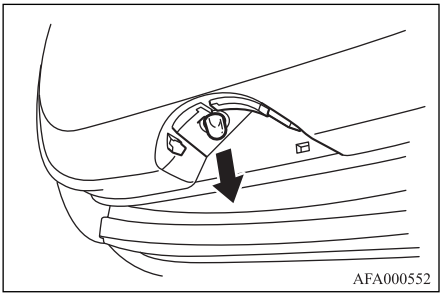
◆ ドアコーテシーランプ

J01405300018

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。

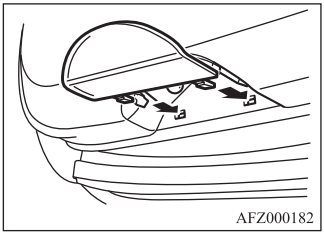


2. バルブを引き抜きます。



アドバイス

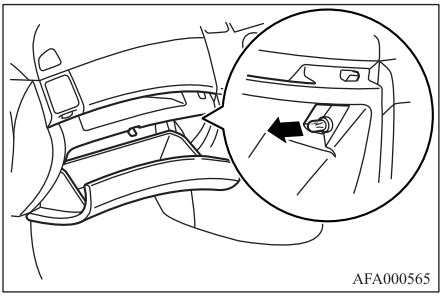
● レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



◆ グローブボックスランプ

J01405500010

バルブを引き抜きます。

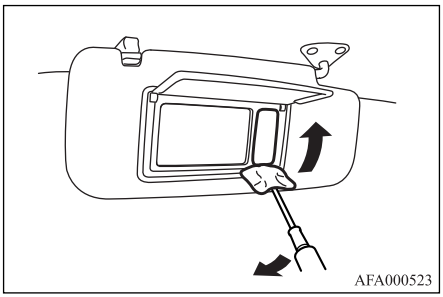


◆ バニティーミラーランプ

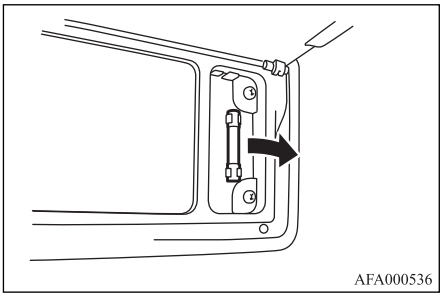
タイプ別装備

J01405400019

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。



2. バルブを取り外します。



サービスデータ

メンテナンスデータ 14- 2
タイヤ, ホイールのサイズ 14- 6
タイヤの空気圧 14- 7
カスタマイズ（機能の設定変更） 14- 8

メンテナンスデータ

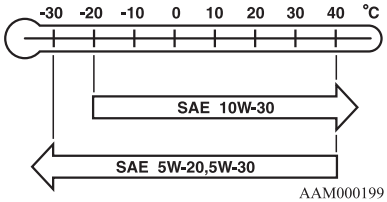
J01600101052

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご覧ください。

燃料の量と種類

容量	使用銘柄
約65L	無鉛レギュラーガソリン(無鉛ハイオクガソリンも使用可) ● 燃料は指定されたものを補給してください。→P. 2-3

オイル類の量と種類

項目	容量	使用銘柄
エンジンオイル	約4.3L (オイルフィルター内約0.3Lを含む)	三菱自動車純正銘柄 / API 分類 / SAE 粘度番号 ダイヤクイーン SL スーパー / SL相当 / 5W—20, 10W—30 ダイヤクイーン SJ / SJ相当 / 5W—30, 10W—30 ダイヤクイーン SH / SH相当 / 10W—30 ● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。  AAM000199

アドバイス

- 工場出荷時は5W—20を入れてあります。5W—20はエンジンの始動性を良くしたり，燃費の向上に効果があります。
- 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

項目		容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッションオイル	2WD車	約7.7L	三菱純正ダイヤクイーンATF SP III
	4WD車	約8.1L	
トランスファーオイル（4WD車）		約0.55L	三菱純正ダイヤクイーンスーパーハイポイドギヤオイル SAE80 (GL-5)
リヤディファレンシャルオイル（4WD車）		約0.47L	三菱純正ダイヤクイーンスーパーハイポイドギヤオイル SAE80 (GL-5)
ブレーキ液		所要	三菱純正ダイヤクイーンブレーキフルードスーパー4 (DOT4)
パワーステアリングオイル		約1.0L	三菱純正ダイヤクイーンパワステフルード

冷却水の量と種類

項目		容量	使用銘柄
冷却水（コンデンスタンク内約0.6Lを含む）	除く，リヤオートエアコン付き車	約8.0L	三菱純正ダイヤクイーンスーパーロングライフクーラント
	リヤオートエアコン付き車	約9.5L	

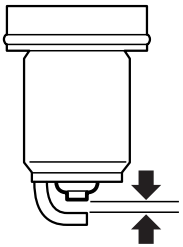
ウォッシャー液の量と種類

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約4.5L	三菱純正ダイヤクイーンウインドウウォッシャー液

点火プラグの種類

使用銘柄	電極部のすきま
NGK: 日本特殊陶業製:LZFR6AI	0.7~0.8mm

拡大図(電極部のすきま)



AAM000203

● 点火プラグの点検, 交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

項目	形式
除く, 寒冷地仕様車	55B24L
寒冷地仕様車	55D23L

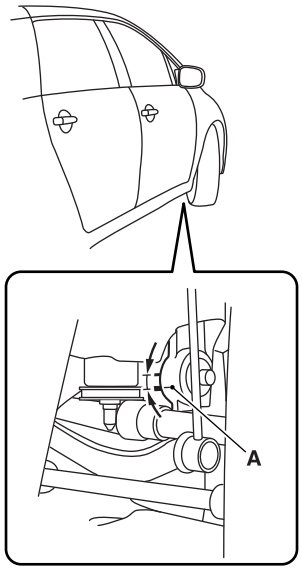
⚠警告

● バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
● バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

アドバイス

● バッテリー交換後は，お客様が設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは，それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

整備基準値

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま（踏力 約500N{約50kgf}）	140mm以上
駐車ブレーキ	踏みしろ（操作力 約200N{約20kgf}）	1ノッチ
ベルトのたわみ量	 AFM000950	インジケーター(A)が範囲内にあること（ハンドルを左に切り，運転席側のタイヤとボデーの間から確認します。）

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600200968

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。
- ４輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。
- タイヤ，ホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは，リムサイズやオフセット量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。

ホイール	タイヤ
16インチ	215/60R16 95H
17インチ	215/55R17 93V 215/55R17 93H

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。
お客様のお車との組み合わせは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

タイヤの空気圧

J01600300363

タイヤサイズ		空気圧 (kPa {kgf/cm²})
標準タイヤ	215/60R16 95H	210 {2.1}
	215/55R17 93V	230 {2.3}
	215/55R17 93H	230 {2.3}
応急用スペアタイヤ	T135/90D16	420 {4.2}

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600400289

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) またはマルチディスプレイステーション (MDS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー（除く，キーレスオペレーションシステム付き車）	リモコンスイッチでUNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間 →P. 4-5	約30秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-5	施錠時：1 回点滅 解錠時：2 回点滅	○
		施錠時：1 回点滅 解錠時：0 回点滅	
		施錠時：0 回点滅 解錠時：2 回点滅	
		施錠時：2 回点滅 解錠時：1 回点滅	
		施錠時：2 回点滅 解錠時：0 回点滅	
		施錠時：0 回点滅 解錠時：1 回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるパワーウインドウ・サンルーフ操作[*1] →P. 4-6	閉じるのみ	○
		閉じる，開ける[*2]	
		作動しない	

[*1]：パワーウインドウとサンルーフの設定項目は同時に変更されます。

[*2]：パワーウインドウのみ開ける機能を追加することができます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーション機能で可能な操作 →P. 4-7	ドアおよびテールゲートの施錠・解錠, およびエンジンの始動	○
		ドアおよびテールゲートの施錠・解錠のみ	
		エンジンの始動のみ	
		ドアおよびテールゲートの施錠・解錠, およびエンジンの始動を働かなくする	
	リモコンスイッチまたはドアおよびテールゲートスイッチでUNLOCKスイッチを押した後, 自動的に施錠されるまでの時間 →P. 4-12, 4-22	約30秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチまたはドアおよびテールゲートスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-13, 4-22	施錠時: 1 回点滅 解錠時: 2 回点滅	○
		施錠時: 1 回点滅 解錠時: 0 回点滅	
		施錠時: 0 回点滅 解錠時: 2 回点滅	
		施錠時: 2 回点滅 解錠時: 1 回点滅	
		施錠時: 2 回点滅 解錠時: 0 回点滅	
		施錠時: 0 回点滅 解錠時: 1 回点滅	
		点滅しない	
	施錠・解錠時の作動確認に合わせてブザーが鳴る →P. 4-13, 4-22	ブザーが鳴る	○
		ブザーが鳴らない	
	リモコンスイッチまたはドアおよびテールゲートスイッチでできるパワーウインドウの開閉操作 →P. 4-13, 4-23	閉じるのみ	○
		開ける, 閉じる	
		開閉しない	

装備	調整機能	設定項目		出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	リモコンスイッチまたはドアおよびテールゲートスイッチでできるサンルーフの閉じる操作 →P. 4-13, 4-23	作動する		○
		作動しない		
セキュリティーアラーム*3	システムの設定 →P. 4-39	警報作動する		
		警報作動しない		○
パワーウインドウ サンルーフ	エンジンスイッチをOFFにした後に開閉できる時間（タイマー機能）*4 →P. 4-47, 4-49	約30秒		○
		時間を長くする		
		タイマー機能を働かなくする		
	ロックスイッチをONにしたときに運転席スイッチで開閉できるドアガラス →P. 4-47	全席		○
		運転席のみ		
センタードアロック	エンジンスイッチがONのときにセレクターレバーを(P)に入れると解錠 →P. 4-25	解錠する	常時	
			パワーウインドウロックスイッチをONにすると解錠しない	
		解錠しない		○
半ドア警告	半ドアのまま走行したときの, ブザーによる警告 →P. 6-9	警告する		○
		警告しない		
		連続して警告する		

*3：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-41

*4：パワーウインドウとサンルーフの設定項目は同時に変更されます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	自動点灯のタイミング（オートライトコントロールセンサーの感度調整）→P. 6-10	標準	○
		早くする	
		遅くする	
	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）→P. 6-11	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置→P. 6-11	≣Dのみ	○
		≣DOE≣Dと≣D	
	ライトスイッチがAUTOの位置でフロントワイパーを動かすと自動的にヘッドライトが点灯→P. 6-16	点灯する	
		点灯しない	○
方向指示灯	方向指示灯の点滅に合わせてブザーが鳴る→P. 6-15	ブザーが鳴る	
		ブザーが鳴らない	○
	方向指示レバーを方向指示の位置まで操作すると方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅→P. 6-15	エンジンスイッチがONのときに点滅する	○
		エンジンスイッチがONまたはACCのときに点滅する	
フロントワイパー	間けつ作動時間→P. 6-16	車速感応	○
		車速感応無し	
リヤワイパー	間けつ作動時間→P. 6-18	約８秒	○
		時間を短くする[*5]	
		時間を長くする[*5]	
		連続作動にする	
フロント・リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動→P. 6-18, 6-18	連動する	○
		連動しない	

[*5]：連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P. 6-18

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P. 7-6	車速約30km/h以上で復帰	○
		エンジンスイッチに連動（ONで復帰, OFFで運転席ドアを開くと格納）	
		キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチに連動（LOCKで格納, UNLOCKで復帰）	
		キーレスオペレーション付き車は, ドアまたはテールゲートのスイッチに連動（LOCKで格納, UNLOCKで復帰）	
		自動格納・復帰しない	
ルームランプ＆マップランプ リヤパーソナルランプ	ドアを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯）[*6] →P. 8-8	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	
室内灯	点灯し続けたとき, 自動的に消灯するまでの時間（自動消灯）→P. 8-10	約30分	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		自動消灯機能を働かなくする	

[*6]：ルームランプ＆マップランプとリヤパーソナルランプの設定項目は同時に変更されます。

14

A~Z

ABS警告灯 7-25
ABS(アンチロックブレーキシステム) 7-24
ACパワーサプライ 8-4
ASC OFF表示灯 7-28
ASC作動表示灯 7-28
ASC(アクティブスタビリティコントロール) 7-26
INVECS-II スポーツモード4A/T 7-10
ISO FIX対応チャイルドシート 5-25
LOCK表示灯 7-20
MIVECエンジン 7-9
SONAR OFF(コーナーセンサーOFF)表示灯 7-41
SRSエアバッグ 5-32
SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 5-24, 5-40
SRSカーテンエアバッグ 5-32
SRSサイドエアバッグ 5-32
TCL OFF表示灯 7-28
TCLスイッチ 7-27
TCL(トラクションコントロール) 7-27

ア

アームレスト 5-6, 5-8
アクセサリーソケット 8-4
アクセサリーボックス 8-12
アクティブスタビリティコントロール (ASC) 7-26
アクティブパワーロック 4-39
アシストグリップ 8-21
アルミホイール 11-11
アンチロックブレーキシステム (ABS) 7-24
アンテナ 10-2

イ

ISO FIX対応チャイルドシート 5-25
インテリアランプオートカット 8-10
インテリアランプスイッチ 8-8
INVECS-II スポーツモード4A/T 7-10

ウ

ウインドウガラスのお手入れ 11-9
ウォッシャー
ウォッシャー液 14-3
ウォッシャー液の点検・補給 11-3
フロントウォッシャースイッチ 6-18
リヤウォッシャースイッチ 6-18

エ

エアコン
エアコン・クーラーの上手な使い方 9-16
吹き出し口 9-2
フロントオートエアコン 9-6
リヤオートエアコン 9-14
リヤクーラー 9-12
ASC 7-26
ACパワーサプライ 8-4
ABS 7-24
SRSエアバッグ 5-32
SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 5-24, 5-40
SRSカーテンエアバッグ 5-32
SRSサイドエアバッグ 5-32
エレクトリックテールゲート 4-29

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置） 4-3
エンジンオイル 14-2
エンジンオイルの補給 11-2
エンジンオイル量の点検・補給 M
エンジン型式 S
エンジン警告灯 6-8
エンジンスイッチ 4-14, 4-19, 7-7
エンジンのかけ方 4-15, 4-20, 7-8
エンジンフード（ボンネット） 4-52
エンジンブレーキ 2-13
エンジンルーム 1-9

オ

オイル 14-2
応急用スペアタイヤ 13-15
オートマチックトランスミッション
INVECS-II スポーツモード4A/T 7-10
運転のしかた 7-15
オートマチックトランスミッションオイル 14-3
オートマチックトランスミッションオイル量の点検・補給 M
セレクターレバー 7-11
オートライトコントロール 6-10
オーバーヒート 13-25
お手入れ
アルミホイール 11-11
洗車 11-7
塗装の補修 11-11
ワックス 11-8
オドメーター（積算距離計） 6-3

カ

カードホルダー 8-20
外装品のお手入れ 11-7
カスタマイズ（機能の設定変更） 14-8
カップホルダー 8-18
寒冷時の取り扱い 12-2

キ

キー 4-2
エマージェンシーキー 4-18
キーレスエントリー 4-5
キーレスオペレーションキー 4-22
キーレスエントリー 4-5, 4-22
キーレスオペレーションシステム 4-7
キーレスオペレーションシステム表示灯 4-16
キックダウン 2-16
機能の設定変更（カスタマイズ） 14-8

ク

区間距離計（トリップメーター） 6-3
曇り取り
ウインドウガラスの曇り取り 9-10
リヤウインドウデフォッガースイッチ 6-20
クリープ現象 2-16
クリーンエアフィルター 9-17, 11-5
クルーズコントロール表示灯 7-30
クルーズコントロール（自動定速走行装置） 7-30
グローブボックス 8-11

15

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ケ

警告
シートベルト警告 5-21
警告灯 6-6, 6-7
ABS警告灯 7-25
SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 5-24, 5-40
エンジン警告灯 6-8
シートベルト警告灯 5-21
充電警告灯 6-8
燃料残量警告灯 6-4
半ドア警告灯 6-9
ブレーキ警告灯 6-7
ヘッドライトオートレベリング警告灯 6-14
油圧警告灯 6-8
けん引 13-26

コ

工具 13-10
コーナーセンサー 7-40
小物入れ
アクセサリーボックス 8-12
インパネアッパーボックス 8-12
グローブボックス 8-11
サングラスポケット 8-12
パーソナルボックス 8-12
リヤサイドボックス 8-12
コンビニフック 8-22

サ

サードシート 5-11
サービスデータ 14-2
サングラスポケット 8-12
サンバイザー 8-2
サンルーフ 4-48
サンルーフのお手入れ 11-10

シ

シート 5-2
サードシート 5-11
シートアレンジ 5-3
セカンドシート 5-7
フロントシート 5-4
ヘッドレスト 5-11
ユースフルシート 8-14
シートベルト 5-18
3点式シートベルト 5-20
セカンドシートベルト, サードシートベルトの格納のしかた 5-22
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 5-23
シートベルト警告 5-21
室内灯 8-7
インテリアランプスイッチ 8-8
ドアコーテシーランプ 8-10
ラゲッジルームランプ 8-10
リヤパーソナルランプ 8-9
ルームランプ＆マップランプ 8-9
自動定速走行装置(クルーズコントロール) 7-30
ジャッキ 13-10
ジャッキアップ 13-12
車幅灯 13-41
車幅灯表示灯 6-7
車両重量 S
車両寸法 S

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

充電警告灯 6-8
修理の連絡先 M
樹脂部品のお手入れ 11-11

ス

水温計 6-5
スタビリティコントロール機能 7-27
スピードメーター 6-3
スペアタイヤ 13-15
スポーツモード表示灯 7-15

セ

セカンドシート 5-7
積算距離計(オドメーター) 6-3
セキュリティーアラーム 4-39
セレクターレバー 7-11
洗車 11-7
センターテーブル 8-13
センタードアロック 4-25

タ

タイヤ
空気圧 14-7
スペアタイヤ(応急用) 13-15
タイヤチェーン 12-6
タイヤ, ホイールのサイズ 14-6
タイヤ交換 13-17
タコメーター 6-3

チ

チャイルドシート 5-25
チャイルドプロテクション
(後席ドア安全施錠装置) 4-26
駐車ガイドシステム 7-44
駐車ブレーキ
駐車ブレーキ 7-2, 14-5
ブレーキ警告灯 6-7
チルトステアリング 7-3

テ

TCLスイッチ 7-27
定期点検 M
TCL 7-27
停止表示板固定ベルト 8-24
テールゲート 4-27
デュアルアラウンドモニター 7-33
コーナーセンサー 7-40
駐車ガイドシステム 7-44
ノーズビューカメラ 7-34
リヤビューカメラ 7-37
点火プラグ 14-4
電球(バルブ) 13-34

ト

ドア 4-24
施錠・解錠 4-24
センタードアロック 4-25
チャイルドプロテクション 4-26
ドアコーテシーランプ 8-10, 13-45
ドアミラー 7-4
時計 8-6
トラクションコントロール機能 7-27

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

トランスファーオイル 14-3
トリップメーター(区間距離計) 6-3

ナ

内装品のお手入れ 11-6

ニ

荷室の作り方 5-12
日常点検 M

ネ

燃料計 6-4
燃料残量警告灯 6-4
燃料噴射装置の洗浄 11-2
燃料補給口(フューエルリッド) 4-54

ノ

ノーズビューカメラ 7-34

ハ

パーソナルテーブル 8-21
パーソナルボックス 8-12
排気量 S
灰皿 8-3
ハイドロプレーニング現象 2-12
ハイマウントストップランプ 13-43
発炎筒 13-10
バッテリー 14-4
バッテリー上がり 13-22
バッテリー液量の点検・補給 M
バニティーミラー 8-3
バルブ(電球)
交換 13-37
ワット数 13-34
パワーウインドウ 4-46
パワーステアリングオイル 14-3
パンク(タイヤ交換) 13-17
番号灯 13-43
半ドア警告灯 6-9

ヒ

非常点滅灯スイッチ 6-15
非常点滅表示灯 6-7
ヒューズ 13-30
表示灯 6-6, 6-7
ASC OFF表示灯 7-28
ASC作動表示灯 7-28
カメラAUTO表示灯 7-35
キーレスオペレーションシステム表示灯 4-16
クルーズコントロール表示灯 7-30
コーナーセンサー/バックセンサー表示灯 7-42
車幅灯表示灯 6-7
スポーツモード表示灯 7-15
セレクターレバー位置表示灯 7-11
SONAR OFF(コーナーセンサーOFF)表示灯 7-41
TCL OFF表示灯 7-28
非常点滅表示灯 6-7
フロントフォグランプ表示灯 6-7
ヘッドライト上向き表示灯 6-7
方向指示表示灯 6-7
4WD作動表示灯/LOCK表示灯 7-20
日よけ(サンバイザー) 8-2

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

フ

フェード現象 2-13
プッシュ式カードホルダー 8-20
フューエルリッド(燃料補給口) 4-54
フラットシートの作り方 5-15
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 5-23
ブレーキ
アンチロックブレーキシステム (ABS) 7-24
ブレーキ液 14-3
ブレーキ液量の点検･補給 M
ブレーキ警告灯 6-7
ブレーキパッドの摩耗 13-30
ブレーキペダル 14-5
フロントウォッシャースイッチ 6-18
フロントオートエアコン 9-6
フロントシート 5-4
フロントフォグランプスイッチ 6-16, 13-40
フロントフォグランプ表示灯 6-7
フロントワイパースイッチ 6-17

ヘ

ベーパロック 2-13
ヘッドライト 13-37, 13-38, 13-39
ヘッドライト上向き表示灯 6-7
ヘッドライトオートレベリング警告灯 6-14
ヘッドライトレベリング 6-13
ヘッドレスト 5-11
ベルトのたわみ量 14-5

ホ

ホイールカバー 13-21
方向指示灯 13-41, 13-42
方向指示表示灯 6-7
方向指示レバー 6-15
ホーンスイッチ 6-21
ボトルホルダー 8-19
ボンネット(エンジンフード) 4-52

マ

MIVECエンジン 7-9
マルチセレクト4WD 7-19

ミ

ミラー
ドアミラー 7-4
ルームミラー 7-3

メ

メーター
オドメーター(積算距離計) 6-3
水温計 6-5
スピードメーター 6-3
タコメーター 6-3
トリップメーター(区間距離計) 6-3
燃料計 6-4
メーター照度調整ボタン 6-5
メーター照度調整ボタン 6-5
メンテナンスデータ 14-2

ユ

油圧警告灯 6-8
ユースフルシート 8-14

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ヨ

4WD車取り扱い上の注意 7-21
4WDセレクタースイッチ 7-19

ラ

ライトスイッチ 6-9
ラゲッジフック 8-23
ラゲッジフロアボックス 8-22
ラゲッジルームランプ 8-10, 13-45
ランプ
ドアコーテシーランプ 8-10
バルブ(電球)の交換 13-37
フロントフォグランプ 6-16, 13-40
ラゲッジルームランプ 8-10
リヤパーソナルランプ 8-9
ルームランプ＆マップランプ 8-9
ワット数 13-34

リ

リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ 6-20
リヤウォッシャースイッチ 6-18
リヤオートエアコン 9-14
リヤクーラー 9-12
リヤコンビネーションランプ 13-42
リヤサイドボックス 8-12
リヤディファレンシャルオイル 14-3
リヤパーソナルランプ 8-9, 13-44
リヤビューカメラ 7-37
リヤワイパー／ウォッシャースイッチ 6-18

ル

ルームミラー 7-3
ルームランプ＆マップランプ 8-9, 13-44

レ

冷却水 14-3
冷却水量の点検･補給 M

ワ

ワイパー 6-16
フロントワイパースイッチ 6-17
リヤワイパースイッチ 6-18
ワイパーウォッシャースイッチ 6-18
ワイパーディアイサー 6-19
ワックスのかけ方 11-8

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

MEMO

純正部品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正部品をご使用ください。
- 純正部品は，弊社の新車に使用されているものと同じ部品で，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正部品および油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正部品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

● 負傷者の救護

- 医師または救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，特に頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。